

乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点

将来の社会ニーズ：一人一人が自ら課題を克服し、生き生きとした生活を切り拓く“積極的自立社会”の実現

一人ひとりが本来持っている素晴らしい潜在力を引き出し、顕在化させ、活動を通して、前向きに困難に立ち向かって、豊かで充実した社会生活を送ることができる日本人を増やしていくことにより、自らで課題を克服していく**積極的自立社会（セルフエンパワーメント社会）の実現**を目指す。

特に心身の成長に最も重要な**幼年期（乳幼児期・学童期）の健全な脳の発達にフォーカスし、発達を阻害する要因のケア技術（仕組み・ツールなど）を社会実装**することにより、社会貢献していく。

<現状>

少子高齢化社会のもと、更なる労働人口減少による成長力低下、社会保障費負担増、豊かさの低下、更にCOVID-19によるニューノーマル社会への対応の中、次世代を支えるこどもの活力低下、発達障害の増加など脳と心の課題（見えない・定量化できない課題）が個人・社会負担を直撃している

設定した将来の社会ニーズに基づく課題（研究開発課題）

本来持っている能力を発揮できていない人は新しい場面への適応力や自己肯定感が低いことが一因。これらは幼年期の家庭環境、教育環境により健全な脳の発達を阻害されていることが大きな要因。人間形成に最も重要な幼年期の脳神経ネットワークの醸成を促し、一人一人が適応力や自己肯定感おレジリエンスを高めることにより本来の能力を発揮することが可能。**子ども健やかな脳の発達を阻害する要因を医学・脳科学的究明し、子育て（子供）、子育て（養育者）の両面から阻害要因を改善するソリューションモデル（状態検知～活性化～評価の手段）を構築し、社会実装に繋げていく**

研究開発項目	体制(分担)	基礎技術開発			実装手段開発			実装化検証・実装		
		2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
子どもの健やかな脳の発達 ユースケースの構築と社会実装	大阪大学連合小児発達学研究所 (乳幼児の睡眠介入方法) 大阪大学歯学系研究科 (睡眠データ解析) 東大阪市、弘前大学、弘前市、金沢大学、加賀市、永平寺町 (睡眠アプリ実証)	ユースケース1 脳の発達に重要な乳幼児期の睡眠改善		スマートアプリの開発	小規模検証 (阪大病院)	東大阪市で実用化検証	加賀市・弘前市・豊中市で実証 (200人/年規模)			
	金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳データ収集・分析・介入法) 大阪大学工学研究科 (深層学習) 金沢工業大学 (ULF-fMRI) PFU (MRI高画像変換技術) リコー (幼児用MEGソフト開発)	ユースケース2 自閉症児の自立・社会性向上			流動性知能発達の指標となる脳活動見える化と診断指標の策定 (計30報以上の国際論文)	脳機能指標探索PG	深層学習による診断指標の探索PG効率化	幼児用MEG 医療機器申請		
	大阪大学生命機能研究科 (Gene Matched Network理論構築) 日立製作所 (コミュニケーションの質の定量化システムの構築と事業化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (SST) 金沢大学子どものこころの発達研究センター (特別支援学校) 北海道教育大学、道庁門学院大学、筑波大学、神戸大学、同志社大学 (実証検証)	ユースケース3 子どもの教育現場の改善 コミュニケーション・学力の向上	SST・教育現場のデータ取得		リアルタイムフィードバック可視化システム 有線コミュニケーションと無線コミュニケーションデータ蓄積	教育集団分析ソリューションSYS 実証検証 (大阪、北海道)	リソリューションビジネス (日立/LUMADA)			
1. ストレス物質の検出方法、腸内フローラ改善と免疫力向上	大阪大学医学系研究科 (ストレス物質向き免疫力強化の解明) 大阪大学産業科学研究所 (検出法開発/腸内フローラ改善手段) 大阪大学理学研究科 (ストレス量センシング技術開発) パナソニック (呼吸からのセンシング技術) ファイブ (バイコンの有効成分測定と抽出) コロ (臭気センサの開発) 東北大学 (糞便中重要成分分析)	ストレスマーカー候補因子抽出 ストレス因子の検出確認		核酸以外のマーカー検索 ストレスマーカー測定法確立	マーカー同定	ストレスマーカーの検出法の実証とデータベース化	AIナノボアによるヘルペスウイルス検出	医療機器承認申請 (新型コロナウイルス検査法)		
	脳情報連携融合研究センター (画像技術開発/脳メカニズム解明) 大阪大学連合小児発達学研究所 (ニューロフィードバックによる語学学習) パナソニック (顔画像を用いたストレス解析) 皮膚OHセンサ開発 JSOL、JNTTデータ (ニューロフィードバック)	7T-MRIサブミリヘルムセンシング技術開発 人の社会行動解析		腸内フローラ改善による免疫力強化作用解明 悪玉菌毒性軽減法の開発	腸内フローラ改善による免疫力強化作用解明 悪玉菌毒性軽減法の開発	プロトタイプ	実証とデータベース化	論文・知財化 研究実装		
	大阪大学産業科学研究所 (パッチ式ウェアラブルEEGセンサの開発) スタンレー電気 (パッチ式ウェアラブルEEGセンサの開発) 大阪大学・金沢大学 医学研究系 (センシング機器の医学評価、実用検証) メイトロン、パナソニック、昭和電工、セメダイン、カネカ (ウェアラブルセンサ形成技術) Imec (ウェアラブルセンサの開発) 通風堂 (生体信号解析語学学習サービス)	新材料・工法開発 ウェアラブルセンサ試作・評価	パッチ式ウェアラブルEEGセンサ試作		用途別機能開発/性能・信頼性検証 ベンチャー企業創設(PGV社)、事業化準備		PGV社へ技術移管			
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるWMの強化、免疫力の強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (脳機能制御装置) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	深層睡眠指標抽出 体温センシング・室温制御法 子どもの眠り質関連データ解析		腸内水素発生とtDMS/LPS/ガラクトシンの効果検証 効果作用機序解明	腸内水素発生とtDMS/LPS/ガラクトシンの効果検証 効果作用機序解明	シリンコ製剤投与方法	安全性検証/臨床試験			
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	音楽による生体センシングデータ収集・解析		tGSによる脳活動検出(うつ病患者) ドーパミン系への影響評価	健康成人のワーキングメモリへの効果検証					
2. 脳機能のメカニズム解明及び人間状態との関連性解明	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	簡便で定量的な検出技術・デバイスの開発		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	シリンコ/粒子による水素発生制御技術		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	ワーキングメモリに影響する脳部位特定		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	幼児用MEGのDB構築		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	遺伝子異性を伴ったGMN理論の構築		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
3. 簡便で定量的な検出技術・デバイスの開発	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	深層睡眠指標抽出 体温センシング・室温制御法 子どもの眠り質関連データ解析		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	音楽による生体センシングデータ収集・解析		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	ワーキングメモリに影響する脳部位特定		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	幼児用MEGのDB構築		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	遺伝子異性を伴ったGMN理論の構築		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
4. 限りなく非侵襲的活性化手段(WMの評価と強化方法)の開発	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	深層睡眠指標抽出 体温センシング・室温制御法 子どもの眠り質関連データ解析		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	音楽による生体センシングデータ収集・解析		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	ワーキングメモリに影響する脳部位特定		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	幼児用MEGのDB構築		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	遺伝子異性を伴ったGMN理論の構築		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
5. コミュニケーションの質の可視化と活性化 (スポーツ分野他)	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	深層睡眠指標抽出 体温センシング・室温制御法 子どもの眠り質関連データ解析		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	音楽による生体センシングデータ収集・解析		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	ワーキングメモリに影響する脳部位特定		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	幼児用MEGのDB構築		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				
	大阪大学医学系研究科 (fMRIによるfMRI強化) 大阪大学連合小児発達学研究所 (深層学習) 大阪大学産業科学研究所 (音楽活性化) 脳内水素発生技術開発 金沢大学子どものこころの発達研究センター (脳状態と人間性との関連性評価) 立命館大学 (体動計測脳機能センサー開発) 金沢工業大学 (超伝導磁石の開発) 関西医科大学 (fMRIによるfMRI強化) 浜松医科大学 (PETによるドーパミン測定) 中工工務店 (深層環境状態モニタの実証) 日新製薬、新興製作所 (活性化水素水)	遺伝子異性を伴ったGMN理論の構築		脳活動検出技術の確立		脳活動検出技術の確立				

連携イノベーションプラットフォーム

出口を見据えた社会実装 (製品・デバイス・サービスの社会実装/論文・知財化)

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

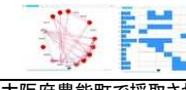
拠点名 V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

項目				H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	フェーズ1 (H25-H27)	フェーズ2 (H28-H30)	フェーズ3 (R1-R3)	計 (H25-R3)	単位	
① プロトタイプ				0	0	5	8	8	6	7	6	14	5	22	27	54	件	
② 実用化				0	0	0	1	0	3	2	2	6	0	4	10	14	件	
③ 事業化(製品・サービス等の提供)				0	0	0	1	0	3	3	5	8	0	4	16	20	件	
④ 起業(ベンチャー企業等の設立)				0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	2	1	3	件	
⑤ 知的財産権の状況	登録	拠点全体	国内	0	0	0	0	2	0	6	3	6	0	2	15	17	件	
			外国	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	2	2	件	
		うちパテント適用	国内	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	件
			外国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライセンス			直接入力	直接入力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	件
	⑥ 成果の発信				0	0	5	13	6	8	5	4	16	5	27	25	57	件
成果発信イベントの開催				1	2	3	3	3	6	2	3	2	6	12	7	25	件	
展示会への出展		国内	0	1	3	7	7	11	12	4	4	4	25	20	49	件		
		外国	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	2	2	4	件	
⑦ 掲載・放映				直接入力	3	13	18	20	15	1	7	8	16	53	16	85	件	
雑誌掲載(WEB含む)				直接入力	11	18	20	28	16	10	24	27	29	64	61	154	件	
新聞掲載(WEB含む)				直接入力	0	5	12	13	6	4	6	4	5	31	14	50	件	
テレビ放映				9	80	67	60	72	60	75	51	108	156	192	234	582	件	
⑪ 論文				0	0	0	0	16	31	11	11	24	0	47	46	93	件	
原著論文(発行済み)				3	75	80	60	97	58	60	27	75	158	215	162	535	件	
⑫ 発表				4	19	22	56	57	118	68	20	46	45	231	134	410	件	
ポスター発表				3	10	25	92	39	70	46	16	49	38	201	111	350	件	
招待講演				0	0	0	0	0	5	4	1	5	0	5	10	15	件	
その他				0	0	6	10	11	14	10	11	12	6	35	33	74	件	
⑬ 受賞				0	0	6	10	11	14	10	11	12	6	35	33	74	件	

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

① プロトタイプ

No	成果名称	発表等時期	担当機関 (企業・大学等)	概要	備考 (課題番号等)	年度
1	ウェアラブルEEGセンサ	2016/1/13-15	imec	ウェアラブルEXPO2016にて展示 日常装着可能な乾式EEG	③-a	H27
2	ウェアラブルECGセンサ	2016/1/13-15	imec	ウェアラブルEXPO2016にて展示 日常装着可能なECG	③-a	H27
3	ウェアラブルリストバンド	2016/1/13-15	imec	ウェアラブルEXPO2016にて展示 日常装着可能なGSR	③-a	H27
4	パッチ式脳波センサ	2016/1/7	大阪大学産業科学研究所	医療機器と同じ計測精度を持つパッチ式脳波センサの開発に成功～いつでもどこでも脳状態をリアルタイムに可視化可能に～ https://www.jst.go.jp/pr/announce/20160107-2/index.html	③-c	H27
5	体動計測システム	2016/6/22-24	近畿大学	医療機器開発・製造展(MEDIX2016)にて展示 画像解析による非接触睡眠状態評価方法	④-a	H27
6	ヤーコンゼリー	2016/5/17 サイトビジット	ファイン	ヤーコン粉末エキスをを用いた健康サプリ	①-b	H28
7	教育用コミュニケーション可視化システム	2016/8/25-26	日立製作所	JSTフェア2016にて展示	⑤	H28
8	スポーツ用コミュニケーション可視化システム	2016/8/25-26	日立製作所	JSTフェア2016にて展示	⑤	H28
9	スマートシークセンサ	2016/9/16	大阪大学	分子制御ギャップ電極によるトンネル電流に基づく核酸塩基鎖識別法の開発、日本分析学会第65回年会	③-a	H28
10	睡眠介入双方向アプリ	2016/5/17 サイトビジット	大阪大学		④-a	H28
11	ブレインミュージック	2017/1/11	大阪大学	脳波に基づいて自動作曲を行う人工知能を開発 https://www.jst.go.jp/pr/announce/20170116/index.html	④-b	H28
12	シリコンナノパーティクル含有飼料	2016/5/13	大阪大学	体内環境での水素発生の効能検討のため、ラットを用いた生体実験用にシリコンナノ粒子を含有する動物用飼料を開発	④-c	H28
13	感度極限超伝導センサ	2016/9/14	金沢工業大学	変則二次微分型グラジオメータを用いた人工内耳装用者用脳磁計 https://confit.atlas.jp/guide/event/jsap2016a/subject/14a-P4-20/detail	④-e	H28
14	うつ病傾向を予測する基本アルゴリズム	2017/10/3	情報通信研究機構	https://www.nict.go.jp/press/2017/10/03-1.html	②-a	H29
15	brAInMelody用EEGヘッドセット Gen2	2017/12/11	imec	https://www.jst.go.jp/pr/announce/20170807/index.html	③-b、④-b	H29
16	tCS/EEG一体型ヘッドセット Gen1	2018/3/5	imec		③-b、④-d	H29
17	双方向睡眠アプリ ねんねナビ	2017/8/7	大阪大学	https://www.jst.go.jp/pr/announce/20170807/index.html	④-a	H29
18	睡眠の質判定システム	2017/3/24	大阪大学	https://www.jst.go.jp/pr/announce/20170324/index.html	④-a	H29
19	リアルタイムフィードバック機構及び専用無線動態センサ	2018/3/21 COI内部のみ	日立製作所		⑤-b、⑤-c	H29
20	教育用コミュニケーション可視化システム	2017/3/21 COI内部のみ	日立製作所		⑤-b	H29
21	スポーツ用コミュニケーション可視化・リアルタイムフィードバックシステム	2017/3/21 COI内部のみ	日立製作所		⑤-c	H29
22	ヤーコンジュレ	2017/4/1	㈱ファイン	大阪府豊能町で採取されたフラクトオリゴ糖を多く含む植物、ヤーコンからエキスを抽出し、粉末にしたパウダーをもとに、スティック状のゼリーをヤーコンジュレとして作製。COI関連の会議や展示会にて試食を実施。ヤーコン粉末がマウス腸内フローラ改善につながることを実験的に実証 第45回日本バイオフィードバック学会	①-b H29計上漏	H30
23	非接触生体センシングを用いたバイオフィードバックシステム	2017/6/10	パナソニック㈱	第61回 日本心身医学会近畿地方会	②-a H29計上漏	H30
24	ウェアラブルデバイスを用いた日常計測システム	2018/1/20	パナソニック㈱	第61回 日本心身医学会近畿地方会	②-a H29計上漏	H30
25	機能拡張用伸縮電極ケーブルを備えたパッチ式伸縮センサシート	2017/3/3	大阪大学、日本メクトロン	高精度ウェアラブル脳波計測技術を実用化、計測した脳波をAI解析して脳活動の可視化と定量化	③-c H29計上漏	H30
26	画像トラッキングシステム	2019/2/1	(株)日立製作所	画像によるトラッキングシステム、ボール軌道も取得	⑤-b, c	H30
27	阪大版オペレーションスパンテスト ver. 2.2	2019/2/1	情報通信研究機構・脳情報通信融合研究センター	ワーキングメモリ評価テスト	②-a	H30
28	非接触センシングシステムを用いた心拍変動バイオフィードバック	2019/12/7	パナソニック、大阪大学、香川大	第26回日本行動医学会学術総会	②-a	R1
29	ペット用シリコン製剤の供給	2019/5/15	大阪大学	MTA契約の下、マルカンにペット用シリコン製剤を供給	④-c	R1
30	医薬用シリコン製剤の供給	2019/10/3	大阪大学	MTA契約の下、塩野義製薬に医薬用シリコン製剤を供給	④-c	R1
31	健康食品用シリコン製剤の供給	2019/9/1	大阪大学	MTA契約の下、大塚食品にシリコン製剤を供給	④-c	R1

32	化粧品用シリコン製剤の供給	2019/11/15	大阪大学	MTA契約の下、三粧化研に化粧品用シリコン製剤を供給	④-c	R1
33	改良版教育可視化システム	2019/10/1	(株)日立製作所	現場で使いやすくシステムや画面を改良	⑤-c	R1
34	改良版スポーツ可視化システム	2020/1/31	(株)日立製作所	現場で使いやすくシステムや画面を改良	⑤-d	R1
35	Short-term efficacy of home-based heart rate variability	2020/9/21	関西医大、香川大学、パナソニック	がん患者における在宅BFによる睡眠改善	②-a	R2
36	健康食品用シリコン製剤の供給	2020/7/2	大阪大学	MTA契約の下、サントリーウエルネスに人サプリメント用シリコン製剤を供給	④-c	R2
37	健康食品用シリコン製剤の安全性試験の結果の供給	2020/6/5	大阪大学	MTA契約の下、サントリーウエルネスに健康食品用シリコン製剤の安全性試験の結果を供給	④-c	R2
38	改良版教育可視化システム	2020/10/31	(株)日立製作所	コミュニケーションの二重性への対応機能、集団の意識の算出の実装	⑤-c	R2
39	ネットワーク型可視化システム	2020/10/31	(株)日立製作所	授業改善プラットフォーム機能の実装、オンライン化	⑤-c	R2
40	改良版スポーツ可視化システム	2020/12/31	(株)日立製作所	コミュニケーションの二重性への対応機能、集団の意識の算出の実装	⑤-d	R2
41	小型PCR装置	2021/12/15	電子機器企業	電気化学的簡単計測	①-a 山下	R3
42	ウェアラブルデバイスEEG "MOOD8"	2021/12/13	大阪大学 imec	デジタル信号処理回路を各電極傍に配置したactive electrode、Onyxを用いたreal-time conditioning信号処理等による低ノイズ化、従来のFEOL、BEOL2チップ構成を1チップ化	③-b	R3
43	生体導電性粘着剤電気特性品質検査用抵抗測定治具	2021/5/21	日本メクトロン(株)	パッチ式EEGセンサに組込む生体向け導電性粘着剤の電気特性検査用治具を製作、運用を開始	③-c	R3
44	生体導電性粘着剤付パッチ式EEGセンサ	2021/7/1	日本メクトロン(株)	電極腐食要因を有するハイドロゲルに換え、生体導通と生体密着とを両立した生体導電性粘着剤を組み込んだパッチ式EEGセンサを試作(実用性検証への適用)	③-c	R3
45	生体導電性粘着剤付パッチ式心電・筋電センサ	2022/2/28	大阪大学 日本メクトロン(株)	電極腐食要因を有するハイドロゲルに換え、生体導通と生体密着とを両立した生体導電性粘着剤を組み込んだパッチ式心電・筋電センサを試作(実用性検証への適用)	③-c	R3
46	睡眠評価システム	2021/7/1	大阪大学	睡眠深度判定システム(特許6952299)からの出力と正常睡眠データベースと照合し、各人の睡眠状態を評価し、視覚的に表示する睡眠地図を開発実装。	④-a	R3
47	ウェルネスルーム	2021/3/1	(株)竹中工務店、ダイキンエ	竹中工務店新入社員寮に、睡眠特別室「ウェルネスルーム(仮称)」の実装が完了	④-a	R3
48	医薬品用シリコン製剤の安全性試験の結果の供給	2021/5/26	大阪大学	MTA契約の下、大手製薬会社に医薬品用シリコン製剤を供給	④-c	R3
49	医薬品用シリコン製剤の安全性試験の結果の供給	2021/9/6	大阪大学	MTA契約の下、丸石製薬に医薬品用シリコン製剤を供給	④-c	R3
50	ネットワーク型可視化改良システム	2021/8/31	(株)日立製作所	現場の意見を取り入れ、GUIやデータ出力機能を改良	⑤-c	R3
51	スポーツ可視化改良システム	2021/11/15	(株)日立製作所	現場の意見を取り入れ、GUIやデータ出力機能を改良	⑤-d	R3
52	改良版ネットワーク型可視化システム	2021/10/31	(株)日立製作所	授業改善プラットフォーム機能の改良及び実装	⑤-c	R3
53	改良版スポーツ可視化システム	2021/11/30	(株)日立製作所	機能の改良及び実装	⑤-d	R3
54	改良版無線動態センサ	2021/11/30	(株)日立製作所	電池容量増量による稼働時間延長、最新チップ搭載による処理の高速化	⑤-d	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

② 実用化

No	成果名称	発表等時期	担当企業等	概要	備考 (課題番号等)	年度
1	パッチ式EEGセンサ	2016/4/29	大阪大学、日本メクトロン	生体適合性ゲル電極を持つ柔軟な有機増幅回路シートの開発に成功 ~体内に埋め込み微弱な生体活動電位の計測が実現~	③-c	H28
2	機能拡張用伸縮電極ケーブルを備えたパッチ式伸縮センサシート	2017/3/3	大阪大学、日本メクトロン	高精度ウェアラブル脳波計測技術を実用化、計測した脳波をAI解析して脳活動の可視化と定量化	③-c H29計上漏	H30
3	非接触生体センシングを用いたバイオフィードバックシステム	2017/6/10	パナソニック(株)	第45回日本バイオフィードバック学会	②-a H29計上漏	H30
4	ウェアラブルデバイスを用いた日常計測システム	2018/1/20	パナソニック(株)	第61回 日本心身医学会近畿地方会	②-a H29計上漏	H30
5	非接触センシングシステムを用いた心拍変動バイオフィードバック	2019/12/7	パナソニック、大阪大学、香川大学	第26回日本行動医学会学術総会	②-a	R1
6	ペット用サプリメント	2019/10/25	大阪大学	レナトスジャパンから、ペット用サプリメントの発売が開始	④-c	R1
7	人用サプリメント	2020/6/25	大阪大学	レナトスジャパンから、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R2
8	人用サプリメント	2020/10/31	大阪大学	野田製薬から、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R2
9	シリコン製剤の製造販売	2019/7/16	大阪大学	大阪チタニウムテクノロジーズが、シリコン製剤の製造販売を開始	④-c	R3
10	動物用サプリメント	2019/10/24	大阪大学	レナトスジャパンから、動物用サプリメントの発売が開始	④-c	R3
11	人用サプリメント	2020/6/25	大阪大学	レナトスジャパンから、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R3
12	人用サプリメント	2020/10/31	大阪大学	野田製薬から、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R3
13	人用サプリメント	2021/11/1	大阪大学	ファインから、人用サプリメントの開発が開始	④-c	R3
14	人用サプリメント	2022/1/10	大阪大学	ピヨンクールから、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

③ 事業化(製品・サービス等の提供)

No	製品・サービス等の名称	発売等時期	担当企業等	概要	備考 (課題番号等)	年度
1	パッチ式EEGセンサ	2016/9/16	PGV(Perpetual Gratitude & Voyage) 株式会社	高精度ウェアラブル脳波計測技術を実用化、計測した脳波をAI解析して脳活動の可視化と定量化	③-c	H28
2	ヤーコン粉末エキス「ヤックファイバー」	2017/4/1	ファイン(株)	大阪府豊能町で採取されたフラクトオリゴ糖を多く含む植物、ヤーコンからエキスを抽出し、粉末にしたパウダーを豊能町内、ならびに阪急百貨店にて販売。実験的に、本パウダーがマウス腸内フローラ改善につながる実証実験も実施した。	①-b H29計上漏	H30
3	集団分析ソリューション	2019/3/1	(株)日立製作所	研究成果のソリューション化	⑤-b, ⑤-c	H30
4	生体計測サービス	2019/6導入	バナソニックプロダクト解析セン	開発したアルゴリズムを提供し活用。	②-a	R1
5	ペット用サプリメント	2019/10/25	大阪大学	レナトスジャパンから、ペット用サプリメントの発売が開始	④-c	R1
6	集団分析ソリューション外部公開リーフレット	2019/9/1	(株)日立製作所	研究成果のソリューション化	⑤-b, c	R1
7	Almelo	2020/4/20	クリムゾンテクノロジー株式会社	研究成果の市場ローンチ	④-b-3	R2
8	東宝Xアルファボリス ゆめレスキュー AI 子守唄	2020/7/31	クリムゾンテクノロジー株式会社	研究結果のサービス提供(自動作曲)	④-b-3	R2
9	AIサウンドロゴ	2018/12/18	クリムゾンテクノロジー株式会社	研究結果のサービス提供(自動作曲)	④-b-3	H30
10	人用サプリメント	2020/6/25	大阪大学	レナトスジャパンから、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R2
11	人用サプリメント	2020/10/31	大阪大学	野田製薬から、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R2
12	体動の同期性を算出するライブラリをソリューションコアに登録	2021/3/31	(株)日立製作所	研究成果のソリューション化	⑤-b, c	R2
13	オンライン教育コンテンツレコメンデーションのための顧客情報取得	2021/7/20	(株)進鳳堂	生体信号解析語学システムBrain Languageの開発・販売	③-b	R3
14	シリコン製剤の製造販売	2019/7/16	大阪大学	大阪チタニウムテクノロジーが、シリコン製剤の製造販売を開始	④-c	R3
15	動物用サプリメント	2019/10/24	大阪大学	レナトスジャパンから、動物用サプリメントの発売が開始	④-c	R3
16	人用サプリメント	2020/6/25	大阪大学	レナトスジャパンから、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R3
17	人用サプリメント	2020/10/31	大阪大学	野田製薬から、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R3
18	人用サプリメント	2021/11/1	大阪大学	ファインから、人用サプリメントの開発が開始	④-c	R3
19	人用サプリメント	2022/1/10	大阪大学	ピヨンケールから、人用サプリメントの発売が開始	④-c	R3
20	"集団の意識"を算出するライブラリをソリューションコアに登録	2021/9/30	(株)日立製作所	研究成果のソリューション化	⑤-b, c, d	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

④ 起業(ベンチャー企業等の設立)

No	法人名称	設立時期	シーズ	概要	備考 (課題番号等)	年度
1	PGV(Perpetual Gratitude & Voyage)株式会社	2016/9/16	ウェアラブル脳波計測技術	高精度ウェアラブル脳波計測技術を実用化、計測した脳波をAI解析して脳活動の可視化と定量化	③-c	H28
2	アイボア株式会社	2018/9/20	ナノポアによるヘルペスウイルスの簡易検出	人工知能を活用したIoTナノ粒子センサの開発および販売	③-a	H30
3	株式会社ボスケシリコン	2019/5/6	シリコン製剤の製造技術	シリコン製剤の開発及び販売	④-c	R1

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

⑤-2 知的財産権(登録) A特許 | Bその他の知的財産権

A 特許

No	知財の名称	登録年月	出願番号	登録番号	ハイ・ドール 適用	出願人	国内/外国	備考	年度
1	眼科疾患のバイオマーカー	2020/2/3	特願2018-508084	特許第6654326号		大阪大学	国内	①-a	R1
2	情報処理装置の作動方法および推定システム	2019/9/13	特願2015-146988 特許第6583719号	特許第6583719号		国立研究開発法人情報通信研究機構	国内	②-a	R1
3	生体信号計測装置	2019/12/13	特願2017-561508	特許第6629887号		大阪大学	国内	③-c	R1
4	楽曲聴取経験有無推定方法、楽曲聴取経験有無推定装置、及び楽曲聴取経験有無推定プログラム	2020/2/5	特願2015-169802	特許第6655242号		大阪大学	国内	④-b	R1
5	薬剤及びその製造方法	2020/4/7	特願2019-512315	特許第6687963号		大阪大学	国内	④-c	R1
6	オキシトシントランスポーター	2019/6/14	特願2014-255721 特許第6535854号	特許第6535854号		金沢大学	国内	④-e	R1
7	ストレスバイオマーカー	2020/6/11	特願2018-508085	特許第6715526号		大阪大学	国内	①-a	R2
8	溶液中に存在する対象物質の検出方法および検出するためのシステム	2020/12/3	特願2017-148002	特許第6803629号	○	大阪大学	国内	①-a	R2
9	ELECTRODE SHEET AND BIOLOGICAL SIGNAL MEASURING DEVICE INCLUDING ELECTRODE SHEET	2020/11/18	EP1780653 4.8	EP3453322		大阪大学	外国	③-c	R2
10	電極シート	2021/2/4	特願2016-178924	特許第6832535号		大阪大学、日本メクトロン株式会社	国内	③-c	R2
11	生体信号計測装置	2021/5/26	特願2019-218923	特許第6889941号		大阪大学	国内	③-c	R3
12	生体信号計測装置	2022/2/10	特願2021-022697	特許第7023023号		大阪大学	国内	③-c	R3
13	睡眠深度判定システム、睡眠深度判定装置及び睡眠深度判定方法	2021/9/30	特願2017-63257	特許第6952299号		大阪大学、立命館大学	国内	④-a	R3
14	睡眠改善システム、端末装置及び睡眠改善方法	2021/7/29	特願2017-202916	特許番号6920731号		大阪大学	国内	④-a	R3
15	薬剤及びその製造方法	2021/6/3	特願2020-567393	特許第6893586号		大阪大学	国内	④-c	R3
16	薬剤及びその製造方法 DRUG AND PRODUCTION METHOD THEREFOR	2021/8/31	US16/633,807	US11103527		大阪大学	外国	④-c	R3
17	入眠後体動量を指標とする自閉スペクトラム症の検査方法	2021/12/1	特願2017-117220	特許第6986253号		金沢大学	国内	④-e	R3

B その他の知的財産権 (実用新案権、意匠権、回路配置利用権、育成者権など)

No	知財の名称	登録年月	出願番号	登録番号	ハイ・ドール 適用	出願人	国内/外国	備考	年度
1	商標(検索用): brAInMelody\ブレインメロディ 称呼(参考情報): ブレインメロディ, ブレインメロディ, ブレインメロディー	2018/3/2	商願2017-077557	第6024120号		クリムゾンテクノロジー株式会社	国内	④-b	H29
2	ねんねナビ®	2018/7/20	商願2017-118638	第6064356号		大阪大学	国内	④-b	H29

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核: 大阪大学)

⑥-1 成果の発信(プレス発表) ※イベント告知は除く

No	発表年月日	発表タイトル	発表機関	主な研究者	URL	備考 (課題番号等)	年度
1	2014/4/3	世界に先駆け発見! 神経細胞の個性化と精緻な回路形成に必要な発生初期のDNA修飾メカニズムを解明	大阪大学	豊田峻輔、八木健	https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2014/20140403_1	②-b	H27
2	2014/4/1	自閉症スペクトラム障害児の脳の特徴を解明	金沢大学	菊知 充	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2014/12/140401.pdf	④-e	H27
3	2014/6/20	安静状態の脳活動パターンが自閉症スペクトラム傾向に関与していることを発見	福井大学、名古屋大学、金沢大学	棟居 俊夫	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/3222	④-e	H27
4	2014/8/6	健常児における聴覚野の発達と言語発達の関係を解明!	金沢大学	吉村優子, 菊知充, 東田陽博, 三邊義雄 他	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2014/12/140806.pdf	④-e	H27
5	2015/6/12	自閉症スペクトラム障害児と両親の心理的状態は連動している	金沢大学	長谷川千秋	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2015/06/150612.pdf	④-e	H27
6	2016/1/6	閉症スペクトラム障害児では脳が過剰に活動している	金沢大学	高橋哲也, 三邊義雄	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/160105.pdf	④-e	H28
7	2016/1/26	知的障害を有する自閉スペクトラム症の一群を対象とした世界初の臨床研究結果を報告	金沢大学	東田陽博, 棟居俊夫	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/33966	④-e	H28
8	2016/1/7	医療機器と同じ計測精度を持つパッチ式脳波センサの開発に成功～いつでもどこでも脳状態をリアルタイムに可視化可能に～	大阪大学 科学技術振興機構(JST)	関谷毅ら	https://www.jst.go.jp/pr/announce/20160107-2/index.html	③-c	H28
9	2016/4/29	生体適合性ゲル電極を持つ柔軟な有機増幅回路シートの開発に成功～体内に埋め込み微弱な生体活動電位の計測が実現～	東京大学 大学院工学系研究科、大阪大学 産業科学研究所、科学技術振興機構(JST)	関谷毅ら	http://www.jst.go.jp/pr/announce/20160429/index.html	③-c	H28
10	2016/8/17	冷却シートを額に貼る感覚で睡眠の質が計測可能に～脳波もインターネットでリアルタイムにモニターできる時代に～	大阪大学、科学技術振興機構(JST)	関谷毅ら	http://www.jst.go.jp/pr/announce/20160817-2/index.html#ZU3	③-c	H28
11	2016/4/14	左右の脳のシンクロが低下(世界初) 自閉症児の脳内ネットワーク発達の特徴を捉える!	金沢大学	栗田 俊治、菊知充(金沢大学)	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/04/1604141.pdf	④-e	H28
12	2016/9/14	世界初 自閉スペクトラム症児の視覚類推能力に関わる脳の特徴を捉える!	金沢大学	竹崎奈津美(金沢大学)	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/09/1609144.pdf	④-e	H28
13	2016/10/11	世界初 見つめ合う時、自閉スペクトラム症幼児と母親の脳で起きる現象を発見	金沢大学	長谷川千秋(金沢大学)	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/10/161011.pdf	④-e	H28
14	2016/12/19	自閉症スペクトラムの子どもの聴覚過敏性は日常生活上で周囲から気づかれにくいことを明らかにしました	国立精神・神経医療研究センター	高橋秀俊(国立精神・神経医療研究センター)	https://www.ncnp.go.jp/press/release.html?no=322	④-e	H28
15	2017/1/11	脳波に基づいて自動作曲を行う人工知能を開発	大阪大学、科学技術振興機構(JST)	沼尾正行	https://www.jst.go.jp/pr/announce/20170116/index.html	④-b	H28
16	2017/3/3	阪大COI拠点発ベンチャー、PGV 榎の事業が本格稼働!	大阪大学、科学技術振興機構(JST)	関谷毅ら	https://www.coistream.osaka-u.ac.jp/photo/other/1490418571.pdf	③-c	H28
17	2017/3/10	オキシトシン自閉症スペクトラムに効果	金沢大学	廣澤徹(金沢大学)		④-e	H28
18	2017/3/24	AI技術により音から睡眠個性を視覚化、快適な眠りのパーソナル化に期待～ビッグデータ解析で睡眠個性に応じた睡眠支援システムの実現へ～	大阪大学 JST	福井 健一	https://www.jst.go.jp/pr/announce/20170324/index.html	④-a	H28
19	2017/8/7	幼児の眠りを変えるスマホアプリの開発	大阪大学	谷池雅子	https://www.jst.go.jp/pr/announce/20170807/index.html	④-a	H29
20	2017/12/7	世界初! 自閉スペクトラム症の言語発達に関わる脳の特徴を可視化—言語発達の遅れに関連する脳機能について新たな知見—	金沢大学	吉村優子(金沢大学)	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2017/12/171207.pdf	④-e	H29

21	2017/12/13	世界初！自閉スペクトラム症の言語発達に関わる脳の特徴を可視化-言語発達の遅れに関連する脳機能について新たな知見-	金沢大学	吉村優子	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/52968	④-e	H29
22	2017/10/17	ニューロフィードバック技術を用いた英語学習支援サービス開発を開始	株式会社NTTデータ経営研究所	成瀬康	https://www.keieiken.co.jp/aboutus/newsrelease/171017/	②-a	H29
23	2017/10/3	経済的な不平等と、うつ病傾向を結ぶ扁桃体と海馬の機能を解明	国立研究開発法人情報通信研究機構	春野雅彦	https://www.nict.go.jp/press/2017/10/03-1.html	②-a	H29
24	2018/1/9	Imec and Holst Centre Introduce EEG Headset for Emotion Detection	imec	Bernard Grundlehner	https://www.imec-int.com/en/articles/imec-and-holst-centre-introduce-eeeg-headset-for-emotion-detection	③-b	H29
25	2018/8/21	多発性骨髄腫に対する新規「CAR-T細胞療法」に関する独占的ライセンス契約を締結	大阪大学	熊ノ郷淳	http://www.med.osaka-u.ac.jp/archives/13344	①-a	H30
26	2018/5/15	脳科学技術と音声認識技術を用いた日本人向け英語リスニング・スピーキング学習支援サービス開発を開始	株式会社JSOL 株式会社EnglishCentral 株式会社NTTデータ経営研究所	成瀬康(情報通信研究機構) 前田太郎(大阪大学)	https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000055.00000779.html	②-a	H30
27	2018/2/15	自閉スペクトラム症者、小型ヒト型ロボットに対して積極的に会話	金沢大学	熊崎博一(金沢大学)		④-e	H30
28	2018/8/3	知識が母を救う!?自閉スペクトラム症の子を持つ母親の気持ちの変化-発達障害の知識が母親の感情に与える影響-	金沢大学	富山更(金沢大学)	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2018/08/180803.pdf	④-e	H30
29	2018/8/14	世界初!自閉スペクトラム症の不器用さに関わる脳の特徴を可視化-脳の特徴を用いて新たなバイオマーカー-	金沢大学	アンキョンミン(金沢大学)	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2018/08/180814.pdf	④-e	H30
30	2018/9/26	ブレインメロディ:AI(人工知能)自動作曲技術による新たな当社事業構想を発表します。	クリムゾンテクノロジー	飛河 和生	https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000008557.html	④-b	H30
31	2018/2/23	大阪大学と富山市、IoT技術を用いたインフラ管理技術の研究開発を開始！～橋梁・橋脚の高効率状態管理にシート型IoTセンサを活用～	大阪大学	関谷毅	http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/pdf/press/teirei_56.pdf	③-c	H30
32	2019/3/26	世界初!経頭蓋直流刺激による注意機能の改善にドパミン系神経伝達に関わることを解明	金沢大学	深井美奈	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/66076	④-d	H30
33	2019/9/19	緊張による運動パフォーマンス低下を防ぐことに成功!	国立研究開発法人情報通信研究機構	春野雅彦(情報通信研究機構) 源健宏(島根大学) ガネッシュ・ゴウリシヤンカー(フランス国立科学研究センター)	https://www.nict.go.jp/press/2019/09/19-2.html	②-a	R1
34	2019/8/16	世界最薄・最軽量のノイズ低減機能付き生体計測回路を実現-歩行中もノイズの少ない心電計測が可能に-	大阪大学 産業技術総合研究所	関谷毅	https://www.aist.go.jp/aist_j/press_release/pr2019/pr20190816/pr20190816.html	③-c	R1
35	2019/10/24	体内で多量の水素が発生し、酸化ストレスを低減するシリコン製剤-ペット用サプリメントとして社会実装	大阪大学、レナスジャパン	小林 光、小林悠輝	https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/	④-c	R1
36	2019/5/29	愛情ホルモン「オキシトシン」より効果持続が見込める有機合成化合物を発見! ～オキシトシンよりも長時間作用・高効果が見込める化合物の合成に成功～	金沢大学	東田陽博、横山茂	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/67616	④-e	R1
37	2019/5/29	特定ガスを狙い撃ち！アンモニアの高感度検出に成功	大阪大学	藤内謙光	https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2019/20190529_1	①-a	R1
38	2020/8/20	SNSの情報からIQや外向性など幅広いパーソナリティの推定に成功	国立研究開発法人情報通信研究機構	森数馬、春野雅彦(情報通信研究機構)	https://www.nict.go.jp/press/2020/08/20-1.html	②-a	R2
39	2020/8/18	スマホで、子ども、スヤスヤ～双方向性睡眠教育アプリ「ねんねナビ®」社会実証事業開始～	大阪大学、金沢大学、加賀市	谷池雅子、毛利育子 菊知充、吉村優子、田中早苗	https://www.coistream.osaka-u.ac.jp/photo/other/1597899668.pdf	④-a ④-e	R2
40	2020/6/18	体内で多量の水素を発生させるシリコン製剤が慢性腎臓病の悪化やパーキンソン病の進行を抑制する可能性	大阪大学	今村亮一、島田昌一、小林光	https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2020/20200618_1	④-c	R2

41	2020/2/26	声に対する脳活動は子どもの発達や知能を予測する -6分程度の脳磁計測定から発達調査が可能に-	金沢大学	アン・キョンミン、吉村優子、菊知充	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/76498	④-e	R2
42	2020/8/20	SNSの情報からIQや外向性など幅広いパーソナリティの推定に成功	国立研究開発法人情報通信研究機構	森数馬、春野雅彦(情報通信研究機構)	https://www.nict.go.jp/press/2020/08/20-1.html	②-a	R3
43	2020/12/21	さりげないエレクトロニクス。	大阪大学 産業技術総合研究所	竹本明寿也、荒木 徹平、植村 隆文、関谷 毅	https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2020/20201211_1	③-c	R3
44	2021/4/26	自己発電・蓄電機能付きシート型生体センサを実現	大阪大学 産業技術総合研究所	植村 隆文、荒木 徹平、関谷 毅	https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2021/20210423_2	③-c	R3
45	2021/9/21	光を使って回路を操る！フレキシブル有機電子回路の電気特性制御を実現	大阪大学 産業技術総合研究所	植村 隆文、関谷 毅	https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/hot_topics/topics_20210921/	③-c	R3
46	2020/6/18	体内で多量の水素を発生させるシリコン製剤が慢性腎臓病の悪化やパーキンソン病の進行を抑制する可能性	大阪大学	今村亮一、島田昌一、小林 光	https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research/2020/20200618_1	④-c	R3
47	2021/2/4	幼児期の夜間睡眠には昼寝の長さや夜の母乳授乳が影響することが明らかに	金沢大学(聖路加国際病院、秋田大学、北海道大学等と共同)	吉村優子	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/89134	④-e	R3
48	2021/4/9	自閉スペクトラム 音の脳反応速い	金沢大学	吉村優子	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/91689	④-e	R3
49	2021/7/28	母親の読み聞かせの影響が子どもが集中するのに伴い脳内ネットワーク強度も向上	金沢大学(千葉工大、福井大と共同)	長谷川千秋	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/94730	④-e	R3
50	2021/8/4	早産児乳幼児における睡眠と知的発達の関係が明らかに	金沢大学(秋田大学、北海道大学等と共同)	吉村優子	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/95282	④-e	R3
51	2021/8/25	てんかん性突発波と自閉スペクトラム症児の脳神経ネットワーク、社会性の障害の関係を解析	金沢大学	廣澤徹	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/95935	④-e	R3
52	2021/9/17	自閉スペクトラム症児の共同注意と知能の関係を解析	金沢大学	佐野滋彦	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/96402	④-e	R3
53	2021/12/2	ロボットの触り心地が性格の印象を変える	金沢大学	池田尊司	https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2021/12/211202.pdf	④-e	R3
54	2021/12/15	自閉スペクトラム症グレーゾーンに関わる遺伝要因を解析	金沢大学	廣澤徹、塩田友果	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/99941	④-e	R3
55	2021/12/21	自閉スペクトラム症児の脳神経ネットワークの特徴、社会性の障害との関係を解析	金沢大学	廣澤徹、相馬大輝	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/101115	④-e	R3
56	2021/12/22	精神疾患における脳活動の定常刺激反応の変質に興奮性/抑制性バランスとシナプスのロングテール性が関与 -スライピングニューラルネットワークによるシミュレーション研究により実施-	金沢大学	高橋哲也、池田尊司	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/101011	④-e	R3
57	2022/2/15	脳波から神経活動の加齢効果を推定する解析アルゴリズムを開発	金沢大学	高橋哲也、池田尊司	https://www.kanazawa-u.ac.jp/rd/101011	④-e	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

⑥-2 成果の発信(成果発信イベントの開催)

No	開催年月日	名称	開催地	参加人数(人)	概要	備考 (主催、共催等)	年度
1	2014/3/14	第1回大阪大学COIワークショップ	大阪大学 中之島センター	200	シーズ・ニーズ探索	主催:大阪大学COI拠点	H25
2	2014/11/21	第2回大阪大学COIワークショップ	千里ライフサイエンス センター	200	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	H26
3	2014/11/27-29	第3回金沢大学子どものころサミット	北國新聞赤羽ホール	200	成果発表	主催:金沢大学	H26
4	2015/6/17	第5回CiNetシンポジウム 第3回大阪大学COIシンポジウム	東京国際フォーラム	300	成果発表	主催:脳情報通信融合研究センター(CiNet)	H27
5	2015/10/27	第4回大阪大学COIシンポジウム	大阪大学 中之島センター	200	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	H27
6	2016/3/16	対話型ワークショップ	門真市	50	シーズ・ニーズ探索	主催:大阪大学COI拠点	H27
7	2016/10/11	第5回大阪大学COIシンポジウム	大阪大学 中之島センター	200	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	H28
8	2016/12/13	第1回大阪大学COI国際会議	ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター	100	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	H28
9	2017/3/14	対話型ワークショップ	門真市	50	シーズ・ニーズ探索	主催:大阪大学COI拠点	H28
10	2017/10/17	第6回大阪COIシンポジウム	大阪大学 中之島センター	170	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	H29
11	2017/12/1	JST COI成果報告会「子どものころの発達 多角的視点から見えてきたこと」	金沢大学医学図書館 十全記念スタジオ	80	成果発表	主催:金沢大学	H29
12	2018/2/19,20	対話型ワークショップ	大阪府門真市門真 パナソニック Wonder LAB Osaka	18	シーズ・ニーズ探索	主催:大阪大学COI拠点	H29
13	2018/7/26	第41回日本神経科学大会	神戸市	200	ランチョンセミナー	主催:株式会社NTTデータ経営研究所	H30
14	2018/10/2	第7回大阪大学COIシンポジウム	東京都千代田区	200	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	H30
15	2018/10/24,25	第1回COI学会	大阪大学 中之島センター	120	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	H30
16	2019/1/28	対話型ワークショップ	大阪府	10	シーズ・ニーズ探索	主催:大阪大学COI拠点	H30
17	2018/12/2	第46回 内科学の展望	大阪市 大阪国際会議場	1500	成果発表	主催:日本内科学会	H30
18	2018/11/5	第二回電子研核磁気共鳴研究討論会	宮城県名取市	30	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	H30
19	2019/11/27	第8回大阪大学COIシンポジウム	豊中市	100	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	R1
20	2019/9/26	対話型ワークショップ	門真市	9	シーズ・ニーズ探索	主催:大阪大学COI拠点	R1
21	2020/12/7-11	第9回大阪大学COIシンポジウム	web開催	200	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	R2
22	2020/11/14	大阪大学SEEDSプログラム	大阪大学吹田キャンパス	25	研究紹介	主催:大阪大学	R2
23	2020/8/18	ねんねナビ®報道機関対象デモンストレーション	加賀市	20	成果発表	主催:加賀市、大阪大学、金沢大学	R2
24	2022/1/21	第10回大阪大学COIシンポジウム	東京都江東区	100	成果発表	主催:大阪大学COI拠点	R3
25	2021/11/19-26	ネクスト・イノベーターへ伝える起業・創業の魅力	オンライン	200	情報交換会	公益社団法人日本工学会アカデミー(EAJ)PE研究会の共催	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核: 大阪大学)

⑥-3 成果の発信(展示会への出展)

No	開催年月日	名称	開催地	国内/外国	概要	備考	年度
1	2015/2/25-27	第11回 国際水素・燃料電池展 (FC EXPO 2015)	東京 ビックサイト	国内	⑤-d 水素製造技術	大阪大学・日新化成・新興製作所	H26
2	2015/8/27-28	JSTフェア 2015	東京 ビックサイト	国内	阪大COIのコンセプト・成果	全テーマ	H27
3	2015/12/16-18	SEMICON Japan2015	東京 ビックサイト	国内	涙液ストレスセンサ、阪大COIのコンセプト	①-a	H27
4	2016/1/13-15	ウェアラブルEXPO2016	東京 ビックサイト	国内	パッチ式脳波計(EEGセンサ)、imec生体センサ	③-b,c	H27
5	2016/6/22-24	医療機器開発・製造展(MEDIX2016)	東京 ビックサイト	国内	睡眠計測システム、imec生体センサ、阪大COIコンセプト	④-a、③-b	H28
6	2016/7/12-14	SEMICON West 2016	サンフランシスコモスコーンセンター (Moscone Center)	外国	imec生体センサ、阪大COIのコンセプト	③-b	H28
7	2016/8/25-26	JSTフェア 2016	東京 ビックサイト	国内	音楽による活性化、コミュニケーションによる組織の活性化、imec生体センサ、阪大COIコンセプト	④-b、③-b、⑤	H28
8	2016/9/7-9	JASIS 2016	幕張メッセ	国内	パッチ式脳波センサ、imec生体センサ、阪大COIのコンセプト	③-b,c	H28
9	2016/12/13-15	SEMICON Japan 2016	東京 ビックサイト	国内	涙液ストレスセンサ、imec生体センサ、阪大COIのコンセプト	①-a、③-b	H28
10	2017/1/18-20	ウェアラブルEXPO2017	東京 ビックサイト	国内	ブレインミュージック(ヘッドホナー型脳波センサ)、imec生体センサ、阪大COIコンセプト	④-b、③-b	H28
11	2017/1/23~25	化粧品開発展 COSME Tech2017	東京 ビックサイト	国内	水素発生材料としてのシリコンナノ粒子の開発について成果発表	④-c	H28
12	2017/2/15~17	nano tech 2017 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議	東京 ビックサイト	国内	表面構造化学的転写(SSCT)法を用いた極低反射結晶シリコン太陽電池について成果発表	④-c	H28
13	2017/6/21-23	医療機器開発・製造展(MEDIX2017)	東京 ビックサイト	国内	腸内フローラ/ヤコン粉末涙液からのストレス検出	①-a,b	H29
14	2017/6/28-30	AI・人工知能EXPO 2017	東京 ビックサイト	国内	阪大COIコンセプト 音楽活性化自動作曲実演感情抽出用脳波計測	④-b	H29
15	2017/8/31-9/1	イノベーション Japan2017 JSTフェア2017	東京 ビックサイト	国内	阪大COIコンセプト 睡眠教育アプリ 体動睡眠計測	④-a	H29
16	2017/11/24-26	サイエンスアゴラ2017	東京台場テレコムセンター	国内	音楽活性化:脳波感情抽出に基づく自動作曲実演	④-b	H29
17	2018/1/9-1/12	CES2018	ラスベガス	外国	ブレインメロディ用EEGヘッドセット	④-b	H29
18	2018/1/18-20	ウェアラブルEXPO2018	東京 ビックサイト	国内	阪大COIコンセプト パッチ式脳波計 Brain Melody	④-b	H29
19	2018/2/26-27	イノベーションストリームKANSAI 2018	グランフロント大阪 コングレコンベンションセンター	国内	阪大COIコンセプト ユースケース社会実装 テーマ別研究成果	全テーマ	H29
20	2017/4/5-4/7	第27回ファインテックジャパン プリンテッドエレクトロニクスフォーラム	東京 ビックサイト	国内	医療機器の計測精度を持つパッチ式脳波センサの開発	③-c	H29
21	2017/1/23-25	第7回 化粧品開発展 COSMETech 2017	東京 江東区	国内	アカデミックフォーラムでの発表	④-c H28計上漏	H30
22	2017/11/28-12/1	rtFIN2017	奈良県春日野	国内	展示スペースへの成果展示	②-a H29計上漏	H30
23	2018/4/18-20	メドテック	東京 江東区	国内	伸縮電極の展示	③-c	H30
24	2018/5/23-25	人と車のテクノロジー展(横浜)	横浜市	国内	伸縮電極の展示	③-c	H30
25	2018/6/6-8	JPCAショー	東京 江東区	国内	伸縮電極の展示	③-c	H30
26	2018/6/20-22	第9回 ヘルスケア・医療機器 開発展 日本ものづくりワールド2018	東京 江東区	国内	ヘルスケア・医療関係の成果・デモ展示	全テーマ	H30
27	2018/7/11-13	人と車のテクノロジー展(名古屋)	名古屋市	国内	伸縮電極の展示	③-c	H30
28	2018/8/30-31	JSTフェア2018 科学技術による 未来の産業創造展	東京 江東区	国内	COIゾーンへの成果・デモ展示	全テーマ	H30
29	2018/10/31	ICTビジネスフォーラム 2018 in 大阪	大阪 グランフロント	国内	ブレインメロディ関係の成果・デモ展示	④-b	H30

30	2019/1/16-18	第5回 ウェアラブルEXPO (2019)	東京 江東区	国内	ウェアラブル・ヘルスケア関係の成果・デモ展示	全テーマ	H30
31	2019/2/6-8	テクニカルショウヨコハマ2019	横浜市	国内	自動作曲システムのデモ・パネル展示	④-b	H30
32	2019/6/5-7	JPCAショー	東京 江東区	国内	EEG/電極シートの展示	③-c	R1
33	2019/5/22-24	人と車のテクノロジー展・横浜	横浜市	国内	EEG/電極シートの展示	③-c	R1
34	2019/7/17-19	人と車のテクノロジー展・名古屋	名古屋市	国内	EEG/電極シートの展示	③-c	R1
35	2019/12/17-18	イノベーションストリームKANSAI	大阪 梅田	国内	脳波計など生体信号計測に関して	③-c	R1
36	2019/10/9-11	BioJapan	パシフィコ横浜	国内	睡眠環境音に基づく睡眠個性解析技術の特許	④-a	R1
37	2019/1/26	第1回 大阪大学医学系研究科-産業科学研究所懇話会	大阪	国内	ポスターセッション「双方向性睡眠教育アプリ」	④-a	R1
38	2019/3/8	在阪報道関係者と大阪大学との懇談会	大阪	国内	「幼児の眠りと育児を変える! 双方向性睡眠教育アプリ」	④-a	R1
39	2019/10/23-25	第10回ヘルスケア・医療機器開発展(MEDIX2019)	千葉幕張	国内	「双方向睡眠教育アプリ」	②-a、④-a	R1
40	2019/11/16-17	第40回動物臨床医学会記念年次大会	大阪、グランキューブ大阪	国内	動物用シリコン製剤の成果・デモ展示	④-c	R1
41	2019/2/20-22	ヘルスケア・医療機器開発展	大阪	国内	「自閉スペクトラム症の検査方法」についての展示	金沢大学(2018年度未記載分)	R1
42	2019/12/11-13	SEMICON JAPAN 2019	東京 江東区	国内	ストレスマーカー検出デバイス、生体信号モニタリング	①、③	R1
43	2020/2/12-14	ウェアラブル EXPO2020	東京 江東区	国内	ウェアラブルデバイス、ブレインメロディ	③、④	R1
44	2020/9/28-11/30	イノベーション・ジャパン2020 ~JSTフェア2020~	WEB開催	国内	研究発表	全テーマ	R2
45	2020/10/24-27	計測展2020	大阪国際会議場	国内	ナノポアによるウイルス計測	③-a	R2
46	2021/1/20-22	第7回 ウェアラブル EXPO	東京ビッグサイト	国内	研究発表	全テーマ	R2
47	2021/2/3-5	第11回ヘルスケア・医療機器開発展(MEDIX2020)	千葉幕張	国内	研究発表	全テーマ	R2
48	2021/8/23-9/17	イノベーション・ジャパン2021 ~大学見本市Online	WEB開催	国内	研究発表	全テーマ	R3
49	2021/10/14-23	TAIWAN INNOTECH EXPO 2021	WEB開催	外国	教育イノベーションソリューション	③-b	R3
50	2021/10/19-22	CEATEC	WEB開催	外国	教育イノベーションソリューション	③-b	R3
51	2021/11/16	イノベーションストリーム KANSAI2020	WEB展示会	国内	シリコン製剤の成果・デモ	④-c	R3
52	2021/12/15-17	SEMICON JAPAN 2020	東京 江東区	国内	ストレスマーカー検出デバイス、生体信号モニタリング	①、③	R3
53	2022/1/19-21	ウェアラブル EXPO2022	東京 江東区	国内	ウェアラブルデバイス、ブレインメロディ	③、④	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核: 大阪大学)

①-1 原著論文(発行済み)

No	論文表題	著者名	記載誌名	論文のDOI	発行年月	巻	号	掲載ページ(始)	掲載ページ(終)	査読有無	国際共著	発表機関(参画機関のみ)	備考(課題番号等)	年度
1	Uniformly connected conductive networks on cellulose nanofiber paper for transparent paper electronics	Koga, H., Nogi, M., Komoda, N., Nge, T. T., Sugahara, T., Suganuma K.	NPG Asia Mater.	10.1038/am.2014.9	2014/3	6	3	e93		有	有	大阪大学	③-c	H25
2	Facile synthesis of very-long silver nanowires for transparent electrodes	Jiu, J., Araki, T., Wang, J., Nogi, M., Sugahara, T., Nagao, S., Koga, H., Suganuma, K., Nakazawa, E., Hara, M., Uchida, H., Shinozaki, K.	J. Mater. Chem. A	10.1039/C4TA00502C	2014/4	2	18	6326	6330	有	有	大阪大学、昭和電工	③-c	H25
3	Developmental epigenetic modification regulates stochastic expression of clustered Protocadherin genes, generating single neuron diversity.	Toyoda S., Kawaguchi M., Kobayashi T., Tarusawa E., Toyama T., Okano M., Oda M., Nakauchi H., Yoshimura Y., Sanbo M., Hirabayashi M., Hirayama T., Hirabayashi T., Yagi T.	Neuron	10.1016/j.neuron.2014.02.005	2014/4	82	1	94	108	有	有	大阪大学、JST、東京大学	②-b	H25
4	ParcelLINGAM: A causal ordering method robust against latent confounders	T. Tashiro, S. Shimizu, A. Hyvarinen and T. Washio	Neural Computation	10.1162/NECO_a_00533	2014/1	26	1	57	83	有	有	大阪大学	②-a	H25
5	Derivation of a mathematical expression for predicting the time to cardiac events in patients with heart failure: a retrospective clinical study	Akemi Yoshida, Masanori Asakura, Hiroshi Asanuma, Akira Ishii, Takuya Hasegawa, Tetsuo Minamino, Seiji Takashima, Hideaki Kanzaki, Takashi Washio and Masafumi Kato	Hypertension Research	10.1038/hr.2012.200	2013/5	36	5	450	456	有	有	国立循環器病センター、大阪大学	②-a	H25
6	Body movement analysis during sleep for children with ADHD using video image processing.	Nakatani M, Okada S, Shimizu S, Mohri I, Ohno Y, Taniike M, Makikawa M.	Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc.	10.1109/EMBC.2013.6611016	2013/6			6389	6392	有	有	立命館大学、近畿大学、大阪大学	④-a	H25
7	Discovering Emotion-Inducing Music Features Using EEG Signals	Rafael Cabredo, Roberto Legaspi, Paul Salvador Inventado, and Masayuki Numao.	Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics	10.20965/jaciii.2013.p0362	2013/5	17	3	362	370	有	有	大阪大学	④-b	H25
8	Si nanoparticles fabricated from Si swarf by photochemical method.	T. Matsumoto, M. Maeda, J. Furukawa, W.-B. Kim, H. Kobayashi	J. Nanopart. Res.	10.1007/s11051-013-2240-y	2014/3	16	3	2240		有	有	大阪大学	④-c	H25
9	Metal removal and defect passivation performed on Si wafers for solar cell use by HCN treatments	K. Kimura, M. Takahashi, H. Kobayashi	ECS J. Solid State Sci. Technol.		2013/11	3	2	Q11	Q15	有	有	大阪大学、JST	④-c	H25
10	Expansion of range of joint motion following treatment of systemic sclerosis with tocilizumab.	Shima Y, Hosen N, Hirano T, Arimitsu J, Nishida S, Hagihara K, Narazaki M, Ogata A, Tanaka T, Kishimoto T, Kumanogoh A.	Mod Rheumatol.	10.3109/14397595.2013.874749	2014/2	25	1	134	137	有	有	大阪大学	①-a	H26
11	Development of microscopic polyangiitis-related pulmonary fibrosis in a patient with autoimmune pulmonary alveolar proteinosis.	Kinehara Y, Kida H, Inoue Y, Hirose M, Nakabayashi A, Takeuchi Y, Hayama Y, Fukushima K, Hirata H, Inoue K, Minami T, Nagatomo I, Takeda Y, Funakoshi T, Kijima T, Kumanogoh A.	BMC Pulm Med.	10.1186/1471-2466-14-172	2014/11	14		172		有	有	大阪大学	①-a	H26
12	Semaphorin 4D induces vaginal epithelial cell apoptosis to control mouse postnatal vaginal tissue remodeling	Ito T, Bai T, Tanaka T, Yoshida K, Ueyama T, Miyajima M, Negishi T, Kawasaki T, Takamatsu H, Kikutani H, Kumanogoh A, Yukawa K.	Mol Med Rep.	10.3892/mmr.2014.2773	2015/2	11	2	829	836	有	有	大阪大学	①-a	H26

13	Germline variants in the SEMA4A gene predispose to familial colorectal cancer type X.	Schulz E, Klampfl P, Holzapfel S, Janecke AR, Ulz P, Renner W, Kashofer K, Nojima S, Leitner A, Zebisch A, Wöfler A, Hofer S, Gerger A, Lax S, Beham-Schmid C, Steinke V, Heitzer E, Geigl JB, Windpassinger C, Hoefler G, Speicher MR, Richard Boland C, Kumanogoh A, Sill H.	Nature Commun.	10.1038/ncomms6191.	2014/10	5		5191		有	有	大阪大学	①-a	H26
14	CD72 negatively regulates mouse mast cell functions and down-regulates the expression of KIT and FcεRIα.	Kataoka TR, Kumanogoh A, Fukuishi N, Ueshima C, Hirata M, Moriyoshi K, Tsuruyama T, Haga H.	Int Immunol.	10.1093/intimm/dxu087.	2015/2	27	2	95	103	有	有	大阪大学	①-a	H26
15	Vaccination strategies to improve outcome of hematopoietic stem cell transplant in leukemia patients: early evidence and future prospects.	Hosen N, Maeda T, Hashii Y, Tsuboi A, Nishida S, Nakata J, Nakae Y, Takashima S, Oji Y, Oka Y, Kumanogoh A, Sugiyama H.	Expert Rev Hematol.	10.1586/17474086.2014.953925.	2014/10	7	5	671	681	有	有	大阪大学	①-a	H26
16	A retrospective study of prognostic factors in patients with interstitial pneumonia receiving long-term oxygen therapy.	Higashiguchi M, Kijima T, Sumikawa H, Honda O, Minami T, Hirata H, Inoue K, Nagatomo I, Takeda Y, Kida H, Tomiyama N, Kumanogoh A.	Lung.	10.1007/s00408-014-9623-4.	2014/10	192	5	729	737	有	有	大阪大学	①-a	H26
17	Estrogen-dependent proteolytic cleavage of semaphorin 4D and plexin-B1 enhances semaphorin 4D-induced apoptosis during postnatal vaginal remodeling in pubescent mice.	Ito T, Bai T, Tanaka T, Yoshida K, Ueyama T, Miyajima M, Negishi T, Kawasaki T, Takamatsu H, Kikutani H, Kumanogoh A, Yukawa K.	PLoS One.	10.1371/journal.pone.0097909.eCollection2014.	2014/5	9	5	e97909		有	有	大阪大学	①-a	H26
18	CD16(+)/CD56(+) cells are a potential culprit for hematuria in IgA nephropathy.	Iwatani H, Nagasawa Y, Yamamoto R, Iio K, Mizui M, Hori A, Kitahara T, Inohara H, Kumanogoh A, Imai E, Rakugi H, Isaka Y.	Clin Exp Nephrol.	10.1007/s10157-014-0988-z.	2015/4	19	2	216	224	有	有	大阪大学	①-a	H26
19	Comprehensive exploration of autoantibody in Behçet's disease: A novel autoantibody to claudin-1, an essential protein for tight junctions, is identified.	Morishima A, Hirano T, Nishikawa H, Nakai K, Sakaguchi S, Kumanogoh A.	Joint Bone Spine.	10.1016/j.jbspin.2014.03.005	2014/12	81	6	546	548	有	有	大阪大学	①-a	H26
20	Efficacy and safety of pirfenidone for idiopathic pulmonary fibrosis.	Takeda Y, Tsujino K, Kijima T, Kumanogoh A.	Patient Prefer Adherence.	10.2147/PPA.S37233.	2014/3	8		361	370	有	有	大阪大学	①-a	H26
21	Plexin-A1 is required for Toll-like receptor-mediated microglial activation in the development of lipopolysaccharide-induced encephalopathy.	Ito T, Yoshida K, Negishi T, Miyajima M, Takamatsu H, Kikutani H, Kumanogoh A, Yukawa K.	Int J Mol Med.	10.3892/ijmm.2014.1690.	2014/5	33	5	1122	1130	有	有	大阪大学	①-a	H26
22	In vivo eradication of MLL/ENL leukemia cells by NK cells in the absence of adaptive immunity.	Nakata J, Nakano K, Okumura A, Mizutani Y, Kinoshita H, Iwai M, Hasegawa K, Morimoto S, Fujiki F, Tatsumi N, Nakajima H, Nakae Y, Nishida S, Tsuboi A, Oji Y, Oka Y, Sugiyama H, Kumanogoh A, Hosen N.	Leukemia.	10.1038/leu.2013.374.	2014/6	28	6	1316	1325	有	有	大阪大学	①-a	H26
23	Cyclodextrin-Based Molecular Machines	Akihito Hashidzume, Hiroyasu Yamaguchi, Akira Harada	Molecular Machines and Motors	10.1007/128_2014_547	2014/5			71	110	有	有	大阪大学	①-b	H26
24	Development of a miniaturized multi-turn TOF mass spectrometer with a pulsed FAB ion source.	Hirofumi Nagao, Shinichi Miki and Michisato Toyoda	Eur. J. Mass Spectrom.	10.1255/ejms.1272	2014/6	20		215	220	有	有	大阪大学	①-b	H26

25	Real time monitoring of gases emitted from soils using the Multi-turn Time-of-Flight Mass Spectrometer "MULTUM-S II"	Takahiro Anan, Shuichi Shimma, Yo Toma, Yasuyuki Hashidoko, Ryusuke Hatano, Michisato Toyoda	Environmental Science: Processes & Impacts	10.1039/c4em00339j	2014/10	16		2752	2757	有	有	大阪大学	①-b	H26
26	損得の神経科学	春野雅彦	Clinical Neuroscience		2015/2	33				有		NICT・CiNet	②-a	H26
27	Selective increase of intention-based economic decisions by noninvasive brain stimulation to the dorsolateral prefrontal cortex.	Nihonsugi T, Inara, A, Haruno, M.	J. Neurosci. (2015)	10.1523/jneurosci.3885-14.2015	2015/2	35	8	3412	3419	有	有	NICT・CiNet	②-a	H26
28	Activity in the nucleus accumbens and amygdala underlies individual differences in prosocial and individualistic economic choices	Haruno M, Kimura M, Frith, CD.	J Cog. Neurosci.(2014) 26(8):1861-70	10.1162/jocn.a.00589	2014/8	26	8	1861	1870	有	有	NICT・CiNet	②-a	H26
29	分配行動の個人差の神経科学	春野雅彦	Clinical Neuroscience		2014/1	32		77	79	有		NICT・CiNet	②-a	H26
30	Expansion of stochastic expression repertoire by tandem duplication in mouse Protocadherin-a cluster	Kaneko R, Abe M, Hirabayashi T, Uchimura A, Sakimura K, Yanagawa Y and Yagi T.	Scientific Rep.	10.1038/srep06263	2014/9	4	1	6263		有	有	大阪大学	②-b	H26
31	Developmental epigenetic modification regulates stochastic expression of clustered Protocadherin genes, generating single neuron diversity	Toyoda S, Kawaguchi M, Kobayashi T, Tarusawa E, Toyama T, Okano M, Oda M, Nakauchi H, Yoshimura Y, Sanbo M, Hirabayashi M, Hirayama T, Hirabayashi T, Yagi T.	Neuron	10.1016/j.neuron.2014.02.005	2014/4	82	1	94	108	有	有	大阪大学	②-b	H26
32	Protocadherins in neurological diseases	Hirabayashi T, Yagi T.	Adv Neurobiol.	10.1007/978-1-4614-8090-7_13	2015/1	8		293	314	有	有	大阪大学	②-b	H26
33	Detection of post-translational modifications in single peptides using electron tunnelling currents	Ohshiro T, Tsutsui T, Yokota K, Furuhashi M, Taniguchi M, Kawai T	Nat. Nanotech.	10.1038/nnano.2014.193	2014/10	9	10	835	840	有	有	大阪大学	③-a	H26
34	The effect of light and humidity on the stability of silver nanowire transparent electrodes	Jiu J, Wang J, Sugahara T, Nagao S, Nogi M, Koga H, Suganuma K, Hara M, Nakazawa E, Uchida H.	RSC Advances	10.1039/C5RA02722E	2015/3	5		27657	27664	有	有	大阪大学	③-c	H26
35	A Miniaturized Flexible Antenna Printed on a High Dielectric Constant Nanopaper Composite	Inui T., Koga H, Nogi M., Komoda N, Suganuma K.	Advanced Materials	10.1002/adma.201404555	2015/2	27	6	1112	1116	有	有	大阪大学	③-c	H26
36	Silver nanowire electrodes: Conductivity improvement without post-treatment and application in capacitive pressure sensors	Wang J, Jiu J, Araki T, Nogi M., Sugahara T., Nagao S., Koga H., He P., Suganuma K.,	Nanomicro Lett	10.1007/s40820-014-0018-0.	2014/11	7	1	51	58	有	有	大阪大学	③-c	H26
37	A highly sensitive and flexible pressure sensor based on silver nanowires filled elastomeric interlayer and silver nanowires electrodes	Wang J, Jiu J, Nogi M., Sugahara T., Nagao S., Koga H., He P., Suganuma K.	Nanoscale	10.1039/c4nr06494a	2015/2	7	7	2926	2932	有	有	大阪大学	③-c	H26
38	Split-gate organic field-effect transistors for high-speed operation	T Uemura I, T Matsumoto, K Miyake, M Uno, S Ohnishi, T Kato, M Katayama, S Shinamura, M Hamada, M-J Kang, K Takimiya, C Mitsui, T Okamoto, J Takeya	Adv. Mater.	10.1002/adma.201304976	2014/5	26	19	2983	2988	有	有	東京大学	③-c	H26
39	High-performance solution-processable N-shaped organic semiconducting materials with stabilized crystal phase	Chikahiko Mitsui, Toshihiro Okamoto, Masakazu Yamagishi, Junto Tsurumi, Kazumi Yoshimoto, Katsumasa Nakahara, Junshi Soeda, Yuri Hirose, Hiroyasu Sato, Akihito Yamano, Takafumi Uemura, Jun Takeya	Adv. Mater.	10.1002/adma.201400289	2014/7	26	26	4546	4551	有	有	東京大学	③-c	H26

40	Transition between band and hopping transport in polymer field-effect transistors	Yu Yamashita, Juntao Tsurumi, Felix Hinkel, Yugo Okada, Junshi Soeda, Wojciech Zaja czkowski, Martin Baumgarten, Wojciech Pisula, Hiroyuki Matsui, Klaus Müllen, Jun Takeya	Adv. Mater. 26, 8169-8173 (2014).	10.1002/adma.201403767.	2014/12	26		8169	8173	有	有	東京大学	③-c	H26
41	Daytime physical activity and sleep in pre-schoolers with developmental disorders.	Tatsumi Y, Mohri I, Shimizu S, Tachibana M, Ohno Y, Taniike M.	J Paediatr Child Health	10.1111/jpc.12725.	2015/4	51	4	396	402	有	有	大阪大学	⑤-a	H26
42	日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての大規模調査	村田 絵美, 毛利 育子, 星野 恭子, 三星 香史, 加藤 久美, 松澤 重行, 橋 雅弥, 大野ゆう子, 谷池 雅子	小児保健研究	http://id.ndl.go.jp/bib/025935764	2014/11	73	6	798	810	有		大阪大学	⑤-a	H26
43	Problem-based learning is suitable for the curriculum of "Sleep disorders and disease" for students in dentistry	Takao Ayuse, Souichi Yanamoto, Kazuyuki Shinohara, Naohisa Uchimura, Kazuhisa Esaki, Takafumi Kato.	Sleep Biol Rhythms.	10.1111/sbr.12088	2015/1	13	1	109	110	有	有	大阪大学	⑤-a	H26
44	特別企画「不眠症」眠りに関わる諸症状：歯ぎしり	加藤隆史	こころの科学		2015/1	179	1	88	89	有		大阪大学	⑤-a	H26
45	進化的距離学習を用いた顔画像クラスタリング	女鹿野 大志, 小野 智司, 福井 健一, 二宮 公紀, 沼尾 正行, 中山 茂	電子情報通信学会 技術研究報告 パターン認識・メディア理解	https://iss.ndl.go.jp/books/R100000002-I000000050569-00	2014/1	113	403	119	124	有		大阪大学	⑤-b	H26
46	持続可能なコンセプトドリフト適応型モニタリングシステムの提案	坂本 悠輔, 福井 健一, Nicklas Daniela, 森山 甲一, 沼尾 正行	人工知能学会全国大会 (第28回) 論文集	10.11517/pjsai.JSAI2014.0_1B2OS02a1	2014/5			1B2-OS-02a-1		有		大阪大学	⑤-b	H26
47	EEG-Based Emotion Recognition during Music Listening	Thammasan Nattapong, 福井 健一, 森山 甲一, 沼尾 正行	人工知能学会全国大会 (第28回) 論文集	10.11517/pjsai.JSAI2014.0_1F5OS06b1	2014/5			1F5-OS-06b-1		有		大阪大学	⑤-b	H26
48	共生進化に基づく起承転結を考慮した和音進行生成	大谷 紀子, 白川 翔子, 沼尾 正行	人工知能学会全国大会 (第28回) 論文集	10.11517/pjsai.JSAI2014.0_1D35	2014/5			1D3-5		有		大阪大学	⑤-b	H26
49	順序や生起間隔を考慮したクラスタ系列パターン抽出法の提案	岡田 佳之, 福井 健一, 沼尾 正行	第98回情報処理学会数理解モジュール化と問題解決研究会		2014/6	114	105	167	168	有		大阪大学	⑤-b	H26
50	適応型モニタリングシステムにおけるコンセプトドリフト検出に向けた初期実験	坂本 悠輔, 福井 健一, Daniela Nicklas, 森山 甲一, 沼尾 正行	人工知能学会 第102回知識ベースシステム研究会 (SIG-KBS) 研究会資料		2014/7			26	33	有		大阪大学	⑤-b	H26
51	Distributed Inference to Support Inter-Subjective Formalization	Masayuki Numao	Third Workshop on Computing: Theory and Practice, WCTP 2013	10.1142/9789814612883_0018	2014/11			246	251	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
52	Emotion detection from several physiological sensors and its application to music and games	Masayuki Numao	The 2nd International Workshop on Emotional Materials and Components		2014/9					有	有	大阪大学	⑤-b	H26
53	An Intelligent Fighting Videogame Opponent Adapting to Behavior Patterns of the User	Koichi Moriyama, Simon Enrique Ortiz Branco, Mitsuhito Matsumoto, Ken-ichi Fukui, Satoshi Kurihara, and Masayuki Numao	IEIOE Transactions on Information and Systems	10.1587/transinf.E97.D.842	2014/4	E97.D	4	842	851	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
54	An Analysis of Player Affect Transitions in Survival Horror Games	Vanus Vachiratamporn, Roberto Legaspi, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	Journal on Multimodal User Interfaces	10.1007/s12193-014-0153-4	2014/11	9	1	43	54	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
55	Sidekick: A Tool for Helping Students Manage Behavior in Self-initiated Learning Scenarios	Paul Salvador Inventado, Roberto Legaspi, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	International Journal of Distance Education Technologies	10.4018/ijdet.2014100103	2014/12	12	4	33	55	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
56	Cooperation-Eliciting Prisoner's Dilemma Payoffs for Reinforcement Learning Agents	Koichi Moriyama, Satoshi Kurihara, and Masayuki Numao	Proceedings of the 2014 international conference on Autonomous agents and multi-agent systems		2014/5	2		1619	1620	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
57	Fighter or Explorer? - Classifying Player Types in a Japanese-Style Role-Playing Game from Game Metrics	Kevin Fischer, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	Proc. Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP-2014).	10.1142/9789814730464_0005	2014/10			55	56	有	有	大阪大学	⑤-b	H26

58	Learning better strategies with a combination of complementary reinforcement learning algorithms	Wataru Fujita, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	Proc. Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP-2014)	10.1142/9789814730464_0004	2014/10				43	54	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
59	Dynamic and Individual Emotion Recognition Based on EEG during Music Listening	Nattapong Thammasan, Ken-ichi Fukui, Koichi Moriyama, and Masayuki Numao	Proc. Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP-2014)	10.1142/9789814730464_0008	2014/10				87	98	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
60	Predicting Consumer Familiarity with Health Topics by Query formulation and Search Result Interaction	Ira Puspitasari, Ken-ichi Fukui, Koichi Moriyama, and Masayuki Numao	Proc. the 13th Pacific Rim International Conference on Artificial Intelligence (PRICAI-2014)	10.1007/978-3-319-13560-1_88	2014/12				1016	1022	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
61	Symbiotic Evolution to Generate Chord Progression Consisting of Four Parts for a Music Composition System	Noriko Otani, Shoko Shirakawa, and Masayuki Numao	Proc. the 13th Pacific Rim International Conference on Artificial Intelligence (PRICAI-2014)	10.1007/978-3-319-13560-1_69	2014/12				849	855	有	有	大阪大学	⑤-b	H26
62	Expanded palette of Nano-lantern for real-time multi-color luminescence imaging	Takai A, Nakano M, Saito K, Haruno R, Watanabe TM, Ohyanagi T, Jin T, Okada Y, Nagai T.	Proc. Natl. Acad. Sci. USA.	10.1073/pnas.1418468112	2015/4	112	14		4352	4356	有	有	大阪大学	⑤-c	H26
63	Reduced long-range functional connectivity in young children with autism spectrum disorder.	Kikuchi M, Yoshimura Y, Hiraishi H, Munosue T, Hashimoto T, Tsubokawa T, Takahashi T, Suzuki M, Higashida H, Minabe Y.	Soc Cogn Affect Neurosci	10.1093/scan/nsu049.	2015/2	10	2		248	254	有	有	大阪大学	⑥	H26
64	Attentional control and interpretation of facial expression after oxytocin administration to typically developed male adults.	Tetsu Hirokawa, Mitsu Kikuchi, Eiichi Okumura, Yoko Yoshimura, Hiroto Hiraishi, Toshio Munosue, Natsumi Takesaki, Naoki Furutani, Yasuki Ono, Haruhiro Higashida, Yoshio Minabe	PLoS One	10.1371/journal.pone.0116918.	2015/2	10	2	e0116918.			有	有	大阪大学	⑥	H26
65	Unusual developmental pattern of brain lateralization in young boys with autism spectrum disorder: power analysis with a child-sized MEG.	Hiraishi H, Kikuchi M, Yoshimura Y, Kitagawa S, Hasegawa C, Munosue T, Takesaki N, Ono Y, Takahashi T, Suzuki M, Higashida H, Asada M, Minabe Y.	Psychiatry Clin Neurosci	10.1111/pcn.12261.	2015/3	69	3		153	160	有	有	大阪大学	⑥	H26
66	A longitudinal study of auditory evoked field and language development in young children.	Yoshimura Y, Kikuchi M, Ueno S, Shitamichi K, Remijn GB, Hiraishi H, Hasegawa C, Furutani N, Oi M, Munosue T, Tsubokawa T, Higashida H, Minabe Y.	Neuroimage	10.1016/j.neuroimage.2014.07.034.	2014/11	101			440	447	有	有	大阪大学	⑥	H26
67	The broader autism phenotype in mothers predicts social responsiveness in young children with autism spectrum disorders.	Hasegawa C, Kikuchi M, Yoshimura Y, Hiraishi H, Munosue T, Nakatani H, Higashida H, Asada M, Oi M, Minabe Y.	Psychiatry Clin Neurosci	10.1111/pcn.12210.	2015/3	69	3		136	144	有	有	大阪大学	⑥	H26
68	Common variants at 1q36 are associated with superior frontal gyrus volume	Hashimoto R, Ikeda M, Yamashita F, Ohi K, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Fukunaga M, Nemoto K, Takahashi T, Tochigi M, Onitsuka T, Yamasue H, Matsuo K, Iidaka T, Iwata N, Suzuki M, Takeda M, Kasai K, and Ozaki N.	Transl Psychiatry	10.1038/tp.2014.110.	2014/10	4	10	e472			有	有	東京大学	⑥	H26

69	Oxytocin improves behavioural and neural deficits in inferring others' social emotions in autism.	Aoki Y, Yahata N, Watanabe T, Takano Y, Kawakubo Y, Kuwabara H, Iwashiro N, Natsubori T, Inoue H, Suga M, Takao H, Sasaki H, Gonoï W, Kunimatsu A, Kasai K, and Yamasue H*	Brain, 2014 Nov;137(Pt 11):3073-86. 2014 Aug 22.	10.1093/brain/awu231.	2014/8	137	11	3073	3086	有	有	東京大学	⑥	H26
70	Oxytocin's neurochemical effects in the medial prefrontal cortex underlie recovery of task-specific brain activity in autism: a randomized controlled trial.	Aoki Y, Watanabe T, Abe O, Kuwabara H, Yahata N, Takano Y, Iwashiro N, Natsubori T, Takao H, Kawakubo Y, Kasai K, and Yamasue H*.	Molecular Psychiatry	10.1038/mp.2014.74	2015/4	20	4	447	453	有	有	東京大学	⑥	H26
71	An fMRI study of visual lexical decision in patients with schizophrenia and clinical high-risk individuals .	Natsubori T, Hashimoto R, Yahata N, Inoue H, Takano Y, Iwashiro N, Koike S, Gonoï W, Sasaki H, Takao H, Abe O, Kasai K, and Yamasue H*.	Schizophrenia Research	10.1016/j.schres.2014.05.027.	2014/8	157	####	218	224	有	有	東京大学	⑥	H26
72	Two distinct neural mechanisms underlying indirect reciprocity.	Watanabe T, Takezawa M, Nakawake Y, Kunimatsu A, Yamasue H, Nakamura M, Miyashita Y, and Masuda N.	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America.	10.1073/pnas.1318570111	2014/3	111	11	3990	3995	有	有	東京大学	⑥	H26
73	Mitigation of Sociocommunicational Deficits of Autism Through Oxytocin-Induced Recovery of Medial Prefrontal Activity: A Randomized Trial.	Watanabe T, Abe O, Kuwabara H, Yahata N, Takano Y, Iwashiro N, Natsubori T, Aoki Y, Takao H, Kawakubo Y, Kamio Y, Kato N, Miyashita Y, Kasai K, and Yamasue H*	JAMA psychiatry	10.1001/jamapsychiatry.2013.3181	2014/2	71	2	166	175	有	有	東京大学	⑥	H26
74	Reduced frontal Glutamate+Glutamine and N-acetylaspartate levels in patients with chronic schizophrenia but not in those at clinical-high risk for psychosis or with first-episode schizophrenia.	Natsubori T, Inoue H, Abe O, Takano Y, Iwashiro N, Aoki Y, Koike S, Yahata N, Katsura M, Gonoï W, Sasaki H, Takao H, Kasai K, and Yamasue H*.	Schizophrenia Bulletin, 40:1128-39,2014.	10.1093/schbul/sbt124	2014/9	40	5	1128	1139	有	有	東京大学	⑥	H26
75	Neural correlate of autistic-like traits and a common allele in the oxytocin receptor gene.	Saito Y, Suga M, Tochigi M, Abe O, Yahata N, Kawakubo Y, Liu X, Kawamura Y, Sasaki T, Kasai K, and Yamasue H*.	Social Cognitive and Affective Neuroscience	10.1093/scan/nst136.	2014/10	9	10	1443	1450	有	有	東京大学	⑥	H26
76	A snapshot of plasma metabolites in first-episode schizophrenia: A capillary electrophoresis time-of-flight mass spectrometry study (131 characters).	Koike S, Bundo M, Iwamoto K, Suga M, Kuwabara H, Ohashi Y, Shinoda K, Takano Y, Iwashiro N, Satomura Y, Nagai T, Natsubori T, Tada M, Yamasue H, and	Translational Psychiatry	10.1038/tp.2014.19.	2014/4	4	4	e379		有	有	東京大学	⑥	H26
77	Frontal midline theta rhythm and gamma power changes during focused attention on mental calculation: an MEG beamformer analysis.	Ishii R, Canuet L, Ishihara T, Aoki Y, Ikeda S, Hata M, Katsimichas T, Gunji A, Takahashi H, Nakahachi T, Iwase M, Takeda M.	Front Hum Neurosci	10.3389/fnhum.2014.00406.	2014/6	8		406		有	有	大阪大学	⑥	H26
78	EEG biomarkers of NeuroAIDS.	Ishii R, Canuet L.	Clin Neurophysiol	10.1016/j.clinph.2014.01.019.	2014/6	125	6	1075	1076	有	有	大阪大学	⑥	H26
79	Global complexity and cognitive reserve in MCI.	Ishii R, Canuet L.	Clin Neurophysiol	10.1016/j.clinph.2013.10.015.	2014/4	125	4	653	654	有	有	大阪大学	⑥	H26
80	Yokukansan and its ingredients as possible treatment options for schizophrenia.	Yu CH, Ishii R, Yu SC, Takeda M, Neuropsychiatr Dis Treat	Neuropsychiatr Dis Treat	10.2147/NDT.S67607.	2014/9	1	10	1629	1634	有	有	大阪大学	⑥	H26

81	Source localization and functional connectivity during the emotional information processing under the psychosomatic states2	Shunichiro Ikeda, Ryouhei Ishii, Yasunori Aoki, Masahiro Hata, Masao Iwase, Roberto Pascual-Marqui, Yuko Mizuno-Matsumoto, Takuto Hayashi, Eika Okamoto, Tetsuya Asakawa, Masatoshi	XVI World Congress of Psychiatry Abstract e-Book 4.224, 2014		2014/9	4		224		有	有	大阪大学	⑥	H26
82	EEG NORMALIZED POWER VARIANCE IN BETA BAND CAN PREDICT SHUNT OPERATION OUTCOME IN PATIENTS WITH IDIOPATHIC NORMAL PRESSURE HYDROCEPHALUS	Aoki Y., Kazui H, Tanaka T, Ishii R, Wada T, Ikeda S, Hata M, Canuet L, Katsimichas T, Musha T, Matsuzaki H, Imajo K, Kanemoto H, Yoshida T, Shimizu Y, Nomura K, Yoshiyama K, Iwase M, Takeda M	XVI World Congress of Psychiatry Abstract e-Book 4.224, 2014		2014/9	4		238		有	有	大阪大学	⑥	H26
83	MEG BEAMFORMER ANALYSIS REVEALED IMPAIRED VISUAL INFORMATION PROCESSING IN SCHIZOPHRENIA	Ishii R, Ikezawa K, Aoki Y, Ikeda S, Hata M, Canuet L, Katsimichas T, Iwase M, Takeda M	XVI World Congress of Psychiatry Abstract e-Book 4.224, 2014		2014/9	5		270		有	有	大阪大学	⑥	H26
84	Verification of the utility of the Social Responsiveness Scale for Adults in non-clinical and clinical adult populations in Japan.	Takei R, Matsuo J, Takahashi H, Uchiyama T, Kunugi H, Kamio Y.	BMC Psychiatry	10.1186/s12888-014-0302-z	2014/11	14		302		有	有	国立精神・神経医療研究センター	⑥	H26
85	Development of Measurement System for Ultra-Low-Field MRI	D.Oyama, M.Miyamoto, Y.Adachi, J.Kawai, M.Higuchi, N.Tsuyuguchi, G.Uehara	Proceedings of Life Engineering Symposium 2014		2014/9	2014		133	136	無		金沢工業大学	⑥	H26
86	超伝導磁気センサを用いた超低磁界MRI	小山大介、樋口正法	電子情報通信学会誌		2015/1	98	1	40	47	有		金沢工業大学	⑥	H26
87	超低磁場下におけるマウス頭部のMRI計測	小山大介、露口尚弘、阿部純也、宮本政和、足立善昭、樋口正法、河合淳、上原弦	日本生体磁気学会誌特別号		2014	27	1	166	167	有		金沢工業大学	⑥	H26
88	Towards Artificial Empathy	M. Asada	International Journal of Social Robotics	10.1007/s12369-014-0253-z	2014/11	7		19	33	有	有	大阪大学	⑥	H26
89	情動発達ロボティクスによる人工共感設計に向けて	浅田稔	日本ロボット学会誌	日本ロボット学会誌, Vol.32, No.8, pp.666--677, 2014.	2014/10	32	8	666	677	有		大阪大学	⑥	H26
90	mTOR Complex Signaling through the SEMA4A-Plexin B2 Axis Is Required for Optimal Activation and Differentiation of CD8+ T Cells.	Ito D, Nojima S, Nishide M, Okuno T, Takamatsu H, Kang S, Kimura T, Yoshida Y, Morimoto K, Maeda Y, Hosokawa T, Toyofuku T, Ohshima J, Kamimura D, Yamamoto M, Murakami M, Morii E, Rakugi H, Isaka Y, Kumanogoh A.	J Immunol.	10.4049/jimmunol.1403038.	2015/8	195	3	934	943	有	有	大阪大学	①-a	H27
91	Leucine-Rich Repeat Kinase 1 Regulates Autophagy through Turning On TBC1D2-Dependent Rab7 Inactivation.	Toyofuku T, Morimoto K, Sasawatari S, Kumanogoh A.	Mol Cell Biol.	10.1128/MCB.00085-15.	2015/9	35	17	3044	3058	有	有	大阪大学	①-a	H27
92	Two distinct effector memory cell populations of WT1 (Wilms' tumor gene 1)-specific cytotoxic T lymphocytes in acute myeloid leukemia patients.	Nakae Y, Oka Y, Fujiki F, Morimoto S, Kamiya T, Takashima S, Nakata J, Nishida S, Nakajima H, Hosen N, Tsuboi A, Kyo T, Oji Y, Mizuguchi K, Kumanogoh A, Sugiyama H.	Cancer Immunol Immunother.	10.1007/s00262-015-1683-7.	2015/7	64	7	791	804	有	有	大阪大学	①-a	H27
93	Dapsone hypersensitivity syndrome-related lung injury without eosinophilia in the bronchoalveolar lavage fluid.	Kinehara Y, Kijima T, Inoue K, Hirata H, Takeuchi Y, Fukushima K, Hayama Y, Higashiguchi M, Morimura O, Miyake K, Minami T, Nagatomo I, Takeda Y, Kida H, Kumanogoh A.	Intern Med.	10.2169/internalmedicine.54.3406.	2015/4	54	7	827	831	有	有	大阪大学	①-a	H27

94	Semaphorin 4D Contributes to Rheumatoid Arthritis by Inducing Inflammatory Cytokine Production: Pathogenic and Therapeutic Implications.	Yoshida Y, Ogata A, Kang S, Ebina K, Shi K, Nojima S, Kimura T, Ito D, Morimoto K, Nishide M, Hosokawa T, Hirano T, Shima Y, Narazaki M, Tsuboi H, Saeki Y, Tomita T, Tanaka T, Kumanoogoh A.	Arthritis Rheumatol.	10.1002/art.39086.	2015/6	67	6	1481	1490	有	有	大阪大学	①-a	H27
95	Favorable response to trastuzumab plus irinotecan combination therapy in two patients with HER2-positive relapsed small-cell lung cancer.	Kinehara Y, Minami T, Kijima T, Hoshino S, Morimura O, Otsuka T, Hayama Y, Fukushima K, Takeuchi Y, Higashiguchi M, Miyake K, Hirata H, Nagatomo I, Inoue K, Takeda Y, Kida H, Kumanoogoh A.	Lung Cancer.	10.1016/j.lungcan.2015.01.003.	2015/3	87	3	321	325	有	有	大阪大学	①-a	H27
96	Factors Affecting Coordination between Heart Rate Variability and Physical Acceleration in Daily Lives of Free-moving Adults	Kentaro TANIGUCHI, Akito SHIMOUCHI, Junji SEKI, Naoya JINNO, Mikiyasu SHIRAI, Akitoshi SEIYAMA	Advanced Biomedical Engineering	10.14326/abe.4.35	2015/3	4		35	41	有	有	国立循環器病研究センター	①-a	H27
97	A case of acute decompensated heart failure evaluated by series of exhaled acetone concentrations as noninvasive biomarker of heart failure severity	Tetsuro Yokokawa, Yasuo Sugano, Akito Shimouchi, Atsushi Shibata, Takafumi Nakayama, Takahiro Ohara, Naoya Jinno, Hideaki Kanzaki, Toshihisa Anzai	International Journal of Cardiology	10.1016/j.ijcard.2015.11.173	2015/11	204		112	113	有	有	国立循環器病研究センター	①-a	H27
98	Multidrug efflux pumps contribute to Escherichia coli biofilm maintenance.	Yamasaki, S. LY, Wang, T. Hirata, M. Hayashi-Nishino, and K. Nishino.	Int. J. Antimicrob. Agents	10.1016/j.ijantimicag.2014.12.005.	2015/4	45	4	439	441	有	有	大阪大学	①-c	H27
99	AcrB-AcrA fusion proteins that act as multidrug efflux transporters.	Hayashi, K. R. Nakashima, K. Sakurai, K. Kitagawa, S. Yamasaki, K. Nishino, and A. Yamaguchi.	J. Bacteriol.	10.1128/JB.00587-15.	2015/11	198	2	332	342	有	有	大阪大学	①-c	H27
100	Single-cell detection and collection of persister bacteria in a directly accessible femtoliter droplet array.	Iino, R. S. Sakakihara, Y. Matsumoto, and K. Nishino.	Methods Mol. Biol.	10.1007/978-1-4939-2854-5_9.	2016/1	1333		101	109	有	有	大阪大学	①-c	H27
101	Large scale femtoliter droplet array for single cell efflux assay of bacteria.	Iino, R. S. Sakakihara, Y. Matsumoto, and K. Nishino.	Methods Mol. Biol.	10.1007/978-1-4939-7454-2_18.	2017/11	1700		331	341	有	有	大阪大学	①-c	H27
102	Regulation of the expression of bacterial multidrug exporters by two-component signal transduction systems. Methods	Nishino, K.	Methods Mol Biol	10.1007/978-1-4939-7454-2_13.	2018/1	1700		239	251	有	有	大阪大学	①-c	H27
103	Antimicrobial drug efflux pumps in Salmonella. In Efflux-Mediated Drug Resistance in Bacteria: Mechanisms, Regulation and Clinical Implications.	Nishino, K.	Efflux-Mediated Antimicrobial Resistance in Bacteria	10.1007/978-3-319-39658-3	2016/11			261	279	有	有	大阪大学	①-c	H27
104	A microfluidic channel method for rapid drug-susceptibility testing of Pseudomonas aeruginosa.	Matsumoto, Y. S. Sakakihara, K. Kikuchi, A. Grushnikov, T. Kanade, H. Noji, A. Yamaguchi, R. Iino, Y. Yagi, and K. Nishino.	PLoS One	10.1371/journal.pone.0148797.	2016/2	11	2	e0148797		有	有	大阪大学	①-c	H27
105	Phenotype microarray analysis of the drug efflux systems in Salmonella enterica serovar Typhimurium.	Yamasaki, S. T. Fujioka, K. Hayashi, S. Yamasaki, M. Hayashi-Nishino, and K. Nishino.	J Infect Chemother	10.1016/j.jiac.2016.03.015.	2016/11	22	11	780	784	有	有	大阪大学	①-c	H27
106	Effects of subconscious and conscious emotions on human cue-reward association learning.	Watanabe N, Haruno M.	Scientific Reports	10.1038/srep08478	2015/2	5	1	8478		有	有	NICT・CINet	②-a	H27
107	Discriminative and Generative Models in Causal and Anticausal Settings	Patrick Blébaum, Shohei Shimizu, Takashi Washio	Advanced Methodologies for Bayesian Networks, Volume 9505 of the series Lecture Notes in Computer Science	10.1007/978-3-319-28379-1_15	2015/1			209	221	有	有	大阪大学	②-a	H27
108	A Non-Gaussian Approach for Causal Discovery in the Presence of Hidden Common Causes	Shohei Shimizu	Advanced Methodologies for Bayesian Networks, Volume 9505 of the series Lecture Notes in Computer Science	10.1007/978-3-319-28379-1_16	2015/1			222	233	有	有	大阪大学	②-a	H27

109	Genetic mapping in mice reveals the involvement of Pcdh9 in long-term social and object recognition, and sensorimotor development	Bruining H., Matsui A., Oguro-Ando A., Kahn R.S., van 't Spijker H.M., Akkermans G., Stiedl O., van Engeland H., Koopmans B., van Lith H.A., Oppelaar H., Tieland L., Nonkes L.J., Yagi T., Kaneko R., Burbach J.P.H., Yamamoto N., and Kas M.J.	Biol Psychiatry	10.1016/j.biopsych.2015.01.017.	2015/10	78	7	485	495	有	有	大阪大学	②-b	H27
110	Impaired clustered protocadherin- α leads to aggregated retinogeniculate terminals and impaired visual acuity in mice	Meguro R, Hisida R, Tsukano H, Yoshitake K, Imamura R, Tohmi M, Kitsukawa T, Hirabayashi T, Yagi T, Takebayashi H.	J Neurochem.	10.1111/jnc.13053	2015/4	133	1	66	72	有	有	大阪大学	②-b	H27
111	The transfer and transformation of collective network information in gene-matched networks	Takashi Kitsukawa & Takeshi Yagi	Scientific Reports	10.1038/srep14984	2015/10	5		14984		有	有	大阪大学	②-b	H27
112	Role of clustered protocadherins in promoting neuronal diversity and function.	Yagi T.	Neural Surface Antigens, Elsevier	10.1016/B978-0-12-800781-5.00012-8	2015/3			141	152	有	有	大阪大学	②-b	H27
113	Germline mutation rates and long-term phenotypic effects of mutation accumulation in wild-type laboratory mice and mutator mice.	Uchimura A, Higuchi M, Minakuchi Y, Ohno M, Toyoda A, Fujiyama A, Miura I, Wakana S, Nishino J and Yagi T.	Genome Research	10.1101/gr.186148.114	2015/8	25	8	1125	1134	有	有	大阪大学	②-b	H27
114	第2章細胞と回路の形成制御 6神経回路形成機構	豊田峻輔、八木健	脳神経系の再生医学—発表と再生の融合的新展開—	「脳神経系の再生医学—発表と再生の融合的新展開—」第2章細胞と回路の形成制御 6神経回路形成機構 55-59	2015/1			55	59	有		大阪大学	②-b	H27
115	クラスター型プロトカドヘリン：複雑なニューラルネットワークへの挑戦	八木健	実験医学		2015/2	33	3	492	498	有		大阪大学	②-b	H27
116	集団遺伝学から考える脳の進化	内村有邦、八木健	Clinical Neuroscience		2015/8	33		909	911	有		大阪大学	②-b	H27
117	Wearable sensing technologies	Bernard GRUNDELHNER	生体医工学	10.11239/jsmbe.54.108	2016/6	54	3	108	111	有	有	大阪大学	③-b	H27
118	Rapid self-assembly of ultrathin graphene oxide film and application to silver nanowires flexible transparent electrode	Chunhui WU, Jinting JIU, Teppei ARAKI, Hirotake KOGA, Tsuyoshi SEKITANI, Hao WANG, Katsuaki SUGANUMA	RSC Advances	10.1039/C5RA24896E	2016/1	6	19	15838	15845	有	有	大阪大学	③-c	H27
119	Fast Fabrication of Copper Nanowire Transparent Electrodes by a High Intensity Pulsed Light Sintering Technique in Air	Su DING, Jinting JIU, Yanhong TIAN, Tohru SUGAHARA, Shijo NAGAO, Katsuaki SUGANUMA	Phys Chem Chem Phys	10.1039/c5cp04582g.	2015/12	17	46	31110	31116	有	有	大阪大学 昭和電工	③-c	H27
120	Highly Reliable Silver Nanowire Transparent Electrode Employing Selectively Patterned Barrier Shaped by Self-Masked Photolithography	Jun WANG, Jinting JIU, Tohru SUGAHARA, Shijo NAGAO, Masaya NOGI, Hirotake KOGA, Peng HE, Katsuaki SUGANUMA,	ACS Applied Materials & Interfaces	10.1021/acsami.5b07619.	2015/10	7	41	23297	23304	有	有	大阪大学 昭和電工	③-c	H27
121	Laser-Induced Forward Transfer of High-Viscosity Silver Precursor Ink for Non-Contact Printed Electronics	Tetsuji INUI, Rajesh MANDAMPARAMBIL, Teppei ARAKI, Robert ABBEL, Hirotake KOGA, Masaya NOGI and Katsuaki SUGANUMA	RSC Advances	10.1039/c5ra14119b	2015/9	5	95	77942	77947	有	有	大阪大学 Imec	③-c	H27
122	ビッグデータ分析が明らかにする北大システム稼働率向上のための戦略	恵木正史	iic-HPC 北海道大学情報基盤センター大型計算機システムニュース		2016/3	41		4	9	無		日立製作所	④-d	H27
123	Data Mining as a Powerful Tool for Creating Novel Drugs in Cardiovascular Medicine: the Importance of a "Back-and-Forth Loop" between Clinical Data and Basic Research	Masafumi Kitakaze, Masanori Asakura, Atsushi Nakano, Seiji Takashima, Takashi Washio	Cardiovascular Drug and Therapy, Springer	10.1007/s10557-015-6602-9.	2015/6	29	3	309	315	有	有	大阪大学	④-f	H27

124	Atomoxetine reverses locomotor hyperactivity, impaired novel object recognition, and prepulse inhibition impairment in mice lacking pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP)	Shibasaki Y, Hayata-Takano A, Hazama K, Nakazawa T, Shintani N, Kasai A, Nagayasu K, Hashimoto R, Tanida M, Katayama T, Matsuzaki S, Yamada K, Taniike M, Onaka Y, Ago Y, Waschek JA, Köves K, Reglődi D, Tamas A, Matsuda T, Baba A, Hashimoto H.	Neuroscience	10.1016/j.neuroscience.2015.03.062.	2015/6	297		95	104	有	有	大阪大学	⑤-a	H27
125	Gap Effect Abnormalities during a Visually Guided Pro-Saccade Task in Children with Attention Deficit Hyperactivity Disorder.	Matsuo Y, Watanabe M, Taniike M, Mohri I, Kobashi S, Tachibana M, Kobayashi Y, Kitamura Y.	PLoS One	10.1371/journal.pone.0125573.	2015/5	10	5	e0125573		有	有	大阪大学	⑤-a	H27
126	Broad Autism Phenotype Questionnaire日本語版(BAPQ-J)の妥当性と信頼性の検討	酒井佐枝子・和田奈緒子・奥野裕子・辰巳愛香・山本知加・吉崎亜里香・西山毅・下野九里子・毛利育子・谷池雅子	臨床精神医学		2014/8	43	8	1181	1190	有		大阪大学	⑤-a	H27
127	大阪府堺市における4・5歳児発達相談事業後の支援として、短縮型ベアレント・トレーニング(堺市版)の試み	奥野 裕子, 加藤久美, 山本 知加, 村田 絵美, 福田 祥子, 松崎 順子, 富永 康仁, 平田 郁子, 橋 雅弥, 酒井 佐枝子, 毛利 育子, 廣野 雪保, 谷池 雅子	小児保健研究		2014/1	73	1	88	95	有		大阪大学	⑤-a	H27
128	自閉症スペクトラム障害児の発達軌跡の解析	東 晴美, 毛利 育子, 橋 雅弥, 大野 ゆう子, 谷池 雅子	脳と発達	10.11251/ojsn.46.429	2014/11	46	6	429	437	有		大阪大学	⑤-a	H27
129	Emotional recognition of children with autism spectrum disorder.	Eto M, Sakai S, Kagitani-Shimono K, Mohri I, Taniike M.	Journal of Japan Society for Research on Emotions, 感情心理学研究	10.4092/jsre.22.1.28	2014/9	22	1	28	39	有	有	大阪大学	⑤-a	H27
130	Progressively Increased M50 Responses to Repeated Sounds in Autism Spectrum Disorder with Auditory Hypersensitivity: A Magnetoencephalographic Study.	Matsuzaki J, Kagitani-Shimono K, Sugata H, Hirata M, Hanaie R, Nagatani F, Tachibana M, Tominaga K, Mohri I, Taniike M.	PLOS ONE	10.1371/journal.pone.0102599.	2014/7	9	7	e102599		有	有	大阪大学	⑤-a	H27
131	Abnormal corpus callosum connectivity, socio-communicative and motor deficit in children with autism spectrum disorders: A diffusion tensor imaging study.	Hanaie R, Mohri I, Kagitani-Shimono K, Tachibana M, Azuma J, Matsuzaki J, Watanabe Y, Fujita N, Taniike T.	J Autism Dev Disord.	10.1007/s10803-014-2096-8.	2014/9	44	9	2209	2220	有	有	大阪大学	⑤-a	H27
132	Correlations between the Broad Autism Phenotype and Social Cognition among Mothers of Children with Autism Spectrum Disorder.	Hasegawa K, Sakai S, Okuno H, Eto M, Kagitani-Shimono K, Mohri I, Taniike M.	Jpn J Research on Emotion	10.4092/jsre.21.143	2014/9	21	3	143	155	有	有	大阪大学	⑤-a	H27
133	Duplication of the NPHP1 gene in patients with autism spectrum disorder and normal intellectual ability: a case series.	Yasuda Y, Hashimoto R, Fukai R, Okamoto N, Hiraki Y, Yamamori H, Fujimoto M, Ohi K, Taniike M, Mohri I, Nakashima M, Tsurusaki Y, Saitsu H, Matsumoto N, Miyake N, Takeda M.	Annals of General Psychiatry	10.1186/s12991-014-0022-2.	2014/8	13		22		有	有	大阪大学	⑤-a	H27
134	Development of preference for conspecific faces in human infants.	Sanefuji W, Wada K, Yamamoto T, Mohri I, Taniike M.	Dev Psychol.	10.1037/a0035205.	2014/4	50	4	979	985	有	有	大阪大学	⑤-a	H27
135	【徹底理解!不眠症の薬物療法管理】患者背景・合併症に応じた薬の使い方 小児(解説/特集)	加藤久美, 毛利育子, 谷池雅子	薬事		2014/4	56	4	545	547			大阪大学	⑤-a	H27
136	自閉症スペクトラム障害におけるstructural MRI study volumetryと拡散テンソルイメージングを中心として	花家竜三, 谷池雅子.	子どものこころと脳の発達		2014/6	5	1	5	14	有		大阪大学	⑤-a	H27
137	Sleep Pattern Characterization via Cluster Analysis of Audio Data	Hongle Wu, Ken-ichi Fukui, Takafumi Kato, Masayuki Numao.	人工知能学会 第106回 知識ベースシステム研究会(SIG-KBS)論文集	10.11517/jsaikbs.106.0.08	2015/11	42		48	有	有	大阪大学	⑤-a	H27	
138	睡眠とブラキシズム	加藤隆史	日本歯科評論		2015/8	75	8	141	146			大阪大学	⑤-a	H27

139	Subjective oropharyngeal symptoms for abnormal swallowing in Japanese patients with obstructive sleep apnea syndrome: a descriptive questionnaire study.	Kato T, Abe K, Mikami A, Sugita H, Muraki H, Okura M, Ohi M, Taniguchi M.	Cranio	10.1080/08869634.2015.1097317.	2016/3	34	2	95	99	有	有	大阪大学	⑤-a	H27
140	White matter volume in the supramarginal gyrus and brainstem is related to motor dysfunction in children with autism spectrum disorder: A voxel-based morphometry study.	Hanaie R, Mohri I, Kagitani-Shimono K, Hirata I, Matsuzaki J, Nagatani F, Watanabe Y, Taniike M.	Autism Research.	10.1002/aur.1605.	2016/9	9	9	981	982	有	有	大阪大学	⑤-a	H27
141	Sleep problems including obstructive sleep apnea are more frequent and associated with problematic behaviors in preschoolers with autism spectrum disorder.	Hirata I, Mohri I, Kato-Nishimura K, Tachibana M, Kagitani-Shimono K, Ohno Y, Ozono K, Taniike M.	Res Dev Disabil	10.1016/j.ridd.2015.11.002.	2016/2	49	50	86	99	有	有	大阪大学	⑤-a	H27
142	Kinectを用いた離床認識システムの開発	真田 慎, 岡田 志麻	看護理工会	10.24462/jnse.3.2.73	2016/10	3	2	73	85	有		近畿大学	⑤-a	H27
143	自動作曲のための感性モデル獲得手法の検討	土屋直樹, 郡孝美, 沼尾正行, 大谷紀子	人工知能学会第29回全国大会論文集	10.11517/pjsai.JSAI2015.0.4J14	2015/5			4J1-4		有		大阪大学	⑤-b	H27
144	Training Dataset to Induce the Personal Sensibility Model for a Music Composition System	N.Tsuchiya, T.Koori, M.Numao, N.Otani	Proceedings of International Workshop on Informatics		2015/9			201	205	有	有	大阪大学	⑤-b	H27
145	Investigation of Familiarity Effects in Music-Emotion Recognition based on EEG	Nattapong Thammasan, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao.	Proc. the 2015 International Conference on Brain Informatics and Health (BIH'15)	10.1007/978-3-319-23344-4_24	2015/8	9250		242	251	有	有	大阪大学	⑤-b	H27
146	EEG-based Investigation of Music Familiarity and Emotion	Thammasan Nattapong, 森山 甲一, 福井 健一, 沼尾 正行	人工知能学会第29回全国大会論文集	10.11517/pjsai.JSAI2015.0_3F30S19a1	2015/5			3F3-OS-19a-1		有		大阪大学	⑤-b	H27
147	Detecting Work-related Stress using Physiological Signals and Psychological Stress-Coping Profiles	Hagad Juan Lorenzo, 森山 甲一, 福井 健一, 沼尾 正行	人工知能学会第29回全国大会論文集	10.11517/pjsai.JSAI2015.0_1C44	2015/5			1C4-4		有		大阪大学	⑤-b	H27
148	シリコン切粉から創製するシリコンナノ粒子と水との反応による水素発生技術	小林光, 喜村勝矢, 藤江俊太, 小林悠輝, 今村健太郎.	燃料電池		2016/1	15	3	59	62	有		大阪大学	⑤-d	H27
149	Changes in autistic trait indicators in parents and their children with ASD: A preliminary longitudinal study.	Chiaki Hasegawa, Mitsuru Kikuchi, Yoko Yoshimura, Hirotohi Hiraishi, Toshio Munesue, Natsumi Takesaki, Haruhiro Higashida, Oi Manabu, Yoshio Minabe, Minoru Asada	Psychiatry Res	10.1016/j.psychres.2015.05.048	2015/8	228	3	956	957	有	有	大阪大学	⑥-a	H27
150	Enhanced Brain Signal Variability in Children with Autism Spectrum Disorder during Early Childhood.	Takahashi T, Yoshimura Y, Hiraishi H, Hasegawa C, Munesue T, Higashida H, Minabe Y, Kikuchi M.	Hum Brain Mapp	10.1002/hbm.23089	2016/3	37	3	1038	1050	有	有	大阪大学	⑥-a	H27
151	Wide Range Multiscale Entropy Changes through Development	Nicola Riccardo Polizzotto *, Tetsuya Takahashi, Christopher Walker, Raymond Cho	Entropy	10.3390/e18010012	2015/12	18	1	12		有	有	大阪大学	⑥-a	H27
152	Atypical Development of the Central Auditory System in Young Children With Autism Spectrum Disorder	Yuko Yoshimura, Mitsuru Kikuchi, Hirotohi Hiraishi, Chiaki Hasegawa, Tetsuya Takahashi, Gerard B. Remjin, Manabu Oi, Toshio Munesue, Haruhiro Higashida, Yoshio Minabe, Haruyuki Kojima	Autism Res	10.1002/aur.1604.	2016/11	9	11	1216	1226	有	有	大阪大学	⑥-a	H27
153	Detection of EEG-resting state independent networks by eLORETA-ICA method.	Aoki Y, Ishii R, Pasqual-Marqui RD, Canuet L, Ikeda S, Hata M, Injio K, Matsuzaki H, Musha T, Asada T, Iwase M, Takeda M.	Front Hum Neurosci.	10.3389/fnhum.2015.00031.	2015/2	9		31		有	有	大阪大学	⑥-a	H27
154	Magnetoencephalography in the study of children with autism spectrum disorder.	Kikuchi M, Yoshimura Y, Mutou K, Minabe Y	Psychiatry Clin Neurosci.	10.1111/pcn.12338.	2016/2	70	2	74	88	有	有	大阪大学	⑥-a	H27

155	Reduced prefrontal activation during performance of the Iowa Gambling Task in patients with bipolar disorder	Ono Y, Kikuchi M, Hirose T, Hino S, Nagasawa T, Hashimoto T, Munese T, Minabe Y	Psychiatry Res.	10.1016/j.psychres.2015.04.003	2015/7	233	1	1	8	有	有	大阪大学	⑥-a	H27
156	Clinical and neural effects of six-week administration of oxytocin on core symptoms of autism.	Watanabe T, Kuroda M, Kuwabara H, Aoki Y, Iwashiro N, Tatsunobu N, Takao H, Nippashi Y, Kawakubo Y, Kunimatsu A, Kasai K, Yamasue H	Brain	10.1093/brain/awv249	2015/11	138	Pt11	3400	3412	有	有	東京大学	⑥-a	H27
157	Detection of hydroxyl radicals in the skin gas by using a novel compact laser induced fluorescence system	Naoya Jinno, Akito Shimouchi	IABR Breath Analysis		2016/9			152		有	有	中部大学	①-a	H28
158	Exhaled Acetone Concentration Is Related to Hemodynamic Severity in Patients With Non-Ischemic Chronic Heart Failure.	Yokokawa T, Sugano Y, Shimouchi A, Shibata A, Jinno N, Nagai T, Kanzaki H, Aiba T, Kusano K, Shirai M, Takeishi Y, Yasuda S, Ogawa H, Anzai T.	Circ J.	10.1253/circj.CJ-16-0011	2016/4	80	5	1178	1186	有	有	国立循環器病研究センター	①-a	H28
159	A case of acute decompensated heart failure evaluated by series of exhaled acetone concentration as noninvasive biomarker of heart failure severity.	Yokokawa T, Sugano Y, Shimouchi A, Nakayama T, Ohara T, Jinno N, kanzaki H, Anzai T.	Int J Cardiol.	10.1016/j.ijcard.2015.11.173	2016/2	204		112	113	有	有	国立循環器病研究センター	①-a	H28
160	Berberine Is a Novel Type Efflux Inhibitor Which Attenuates the MexXY-Mediated Aminoglycoside Resistance in Pseudomonas aeruginosa.	Morita Y, Nakashima K, Nishino K, Kotani K, Tomida J, Inoue M, Kawamura Y.	Front Microbiol.	10.3389/fmicb.2016.01223	2016/8	7		1223		有	有	大阪大学	①-b	H28
161	Phenotype microarray analysis of the drug efflux systems in Salmonella enterica serovar Typhimurium.	Yamasaki S, Fujioka T, Hayashi K, Yamasaki S, Hayashi-Nishino M, Nishino K.	J Infect Chemother.	10.1016/j.jiac.2016.03.015	2016/11	22	11	780	784	有	有	大阪大学	①-b	H28
162	Antimicrobial drug efflux pumps in Salmonella.	Nishino, K.	Efflux-Mediated Drug Resistance in Bacteria: Mechanisms, Regulation and Clinical Implications, Chapter 10, 261-279. Edited by Xian-Zhi Li, Christopher A. Elkins and Helen I. Zgurskaya (Springer)	10.1007/978-3-319-39658-3_10	2016/11			261	279	有	有	大阪大学	①-b	H28
163	Regulation of the expression of bacterial multidrug exporters by two-component signal transduction systems.	Nishino, K.	Methods in Molecular Biolog	10.1007/978-1-4939-7454-2_13	2018/1	1700		239	251	有	有	大阪大学	①-b	H28
164	Large scale femtoliter droplet array for single cell efflux assay of bacteria	Iino, R. S. Sakakihara, Y. Matsumoto, and K. Nishino.	Methods in Molecular Biolog	10.1007/978-1-4939-7454-2_18	2018/1	1700		331	341	有	有	大阪大学	①-b	H28
165	若手が拓く微生物薬学: 多剤耐性菌と闘う。Frontier of Pharmaceutical Microbiology: To Combat-Resistant Bacterial Pathogens.	森田雄二、西野邦彦。	Yakugaku Zasshi. 薬学雑誌。	10.1248/yakushi.16-00235-F	2017/4	137	4	371	372	有	有	大阪大学	①-b	H28
166	耐性菌感染症の克服に向けた薬剤排出ポンプの構造解析と新規治療薬開発。Structural analysis and new drug development against multidrug efflux pumps.	山崎 聖司, 中島 良介, 櫻井 啓介, 山口 明人, 西野 邦彦。	Yakugaku Zasshi. 薬学雑誌。	10.1248/yakushi.16-00235-2	2017/4	137	4	377	382	有	有	大阪大学	①-b	H28
167	ワーキングメモリとこころの発達	芋阪満里子	学術の動向	10.5363/tits.21.4_63	2016/4	21	4	63	66	無		NICT・CINet	②-a	H28
168	Working Memory as a Basis of Consciousness	Osaka, M.	Cognitive Neuroscience Robotics B: Analytic Approaches to Human Understanding (M. Kasaki, H. Ishiguro, M. Asada, M. Osaka, & T. Fujikado (Eds.))	10.1007/978-4-431-54598-9	2016/8			39	57	有	有	NICT・CINet	②-a	H28
169	Non-Gaussian structural equation models for causal discovery	Shimizu, S.	Statistics and Causality: Methods for Applied Empirical, Wiley, 2016.	10.1002/9781118947074.ch7	2016/6			153	184	有	有	大阪大学	②-a	H28
170	Establishment of high reciprocal connectivity between clonal cortical neurons is regulated by the Dnmt3b DNA methyltransferase and clustered protocadherins.	Etsuko Tarusawa, Makoto Sanbo, Atsushi Okuyama, Toshio Miyashita, Takashi Kitakawa, Teruyoshi Hirayama, Takahiro	BMC Biology	10.1186/s12915-016-0326-6	2016/12	14	1	103		有	有	大阪大学	②-b	H28

171	Distinct and cooperative functions for the protocadherin- α , - β and - γ clusters in neuronal survival and axon targeting.	Sonoko Hasegawa, Makiko Kumagai, Mitsue Hagihara, Hiroshi Nishimaru, Keizo Hirano, Ryosuke Kaneko, Atsushi Okayama, Teruyoshi Hirayama, Makoto Sanbo, Masumi Hirabayashi, Masahiko Watanabe, Takahiro Hirabayashi.	Front Mol Neurosci	10.3389/fnmol.2016.00155.	2016/12	9		155		有	有	大阪大学	②-b	H28	
172	個々のニューロンの神経回路を支える遺伝子コードクラスター型プロトカドヘリン	足澤悦子, 吉村由美子, 八木健	生体の科学	10.11477/mf.2425200574	2017/2	68	1	48		53	有	有	大阪大学	②-b	H28
173	Development of Single-Molecule Electrical Analysis For High-throughput Single-Molecule Sequence	Takahito OHSHIRO	Bunseki Kagaku	10.2116/bunsekikagaku.66.351	2017/5	66	5	351		362	有	有	大阪大学	③-a	H28
174	One-Step Fabrication of Stretchable Copper Nanowire Conductors by a Fast Photonic Sintering Technique and Its Application in Wearable Devices	Su DING, Jinting JIU, Yue GAO, Yanhong TIAN, Tepei ARAKI, Tohru SUGAHARA, Shijo NAGAO, Masaya NOGI, Hirota KOGA, Katsuaki SUGANUMA, Hiroshi UCHIDA.	ACS Applied Materials & Interfaces	10.1021/acsami.5b10802	2016/2	8		6190		6199	有	有	大阪大学、昭和電工	③-c	H28
175	Biaxially stretchable silver nanowire conductive film embedded in a taro leaf-templated PDMS surface	Chunhui WU, Jinting JIU, Tepei ARAKI, Hirota KOGA, Tsuyoshi SEKITANI, Hao WANG, Katsuaki SUGANUMA	Nanotechnology, 28, 01LT01 (2017).	10.1088/0957-4484/28/1/01LT01	2017/1	28	1	1LT01			有	有	大阪大学	③-c	H28
176	Metallic Nanowires and Their Application	Jinting JIU, Katsuaki SUGANUMA	IEEE Transactions on Components, Packaging and Manufacturing Technology	10.1109/TCPMT.2016.2581829	2016/7	6	12	1		19	有	有	大阪大学	③-c	H28
177	Self-reducible copper inks composed of copper-amino complexes and preset submicron copper seeds for thick conductive patterns on a flexible substrate	Wanli Li, Shuren Cong, Jinting Jiu, Shijo Nagao and Katsuaki Suganuma	J. Mater. Chem. C	10.1039/C6TC02914K	2016/8	4	37	8802		8808	有	有	大阪大学	③-c	H28
178	Stretchable and Transparent Electrodes Based on Pattered Silver Nanowire by Laser-Induced Forward Transfer for Non-Contacted Printing Technique	Tepei Araki, Rajesh Mandampambil, Dirk van Bragt, Jinting Jiu, Hirota Koga, Jeroen van den Brand, Tsuyoshi Sekitani, Jaap den Toonder, Katsuaki Suganuma	Nanotechnology	10.1088/0957-4484/27/45/45LT02	2016/11	27	45	45LT02			有	有	大阪大学	③-c	H28
179	Ultraflexible and Ultrathin Polymeric Gate Insulator for 2 V Organic Transistor Circuits	Masaya Kondo, Takafumi Uemura, Takafumi Matsumoto, Tepei Araki, Shusuke Yoshimoto, Tsuyoshi	Applied Physics Express	10.7567/APEX.9.061602	2016/6	9	6	61602			有	有	大阪大学	③-c	H28
180	Associations of sleep bruxism with age, sleep apnea and daytime problematic behaviors in children.	Tachibana M, Kato T, Kato-Nishimura K, Matsuzawa S, Mohri I, Taniike M.	Oral Dis.	10.1111/odi.12492.	2016/9	22	6	557		5565	有	有	大阪大学	④-a	H28
181	Detection of antibodies to Borna disease virus proteins in an autistic child and her mother.	Honda T, Sofuku K, Matsunaga H, Tachibana M, Mohri I, Taniike M, and Tomonaga K.	Jpn J Infect Dis	10.7883/yoken.JJID.2017.E001.	2016/10	70	5	599			有	有	大阪大学	④-a	H28
182	Inter-scoring reliability of sleep assessment using EEG and EOG recording system in comparison to polysomnography.	Nonoue S, Mashita M, Haraki S, Mikami A, Adachi H, Yatani H, Yoshida A, Taniike M, Kato T.	Sleep and Biological Rhythms	10.1007/s41105-016-0078-2	2016/9	15	1	39		48	有	有	大阪大学	④-a	H28
183	睡眠時ブラキシズムの診断で考慮すべき睡眠関連疾患	加藤隆史	東京歯科医師会雑誌		2016/5	64	5	262		270	有	有	大阪大学	④-a	H28
184	睡眠医学は睡眠時ブラキシズムの診断・治療に必要か？	加藤隆史, 原本真吾, 辻飯亮子, 東山亮, 矢谷博文	日本補綴歯科学会誌	10.2186/ajps.8.145	2016/5	8	2	145		152	有	有	大阪大学	④-a	H28
185	睡眠時ブラキシズムの病態生理からみたスプリントの臨床的役割	加藤隆史, 東山亮	歯界展望, 127(6):1178-1185, 2016.		2016/6	127	6	1178		1185	有	有	大阪大学	④-a	H28
186	Simultaneous Training for children with autism spectrum disorder and their parents with a focus on social skills Enhancement.	Okuno H, Yamamoto T, Tatsumi A, Mohri I, Taniike M.	Int J Environ Res Public Health	10.3390/ijerph13060590.	2016/6	13	6	590			有	有	大阪大学	④-a	H28

187	Sleep Pattern Discovery via Visualizing Cluster Dynamics of Sound Data	H. Wu, T. Kato, T. Yamada, M. Numao, and K. Fukui	Trends in Applied Knowledge-Based Systems and Data Science (LNAI 9799)	10.1007/978-3-319-42007-3_40	2016/8			460	471	有	有	大阪大学	④-a	H28	
188	Personal Sleep Pattern Visualization via Clustering on Sound Data	H. Wu, T. Kato, T. Yamada, M. Numao and K. Fukui.	Proc. AAAI 2017 Joint Workshop on Health Intelligence, 2017.		2017/2			592	599	有	有	大阪大学	④-a	H28	
189	Analysis of Difference in Center-of-Pressure Positions between Experts and Novices during Asymmetric Lifting.	Hieyong JEONG, Nomura T, Okada S, Yamada K, Kido M, Ohno Y.	IEEE J Transl Eng Health Med	10.1109/JTEHM.2016.2599185	2016/8	4		2100311		有	有	大阪大学	④-a	H28	
190	マイクロ波を用いた睡眠深度のセンシング	岡田志麻, 北川 輝嗣, 山本康平, 橋素子, 前野 蔵人	生体医工学	10.11239/jsmbe.54.139	2016/6	54	3	139	144	有		近畿大学	④-a	H28	
191	日常生活における生体情報の非接触無拘束計測手法	岡田志麻, 塩澤 成弘	信学技法, MICT2016-56		2016/10			IEICE -116	286	47	50	有	近畿大学	④-a	H28
192	うつ病におけるtDCS (経頭蓋直流電気刺激)の効果	西田圭一郎、吉村匡史、三井浩北浦祐一、池田俊一郎、越川陽介、斧原藍、上田紗津貴、石井良平、木下利彦	最新精神医学21巻2号		2016/3	21	2	111	116	有		関西医大、大阪大学	④-d	H28	
193	Cerebrospinal Fluid Biomarkers of Alzheimer's Disease Correlate With Electroencephalography Parameters Assessed by Exact Low-Resolution Electromagnetic Tomography (eLORETA).	Hata M, Tanaka T, Kazui H, Ishii R, Canuet L, Pascual-Marqui RD, Aoki Y, Ikeda S, Sato S, Suzuki Y, Kanemoto H, Yoshiyama K, Iwase M.	Clin EEG Neurosci	10.1177/1550059416662119	2017/9	48	5	338	347	有	有	大阪大学	④-d	H28	
194	Functional connectivity assessed by resting state EEG correlates with cognitive decline of Alzheimer's disease - An eLORETA study	Hata M, Kazui H, Tanaka T, Ishii R, Canuet L, Pascual-Marqui RD, Aoki Y, Ikeda S, Kanemoto H, Yoshiyama K, Iwase M, Takeda M.	Clin Neurophysiol	10.1016/j.clinph.2015.10.030	2016/2	127	2	1269	1278	有	有	大阪大学	④-d	H28	
195	Mu rhythm suppression reflects mother-child face-to-face interactions: a pilot study with simultaneous MEG recording	Chiaki Hasegawa, Takashi Ikeda, Yuko Yoshimura, Hiroto Hiraishi, Tetsuya Takahashi, Naoki Furutani, Norio Hayashi, Yoshio Minabe, Masayuki Hirata, Minoru Asada & Mitsuru Kikuchi	Scientific Reports	10.1038/srep34977	2016/10	6	1	34977		有	有	金沢大学、福井大学	④-e	H28	
196	The contribution of increased gamma band connectivity to visual non-verbal reasoning in autistic children: a MEG study.	Natsumi Takesaki, Mitsuru Kikuchi, Yuko Yoshimura, Hiroto Hiraishi, Chiaki Hasegawa, Reizo Kaneda, Hideo Nakatani, Tetsuya Takahashi, Laurent Mottron, Yoshio Minabe	PLOS ONE	10.1371/journal.pone.0163133	2016/9	11	9	e0163133		有	有	金沢大学、福井大学	④-e	H28	
197	Characteristics of Communication among Japanese Children with Autism Spectrum Disorder: A Cluster Analysis Using the Children's Communication Checklist-2	Tanaka S, Oi M, Fujino H, Kikuchi M, Yoshimura Y, Miura Y, Tsujii M, Ohoka H.	Clinical Linguistics & Phonetics	10.1080/02699206.2016.1238509	2016/10	14			1	16	有	有	金沢大学	④-e	H28
198	A NIRS study on cortical hemodynamic responses to normal and whispered speech in 3- to 7-year-old children.	Remjin GB, Kikuchi M, Shitamichi K, Ueno S, Yoshimura Y, Tsubokawa T, Kojima H, Higashida H, Minabe Y.	Journal of Speech Language and Hearing Research	10.1044/2016_JSLHR-H-15-0435	2017/1	60	2		1	有	有	金沢大学	④-e	H28	
199	Alterations in Phase-Related Prefrontal Activation During Cognitive Tasks and Nicotinic $\alpha 4 \beta 2$ Receptor Availability in Alzheimer's Disease.	Oboshi Y, Kikuchi M, Terada T, Yoshikawa E, Bunai T, Ouchi Y.	J Alzheimers Dis.	10.3233/JAD-151165	2016/5	53	3	817	830	有	有	金沢大学	④-e	H28	
200	Atypical Bilateral Brain Synchronization in the Early Stage of Human Voice Auditory Processing in Young Children with Autism.	Kurita, T., Kikuchi, M., Yoshimura, Y., Hiraishi, H., Hasegawa, C., Takahashi, T., Hirose, T., Furutani, N., Higashida, H., Ikeda, T., Mutou, K., Asada, M., and Minabe, Y.	PloS One	10.1371/journal.pone.0153077	2016/10	11	4	e0153077		有	有	金沢大学、福井大学	④-e	H28	
201	乳幼児期の発達精神病理に関する生物学的研究	菊知 充	精神科治療学		2016/7	31	7	887	892	有		金沢大学	④-e	H28	
202	幼児用MEG(magnetoencephalography): 自閉症スペクトラム症幼児への応用	菊知 充	児童青年精神医学とその近接領域		2015/11	56	5	781	788	有		金沢大学	④-e	H28	

203	Oxytocin efficacy is modulated by dosage and oxytocin receptor genotype in young adults with high-functioning autism: a 24-week randomized clinical trial.	Kosaka H, Okamoto Y, Munese T, Yamasue H, Inohara K, Fujioka T, Anme T, Orisaka M, Ishitobi M, Jung M, Fujisawa TX, Tanaka S, Arai S, Asano M, Saito DN, Sadato N, Tomoda A, Omori M, Sato M, Okazawa H, Higashida H, Wada Y.	Transl Psychiatry. 2016	10.1038/tp.2016.152.	2016/8	6	8	e872		有	有	金沢大学、大阪大学	④-e	H28
204	Path Analysis for the Halo Effect of Touch Sensations of Robots on Their Personality Impressions.	Yamashita, Y., Ishihara, H., Ikeda, T., & Asada, M.	Social Robotics: 8th International Conference, ICSR 2016	10.1007/978-3-319-47437-3_49	2016/10			502	512	有	有	金沢大学、大阪大学	④-e	H28
205	Characteristics of communication among Japanese children with autism spectrum disorder: A cluster analysis using the Children's Communication Checklist-2	Tanaka Sanae, Oi Manabu, Fujino Hiroshi, Kikuchi Mitsuru, Yoshimura Yuko, Miura Yui, Tsujii Masatsugu, Ohoka Harue	Clin Linguist Phon	10.1080/02699206.2016.1238509.	2016/10	31	3	1	16	有	有	金沢大学	④-e	H28
206	Synchrony of auditory brain responses predicts behavioral ability to keep still in children with autism spectrum disorder: Auditory-evoked response in children with autism spectrum disorder	Yoshimura Yuko, Kikuchi Mitsuru, Hiraishi Hirotooshi, Hasegawa Chiaki, Takahashi Tetsuya, Remijn B Gerard, Oi Manabu, Munese Toshio, Higashida Haruhiro, Minabe Yoshio	Neuroimage Clin	10.1016/j.nicl.2016.07.009	2016/7	22	12	300	305	有	有	金沢大学、福井大学	④-e	H28
207	Enhanced brain signal variability in children with autism spectrum disorder during early childhood	Takahashi Tetsuya, Yoshimura Yuko, Hiraishi Hirotooshi, Hasegawa Chiaki, Munese Toshio, Higashida Haruhiro, Minabe Yoshio, Kikuchi Mitsuru.	Hum Brain Mapp.	10.1002/hbm.23089.	2016/3	37	3	1038	1050	有	有	金沢大学	④-e	H28
208	Neural basis for inferring false beliefs and social emotions in others among individuals with schizophrenia and those at ultra-high risk for psychosis.	Takano Y, Aoki Y, Yahata N, Kawakubo Y, Inoue H, Iwashiro N, Natsubori T, Koike S, Gono W, Sasaki H, Takao H, Kasai K, Yamasue H*	Psychiatry Research: Neuroimaging	10.1016/j.psychres.2016.11.003.	2017/1	259		39	41	有	有	浜松医大	④-e	H28
209	Oxytocin receptor gene variations predict neural and behavioral response to oxytocin in autism.	Watanabe T, Otowa T, Abe O, Kuwabara H, Aoki Y, Natsubori T, Takao H, Kakiuchi C, Kondo K, Ikeda M, Iwata N, Kasai K, Sasaki T, Yamasue H*	Social Cognitive and Affective Neuroscience	10.1093/scan/nsw150.	2017/3	12	3	496	506	有	有	浜松医大	④-e	H28
210	Relationship of the acoustic startle response and its modulation to emotional and behavioral problems in typical development children and those with autism spectrum disorders.	Takahashi H, Komatsu S, Nakahachi T, Ogino K, Kamio Y.	J Aut Dev Disord.	10.1007/s10803-015-2593-4	2016/2	46	2	534	543	有	有	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
211	Stability of the acoustic startle response and its modulation in children with typical development and those with autism spectrum disorders: a one-year follow-up.	Takahashi H, Nakahachi T, Stickley A, Ishitobi M, Kamio Y.	Autism Research	10.1002/aur.1710	2017/4	10	4	673	679	有	有	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
212	Relationship between physiological and parent-observed auditory over-responsiveness in children with typical development and those with autism spectrum disorders.	Takahashi H, Nakahachi T, Stickley A, Ishitobi M, Kamio Y.	Autism	10.1177/1362361316680497.	2018/4	22	3	291	298	有	有	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
213	Cortical activation patterns in healthy subjects during the traditional Japanese word generation task Shiritori determined by multichannel near-infrared spectroscopy	Nakahachi T, Ishii R, Canouet L, Takahashi H, Ishitobi M, Kamio Y, Iwase M.	Neuropsychiatric electrophysiology	10.1186/s40810-016-0016-1.	2016/12	2		2		有	有	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
214	ADHD symptoms and pain among adults in England.	Stickley A, Koyanagi A, Takahashi H, Kamio Y.	Psychiatry Research,	10.1016/j.psychres.2016.10.04.	2016/12	246		326	331	有	有	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
215	Modeling early vocal development through infant-caregiver interaction: a review.	Minoru Asada.	IEEE Transactions on Cognitive and Developmental Systems,	10.1109/TODS.2016.2552493	2016/6	8	2	128	138	有	有	大阪大学	④-e	H28
216	感度に距離特異性を有する二次微分型グラフオートマトンと応用	樋口正法、小山大介、河合淳、上原弦	日本生体磁気学会誌		2016/6	29	1	191	197	有	有	金沢工業大学	④-e	H28

217	Lamtor1 Is Critically Required for CD4+ T Cell Proliferation and Regulatory T Cell Suppressive Function.	Hosokawa T, Kimura T, Nada S, Okuno T, Ito D, Kang S, Nejima S, Yamashita K, Nakatani T, Hayama Y, Kato Y, Kinehara Y, Nishide M, Mikami N, Koyama S, Takamatsu H, Okuzaki D, Ohkura N, Sakaguchi S, Okada M, and	J Immunol.	10.4049/jimmunol.1700157	2017/9	199	6	2008	2019	有	有	大阪大学	①-a	H29
218	Semaphorin 4D inhibits neutrophil activation and is involved in the pathogenesis of neutrophil-mediated autoimmune vasculitis.	Nishide M, Nejima S, Ito D, Takamatsu H, Koyama S, Kang S, Kimura T, Morimoto K, Hosokawa T, Hayama Y, Kinehara Y, Kato Y, Nakatani T, Nakanishi Y, Tsuda T, Park JH, Hirano T, Shima Y, Narazaki M, Morii E, and Kumanogoh A.	Ann Rheum Dis.	10.1136/annrheumdis-2016-210706	2017/8	76		1440	1448	有	有	大阪大学	①-a	H29
219	Elevated exhaled acetone concentration in stage C heart failure patients with diabetes mellitus.	Yokokawa T, Sato T, Suzuki S, Okawa M, Yoshihisa A, Kobayashi A, Yamaki T, Kunii H, Nakazato K, Suzuki H, Saitoh SI, Ishida T, Shimouchi A, Takeishi Y.	BMC Cardiovasc Disord.	10.1186/s12872-017-0713-0	2017/11	17	1	280		有	有	中部大学	①-a	H29
220	Change of Exhaled Acetone Concentration in a Diabetic Patient with Acute Decompensated Heart Failure.	Yokokawa T, Ichijo Y, Houtsuki Y, Matsumoto Y, Okawa M, Yoshihisa A, Sugimoto K, Nakazato K, Suzuki H, Saitoh SI, Shimouchi A, Takeishi Y.	Int Heart J.	10.1536/ihj.16-556.	2017/10	58	5	828	830	有	有	中部大学	①-a	H29
221	Hoisting-loop in bacterial multidrug exporter AcrB is a highly flexible hinge that enables the large motion of the subdomains.	Zwama, M. K. Hayashi, K. Sakurai, R. Nakashima, K. Kitagawa, K. Nishino, and A. Yamaguchi	Front. Microbiol.	10.3389/fmicb.2017.02095.	2017/10	8		2095		有	有	大阪大学	①-b	H29
222	Multiple entry pathways within the efflux transporter AcrB contribute to multidrug recognition	M. Zwama, S. Yamasaki, R. Nakashima, K. Sakurai, K. Nishino, and A. Yamaguchi *	Nature Communications	10.1038/s41467-017-02493-1	2018/1	9	1	124		有	有	大阪大学	①-b	H29
223	Unconscious improvement in foreign language learning using mismatch negativity neurofeedback: A preliminary study	Ming Chang, Hiroyuki Iizuka, Hideki Kashioka, Yasushi Naruse, Masahiro Furukawa, Hideyuki Ando, Taro Maeda	PLoS ONE	10.1371/journal.pone.0178694	2017/6	12	6	e0178694		有	有	NICT・CiNet, 大阪大学, 北海道大学	②-a	H29
224	Brain response patterns to economic inequality predicts present and future depression indices	Tanaka T, Yamamoto T, Haruno M.	Nature Human Behaviour	10.1038/s41562-017-0207-1	2017/10	1	10	748	758	有	有	NICT・CiNet	②-a	H29
225	Protocadherin- α C2 is required for diffuse projections of serotonergic axons.	Katori S, Noguchi Y, Okayama A, Kawamura Y, Leo W, Sakimura K, Hirabayashi T, Iwasato T, Yagi T	Scientific Reports	10.1038/s41598-017-16120-y	2017/11	7	1	15908		有	有	大阪大学	②-b	H29
226	Recognition memory: Cellular evidence of a massive contribution of the LEC to familiarity and a lack of involvement of the hippocampal subfields CA1 and CA3.	Atucha E, Karew A, Kitsukawa T, Sauvage MM.	Hippocampus.	10.1002/hipo.22754.	2017/10	27	10	1083	1092	有	有	大阪大学	②-b	H29
227	Genome Stability by DNA polymerase β in Neural Progenitors Contributes to Neuronal Differentiation in Cortical Development.	Onishi K, Uyeda A, Shida M, Hirayama T, Yagi T, Yamamoto N, and Sugo N.	J Neurosci.	10.1523/JNEUROSCI.0665-17	2017/8	37	35	8444	8458	有	有	大阪大学	②-b	H29

228	The methyltransferase SETDB1 regulates a large neuron-specific topological chromatin domain.	Jiang Y, Loh YE, Rajarajan P, Hirayama T, Liao W, Kassim BS, Javidfar B, Hartley BJ, Kleofas L, Park RB, Labonte B, Ho SM, Chandrasekaran S, Do C, Ramirez BR, Peter CJ, C W JT, Safaie BM, Morishita H, Roussos P, Nestler EJ, Schaefer A, Tycko B, Brennand KJ, Yagi T, Shen L and Akbarian S.	Nature Genetics.	10.1038/ng.3906	2017/8	49	8	1239	1250	有	有	大阪大学	②-b	H29
229	Protein Tyrosine Phosphatase δ mediates the Sema3A-induced cortical basal dendritic arborization through the activation of Fyn tyrosine kinase.	Nakamura F, Okada T, Shishikura M, Uetani N, Taniguchi M, Yagi T, Iwakura Y, Ohshima T, Goshima Y, & Strittmatter S.	J Neurosci.	10.1523/JNEUROSCI.2519-16.2017	2017/7	37	30	7125	7139	有	有	大阪大学	②-b	H29
230	Regulation of clustered protocadherin genes in individual neurons.	Hirayama T, Yagi T.	Semin Cell Dev Biol.	10.1016/j.semdb.	2017/9	69		122	130	有	有	大阪大学	②-b	H29
231	Slow-Myofiber Commitment by Semaphorin 3A Secreted from Myogenic Stem Cells.	Tatsumi R, Suzuki T, Do M-K Q, Ohya Y, Anderson JE, Shibata A, Kawaguchi M, Ohya S, Ohtsubo H, Mizunoya W, Sawano S, Komiya Y, Ichitsubo R, Ojima K, Nishimatsu S, Nohno T, Ohsawa Y, Sunada Y, Nakamura M, Furuse M, Ikeuchi Y.	Stem Cells.	10.1002/stem.2639	2017/7	35	7	1815	1834	有	有	大阪大学	②-b	H29
232	Clustered protocadherins are required for building functional neural circuits.	Hasegawa S, Kobayashi H, Kumagai M, Nishimaru H, Tarusawa E, Kanda H, Sanbo M, Yoshimura Y, Hirabayashi M, Hirabayashi T, Yagi T.	Frontier Molecular Neuroscience.	10.3389/fnmol.2017.00114	2017/4	10		114		有	有	大阪大学	②-b	H29
233	Learning New Sequential Stepping Patterns Requires Striatal Plasticity during the Earliest Phase of Acquisition.	Nakamura T, Nagata M, Yagi T, Graybiel AM, Yamamori T, Kitsukawa T.	The European journal of neuroscience.	10.1111/ejn.13537.	2017/4	45	7	901	911	有	有	大阪大学	②-b	H29
234	Flexible electronics for bio-signal monitoring in implantable applications	Shusuke Yoshimoto, Teppei Araki, Takafumi Uemura, Yuki Noda, Tsuyoshi Sekitani	IEICE Electronics Express	10.1587/elex.14.20172003	2017/10	14	20	20172003		有	有	大阪大学	③-c	H29
235	Printable and flexible copper-silver alloy electrodes with high conductivity and ultrahigh oxidation resistance	Wanli Li, Dawei Hu, Lingying Li, Cai-fu Li, Jintong Jiu, Chuantong Chen, Toshiyuki Ishina, Tohru Sugahara, and Katsuaki Suganuma	ACS Appl. Mater. Interfaces	10.1021/acsami.7b05308	2017/7	9	29	24711	24721	有	有	大阪大学	③-c	H29
236	中学生対象日本語版 BRIEF 構成概念妥当性の検証と標準化	桃田 菜子, 浅野 良輔, 永谷 代代, 宮川 広美, 中西 真理子, 安田 由華, 柴田 真理子, 橋本 亮太, 毛利 育子, 谷池 雅子	心理学研究	10.4992/jipsy.88.16215	2017/10	88	4	348	357	有	有	大阪大学	④-a	H29
237	Evaluation of behavioral change after adenotonsillectomy for obstructive sleep apnea in children with autism spectrum disorder.	Murata E, Mohri T, Kato N, Nishimura K, Iimura J, Ogawa M, Tachibana M, Taniike M.	Res Dev Disabil.	10.1016/j.ridd.2017.04.012.	2017/6	65		127	139	有	有	大阪大学	④-a	H29
238	Furukawa K, Okuno H, Mohri I, Nakanishi M, and Sakai S. Effectiveness of Child-Directed Interaction Training for Young Japanese Children with Autism Spectrum Disorders. Child & Family Behavior Therapy. 大阪大学学位論文(14401甲第19202号)	Furukawa K, Okuno H, Mohri I, Nakanishi M, and Sakai S.	Disorders, Child & Family Behavior Therapy. 大阪大学学位論文(14401甲第19202号)							有	有	大阪大学	④-a	H29
239	Personal Sleep Pattern Visualization using Sequence-based Kernel Self-Organizing Map on Sound Data	Wu H, Kato T, Yamada T, Numao M and Fukui K.	Artificial Intelligence in Medicine	10.1016/j.artmed.2017.06.012	2017/7	80		1	10	有	有	大阪大学	④-a	H29

240	Statistical Sleep Pattern Modelling for Sleep Quality Assessment based on Sound Events	Wu H, Kato T, Numao M, and Fukui K.	Health Information Science and Systems	10.1007/s13755-017-0031-z	2017/10	5	1	11			有	有	大阪大学	④-a	H29
241	Inter-scoring reliability of sleep assessment using EEG and EOG recording system in comparison to polysomnography.	Nonoue S, Mashita M, Haraki S, Mikami A, Adachi H, Yatani H, Yoshida A, Taniike M, Kato T*	Sleep Biol Rhythm	10.1007/s41105-016-0078-2	2016/9	15	1	39		48	有	有	大阪大学	④-a	H29
242	A stereotyped sequence from EEG arousals to nocturnal groaning events with or without the intervening sleep bruxism in catathrenia.	Muraki H, Okura M, Kato T, Taniguchi M, Ohi M.	Sleep Medicine, 32:1-3, 2017	10.1016/j.sleep.2016.03.015	2017/4	32		1		3	有	有	大阪大学	④-a	H29
243	Effect of clonazepam and clonidine on primary sleep bruxism: a double-blind, crossover, placebo-controlled trial.	Sakai T, Kato T, Yoshizawa S, Suganuma T, Takaba M, Ono Y, Yoshizawa A, Yoshida Y, Kurihara T, Ishii M, Kawana F, Kiuchi Y, Baba K.	Journal of Sleep Research,	10.1111/jsr.12442.	2017/2	26	1	73		83	有	有	大阪大学	④-a	H29
244	Delayed mismatch field latencies in autism spectrum disorder with abnormal auditory sensitivity: a magnetoencephalographic study.	Matsuzaki J, Kagitani-Shimono K, Sugata H, Hanaie R, Nagatani F, Yamamoto T, Tachibana M, Tomimaga K, Hirata M, Mohri I, and Taniike M.	Front Hum Neurosci.	10.3389/fnhum.2017.00446.	2017/9	6	11	446			有	有	大阪大学	④-a	H29
245	Comparison of rhythmic masticatory muscle activity during non-rapid eye movement sleep in guinea pigs and humans.	Kato T, Toyota R, Haraki S, Yano H, Higashiyama M, Ueno Y, Yano H, Sato F, Yatani H, Yoshida A.	J Sleep Res.	10.1111/jsr.12608	2018/8	27	4	e12608			有	有	大阪大学	④-a	H29
246	The occurrence of respiratory events in young subjects with a frequent rhythmic masticatory muscle activity: a pilot study.	Tsujioka A, Haraki S, Nonoue S, Mikami A, Adachi H, Mizumori T, Yatani H, Yoshida A, Kato T.	Journal of Prosthodontic Research	10.1016/j.jpor.2017.12.004	2018/7	62	3	317		323	有	有	大阪大学	④-a	H29
247	Multimodal Stability-Sensitive Emotion Recognition based on Brainwave and Physiological Signals	Nattapong Thammasan, Juan Lorenzo Hagad, Ken-ichi Fukui and Masayuki Numao.	IEEE Xplore, 2017 Seventh International Conference on Affective Computing and Intelligent Interaction Workshops and Demos (ACIIW)	10.1109/ACIIW.2017.8272584	2017/10			44		49	有	有	大阪大学	④-b	H29
248	Two-Stage Reinforcement Learning Algorithm for Quick Cooperation in Repeated Games	Wataru Fujita, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao.	Transactions on Computational Collective Intelligence XXVIII	10.1007/978-3-319-78301-7_3	2018/4			48		65	有	有	大阪大学	④-b	H29
249	Fabrication of Si nanopowder and application to hydrogen generation and photoluminescent material	Kobayashi Y, Imamura K, Matsumoto T, Kobayashi H	J. Elect. Eng. 68(7): 17-23, 2017.	10.1515/jee-2017-0050	2017/12	68	7	17		23	有	有	大阪大学	④-c	H29
250	Reaction of Si nanopowder with water investigated by FT-IR and XPS	Imamura K, Kobayashi Y, Matsuda S, Akai T, Kobayashi H	AIP Adv.	10.1063/1.4989794	2017/8	7	8	85310			有	有	大阪大学	④-c	H29
251	Hydrogen generation by reaction of Si nanopowder with neutral water	Kobayashi Y, Matsuda S, Imamura K, Kobayashi H	J. Nanopart. Res.	10.1007/s11051-017-3873-z	2017/5	19	5	176			有	有	大阪大学	④-c	H29
252	Functional localization and effective connectivity of cortical theta and alpha oscillatory activity during an attention task.	Kitaura, Yuichi, Keiichiro Nishida, Masafumi Yoshimura, Hiroshi Mii, Koji Katsura, Satoshi Ueda, Shunichiro Ikeda, Roberto D. Pascual-Marqui, Ryouhei Ishii, and Toshihiko Kinoshita.	Clinical Neurophysiology Practice	10.1016/j.cnp.2017.09.002	2017/10	2		193		200	有	有	大阪大学・関西医大	④-d	H29
253	The cross-frequency mediation mechanism of intracortical information transactions.	Pascual-Marqui, Roberto D., Pascal Faber, S. Ikeda, R. Ishii, Toshihiko Kinoshita, Y. Kitaura, K. Kochi, P. Milz, K. Nishida, and M. Yoshimura.	arXiv preprint arXiv:1703.07654	10.1101/119362	2017/3			7654			有	有	大阪大学・関西医大	④-d	H29

254	Measures of time series coupling based on generalized weighted multiple regression.	Roberto D Pascual-Marqui, Rolando J Biscay, Jorge Bosch-Bayard, Pascal Faber, Toshihiko Kinoshita, Kieko Kochi, Patricia Milz, Keiichiro Nishida, Masafumi	arXiv preprint arXiv: (2017)	10.1101/235721	2017/12							有	有	関西医大	④-d	H29
255	The Lateral Occipito-temporal Cortex Is Involved in the Mental Manipulation of Body Part Imagery.	Kikuchi M, Takahashi T, Hirose T, Oboshi Y, Yoshikawa E, Minabe Y, Ouchi Y.	Front Hum Neurosci.	10.3389/fnhum.2017.00181	2017/4	11		181				有	有	金沢大学	④-e	H29
256	Impressions of Humanness for Android Robot may Represent an Endophenotype for Autism Spectrum Disorders.	Kumazaki H, Warren Z, Swanson A, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Ishiguro H, Sarkar N, Minabe Y, Kikuchi M.	J Autism Dev Disord	10.1007/s10803-017-3365-0	2018/2	48	2	632	634			有	有	金沢大学	④-e	H29
257	Detection of atypical network development patterns in children with autism spectrum disorder using magnetoencephalography.	Duan F, Watanabe K, Yoshimura Y, Kikuchi M, Minabe Y, Aihara K.	PLoS One	10.1371/journal.pone.0184422	2017/9	12	9	e0184422				有	有	金沢大学	④-e	H29
258	Tele-Operating an Android Robot to Promote the Understanding of Facial Expressions and to Increase Facial Expressivity in Individuals With Autism Spectrum Disorder.	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Miyao M, Ishiguro H, Mimura M, Minabe Y, Kikuchi M.	Am J Psychiatry	10.1176/appi.ajp.2017.17030257	2017/9	174	9	904	905			有	有	金沢大学	④-e	H29
259	Android Robot-Mediated Mock Job Interview Sessions for Young Adults with Autism Spectrum Disorder: A Pilot Study.	Kumazaki H, Warren Z, Corbett BA, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Higashida H, Yuhi T, Ikeda T, Ishiguro H, Kikuchi M.	Front Psychiatry	10.3389/fpsy.2017.00169	2017/9	11	8	169				有	有	金沢大学	④-e	H29
260	A pilot study for robot appearance preferences among high-functioning individuals with autism spectrum disorder: Implications for therapeutic use.	Kumazaki H, Warren Z, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Miyao M, Nakano M, Mizushima S, Wakita Y, Ishiguro H, Mimura M, Minabe Y, Kikuchi M.	PLoS One	10.1371/journal.pone.0186581	2017/10	12	10	e0186581				有	有	金沢大学	④-e	H29
261	Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study.	Fukai M, Hirose T, Kikuchi M, Ouchi Y, Takahashi T, Yoshimura Y, Miyagishi Y, Kosaka H, Yokokura M, Yoshikawa E, Bunai T, Minabe Y.	Psychiatry Res.	10.1016/j.psychres.2017.06.015	2017/6	267		45	50			有	有	金沢大学	④-e	H29
262	Quantitative Aspects of Communicative Impairment Ascertained in a Large National Survey of Japanese Children.	Oi M, Fujino H, Tsukidate N, Kamio Y, Yoshimura Y, Kikuchi M, Hasegawa C, Gondou K, Matsui T.	J Autism Dev Disord.	10.1007/s10803-017-3226-x	2017/10	47	10	3040	3048			有	有	金沢大学	④-e	H29
263	Band-specific atypical functional connectivity pattern in childhood autism spectrum disorder.	Takahashi T, Yamanishi T, Nobukawa S, Kasakawa S, Yoshimura Y, Hiraiishi H, Hasegawa C, Ikeda T, Hirose T, Munesue T, Higashida H, Minabe Y, Kikuchi M.	Clin Neurophysiol.	10.1016/j.clinph.2017.05.010	2017/5	128	8	1457	1465			有	有	金沢大学	④-e	H29
264	Abnormal functional connectivity of high-frequency rhythms in drug-naïve schizophrenia.	Takahashi T, Goto T, Nobukawa S, Tanaka Y, Kikuchi M, Higashima M, Wada Y.	Clin Neurophysiol.	10.1016/j.clinph.2017.11.004	2018/1	129	1	222	231			有	有	金沢大学	④-e	H29
265	Ammonium acid urate urolithiasis in anorexia nervosa: a case report and literature review.	Fukai M, Hirose T, Nakatani H, Muramatsu T, Kikuchi M, Minabe Y.	Clin Case Rep.	10.1002/ccr.3896	2017/3	5	5	685	687			有	有	金沢大学	④-e	H29

266	A pilot study of serotonergic modulation after long-term administration of oxytocin in autism spectrum disorder.	Hirosawa T, Kikuchi M, Ouchi Y, Takahashi T, Yoshimura Y, Kosaka H, Furutani N, Hiraiishi H, Fukai M, Yokokura M, Yoshikawa E, Bunai T, Minabe Y.	Autism Res	10.1002/aur.1761	2017/3	10	5	821	828	有	有	金沢大学	④-e	H29
267	A Near-Infrared Spectroscopy Study on Cortical Hemodynamic Responses to Normal and Whispered Speech in 3- to 7-Year-Old Children.	Remijn GB, Kikuchi M, Yoshimura Y, Shitamichi K, Ueno S, Tsubokawa T, Kojima H, Higashida H, Minabe Y.	J Speech Lang Hear Res.	10.1044/2016.JSLHR-H-15-0435	2017/2	60	2	465	470	有	有	金沢大学	④-e	H29
268	Clonazepam improves dopamine supersensitivity in a schizophrenia patient: a case report.	Fukai M, Hirotsawa T, Takahashi T, Kaneda R, Kikuchi M, Minabe Y.	Ther Adv Psychopharmacol.	10.1177/2045125316681750	2017/3	7	3	113	117	有	有	金沢大学	④-e	H29
269	Prefrontal oxygenation during verbal fluency and cognitive function in adolescents with bipolar disorder type II.	Ono Y, Kikuchi M, Nakatani H, Murakami M, Nishisaka M, Muramatsu T, Munesue T, Minabe Y.	Asian J Psychiatr.	10.1016/j.ajp.2016.11.001	2017/2	25		147	153	有	有	金沢大学	④-e	H29
270	An Intervention for Children with Social Anxiety and Autism Spectrum Disorders Using an Android Robot.	Kumazaki H, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Miyao M, Ishiguro H, Muramatsu T, Mimura M.	Lecture Notes in Computer Science.	10.1007/978-3-319-50953-2_34	2017/4	###		470	477	有	有	金沢大学	④-e	H29
271	Android Robot-Mediated Mock Job Interview Sessions for Young Adults with Autism Spectrum Disorder: A pilot study.	Kumazaki H, Zachary W, Blythe C, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Higashida H, Yuhi T, Ikeda T, Ishiguro H, Kikuchi M.	Frontiers in Psychiatry.	10.3389/fpsy.2017.00169.	2017/9	8		169		有	有	金沢大学	④-e	H29
272	Different patterns of glucose hypometabolism underlie functional decline in frontotemporal dementia and Alzheimer's disease: FDG-PET Study.	Mina Fukai, Tetsu Hirotsawa, Mitsuru Kikuchi, Shoryoku Hino, Tatsuhiro Kitamura, Yasuomi Ouchi, Masamichi Yokokura, Etsuji Yoshikawa, Tomoyasu Bunai, Yoshio Minabe	Neuropsychiatry	10.4172/Neuropsychiatry.1000365	2018/1	8	2	441	444	有	有	金沢大学	④-e	H29
273	Can Robotic Systems Promote Self-Disclosure in Adolescents with Autism Spectrum Disorder? A Pilot Study.	Kumazaki H, Warren Z, Swanson A, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Takahashi H, Sarkar N, Ishiguro H, Mimura M, Minabe Y, Kikuchi M.	Frontiers in Psychiatry	10.3389/fpsy.2018.00036	2018/2	9	9	36		有	有	金沢大学	④-e	H29
274	自閉症乳幼児の神経特性についての研究	菊知 充	大阪大学医学部学友会会誌		2017/12	37				有		金沢大学	④-e	H29
275	Neural and Genetic Correlates of the Social Sharing of Happiness.	Masahiro Matsunaga, Hiroaki Kawamichi, Tomohiro Umemura, Reiko Hori, Eiji Shibata, Fumio Kobayashi, Kohta Suzuki, Keiko Ishii, Yohsuke Ohtsubo, Yasuki Noguchi, Misaki Ochi, Hidenori Yamasue, Hideki Ohira.	Frontiers in Neuroscience	10.3389/fnins.2017.00718	2017/12	11		718		有	有	浜松医大	④-e	H29
276	The effect of duration of illness and antipsychotics on subcortical volumes in schizophrenia: Analysis of 778 subjects.	Hashimoto N, Ito YM, Okada N, Yamamori H, Yasuda Y, Fujimoto M, Kudo N, Takemura A, Son S, Narita H, Yamamoto M, Tha KK, Katsuki A, Ohi K, Yamashita F, Koike S, Takahashi T, Nemoto K, Fukunaga M, Onitsuka T, Watanabe Y, Yamasue H, Suzuki M, Kasai K, Kusumi I, Hashimoto R.	Neuroimage Clin.	10.1016/j.nicl.2017.11.004	2017/11	17		563	568	有	有	浜松医大	④-e	H29

277	Association between salivary serotonin and the social sharing of happiness.	Matsunaga M, Ishii K, Ohtsubo Y, Noguchi Y, Ochi M, Yamasue H.	PLOS ONE	10.1371/journal.pone.0180391	2017/7	12	7	e0180391		有	有	浜松医大	④-e	H29
278	Increased occipital gyrification and development of psychotic disorders in individuals with an at-risk mental state: a multicenter study.	Sasabayashi D, Takayanagi Y, Takahashi T, Koike S, Yamasue H, Katagiri N, Sakuma A, Obara C, Nakamura M, Furuichi A, Kido M, Nishikawa Y, Noguchi K, Matsumoto K, Mizuno M, Kasai K, Suzuki M.	Biological Psychiatry	10.1016/j.biopsych.2017.05.018	2017/11	82	10	737	745	有	有	浜松医大	④-e	H29
279	A polymorphism of serotonin 2A receptor (5-HT2AR) influences delay discounting of gain and loss.	Ishii K, Matsunaga M, Noguchi Y, Yamasue H, Ochi M, Ohtsubo Y.	Personality and Individual Differences	10.1016/j.paid.2017.03.011	2017/3	121		193	199	有	有	浜松医大	④-e	H29
280	Clinical Potential of Oxytocin in Autism Spectrum Disorder: Current Issues and Future Perspectives.	Seico Benner, Yamasue H*	Behavioral Pharmacology	10.1097/FBP.0000000000000341	2017/8	29	1	1		有	有	浜松医大	④-e	H29
281	Oxytocin and Autism Spectrum Disorders.	Yamasue H*, Domes G*	Current Topics in Behavioral Neurosciences 35	10.1007/7854_2017_24	2017/8	35		449	465	有	有	浜松医大	④-e	H29
282	Voxel-Based Morphometry in Autism Spectrum Disorder.	Yamasue H.	Brain Nerve.	10.11477/mf.1416200779	2017/5	69	5	529	538	有	有	浜松医大	④-e	H29
283	Alpha band event-related desynchronization underlying social situational context processing during irony comprehension: A magnetoencephalography source localization study.	Akimoto Y, Takahashi H, Gunji A, Kaneko Y, Asano M, Matsuo J, Ota M, Kunugi H, Hanakawa T, Mazuka R, Kamio Y.	Brain Lang.	10.1016/j.bandl.2017.09.002	2017/12	175		42	46	有	有	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
284	Acoustic startle response and its modulation in schizophrenia and autism spectrum disorder in Asian subjects.	Takahashi H, Kamio Y.	Schizophr Res	10.1016/j.schres.2017.05.034	2018/8	198		16	20	有	有	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
285	Development of Compact Ultra-Low-Field MRI System Using an Induction Coil.	D.Oyama, Y. Adachi, M. Higuchi, N. Tsuyuguchi, G. Uehara	IEEE Trans. Magn.	10.1109/TMAG.2017.2709340	2017/11	53	11	5100504		有	有	金沢工業大学	④-e	H29
286	Mexican-Hat-Like Response in a Flexible Tactile Sensor Using a Magnetorheological Elastomer.	Takumi Kawasetsu, Takato Horii, Hisashi Ishihara, and Minoru Asada.	Sensors	10.3390/s18020587	2018/2	18	2	587		有	有	大阪大学	④-e	H29
287	中学校体育授業における熟練教師と教育実習生の授業者としての違い—生徒の言語的コミュニケーション量と教師による生徒へのかかわりに着目して	中島寿宏	北海道体育学研究		2017/12	52		29	37	有		藤女子大学 北海道大学	⑤-b,c	H29
288	体育授業におけるコミュニケーションの様相:特に中学校ダンス授業におけるグループ学習を中心として	中島寿宏・伊藤 兼・川田学	運動とスポーツの科学		2018/3	23	2	125	132	有		藤女子大学 北海道大学	⑤-b,c	H29
289	Apoptosis-derived membrane vesicles drive the cGAS-STING pathway and enhance type I IFN production in systemic lupus erythematosus.	Kato Y, Park J, Takamatsu H, Konaka H, Aoki W, Aburaya S, Ueda M, Nishide M, Koyama S, Hayama Y, Kinehara Y, Hirano T, Shima Y, Narazaki M, Kumanogoh A.	Ann Rheum Dis.	10.1136/annrheumdis-2018-212988.	2018/10	77	10	1507	1515	有	有	大阪大学	①-a	H30
290	Semaphorin 6D reverse signaling controls macrophage lipid metabolism and anti-inflammatory polarization.	Kang S, Nakanishi Y, Kioi Y, Okuzaki D, Kimura T, Takamatsu H, Koyama S, Nojima S, Nishide M, Hayama Y, Kinehara Y, Kato Y, Nakatani T, Shimogori T, Takagi J, Toyofuku T, Kumanogoh A.	Nat Immunol.	10.1038/s41590-018-0108-0	2018/6	19	6	561	570	有	有	大阪大学	①-a	H30
291	PCR under Low Ionic Concentration Buffer Conditions	Fumie Takei, Misaki Akiyama, Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Huanwen Han, Kazuhiko Nakatani, and Ichiro Yamashita,	ChemistrySelect	10.1002/slct.201702542	2018/1	3	3	973	976	有	有	大阪大学	①-a	H30
292	Fluorescence turn-on hairpin-probe PCR	Fumie Takei, Kazuhiko Nakatan	Chem. Commun.	10.1039/C6CC08947J	2017/1	53		1393	1398	有	有	大阪大学	①-a	H30
293	無意識的に言語音知覚能力の向上のためのニューロフィードバック手法	常 明, 飯塚 博幸, 成瀬 康, 古川 正弘, 安藤 英由樹, 前田 太郎	ヒューマンインタフェース学会誌		2017/	19	1	19	23	有		NICT-CiNet	②-a	H30

294	Working memory network&default mode network	芋飯満里子	Clinical Neuroscience		2019/2	37	2	178	180	無		NICT-CiNet	②-a	H30
295	Behavioral and functional connectivity basis for peer-influenced bystander participation in bullying.	高見享祐、春野雅彦	Soc Cogn Affect Neurosci	10.1093/scan/nsy109	2019/1	14	1	23	33	有	有	NICT-CiNet	②-a	H30
296	Molecular diversity of clustered protocadherin-a required for sensory integration and short-term memory in mice	Yamagishi T, Yoshitake K, Kamatani D, Watanabe K, Tsukano H, Hishida R, Takahashi K, Takahashi S, Hori A, Yagi T, Shibuki K	Scientific Reports	10.1038/s41598-018-28034-4	2018/6	8	1	9616		有	有	大阪大学	②-b	H30
297	Dysregulated protocadherin-pathway activity as an intrinsic defect in iPSC-derived cortical interneurons from patients with schizophrenia.	Shao Z, Noh H, Kim WB, Ni P, Nguyen C, Cote SE, Noyes E, Zhao J, Parsons T, Park JM, Zheng K, Park JJ, Coyle JT, Weinberger DR, Straub RE, Berman KF, Apud J, Ongur D, Cohen BM, McPhie DL, Rapoport JL, Perlis RH, Lanz TA, Xi S, Yin C, Huang W, Hirayama T, Fukuda E, Yagi T, Ghosh S, Eggen KC, Kim H-Y, Eisenberg LM, Moghadam A, Stanton P, Cho J-H and Chung S.	Nature Neuroscience	10.1038/s41593-018-0313-z	2019/2	22	2	229	242	有	有	大阪大学	②-b	H30
298	Enhanced Electrical Durability and Mechanical Stretchability of Ag Nanowire-Based Transparent Electrodes by Nanometer-Thick Metal Plating	Tepei Araki, Yuki Noda, Ashuya Takemoto, Shusuke Yoshimoto, Takafumi Uemura and Tsuyoshi Sekitani.	The 24th International Display Workshops (IDW'17), Electrode Material and Photoresist Technologies, FMC5-1, Sendai, Sendai		2017/12	1		541	544	有	有	大阪大学	③-c	H30
299	Japanese Sleep Questionnaire for Elementary Schoolers (JSQ-ES): validation and population-based score distribution.	Kuwada A, Mohri I, Asano R, Matsuzawa S, Kato-Nishimura K, Hirata I, Mitsuhosi T, Kagitani-Shimono K, Nakanishi M, Tachibana M, Ohno Y, Taniike M.	Sleep Medicine.	10.1016/j.sleep.2017.07.025.	2018/1	41		69	77	有	有	大阪大学	④-a	H30
300	Prevalence of antibodies against Borna disease virus proteins in Japanese children with autism spectrum disorder.	Honda T, Sofuku K, Matsunaga H, Tachibana M, Mohri I, Taniike M, Tomonaga K.	Microbiology and immunology	10.1111/1348-0421.12603.	2018/7	62	7	473	476	有	有	大阪大学	④-a	H30
301	Atypical auditory language processing in adolescents with autism spectrum disorder.	Tanigawa J, Kagitani-Shimono K, Matsuzaki J, Ogawa R, Hanaie R, Yamamoto T, Tominaga K, Nabatame S, Mohri I, Taniike M, Ozono K.	Clin Neurophysiol.	10.1016/j.clinph.2018.05.014.	2018/9	29	9	2029	2037	有	有	大阪大学	④-a	H30
302	Clasmatodendrosis is associated with dendritic spines and does not represent autophagic astrocyte death in influenza-associated encephalopathy.	Tachibana M, Mohri I, Hirata I, Kuwada A, Kimura-Ohba S, Kagitani-Shimono K, Fushimi H, Inoue T, Shiomi M, Kakuta Y, Takeuchi M, Murayama S, Nakayama M, Ozono K, Taniike M.	Brain Dev.	10.1016/j.braindev.2018.07.008	2019/1	41	1	85	95	有	有	大阪大学	④-a	H30
303	Effectiveness of Child-Directed Interaction Training for Young Japanese Children with Autism Spectrum	Furukawa K, Okuno H, Sakai S, Mohri I, Nakanishi M, Taniike M	Disorders, Child & Family Behavior Therapy	10.1080/07317107.2018.1477344	2018/9	40	2	1	21	有	有	大阪大学	④-a	H30
304	Sleep quality, psychological profiles, cardiac activity and salivary biomarkers in young subjects with different degrees of rhythmic masticatory muscle activity: a polysomnography study.	Haraki S, Tsujisaka A, Nonoue S, Nochino T, Kamimura M, Adachi H, Ishigaki S, Yatani H, Taniike M, Kato T.	Journal of Oral & Facial pain and Headache	10.11607/ofph.2231	2019/3	33	1	105	113	有	有	大阪大学	④-a	H30
305	Hydrogen generation from water using Si nanopowder fabricated from Si swarf	Kentarō Imamura, Katsuya Kimura, Shunta Fujie, Hkaru Kobayashi	J. Nanoparticle Research.	10.1007/s11051-016-3418-x	2016/4	18		115		有	有	大阪大学	④-c	H30

306	Hydrogen generation by reaction of Si nanopowder with water for medical use	Y. Kobayashi	J. Nanomater. Mol. Nanotechnol.	10.4172/2324-8777-C2-023	2018/5	7		42		有	有	大阪大学	④-c	H30
307	High efficiency crystalline Si solar cells with simple structure fabricated with surface structure chemical transfer method	H. Kobayashi	J. Nanomater. Mol. Nanotechnol.	10.4172/2324-8777-C2-022	2018/5	7		41		有	有	大阪大学	④-c	H30
308	Age-related gender-specific changes in the brain metabolism and morphology.	Kakimoto A, Ito S, Okada H, Nishizawa S, Minoshima S, Ouchi Y.	J Nucl Med.	10.2967/jnumed.115.166439	2015/11	57	2	221	225	有	有	関西医大	④-d	H30
309	Extrastriatal spreading of microglial activation in Parkinson's disease: a positron emission tomography study.	Terada T, Yokokura M, Yoshikawa E, Futatsubashi M, Kono S, Konishi T, Miyajima H, Hashizume T, Ouchi Y.	Ann Nucl Med.	10.1007/s12149-016-1099-2	2016/6	30	8	579	587	有	有	関西医大	④-d	H30
310	In vivo TSPO and cannabinoid receptor type 2 availability early in poststroke neuroinflammation in rats: a positron emission tomography study.	Hosoya T, Fukumoto D, Kakiuchi T, Nishiyama S, Yamamoto S, Ohba H, Tsukada H, Ueki T, Sato K, Ouchi Y.	J Neuroinflammation.	10.1186/s12974-017-0851-4	2017/3	14	1	69	78	有	有	関西医大	④-d	H30
311	Imaging neuroinflammation to monitor α -synucleinopathy.	Ouchi Y.	Lancet Neurol.	10.1016/S1474-4422(17)30244-2	2017/7	16	10	763	764	有	有	関西医大	④-d	H30
312	Matsudaira T, Omote Y, Terada T, Kondo A, Obi T, Ouchi Y, Inoue Y.	Reversible amygdala enlargement: a longitudinal observation of a patient with elderly onset temporal lobe epilepsy.	J Neurol.	10.1007/s00415-017-8649-y	2017/12	264	12	2487	2490	有	有	関西医大	④-d	H30
313	In vivo depiction of α 7 nicotinic receptor loss for cognitive decline in Alzheimer's disease.	Nakaizumi K, Ouchi Y, Terada T, Yoshikawa E, Kakimoto A, Isobe T, Bunai T, Yokokura Y, Suzuki K, Magata Y.	J Alzheimers Dis.	10.3233/JAD-170591	2018/1	61	4	1355	1365	有	有	関西医大	④-d	H30
314	Neuroinflammation following disease modifying therapy in multiple sclerosis A pilot positron emission tomography study.	Bunai T, Terada T, Kono S, Yokokura M, Yoshikawa E, Futatsubashi M, Miyajima H, Ouchi Y.	J Neurol Sci.	10.1016/j.jns.2017.12.004	2018/2	385		30	33	有	有	関西医大	④-d	H30
315	Depiction of microglial activation in aging and dementia: Positron emission tomography with [¹¹ C]DPA713 versus [¹¹ C]R/PK11195.	Yokokura M, Terada T, Bunai T, Nakaizumi K, Takebayashi K, Iwata Y, Yoshikawa E, Futatsubashi M, Suzuki K, Mori N, Ouchi Y.	J Cereb Blood Flow Metab.	10.1177/0271678X16646788	2016/4	37	3	877	889	有	有	関西医大	④-d	H30
316	Discovering EEG resting state alterations of semantic dementia.	Grieder, M., Koenig, T., Kinoshita, T., Utsunomiya, K., Wahlund, L. O., Dierks, T., & Nishida, K.	Clinical neurophysiology	127(5). 2175-2181.2016.	2016/2	127	5	2175	2181	有	有	関西医大	④-d	H30
317	The EEG microstate topography is predominantly determined by intracortical sources in the alpha band.	Milz, P., Pascual-Marqui, R. D., Achermann, P., Kochi, K., & Faber, P. L.	NeuroImage	10.1016/j.neuroimage.2017.08.058	2017/11	162		353	361	有	有	関西医大	④-d	H30
318	Source estimation of epileptic activity using eLORETA kurtosis analysis.	Ikeda S, Ishii R, Canuet L, Pascual-Marqui RD	BMJ Case Rep: 2017 Nov 16, 2017.	10.1136/bcr-2017-222123	2017/11			222123		有	有	関西医大	④-d	H30
319	Innovations orthogonalization: a solution to the major pitfalls of EEG/MEG "leakage correction".	Pascual-Marqui RD, Biscay RJ, Bosch-Bayard J, Faber P, Kinoshita T, Kochi K, Milz P, Nishida K, Yoshimura M	bioRxiv	10.1101/178657	2017/8			178657		有	有	関西医大	④-d	H30
320	うつ病におけるtDCS(経頭蓋直流電気刺激)の可能性	西田圭一郎、木下利彦	臨床精神薬理		2018/7	21	7	941	946	有	有	関西医大	④-d	H30
321	Comparing EEG/MEG neuroimaging methods based on localization error, false positive activity, and false positive connectivity.	Pascual-Marqui, R. D., Faber, P. L., Kinoshita, T., Kochi, K., Milz, P., Nishida, K., & Yoshimura, M.	bioRxiv	10.1101/269753	2018/2			269753		有	有	関西医大	④-d	H30

322	Mapping slow waves by EEG topography and source localization: Effects of sleep deprivation.	Bersagliere, A., Pascual-Marqui, R. D., Tarokh, L., & Achermann, P.	Brain topography	10.1007/s10548-017-0595-6	2018/3	31	2	257	269	有	有	関西医大	④-d	H30	
323	Healthy and Pathological Brain Aging: From the Perspective of Oscillations, Functional Connectivity, and Signal Complexity.	Ishii R, Canuet L, Aoki Y, Hata M, Iwase M, Ikeda S, Nishida K, Ikeda M	Neuropsychobiology (2018)	Neuropsychobiology		2018/2	75	4	151	161	有	有	関西医大	④-d	H30
324	Hyperactivation of the Frontal Control Network Revealed by Symptom Provocation in Obsessive-Compulsive Disorder Using EEG Microstate and sLORETA Analyses.	Yoshimura M, Pascual-Marqui RD, Nishida K, Kitaura Y, Mii H, Saito Y, Ikeda S, Katsura K, Ueda S, Minami S, Isotani T, Kinoshita T.	Neuropsychobiology	10.1159/000491719	2018/9	77	4	176	185	有	有	関西医大	④-d	H30	
325	Alpha event-related synchronization after eye closing differs in Alzheimer's disease and dementia with Lewy bodies: a magnetoencephalography study.	Hata M, Kurimoto R, Kazui H, Ishii R, Canuet L, Aoki Y, Ikeda S, Azuma S, Suehiro T, Sato S, Suzuki Y, Kanemoto H, Yoshiyama K, Iwase M, Ikeda M	Psychogeriatrics	10.1111/psyg.12313	2018/5	18	3	202	208	有	有	関西医大	④-d	H30	
326	Social cognition and metacognition contribute to accuracy for self-evaluation of real-world functioning in patients with schizophrenia.	Nishida K, Toyomaki A, Koshikawa Y, Nimura H, Morimoto T, Tani M, Inada K, Ninomiya T, Hori H, Manabe J, Katsuki A, Kubo T, Shirahama M, Kohno K, Kinoshita T, Kusumi I, Iwanami A, Ueno T, Kishimoto T, Terao T, Nakagome K, Sumiyoshi T.	Schizophrenia research	10.1016/j.schres.2018.06.071	2018/12	202		426	428	有	有	関西医大	④-d	H30	
327	救急医療における脳波検査の有用性について	北元 健, 吉村 匡史, 和田大樹, 早川航一, 齊藤 福樹, 中森 靖, 木下利彦	総合病院精神医学		2018/7	30	3	242	250	有		関西医大	④-d	H30	
328	【多様化するうつ病治療の選択肢と薬物療法の位置付け】うつ病におけるtDCS(経頭蓋直流電気刺激)の可能性	西田 圭一郎, 木下 利彦	臨床精神薬理		2018/7	21	7	941	946	有		関西医大	④-d	H30	
329	A comparison of bivariate frequency domain measures of electrophysiological connectivity	Roberto D Pascual-Marqui, Pascal Faber, Toshihiko Kinoshita, Kieko Kochi, Patricia Miz, Keiichiro Nishida, Masafumi Yoshimura	bioRxiv	10.1101/459503	2018/11			459503		有	有	関西医大	④-d	H30	
330	Modulation of Motor Learning Capacity by Transcranial Alternating Current Stimulation	Sugata H, Yagi K, Yazawa S, Nagase Y, Tsuruta K, Ikeda T, Matsushita K, Hara M, Kawakami K, Kawakami K	Neuroscience	10.1016/j.neuroscience.2018.09.013	2018/11	391		131	139	有	有	金沢大学	④-d	H30	
331	Altered human voice processing in the frontal cortex and a developmental language delay in 3- to 5-year-old children with autism spectrum disorder	Yuko Yoshimura, Yoshio Minabe, Mitsuru Kikuchi,	Sci Rep	10.1038/s41598-017-17058-x.	2017/12	7	1	17116		有	有	金沢大学	④-e	H30	
332	Changes in maternal feelings for children with autism spectrum disorder after childbirth: The impact of knowledge about the disorder	Sarah Tomiyama, Mitsuru Kikuchi, Yuko Yoshimura, Chiaki Hasegawa, Takashi Ikeda, Daisuke N. Saito, Hirokazu Kumazaki, Nobushige Naito, Yoshio Minabe	PLoS One	10.1371/journal.pone.0201862	2018/8	13	8	e0201862		有	有	金沢大学	④-e	H30	
333	Brief Report: Odour Awareness in Young Children with Autism Spectrum Disorders	Hirokazu Kumazaki, Masako Okamoto, Yuko Yoshimura, Takashi Ikeda, Chiaki Hasegawa, Daisuke N. Saito, Ryoichiro Iwanaga, Sara Tomiyama, Kyung-min n, Yoshio Minabe, Mitsuru Kikuchi	J Autism Dev Disord	10.1007/s10803-018-3710-y	2020/5	50	5	1809	1815	有	有	金沢大学	④-e	H30	

334	Brief Report: Evaluating the Utility of Varied Technological Agents to Elicit Social Attention from Children with Autism Spectrum Disorders	Hirokazu Kumazaki,Zachary Warren,Amy Swanson,Yuichiro Yoshikawa, Yoshio Matsumoto,Yuko Yoshimura,Jiro Shimaya,Hiroshi Ishiguro,Nilanjana Sarkar,Joshua Wade,Masaru Mimura,Yoshio Minabe,Mitsuru Kikuchi	J Autism Dev Disord	10.1007/s10803-018-3841-1	2019/4	49	4	1700	1708	有	有	金沢大学	④-e	H30
335	Altered Gamma Oscillations during Motor Control in Children with Autism Spectrum Disorder	Kyung-min An, Takashi Ikeda, Yuko Yoshimura, Chiaki Hasegawa, Daisuke N. Saito, Hirokazu Kumazaki, Tetsu Hirozawa, Yoshio Minabe, and Mitsuru Kikuchi	J Neurosci	10.1523/JNEUROSCI.1229-18.2018	2018/9	38	36	7878	7886	有	有	金沢大学	④-e	H30
336	Developmental Trajectory of Infant Brain Signal Variability: A Longitudinal Pilot Study	Chiaki Hasegawa, Tetsuya Takahashi, Yuko Yoshimura, Sou Nobukawa, Takashi Ikeda, Daisuke N. Saito, Hirokazu Kumazaki, Yoshio Minabe and Mitsuru Kikuchi	Front Neurosci.	10.3389/fnins.2018.00566	2018/8	12		566		有	有	金沢大学	④-e	H30
337	機械学習によるノイズリダクションの検討	樋口正法、小山大介、春田康博、上原弦	日本生体磁気学会論文集		2018/6	31	1	148	149	有		金沢工業大学	④-e	H30
338	Relationship Between Odor Identification and Visual Distractors in Children with Autism Spectrum Disorders	Kumazaki H, Kikuchi M, Yoshimura Y, Miyao M, Okada KI, Mimura M, Minabe Y	J Autism Dev Disord	10.1007/s10803-018-3511-3	2018/7	48	7	2590	2592	有	有	金沢大学	④-e	H30
339	The impact of robotic intervention on joint attention in children with autism spectrum disorders	Hirokazu Kumazaki, M.D., Ph.D.; Yuichiro Yoshikawa, Ph.D.; Yuko Yoshimura, Ph.D.; Takashi Ikeda, Ph.D.; Chiaki Hasegawa, Ph.D.; Daisuke N Saito, Ph.D.; Sara Tomiyama; Kyung-min An; Jiro Shimaya; Hiroshi Ishiguro, Ph.D.; Yoshio Matsumoto, Ph.D.; Yoshio Minabe, M.D., Ph.D.; Mitsuru Kikuchi, M.D., Ph.D.	Molecular Autism	10.1186/s13229-018-0230-8	2018/9	9	1	46		有	有	金沢大学	④-e	H30
340	Brief Report: A novel system to evaluate autism spectrum disorders using two humanoid robots	Hirokazu Kumazaki,Taro Muramatsu,Yuichiro Yoshikawa,Yuko Yoshimura,Takashi Ikeda,Chiaki Hasegawa,Daisuke N. Saito,Jiro Shimaya,Hiroshi Ishiguro,Masaru Mimura,Mitsuru Kikuchi,	Journal of Autism and Developmental Disorders.	10.1007/s10803-018-3848-7	2019/4	49	4	1709	1716	有	有	金沢大学	④-e	H30
341	Longitudinal changes in the mismatch field evoked by an empathic voice reflect changes in the empathy quotient in autism spectrum disorder	Yoshimura Y, Kikuchi M, Hiraishi H, Hasegawa C, Hirozawa T, Takahashi T, Munosue T, Kosaka H, Higashida H, Minabe Y	Psychiatry Res Neuroimaging	10.1016/j.pscychres.2018.05.003	2018/11	281		117	122	有	有	金沢大学	④-e	H30
342	Gamma-band auditory steady-state response after frontal tDCS: A double-blind, randomized, crossover study	Miyagishi Y, Ikeda T, Takahashi T, Kudo K, Morise H, Minabe Y, Kikuchi M	PLoS one	10.1371/journal.pone.0193422	2018/2	13	2	e0193422		有	有	金沢大学	④-e	H30
343	Changes in functional connectivity dynamics with aging: a dynamical phase synchronization approach	Sou Nobukawa, Mitsuru Kikuchi, Tetsuya Takahashi	NeuroImage	10.1016/j.neuroimage.2018.12.008	2019/3	188		357	368	有	有	福井大学	④-e	H30
344	Association between maternal Autism Spectrum Quotient scores and the tendency to see pragmatic impairments as a problem	Hanabusa,K.O,Imaizumi,Tsukidate,N,Yoshimura,Y.	PLoS One.	10.1371/journal.pone.0209412	2018/12	13	12	e0209412		有	有	金沢大学	④-e	H30
345	自閉症における字義性の認知的基礎	大井 学	子どものこころと脳の発達		2018/10	9	1	14	20	有		金沢大学	④-e	H30

346	Endogenous dopamine release under transcranial direct-current stimulation governs enhanced attention: a study with positron emission tomography	Mina Fukai, Tomoyasu Bunai, Tetsu Hirose, Mitsuru Kikuchi, Shigeru Ito, Yoshio Minabe and Yasuomi Ouchi	Translational Psychiatry	10.1038/s41398-019-0443-4	2019/3	9	1	115		有	有	金沢大学	④-d	H30
347	Association Between Magnetoencephalographic Interictal Epileptiform Discharge and Cognitive Function in Young Children With Typical Development and With Autism Spectrum Disorders	Tetsu Hirose, Mitsuru Kikuchi, Mina Fukai, Shoryoku Hino, Tatsuru Kitamura, Kyung-Min An, Paul Sowman, Tetsuya Takahashi, Yuko Yoshimura, Yoshiaki Miyagishi and Yoshio Minabe	Front. Psychiatry	10.3389/fpsy.2018.00568	2018/11	19	9	568		有	有	金沢大学	④-e	H30
348	Crystal structure of the multidrug resistance regulator RamR complexed with bile acids	Suguru Yamasaki, Ryosuke Nakashima, Keisuke Sakurai, Sylvie Baucheron, Etienne Giraud, Benoit Doublet, Axel Cloeckaert & Kunihiko	Scientific Reports	10.1038/s41598-018-36025-8	2019/1	9	1	177		有	有	大阪大学	①-b	H30
349	LRRK2 regulates endoplasmic reticulum-mitochondrial tethering through the PERK-mediated ubiquitination pathway.	Toyofuku T, Okamoto Y, Ishikawa T, Sasawatari S, Kumanogoh A.	EMBO J.	10.15252/emboj.2018100875.	2019/12	39		e100875		有	有	大阪大学	①-a	R1
350	Impact of sarcopenia in patients with advanced non-small cell lung cancer treated with PD-1 inhibitors: A preliminary retrospective study.	Shiroyama T, Nagatomo I, Koyama S, Hirata H, Nishida S, Miyake K, Fukushima K, Shirai Y, Mitsui Y, Takata S, Masuhiro K, Yaga M, Iwahori K, Takeda Y, Kida H, Kumanogoh A.	Sci Rep.	10.1038/s41598-019-39120-6	2019/2	9		2447		有	有	大阪大学	①-a	R1
351	Anti-receptor activator of nuclear factor κ B ligand antibody treatment increases osteoclastogenesis-promoting IL-8 in patients with rheumatoid arthritis.	Morita T, Shima Y, Fujimoto K, Tsuboi H, Saeiki Y, Narazaki M, Ogata A, Kumanogoh A.	Int Immunol.	10.1093/intimm/dx009.	2019/4	31	5	277	285	有	有	大阪大学	①-a	R1
352	Development of a structure determination method using a multidrug-resistance regulator protein as a framework.	Matsumoto T, Nakashima R, Yamano A, Nishino K.	Biochem Biophys Res Commun.	10.1016/j.bbrc.2019.08.070.	2019/10	518	2	402	408	有	有	大阪大学	①-b	R1
353	Phylogenetic and functional characterisation of the Haemophilus influenzae multidrug efflux pump AcrB.	Zwama M, Yamaguchi A, Nishino K.	Commun Biol.	10.1038/s42003-019-0564-6.	2019/9	2		340		有	有	大阪大学	①-b	R1
354	The Golgin Protein Giantin Regulates Interconnections Between Golgi Stacks.	Sato A, Hayashi-Nishino M, Shakuno T, Masuda J, Koreishi M, Murakami R, Nakamura Y, Nakamura T, Abe-Kanoh N, Honjo Y, Malsam J, Yu S, Nishino K.	Front Cell Dev Biol.	10.3389/fcell.2019.00160.	2019/8	7		160		有	有	大阪大学	①-b	R1
355	Native CRISPR-Cas-Mediated Genome Editing Enables Dissecting and Sensitizing Clinical Multidrug-Resistant P. aeruginosa	Xu Z, Li M, Li Y, Cao H, Miao L, Xu Z, Higuchi Y, Yamasaki S, Nishino K, Woo PCY, Xiang H, Yan A.	Cell Rep.	10.1016/j.celrep.2019.10.006.	2019/11	29	6	1707	1717	有	有	大阪大学	①-b H31W05-2 R1WD01	R1
356	13-(2-Methylbenzyl) Berberine Is a More Potent Inhibitor of MexXY-Dependent Aminoglycoside Resistance than Berberine.	Kotani K, Matsumura M, Morita Y, Tomida J, Kutsuna R, Nishino K, Yasuike S, Kawamura Y	Antibiotics (Basel)	10.3390/antibiotics8040212.	2019/11	8	4	212		有	有	大阪大学	①-b	R1
357	Interactive effects of OXTR and GAD1 on envy-associated behaviors and neural responses	Tanaka T, Nishimura F, Kakiuchi C, Kasai K, Kimura M, Haruno M.	PLOS ONE	10.1371/journal.pone.0210493	2019/1	14	1	e0210493		有	有	NICT-CiNet	②-a	R1
358	Activity in the dorsal ACC causes deterioration of sequential motor performance due to anxiety	Ganesh Gowrishanker, Takehiro Minamoto, Masahiko Haruno	Nature Communications	10.1038/s41467-019-12205-6	2019/9	10		4287		有	有	NICT-CiNet	②-a	R1

359	Computing social value conversion in the human brain.	Fukuda H, Ma N, Suzuki S, Harasawa N, Ueno K, Gardner JL, Ichinohe N, Haruno M, Cheng K, Nakahara H	J Neurosci.	10.1523/JNEUROSCI.3117-18.2019	2019/6	39	26	5153	5172	有	有	NICT・CiNet	②-a	R1
360	ワーキングメモリトレーニングと流動性知能—展開と制約—	坪見博之・齊藤智・宇阪満里子・宇阪直行	心理学研究	10.4992/jpsy.90.18402	2019/8	90	3	308	326	有	有	NICT・CiNet	②-a	R1
361	Value computations underlying human proposer behavior in the ultimatum game.	Pulcu, Erdem Haruno, Masahiko	Journal of Experimental Psychology: General	10.1037/xge0000621	2020/1	149	1	125	137	有	有	NICT・CiNet	②-a	R1
362	加齢に伴うワーキングメモリ機能の変化	宇阪満里子	Clinical Neuroscience		2020/2	38	2	173	176	無	有	NICT・CiNet	②-a	R1
363	Skilled Movements in Mice Require Inhibition of Corticospinal Axon Collateral Formation in the Spinal Cord by Semaphorin Signaling.	Gu Z, Ueno M, Klinefelter K, Mamidi M, Yagi T, Yoshida Y.	J. Neurosci.	10.1523/JNEUROSCI.2832-18.2019.	2019/11	39	45	8885	8899	有	有	大阪大学	②-b	R1
364	Snf2h Drives Chromatin Remodeling to Prime Upper Layer Cortical Neuron Development	Alvarez-Saavedra M, Yan K, De Repentigny Y, Hashem LE, Chaudary N, Sarwar S, Yang D, Ioshikhes I, Kothary R, Hirayama T, Yagi T, Picketts DJ.	Front Mol Neurosci.	10.3389/fnmol.2019.00243.	2019/10	12		243		有	有	大阪大学	②-b	R1
365	Stress assessment by psychophysiological monitoring in daily life	Kenji Kanbara, Morita Yukihiro	Impact	10.21820/23987073.2019.8.48	2019/11	8	3	48	50	有	有	大阪大学 パナソニック	②-b	R1
366	Wireless Monitoring Using a Stretchable and Transparent Sensor Sheet Containing Metal Nanowires.	Tepei Araki, Takafumi Uemura, Shusuke Yoshimoto, Ashuya Takemoto, Yuki Noda, Shintaro Izumi, Tsuyoshi Sekitani.	Advanced Materials	10.1002/adma.201902684	2019/11	32	15	1902684		有	有	大阪大学	③-c H31W15-2	R1
367	Flexible CoFeB/MgO-based magnetic tunnel junctions annealed at high temperature (≥350 °C)	S. Ota, A. Ando, T. Sekitani, T. Koyama, D. Chiba.	Applied Physics Letters	10.1063/1.5128952	2019/11	115		202401		有	有	大阪大学	③-c	R1
368	Orientation analysis of pentacene molecules in organic field-effect transistor devices using polarization-dependent Raman spectroscopy	Bishwajeet Singh Bhardwaj, Takeshi Sugiyama, Naoko Namba, Takayuki Umakoshi, Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani, Prabhat K.	Scientific Reports	10.1038/s41598-019-51647-2	2019/10	9	1	15149		有	有	大阪大学	③-c	R1
369	Evaluating intrinsic mobility from transient terahertz conductivity spectra of microcrystal samples of organic molecular semiconductors	H.Yada, H.Sekine, T.Miyamoto, T.Terashige, R.Uchida, T.Otaki, F.Maruike, N.Kida, T.Uemura, S.Watanabe, T.Okamoto, J.Takeya, H.Okamoto	Applied Physics Letters	10.1063/1.5118262	2019/9	115		143301		有	有	大阪大学	③-c	R1
370	An ultraflexible organic differential amplifier for recording electrocardiograms	Masahiro Sugiyama, Takafumi Uemura, Masaya Kondo, Mihoko Akiyama, Naoko Namba, Shusuke Yoshimoto, Yuki Noda, Tepei Araki, Tsuyoshi Sekitani.	Nature Electronics	10.1038/s41928-019-0283-5	2019/8	2		351	360	有	有	大阪大学	③-c	R1
371	Fine Printing Method of Silver Nanowires Electrodes with Alignment and Accumulation	Ashuya Takemoto, Tepei Araki, Yuki Noda, Takafumi Uemura, Shusuke Yoshimoto, Robert Abbel, Corne Rentrop, Jeroen van den Brand, Tsuyoshi	Nanotechnology	10.1088/1361-6528/ab2aad	2019/7	30	37	37LT03		有	有	大阪大学	③-c H31W15-2	R1
372	Non-contact Laser Printing of Ag Nanowire-based Electrode with Photodegradable Polymers	Tepei Araki, Jaap M J den Toonder, Katsuaki Suganuma, Takafumi Uemura, Yuki Noda, Shusuke Yoshimoto, Shintaro Izumi, Tsuyoshi	Journal of Photopolymer Science, Technology	10.2494/photopolymer.32.429	2019/6	32	3	429	434	有	有	大阪大学	③-c	R1

373	Highly-ordered Triptycene Modifier Layer Based on Blade Coating for Ultraflexible Organic Transistors	Masaya Kondo and Takashi Kajitani and Takafumi Uemura and Yuki Noda and Fumitaka Ishiwari and Yoshiaki Shoji and Tepei Araki and Shusuke Yoshimoto and Takanori Fukushima and Tsuyoshi Sekitani,	Scientific Reports	10.1038/s41598-019-45559-4	2019/6	9		9200		有	有	大阪大学	③-c	R1
374	Long-Term Implantable, Flexible, and Transparent Neural Interface Based on Ag/Au Core-Shell Nanowires	Tepei Araki, Fumiaki Yoshida, Takafumi Uemura, Yuki Noda, Shusuke Yoshimoto, Taro Kajiu, Takafumi Suzuki, Hiroki Hamanaka, Kousuke Baba, Hideki Hayakawa, Taiki Yabumoto, Hideki Mochizuki, Shingo Kobayashi, Masaru Tanaka, Masayuki Hirata, Tsuyoshi Sekitani	Advanced Healthcare Materials	10.1002/adhm.201900130	2019/4	8	10	1900130		有	有	大阪大学	③-c H31W15-2	R1
375	Evaluation of the Validity of Psychological Preparation for Children Undergoing Polysomnography.	Murata E, Kato-Nishimura K, Taniike M, Mohri I.	J Clin Sleep Med	10.5664/jcs.m.8158.	2020/2	16	2	167	174	有	有	大阪大学	④-a	R1
376	Changes in oxygen and carbon dioxide in the genesis of sleep bruxism: a mechanism study.	Suzuki Y, Rompre P, Mayer P, Kato T, Okura K, Lavigne GJ.	J Prosthodont Res	10.1016/j.jpor.2019.04.012	2020/1	64	1	43	47	有	有	大阪大学	④-a	R1
377	Sleep stage estimation method using a camera for home use.	Nochino T, Ohno Y, Kato T, Taniike M, Okada S.	Biomed Eng Lett	10.1007/s13534-019-00108-w	2019/4	9	2	257	265	有	有	立命館大学	④-a	R1
378	Sleep stage dynamics in young patients with sleep bruxism.	Kishi A, Haraki S, Toyota R, Shiraishi Y, Kamimura M, Taniike M, Yatani H, Kato T.	Sleep.	10.1093/sleep/zsz202	2020/1	43	1	zsz202		有	有	大阪大学	④-a	R1
379	テクノロジーを用いた新しい啓発ツール.	吉崎亜里香.	Progress in Medicine		2019/12	32	12	1189	1192	有		大阪大学	④-a	R1
380	Flexible Multifunctional Sensors for Wearable and Robotic Applications	Mengying Xie, Kyohei Hisano, Mingzhu Zhu, Takuya Toyoshi, Min Pan, Shima Okada, Osamu Tsutsumi, Sadao Kawamura, and Chris Bowen	Advanced Materials Technologies	10.1002/admt.201800626	2019/1	4	3	1800626		有	有	立命館大学	④-a	R1
381	Efficient Decision Trees for Multi-class Support Vector Machines Using Entropy and Generalization Error Estimation	Pittipol Kantavat, Boonserm Kijirikul, Patoomsiri Songsiri, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	International Journal of Applied Mathematics and Computer Science (AMCS)	10.2478/amcs-2018-0054	2019/1	28	4	705	717	有	有	大阪大学	④-b	R1
382	Cluster sequence mining from event sequence data and its application to damage correlation analysis	Ken-ichi Fukui, Yoshiyuki Okada, Kazuki Satoh, and Masayuki Numao	Knowledge-Based Systems, Elsevier	10.1016/j.knsys.2019.05.012	2019/9	179		136	144	有	有	大阪大学	④-b	R1
383	Kernelized Evolutionary Distance Metric Learning for Semi-supervised Clustering	Wasin Kalintha, Satoshi Ono, Masayuki Numao, and Ken-ichi Fukui	Intelligent Data Analysis	10.3233/IDA-184283	2019/11	23	6	1271	1291	有	有	大阪大学	④-b	R1
384	アーティストと人工知能技術の協働作曲にみる創造と省察	岡部大介, 大谷紀子	質的心理学研究		2019/3	18		61	75	有		東京都市大学	④-b	R1
385	Anodal transcranial direct current stimulation induces high gamma-band activity in the left dorsolateral prefrontal cortex during a working memory task: A double-blind, randomized, crossover study	Takashi Ikeda, Tetsuya Takahashi, Hirotohi Hiraishi, Daisuke N. Saito, and Mitsuru Kikuchi	Front. Hum. Neurosci.	10.3389/fnhum.2019.00136	2019/4	13		136		有	有	金沢大学	④-d	R1
386	Biopathological significance of early-phase amyloid imaging in the spectrum of Alzheimer's disease.	Bunai T, Kakimoto A, Yoshikawa E, Terada T, Ouchi Y.	J Alzheimers Dis	10.3233/JAD-181188.	2019/3	62	2	529	538	有	有	浜松医大	④-d	R1
387	In vivo direct relation of tau pathology with neuroinflammation in early Alzheimer's disease.	Terada T, Yokokura M, Obi T, Bunai T, Yoshikawa E, Ando I, Shimada H, Suhara T, Higuchi M, Ouchi Y.	J Neurol.	10.1007/s00415-019-09400-2	2019/9	266	9	2186	2196	有	有	浜松医大	④-d	R1

388	Alterations in serotonin transporter and body image-related cognition in anorexia nervosa.	Yokokura M, Terada T, Bunai T, Nakaizumi K, Kato Y, Yoshikawa Futatsubashi M, Suzuki K, Yamasue H, Ouchi Y.	Neuroimage Clin.	10.1016/j.nicl.2019.101928	2019/7	23		101928		有	有	浜松医大	④-d	R1
389	Upregulation of cannabinoid receptor type 2, but not TSPO, in senescence-accelerated neuroinflammation in mice: a positron emission tomography study.	Yamagishi S, Iga Y, Nakamura M, Takizawa C, Fukumoto D, Kakiuchi T, Nishiyama S, Ohba H, Tsukada H, Sato K, Ouchi Y.	J Neuroinflammation.	10.1186/s12974-019-1604-3.	2019/11	16	1	208		有	有	浜松医大	④-d	R1
390	Pre-stimulus Brain Activity Is Associated With State-Anxiety Changes During Single-Session Transcranial Direct Current Stimulation.	Nishida K, Koshikawa Y, Morishima Y, Yoshimura M, Katsura K, Ueda S, Ikeda S, Ishii R, Pascual-Marqui R, Kinoshita T	Front Hum Neurosci.	10.3389/fnhum.2019.00266.	2019/8	13		266		有	有	関西医大	④-d	R1
391	Automated Source Estimation of Scalp EEG Epileptic Activity Using eLORETA Kurtosis Analysis.	Ikeda S, Ishii R, Pascual-Marqui RD, Canuet L, Yoshimura M, Nishida K, Kitaura Y, Katsura K, Kinoshita	Neuropsychobiology	10.1159/000495522	2019/1	77	2	101	108	有	有	関西医大	④-d	R1
392	Atypical body movements during night in young children with autism spectrum disorder: a pilot study	Nobushige Naito, Mitsuru Kikuchi, Yoko Yoshimura, Hirokazu Kumazaki, Sachiko Kitagawa, Takashi Ikeda, Chiaki Hasegawa, Daisuke N. Saito, Sarah Tomiyama & Yoshio Minabe	Scientific Reports	10.1038/s41598-019-43397-y	2019/9	9		6999		有	有	金沢大学	④-e	R1
393	How the realism of robot is needed for individuals with autism spectrum disorders in an interview setting?	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Miyao M, Ishiguro H, Mimura M, Minabe Y, Kikuchi M.	Frontiers in Psychiatry.	10.3389/fpsy.2019.00486	2019/7	10		486		有	有	金沢大学	④-e	R1
394	Brief Report. Olfactory Adaptation in Children with Autism Spectrum Disorders.	Kumazaki H, Muramatsu T, Miyao M, Okada K, Mimura M, Kikuchi M.	Journal of Autism and Developmental Disorders	10.1007/s10803-019-04053-6.	2019/5	49	8	3462	3469	有	有	金沢大学	④-e	R1
395	Comedic experience with two robots aided a child with autism spectrum disorder realize the importance of non-verbal communication.	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Ishiguro H, Sumiyoshi T, Mimura M, Kikuchi M.	Psychiatry and Clinical Neuroscience.	10.1111/pcn.12846.	2019/5	73	7	423		有	有	金沢大学	④-e	R1
396	Role-Play-Based Guidance for Job Interviews Using an Android Robot for Individuals with Autism Spectrum Disorders.	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Ishiguro H, Mimura M, Kikuchi M.	Frontiers in Psychiatry	10.3389/fpsy.2019.00239	2019/4	10		239		有	有	金沢大学	④-e	R1
397	Relaxing Gaze Aversion of Adolescents with Autism Spectrum Disorder in Consecutive Conversations with Human and Android Robot – A Preliminary Study –.	Yoshikawa Y, Kumazaki H, Matsumoto Y, Miyao M, Kikuchi M, Ishiguro H.	Front Psychiatry	10.3389/fpsy.2019.00370.	2019/6	10		370		有	有	金沢大学	④-e	R1
398	Job interview training targeting nonverbal communication using an android robot for individuals with autism spectrum disorder.	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Corbett BA, Matsumoto Y, Higashida H, Yuhi T, Ishiguro H, Mimura M, Kikuchi M.	Autism.	10.3389/1362361319827134.	2019/8	23	6	1586	1595	有	有	金沢大学	④-e	R1
399	Brief report: A novel system to evaluate autism spectrum disorders using two humanoid robots.	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Yoshimura Y, Ikeda T, Hasegawa C, Saito ND, Shimaya J, Ishiguro H, Mimura M, Kikuchi M.	Journal of Autism and Developmental Disorders.	10.1007/s10803-018-3848-7.	2019/4	49	4	1709	1716	有	有	金沢大学	④-e	R1

400	Brief Report: Evaluating the Utility of Varied Technological Agents to Elicit Social Attention from Children with Autism Spectrum Disorders.	Kumazaki H, Warren Z, Swanson A, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Yoshimura Y, Shimaya J, Ishiguro H, Sarkar N, Wade J, Mimura M, Minabe Y, Kikuchi M.	Journal of Autism and Developmental Disorders.	10.1007/s10803-018-3841-1.	2019/4	49	4	1700	1708	有	有	金沢大学	④-e	R1
401	Development of a Highly Potent Analogue and a Long-Acting Analogue of Oxytocin for the Treatment of Social Impairment-Like Behaviors.	Ichinose W, Cherepanov SM, Shabalova AA, Yokoyama S, Yuhi T, Yamaguchi H, Watanabe A, Yamamoto Y, Okamoto H, Horike S, Terakawa J, Daikoku T, Watanabe M, Mano N, Higashida H.	J. Med. Chem.	10.1021/acs.jmedchem.8b01691. Epub 2019 Apr 2.	2019/4	62	7	3297	3310	有	有	金沢大学	④-e	R1
402	Early intervention and perspectives for children with autism spectrum disorder in Japan	Yuko Yoshimura, Sanae Tanaka, Tomoko R Haramak	Pediatric Medicine	10.21037/pm.2019.10.02	2019/12	2		55		有	有	金沢大学	④-e	R1
403	Feasibility of autism-focused public speech training using a simple virtual audience for autism spectrum disorder.	Kumazaki H, Muramatsu T, Kobayashi K, Watanabe T, Terada K, Higashida H, Yuhi T, Mimura M, Kikuchi M.	Psychiatry and Clinical Neuroscience	10.1111/pcn.12949	2019/11	72	2	124	131	有	有	金沢大学	④-e	R1
404	自閉スペクトラム児におけるプロソディ表出面についての評価	三浦優生・松井 智子・藤野博・東條吉邦・計野造 一郎・大井学	発達心理学研究		2019/12	30	4	329	340	有		金沢大学	④-e	R1
405	Evaluation of Problem-Solving Training for Children with Autism Spectrum Disorder and Their Mothers.	Okuno H, Yamamoto T, Tatsumi A, Mohri I, Taniike M.	Japanese Journal of Child and Adolescent Psychiatry	10.20615/jscap.60.2.205	2019/4	60	2	205	218	有	有	大阪大学	⑤-a	R1
406	侵入型ボウリングゲームにおけるメンバーやルールの違いとプレイヤー間の潜在的情報伝達	田附 俊一, 田中 毅, 合田 徳夫	同志社大学ハリス理化学研究報告		2019/4	60	1	36	42	有		同志社大学	⑤-d	R1
407	An efflux inhibitor of the MacAB pump in Salmonella enterica serovar Typhimurium.	Yamagishi, A., S. Nakano, S. Yamasaki, and K. Nishino	Microbiol. Immunol.	10.1111/1384-0421.12765	2019/12	64	3	182	188	有	有	大阪大学	H31W05-2 R1WD01	R1
408	Structure based functional analysis of bacterial multidrug efflux transporters	Seiji Yamasaki, Martijn Zwama, Ryosuke Nakashima, Akihito Yamaguchi, and Kunihiko Nishino	BIO Clinica		2020/2	35	2	155	160	有	有	大阪大学	H31W05-2 R1WD01	R1
409	Mutational analysis of bacterial multidrug efflux transporters contributing to antibiotic resistance	Seiji Yamasaki, Martijn Zwama, Ryosuke Nakashima, Akihito Yamaguchi, and Kunihiko Nishino	Precision Medicine		2019/7	2		856	861	有	有	大阪大学	H31W05-2 R1WD01	R1
410	Brain responses to human-voice processing predict child development and intelligence	Kyung-min An, Rhiaki Hasegawa, Tetsu Hirose, Sanae Tanaka, Daisuke N. Saito, Hirokazu Kumazaki, Ken Yao, Mitsuru Kikuchi, Yuko Yoshimura	Hum Brain Mapp.	10.1002/hbm.24946	2020/2	41		2292	2301	有	有	金沢大学	④-e H31W10-1	R1
411	Association of Exposure to Prenatal Phthalate Esters and Bisphenol A and Polymorphisms in the ESR1 Gene With the Second to Fourth Digit Ratio in School-Aged Children: Data From the Hokkaido Study	Nishimura Y, Moriya K, Kobayashi S, Araki A, Sata F, Mitsui T, Itoh S, Miyashita C, Cho K, Kon M, Nakamura M, Kitta T, Murai S, Kishi R, Shinohara N.	Steroids.	10.1016/j.stero.2020.108637	2020/3	159		108637		有	有	北海道大学	H31W10-2	R1
412	Association between ESR1 polymorphisms and second to fourth digit ratio in school-aged children in the Hokkaido Study.	Nishimura Y, Moriya K, Kobayashi S, Araki A, Sata F, Mitsui T, Itoh S, Miyashita C, Cho K, Kon M, Nakamura M, Kitta T, Murai S, Kishi R, Shinohara N.	Steroids.	10.1016/j.stero.2018.11.011	2019/1	141		55	62	有	有	北海道大学	H31W10-2	R1
413	The shape of disposable diaper affects spontaneous movements of lower limbs in young infants.	Gima H, Teshima M, Tagami E, Sato T, Ohta H.	Sci Rep.	10.1038/s41598-019-52471-4	2019/11	9		16176		有	有	北海道大学	H31W10-2	R1

414	Association Between Maternal Serum Folate Concentrations in the First Trimester and the Risk of Birth Defects: The Hokkaido Study of Environment and Children's Health.	Ito K, Hanaoka T, Tamura N, Sasaki S, Miyashita C, Araki A, Ito S, Minakami H, Cho K, Endo T, Baba T, Miyamoto T, Sengoku K, Tamakoshi A, Kishi R.	J Epidemiol.	10.2188/jea.JE20170185.	2019/4	29	4	164	171	有	有	北海道大学	H31W10-2	R1
415	A Study on Quantification of "subtle" in Care: Targeting Positioning Care	Hyeong Jeong, Tianyi Wang, Maiko Shikama, Yuko Ohno	Impact	10.21820/23987073.2019.3.62	2019/3	3		62	63	有	有	大阪大学	H31W13-1	R1
416	Functional decline in facial expression generation in older women: A cross-sectional study using three-dimensional morphometry.	Tanikawa C, Takata S, Takano R, Yamanami H, Edlira Z, Takada K	PloS one	10.1371/journal.pone.0219451	2019/7	14	7	e0219451		有	有	大阪大学	R1WD07	R1
417	Oxytocin Ameliorates Maternal Separation-Induced Ultrasonic Vocalisation Calls in Mouse Pups Prenatally Exposed to Valproic Acid	Tsuji C *, Fujisaku T, Tsuji T.	J Neuroendocrinol.	10.1111/jne.12850	2020/4	32	4	e12850		有	有	大阪大学	④-e R1WD18-3	R1
418	A monoclonal antibody raised against a synthetic oxytocin peptide stains mouse hypothalamic neurons.	Kogami Y, Tsuji T, Tsuji C, Yokoyama S, Furuhashi K, Lopatina O, Shabalova A, Salmina AB, Watanabe Y, Hattori T, Nishimori K, Kodama K, Higashida H.	J Neuroendocrinol.	10.1111/jne.12815	2020/4	32	4	e12815		有	有	大阪大学	④-e R1WD18-3	R1
419	Coding of odors in the anterior olfactory nucleus.	Tsuji T, Tsuji C, Lozic M, Ludwig M, Leng G.	Physiol Rep.	10.14814/phy2.14284	2019/11	7	22	e14284		有	有	大阪大学	R1WD18-3	R1
420	Oxytocin induced epithelium-mesenchymal transition through Rho-Rock pathway in ARPE-19 cells, a human retinal pigmental cell line.	Tsuji T, Inatani M, Tsuji C, Cherepanov S, Kadosono K.	Tissue and Cell.	10.1016/j.tice.2019.101328	2020/6	64		101328		有	有	大阪大学	④-e R1WD18-3	R1
421	One Single Nucleotide Polymorphism of the TRPM2 Channel Gene Identified as a Risk Factor in Bipolar Disorder Associates with Autism Spectrum Disorder in a Japanese Population.	Mahmuda NA, Yokoyama S, Munosue T, Hayashi K, Yagi K, Tsuji C, Higashida H.	Diseases.	10.3390/diseases8010004.	2020/2	8	1	e4		有	有	大阪大学	R1WD18-3	R1
422	Oxytocin and CD38 in the paraventricular nucleus play a critical role in paternal aggression in mice.	Shabalova AA, Liang M, Zhong J, Huang Z, Tsuji C, Shnyder NA, Lopatina O, Salmina AB, Okamoto H, Yamamoto Y, Zhong ZG, Yokoyama S, Higashida H.	Horm Behav.	10.1016/j.yhbeh.2020.104695	2020/4	120		104695		有	有	大阪大学	R1WD18-3	R1
423	CD38, CD157, and RAGE as Molecular Determinants for Social Behavior.	Higashida H, Hashii M, Tanaka Y, Matsukawa S, Higuchi Y, Gabata R, Tsubomoto M, Seishima N, Teramachi M, Kamijima T, Hattori T, Hori O, Tsuji C, Cherepanov SM, Shabalova AA, Gerasimenko M, Minami K, Yokoyama S, Munosue SI, Harashima A, Yamamoto Y, Salmina AB, Lopatina O.	Cells.	10.3390/cells9010062.	2019/12	9	1	62		有	有	大阪大学	R1WD18-3	R1
424	Pathological and therapeutic implications of eosinophil-derived semaphorin 4D in eosinophilic chronic rhinosinusitis	Tsuda T, Nishide M, Maeda Y, Hayama Y, Koyama S, Nojima S, Takamatsu H, Okuzaki D, Morita T, Nakatani T, Kato Y, Nakanishi Y, Futami Y, Suga Y, Naito Y, Konaka H, Satoh S, Naito M, Izumi M, Obata S, Nakatani A, Shikina T, Takeda K, Hayama M, Inohara H.	J Allergy Clin Immunol.	10.1016/j.jaci.2019.12.893.	2020/3	145	3	843	854	有	有	大阪大学	①-a	R2
425	Blockade of N-Glycosylation Promotes Antitumor Immune Response of T Cells.	Sasawatani S, Okamoto Y, Kumanogoh A, Toyofuku T.	J Immunol.	10.4049/jimmunol.1900937.	2020/3	204	5	1373	1385	有	有	大阪大学	①-a	R2

426	Hydrolytically stable monolayers derived from epoxy silane	Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Fumie Takei, Kazuhiko Nakatani, and Ichiro Yamashita	Chemistry Letters	10.1246/cl.190700	2019/11	49	2	129	132	有	有	大阪大学	①-a	R2
427	Primary ammonium terephthalate salts with high moisture resistance and their application to OH radical detection	Tepei Hosokawa, Sachiko Inazato, and Norimitsu Tohnai	Chempluschem.	10.1002/cplu.202000653	2020/12	85	12	2666	2671	有	有	パナソニック、大阪大学	①-a	R2
428	Identification of Genetic Variants via Bacterial Respiration Gas Analysis.	Naoki Koga, Takuro Hosomi, Martijn Zwama, Chaiyanut Jirayupat, Takeshi Yanagida, Kunihiko Nishino*, Seiji Yamasaki*	Frontiers in Microbiology.	10.3389/fmicb.2020.581571	2020/11	11		581571		有	有	大阪大学	①-b R02W08 R1WD01	R2
429	Short-term efficacy of home-based heart rate variability biofeedback on sleep disturbance in patients with incurable cancer: a randomised open-label study.	Hideaki Hasuo, Kenji Kanbara, Hisaharu Shizuma, Yukihiko Morita, Mikihiko Fukunaga	BMJ Supportive & Palliative Care 2020;0:1-9.	10.1136/bmjspcare-2020-002324	2020/9			1	9	有	有	関西医大、香川大、パナソニック	②-a	R2
430	Imperceptible magnetic sensor matrix system integrated with organic driver and amplifier circuits	M. Kondo, M. Melzer, D. Kamaushenko, T. Uemura, S. Yoshimoto, M. Akiyama, Y. Noda, T. Araki, O. G. Schmidt, and T. Sekitani	Science Advances	10.1126/sciadv.aay6094	2020/1	6	4	6094		有	有	大阪大学	③-c	R2
431	Printable Transparent Microelectrodes toward Mechanically and Visually Imperceptible Electronics	Ashuya Takemoto, Tepei Araki, Takafumi Uemura, Yuki Noda, Shusuke Yoshimoto, Shintaro Izumi, Shuichi Tsuruta, Tsuyoshi Sekitani	Advanced Intelligent Systems	10.1002/aisy.202000093	2020/8	2	11	200093		有	有	大阪大学	③-c	R2
432	Probing inter-molecular interactions of dinaphthothienothiophene (DNTT) molecules in a transistor device using low-frequency Raman spectroscopy	Bishwajeet Singh Bhardwaj, Rhea Thankam Sam, Takayuki Umakoshi, Naoko Namba, Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani, Prabhat Verma	Applied Physics Express	10.35848/1882-0786/ab6e0d	2020/1	13	2	22010		有	有	大阪大学	③-c	R2
433	Flexible Neural Interfaces for Brain Implants— the Pursuit of Thinness and High Density	Tepei Araki, Lukas M. Bongartz, Taro Kajiu, Ashuya Takemoto, Shuichi Tsuruta, Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani	Flexible and Printed Electronics	10.1088/2058-8585/abc3ca	2020/11	5	4	43002		有	有	大阪大学	③-c	R2
434	Interactive Smartphone App, “Nenne Navi”, to Improve Children’s Sleep: A Pilot Study.	Yoshizaki A, Mohri I, Yamamoto T, Shiota A, Okada S, Murata E, Hoshino K, Kato-Nishimura K, Matsuzawa S, Kato T, Taniike M.	JMIR Pediatrics and Parenting	10.2196/22102.	2020/12	3	2	22102		有	有	大阪大学	④-a	R2
435	Polysomnographic analysis of respiratory events during sleep in young nonobese Japanese adults without clinical complaints of sleep apnea.	Mutsumi Okura, Shigeru Nonoue, Akiko Tsujisaka, Shingo Haraki, Chizuko Yoko, Masako Taniike, Takafumi Kato.	Journal of Clinical Sleep Medicine	10.5664/jcsm.8498	2020/8	16	8	1303	1310	有	有	大阪大学	④-a	R2
436	First night effect on polysomnographic sleep bruxism diagnosis varies among young subjects with different degrees of rhythmic masticatory muscle activity.	Shingo Haraki, Akiko Tsujisaka, Risa Toyota, Yuki Shiraishi, Hiroyoshi Adachi, Shoichi Ishigaki, Hirofumi Yatani, Masako Taniike, Takafumi Kato.	Sleep Medicine	10.1016/j.sleep.2020.08.012	2020/11	75		395	400	有	有	大阪大学	④-a	R2
437	Effectiveness of a Teacher Training Program for Students with Symptoms of Developmental Disorders: Data from a Correspondence High School in Japan	Ishii A, Okuno H, Nakaoka T, Iwasaka H, Taniike M.	Int J Environ Res Public Health	10.3390/ijerph17093100	2020/4	17	9	3100		有	有	大阪大学	⑤-a	R2
438	Sleep Age Sleep Quality Assessment from Nocturnal Sound in Home Environment	Wasin Kalintha, Takafumi Kato, Ken-ichi Fukui.	Procedia Computer Science	10.1016/j.procs.2020.09.085	2020/9	176		898	907	有	有	大阪大学	④-a	R2
439	音楽大学の楽曲制作プロジェクトにおける人工知能を活用した学習環境デザインの事例	岡部大介, 大谷紀子, 永盛祐介	教育システム情報学会誌		2020/1	37	2	161	166	有		東京都市大学	④-b	R2

440	Congruency of intervening events and self-induced action influence prediction of final results	Tsukasa Kimura and Jun'ichi Katayama	Experimental Brain Research	10.1007/s00221-020-05735-9	2020/1	238	3	575	586	有	有	大阪大学	④-b	R2
441	Warmer Environments Increase Implicit Mental Workload Even If Learning Efficiency Is Enhanced	Tsukasa Kimura, Noriko Takemura, Yuta Nakashima, Hirokazu Kobori, Hajime Nagahara, Masayuki Numao, Kazumitsu Shinohara	Frontiers in Psychology	10.3389/fpsyg.2020.00568	2020/4	11		568		有	有	大阪大学	④-b	R2
442	座圧測定による感情状態推定の試み	木村司、植山七海、片山順一	生理心理学と精神生理学	10.5674/jjppp.2001br	2020/6			0289-2405		有		大阪大学	④-b	R2
443	Towards Multimodal Office Task Performance Estimation	Nattapat Boonprakong, Tsukasa Kimura, Ken-ichi Fukui, Kazuya Okada, Masato Ito, Hiroshi Maruyama, and Masayuki Numao,	Conference: IEEE International Conference on Systems, Man, and Cybernetics (SMC2020)	10.1109/SMC42975.2020.9283107	2020/12			2695	2701	有	有	大阪大学	④-b	R2
444	Comparative Study of Wet and Dry Systems on EEG-based Cognitive Tasks	Taweesak Emsawas, Tsukasa Kimura, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao.	International Conference on Brain Informatics (BI2020)	10.1007/978-3-030-59277-6_28	2020/9	###		309	318	有	有	大阪大学	④-b	R2
445	Reinforcement Learning based Metric Filtering for Evolutionary Distance Metric Learning	Bassel Ali, Koichi Moriyma, Wasin Kalintha, Masayuki Numao, and Ken-ichi Fukui	Intelligent Data Analysis	10.3233/IDA-194887	2020/12	24	6	1345	1364	有	有	大阪大学	④-b	R2
446	Spatio-Temporal Change Detection with Granger Causality Based Cluster Sequence Mining	Nat Pavasant, Masayuki Numao, and Ken-ichi Fukui.	2020 19th IEEE International Conference on Machine Learning and Applications (ICMLA)	10.1109/ICMLA51294.2020.00092	2020/12			232062635		有	有	大阪大学	④-b	R2
447	Renoprotective and neoprotective effects of enteric hydrogen generation from Si-based agent	Y. Kobayashi, R. Imamura, Y. Koyama, M. Kondo, H. Kobayashi, and S. Shimada	Sci. Rep.	10.1038/s41598-020-62755-9	2020/4	10		5859		有	有	大阪大学	④-c	R2
448	Novel hydrogen-producing Si-based agent reduces oxidative stress, and improves sperm motility and in vitro fertilization rate in varicocele	Y. Inagaki, S. Fukuhara, R. Imamura, Y. Kobayashi, S. Kurabayashi, K. Okada, Y. Sekii, K. Takezawa, H. Kiuchi, M. Uemura, H. Kobayashi, N. Nonomura	Andrology	10.1111/andr.12890	2020/8	9	1	376	383	有	有	大阪大学	④-c	R2
449	Oral administration of Si-based agent attenuates oxidative stress and Ischemia-reperfusion injury in a rat model: A novel hydrogen administration method	M. Kawamura, A. Taniguchi, Y. Kobayashi, S. Nakazawa, T. Kato, T. Abe, M. Uemura, H. Kobayashi, and N. Nonomura	Front Med (Lausanne).	10.3389/fmed.2020.00095.	2020/3	7		95		有	有	大阪大学	④-c	R2
450	Changes in structure and surface properties of Si-based agent during hydrogen generation reaction	Y.Kobayashi, Y.Kowada, T. Shirohata, H.Kobayashi	Appl. Surf. Sci.	10.1016/j.apsusc.2020.147361	2021/1	535		147361		有	有	大阪大学	④-c	R2
451	Structure and hydrogen generation mechanism of Si-based agent	Y. Kobayashi, S. Fujie, K. Imamura, and H. Kobayashi	Appl. Surf. Sci.	10.1016/j.apsusc.2020.147398	2021/1	536		147398		有	有	大阪大学	④-c	R2
452	Efficacy of a Si-based agent against developing renal failure in a rat remnant kidney model	R Imamura, M Kawamura, A Taniguchi, Y Kobayashi, S Nakazawa, T Kato, T Abe, M Uemura, H Kobayashi, N Nonomura.	Biochem Biophys Res Commun.	10.1016/j.bbrc.2020.10.067.	2020/12	533	4	698	703	有	有	大阪大学	④-c	R2
453	In vivo depiction of mitochondrial and glycolytic impairments in Alzheimer's disease.	Terada T, Obi T, Bunai T, Matsudaira T, Yoshikawa E, Ando I, Futatsubashi M, Tsukada H, Ouchi Y.	Neurology	10.1212/WNL.0000000000009249	2020/4	94	15	1592	1604	有	有	浜松医大	④-d	R2
454	Coexistence of cerebral hypometabolism and neuroinflammation in the thalamo- limbic-brainstem region in young women with functional somatic syndrome.	Matsudaira T, Terada T, Obi T, Yokokura M, Takahashi Y, Ouchi Y.	EJNMMI Res.	10.1186/s13550-020-00617-1	2020/3	10	1	29		有	有	浜松医大	④-d	R2

455	In vivo imaging of dopamine D1 receptor and activated microglia in attention-deficit/hyperactivity disorder: A positron emission tomography study.	Yokokura M, Takebayashi K, ATakao A, Nakaizumi K, Yoshikawa E, Futatsubashi M, Suzuki K, Nakamura K, Yamasue H, Ouchi Y.	Mol Psychiatry	10.1038/s41380-020-0784-7	2020/5			32439845		有	有	浜松医大	④-d	R2
456	Neural correlates of head restraint: unsolicited neuronal activation and dopamine release.	Inubushi T, Ito M, Mori Y, Futatsubashi M, Sato K, Ito S, Yokokura M, Shinke T, Kameno Y, Kakimoto A, Kanno T, Okada H, Ouchi Y, Yoshikawa E.	Neuroimage	10.1016/j.neuroimage.2020.117434	2020/10	224		117434		有	有	浜松医大	④-d	R2
457	Neural correlates of standing imagery and execution in Parkinsonian patients: the relevance to striatal dopamine dysfunction.	Mori Y, Yoshikawa E, Futatsubashi M, Ouchi Y.	PLoS One	10.1371/journal.pone.0240998	2020/10	15	10	240998		有	有	浜松医大	④-d	R2
458	tDCS-induced modulation of GABA concentration and dopamine release in the human brain: A combination study of magnetic resonance spectroscopy and positron emission tomography	Tomoyasu Bunai, Tetsu Hirose, Mitsuru Kikuchi, Mina Fukai, Masamichi Yokokura, Shigeru Ito, Yohei Takata, Tatsuhiro Terada, Yasuomi Ouchi	Brain Stimul.	10.1016/j.brs.2020.12.010.	2021/1	14	1	154	160	有	有	浜松医大	④-d	R2
459	Different associations between intelligence and social cognition in children with and without autism spectrum disorders	Tetsu Hirose, Keiko Kontani, Mina Fukai, Masafumi Kameya, Daiki Soma, Shoryoku Hino, Tatsuhiro Kitamura, Chiaki Hasegawa, Kyung-min An, Tetsuya Takahashi, Yuko Yoshimura, Mitsuru Kikuchi	PLOS ONE	10.1371/journal.pone.0235380	2020/8	15	8	235380		有	有	金沢大学	④-e	R2
460	The maturation of the P1m component in response to voice from infancy to 3 years of age: A longitudinal study in young children	Yuko Yoshimura, Chiaki Hasegawa, Takashi Ikeda, Daisuke N. Saito, Hiroto Hiraishi, Tetsuya Takahashi, Hirokazu Kumazaki, Mitsuru Kikuchi	Brain and Behavior	10.1002/brb3.1706	2020/6	10	8	1706		有	有	金沢大学	④-e	R2
461	Relationship between epileptiform discharges and social reciprocity or cognitive function in children with and without autism spectrum disorders: an MEG study	Tetsu Hirose MD, PhD, Paul F. Sowman PhD, Mina Fukai MD, Masafumi Kameya MD, Daiki Soma MD, Shoryoku Hino MD, PhD, Tatsuhiro Kitamura MD, PhD, Kyung-min An PhD, Yuko Yoshimura PhD, Chiaki Hasegawa PhD, Daisuke Saito PhD, Takashi Ikeda PhD, Mitsuru Kikuchi MD, PhD	Psychiatry and Clinical Neurosciences	10.1111/pcn.13093	2020/6	74		496	512	有	有	金沢大学	④-e	R2
462	Neural Decoding of Multi-Modal Imagery Behavior Focusing on Temporal Complexity	Naoki Furutani, Yuta Nariya, Tetsuya Takahashi, Haruka Ito, Yuko Yoshimura, Hiroto Hiraishi, Chiaki Hasegawa, Takashi Ikeda and Mitsuru Kikuchi	Frontiers in Psychiatry	10.3389/fpsy.2020.00746	2020/7	11		746		有	有	金沢大学	④-e	R2
463	Markers for the central serotonin system correlate to verbal ability and paralinguistic social voice processing in autism spectrum disorder	Yuko Yoshimura, Mitsuru Kikuchi, Daisuke N. Saito, Tetsu Hirose, Tetsuya Takahashi, Toshio Munesue, Hirota Kosaka, Nobushige Naito, Yasuomi Ouchi & Yoshio Minabe	Scientific Reports	10.1038/s41598-020-71254-w	2020/9	10	1	14558		有	有	金沢大学	④-e	R2

464	Decomposed Temporal Complexity Analysis of Neural Oscillations and Machine Learning Applied to Alzheimer's Disease Diagnosis	Naoki Furutani, Yuta Nariya, Tetsuya Takahashi, Sarah Noto, Albert C. Yang, Tetsu Hirosawa, Masafumi Kameya, Yoshio Minabe and Mitsuru Kikuchi	Frontiers in Psychiatry	10.3389/fpsy.2020.531801	2020/9	11		531801		有	有	金沢大学	④-e	R2
465	Optimal robot for intervention for individuals with autism spectrum disorders.	Kumazaki H, Muramatsu T, Yoshikawa Y, Matsumoto Y, Ishiguro H, Kikuchi M, Sumiyoshi T, Mimura M.	Psychiatry Clin Neurosci.	10.1111/pcn.13132	2020/8	74		581	586	有	有	金沢大学	④-e	R2
466	One Single Nucleotide Polymorphism of the TRPM2 Channel Gene Identified as a Risk Factor in Bipolar Disorder Associates with Autism Spectrum Disorder in a Japanese Population	Naila Al Mahmuda, Shigeru Yokoyama, Toshio Munesue, Kenshi Hayashi, Kunimasa Yagi, Chiharu Tsuji, Haruhiro Higashida	Diseases	10.3390/diseases8010004	2020/7	8	1	4		有	有	金沢大学	④-e	R2
467	自閉スペクトラム症の多様性を踏まえた理解に向けて	菊知 充	日本小児精神神経学会機関誌 小児の精神と神経	10.24782/jsppn.60.3.211	2020/10	60	3	211	213	有		金沢大学	④-e	R2
468	Oxytocin and CD38 in the paraventricular nucleus play a critical role in paternal aggression in mice.	Shabalova AA, Liang M, Zhong J, Huang Z, Tsuji C, Shnyder NA, Lopatina O, Salmina AB, Okamoto H, Yamamoto Y, Zhong ZG, Yokoyama S, Higashida H.	Horm Behav. 120:104695, 2020.	10.1016/j.yhbeh.2020.104695	2020/4	120		104695		有	有	金沢大学	④-e	R2
469	Nicotinamide riboside supplementation corrects deficits in oxytocin, sociability and anxiety of CD157 mutants in a mouse model of autism spectrum disorder.	Gerashenko M, Cherepanov SM, Furuhashi K, Lopatina O, Salmina AB, Shabalova AA, Tsuji C, Yokoyama S, Ishihara K, Brenner C, Higashida H.	Sci Rep.	10.1038/s41598-019-57236-7	2020/6	10	1	10035		有	有	金沢大学	④-e	R2
470	Participatory art activities increase salivary oxytocin secretion of ASD children.	Sanae Tanaka, Aiko Komagome, Aya Iguchi-Sherry, Akiko Nagasaka, Teruko Yuhi, Haruhiro Higashida, Maki Rooksby, Mitsuru Kikuchi, Oko Arai, Kana Minami, Takahiro Tsuji and	Brain Sciences	10.3390/brainsci10100680	2020/9	10	10	680		有	有	金沢大学	④-e	R2
471	Auditory steady-state response at 20 Hz and 40 Hz in young typically developing children and children with autism spectrum disorder.	Yasuki Ono, Kiwamu Kudoh, Takashi Ikeda, Tetsuya Takahashi, Yuko Yoshimura, Yoshio Minabe, Mitsuru Kikuchi	Psychiatry Clin Neurosci.	10.1111/pcn.12998	2020/6	74	6	354	361	有	有	金沢大学	④-e	R2
472	Aberrant Brain Oscillatory Coupling from the Primary Motor Cortex in Children with Autism Spectrum Disorders	Kyung-min An, Takashi Ikeda, Chiaki Hasegawa, Yuko Yoshimura, Sanae Tanaka, Daisuke N. Saito, Ken Yaoi, Sumie Iwasaki, Tetsu Hirosawa, Mitsuru Kikuchi	NeuroImage: Clinical	10.1016/j.nicl.2021.102560	2021/1	29	36	102560		有	有	金沢大学	④-e	R2
473	中学校体育における教師への言語的コミュニケーションデータのフィードバックによる授業改善の試みーダンス授業における生徒の対話的学習活動に着目してー	中島寿宏、河本岳哉、高橋正年	北海道体育学研究		2019/9	54		125	132	有		北海道教育大学	⑤-b	R2
474	中学校体育におけるチーム・ティーチング授業改善の試みーウェアラブルセンシングツールによる授業者への可視化データのフィードバックー	中島寿宏、高橋正年、河本岳哉、高瀬淳也	北海道体育学研究		2020/12	55		9	18	有		北海道教育大学	⑤-b	R2
475	The lysosomal Regulator complex plays an essential role in leukocyte trafficking by activating myosin II.	Nakatani T, Tsujimoto K, Park J, Jo T, Kimura T, Hayama Y, Konaka H, Morita T, Kato Y, Nishide M, Koyama S, Nada S, Okada M, Takamatsu H,	A.Nat Commun.	10.1038/s41467-021-23654-3	2021/6	12	1	3333		有	有	大阪大学	①-a	R3

476	Predicting recurrence of respiratory failure in critically ill patients with COVID-19: A preliminary study.	Adachi Y, Shiroyama T, Yamaguchi Y, Murakami T, Hirata H, Noda S, Niitsu T, Noda Y, Hara R, Enomoto T, Morita T, Kato Y, Uchiyama A, Takeda Y, Kumanogoh A.	J Infect.	10.1016/j.jinf.2021.01.016.	2021/5	82	5	33	35	有	有	大阪大学	①-a	R3
477	Neural guidance factors as hubs of immunometabolic crosstalk.	Nakanishi Y, Kang S, Kumanogoh A.	Int Immunol.	10.1093/intimm/dxab035.	2021/6			dxab035		有	有	大阪大学	①-a	R3
478	Cytomegalovirus infection in critically ill patients with COVID-19.	Niitsu T, Shiroyama T, Hirata H, Noda Y, Adachi Y, Enomoto T, Hara R, Amiya S, Uchiyama A, Takeda Y, Kumanogoh A.	J Infect.	10.1016/j.jinf.2021.07.004.	2021/10	83	4	496	522	有	有	大阪大学	①-a	R3
479	IL-33 Induces Sema4A Expression in Dendritic Cells and Exerts Antitumor Immunity.	Suga Y, Nagatomo I, Kinehara Y, Koyama S, Okuzaki D, Osa A, Naito Y, Takamatsu H, Nishide M, Nojima S, Ito D, Tsuda T, Nakatani T, Nakanishi Y, Futami Y, Koba T, Satoh S, Hosono Y, Miyake K, Fukushima K, Shiroyama T, Iwahori K, Hirata H, Takeda Y.	J Immunol.	10.4049/jimmunol.2100076.	2021/9	207	5	1456	1467	有	有	大阪大学	①-a	R3
480	Longer Prehospitalization and Preintubation Periods in Intubated Non-survivors and ECMO Patients With COVID-19: A Systematic Review and Meta-Analysis.	Funakoshi K, Morita T, Kumanogoh A.	Front Med (Lausanne).	10.3389/fmed.2021.727101	2021/10	8		727101		有	有	大阪大学	①-a	R3
481	RT-Hpro-PCR: A MicroRNA Detection System Using a Primer with a DNA Tag	Fumie Takei, Misaki Akiyama, Asako Murata, Ayako Sugai, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	ChemBioChem	10.1002/cbic.201900382	2019/8	21		477	480	有	有	大阪大学	①-a	R3
482	Anomalous Enhancement of Electrochemical Charge Transfer by a Ru Complex Ion Intercalator	HuanWen Han, Kazuyuki Nobusawa, and Ichiro Yamashita	Anal. Chem.	10.1021/acs.analchem.1c03681	2021/12			34928123		有	有	大阪大学	①-a	R3
483	Behavioral effect of mismatch negativity neurofeedback on foreign language learning	Ming Chang, Hideyuki Ando, Taro Maeda, Yasushi Naruse	PLoS ONE	10.1371/journal.pone.0254771	2021/7/20	16	7	e0254771		有	有	NICT-CiNet	②-a	R3
484	The Association Between Heart Rate Variability and Quality of Life in Patients with Functional Somatic Syndrome and Healthy Controls	Kenji Kanbara, Yukihiro Morita, Hideaki Hasuo, Tetsuya Abe	Applied Psychophysiology and Biofeedback	10.1007/s10484-021-09515-1	2021/9	46	3	279	285	有	有	関西医大、バナソニック	②-a	R3
485	Suppression of DNA Double-Strand Break Formation by DNA Polymerase β in Active DNA Demethylation is Required for Development of Hippocampal Pyramidal Neurons.	Akiko Uyeda, Kohei Onishi, Teruyoshi Hirayama, Satoko Hattori, Tsuyoshi Miyakawa, Takeshi Yagi, Nobuhiko Yamamoto and Noriyuki Sugo	Journal of Neuroscience	10.1523/JNEUROSCI.0319-20.2020.	2020/11	40	47	9012	9027	有	有	大阪大学	②-b	R3
486	Time-resolved neurotransmitter detection in mouse brain tissue using an artificial intelligence-nanogap.	Yuki Komoto, Takahito Ohshiro, Takeshi Yoshida, Etsuko Tarusawa, Takeshi Yagi, Takashi Washio & Masateru Taniguchi	Scientific Reports	10.1038/s41598-020-68236-3.	2020/7	10	1	11244		有	有	大阪大学	②-b	R3
487	Development of FRET-based indicators for visualizing homophilic trans interaction of a clustered protocadherin.	Kanadome T, Hoshino N, Nagai T, Matsuda T, Yagi T.	Scientific Reports	10.1038/s41598-021-01481-2	2021/11	11	1	22237		有	有	大阪大学	②-b	R3

488	Combining machine learning and nanopore construction creates an artificial intelligence nanopore for coronavirus detection	Masateru Taniguchi, Shohei Minami, Chikako Ono, Rina Hamajima, Ayumi Morimura, Shigeto Hamaguchi, Yukihiko Akeda, Yuta Kanai, Takeshi Kobayashi, Wataru Kamitani, Yutaka Terada, Koichiro Suzuki, Nobuaki Hatori, Yoshiaki Yamagishi, Nobuei Washizu, Hiroyasu Takei, Osamu Sakamoto, Norihiko Naono, Kenji Tatematsu, Takashi Washio, Yoshiharu Matsuura & Kazunori Tomono	Nature Communications	10.1038/s41467-021-24001-2.	2021/6	12		3726		有	有	大阪大学	③-a	R3
489	Rapid Improvements in Charge Carrier Mobility at Ionic Liquid/Pentacene Single Crystal Interfaces by Self-Cleaning	Yusuke Morino, Yasuyuki Yokota, Hisaya Hara, Ken-ichi Bando, Sakurako Ono, Akihito Imanishi, Yugo Okada, Hiroyuki Matsui, Takafumi Uemura, Jun Takeya, and Ken-ichi Fukui	Phys. Chem. Chem. Phys.	10.1039/d0cp00149j	2020/2	22	11	6131	6135	有	有	大阪大学	③-c	R3
490	Polarization Raman Imaging of Organic Monolayer Islands for Crystal Orientation Analysis	Taki Moriyama, Takayuki Umakoshi, Yoshiaki Hattori, Koki Taguchi, Prabhat Verma, and Masatoshi Kitamura	ACS Omega	10.1021/acsomega.0c06313	2021/3	6	14	9520	9527	有	有	大阪大学	③-c	R3
491	Broadband Plasmon Nanofocusing: Comprehensive Study of Broadband Nanoscale Light Source	Koki Taguchi, Takayuki Umakoshi, Shota Inoue, and Prabhat Verma	The Journal of Physical Chemistry C	10.1021/ACS.JPCC.0C11541	2021/3	125	11	6378	6386	有	有	大阪大学	③-c	R3
492	Imperceptible Energy Harvesting Device and Biomedical Sensor Based on Ultraflexible Ferroelectric Transducers and Organic Diodes	Andreas Petritz, Esther Kerner-Petritz, Takafumi Uemura, Philipp Schaffner, Teppei Araki, Barbara Stadlober, Tsuyoshi Sugiyama	Nature Communications	10.1038/s41467-021-22663-6	2021/4	12	1	2399		有	有	大阪大学	③-c	R3
493	Mobility enhancement of DNTT and BTBT derivative organic thin-film transistors by triptycene molecule modification	Masahiro Sugiyama, Sophie Jancke, Takafumi Uemura, Masaya Kondo, Yumi Inoue, Naoko Namba, Teppei Araki, Takanori Fukushima, and Tsuyoshi Sekitani	Organic Electronics	10.1016/j.orgel.2021.106219	2021/9	96		106219		有	有	大阪大学	③-c	R3
494	Effect of Macroscale Mesh Design of Metal Nanowire Networks on the Conductive Properties for Stretchable Electrodes	Satoshi Takane, Yuki Noda, Naomi Toyoshima, and Tsuyoshi Sekitani	Applied Physics Letters.	10.1063/5.0051935	2021/6	118	24	243102		有	有	大阪大学	③-c	R3
495	Heterogeneous Functional Dielectric Patterns for Charge-Carrier Modulation in Ultraflexible Organic Integrated Circuits	Koki Taguchi, Takafumi Uemura*, Naoko Namba, Andreas Petritz, Teppei Araki, Masahiro Sugiyama, Barbara Stadlober, and Tsuyoshi Sekitani	Advanced Materials	10.1002/adma.202104446	2021/11	33	45	e2104446		有	有	大阪大学	③-c	R3
496	Low-temperature Printable and Stretchable Circuit Board and Its Application to Flexible Hybrid Electronics	Teppei Araki, Yusuke Okabe, Naoko Kurihira, Yuku Kasai, Yuki Noda, Tsuyoshi Sekitani	2021 International Conference on Electronics Packaging	10.23919/ICEP51988.2021.9451994	2021/5			61	62	有	有	大阪大学	③-c	R3
497	Frequency Characteristics of Ultrathin and Transparent Organic Electrochemical Transistors with 1- μ m-Thick Polyethylene Lamination	Kazuya Nishimura, Teppei Araki, Ashuya Takemoto, Mihoko Akiyama, Kazuki Kiriya, Yuku Kasai, Naoko Kurihira, Takafumi Uemura,	2021 International Conference on Electronics Packaging	10.23919/ICEP51988.2021.9451962	2021/5			145	146	有	有	大阪大学	③-c	R3
498	Ultraflexible Magnetic Sensor System Integrated with Organic Multifunctional Circuits	Takafumi Uemura and Tsuyoshi Sekitani	SPIE Proceedings Vol. 11810, Proceedings Presentation, Organic and Hybrid Sensors and Bioelectronics XIV, 118100M	10.1117/12.2595004	2021/8	###		238774510		有	有	大阪大学	③-c	R3
499	A photocurable bioelectronics-tissue interface	Tsuyoshi Sekitani	Nature Materials	10.1038/s41563-021-01103-2	2021/10	20	11	1460	1461	有	有	大阪大学	③-c	R3

500	Use of a Sensing Device to Visualizes Group Participation in Social Skills Learning Groups	Yamamoto T, Okuno H, Tatsumi A, Sakai S, Mohri I, Taniike M.	Frontiers in Psychiatry	10.3389/fpsy.2021.642949	2021/4	12		642949		有	有	大阪大学	④-a, ⑤-a	R3
501	Sleep and the General Behavior of Infants and Parents during the Closure of Schools as a Result of the COVID-19 Pandemic: Comparison with 2019 Data.	Shinomiya Y, Yoshizaki A, Murata E, Fujisawa TX, Taniike M, Mohri I.	Children (Basel). 8(2):168. 2021	10.3390/children8020168.	2021/2	8	2	168		有	有	大阪大学	④-a	R3
502	An Interactive Smartphone App, "Nenne Navi®," to Improve Children's Sleep: A Pilot Study.	Yoshizaki A, Mohri I, Yamamoto T, Shiota A, Okada S, Murata E, Hoshino K, Kato-Nishimura K, Matsuzawa S, Kato T, Taniike M.	JMIR Pediatrics and Parenting	10.2196/22102	2020/12	3	2	e22102		有	有	大阪大学	④-a	R3
503	Clinical evaluation of neuroinflammation in child-onset focal epilepsy: a translocator protein PET study.	Kagitani-Shimono K, Kato H, Kuwayama R, Tominaga K, Nabatame S, Kishima H, Hatazawa J, Taniike M.	J Neuroinflammation.	10.1186/s12974-020-02055-1.	2021/1	18	1	8		有	有	大阪大学	④-a	R3
504	Estimating Sleep Stages using a Head Acceleration Sensor.	Yoshihi M, Okada S, Wang T, Kitajima T, Makikawa M.	Sensors(Basel)	10.3390/s21030952	2021/2	21	3	952		有	有	立命館大学	④-a	R3
505	Sleep stage-dependent changes in tonic masseter and cortical activities in young subjects with primary sleep bruxism.	Risa Toyota, Ken-Ichi Fukui, Mayo Kamimura, Ayano Katagiri, Hajime Sato, Hiroki Toyoda, Pierre Rompré, Kazunori Ikebe, Takafumi Kato	Sleep	10.1093/sleep/zsab207	2021/8			zsab207		有	有	大阪大学	④-a	R3
506	Relationships between cortical, cardiac, and arousal-motor activities in the genesis of rhythmic masticatory muscle activity across sleep cycles in primary sleep bruxism children.	Yuki Shiraiishi, Masaya Tachibana, Ai Shiota, Ikuko Mohri, Masako Taniike, Takashi Yamashiro, Takafumi Kato.	Sleep	10.1093/sleep/zsab156	2021/6			zsab156		有	有	大阪大学	④-a	R3
507	Discrepancies in the Time Course of Sleep Stage Dynamics, Electroencephalographic Activity and Heart Rate Variability Over Sleep Cycles in the Adaptation Night in Healthy Young Adults.	Ai Shiota, Mayo Kamimura, Akifumi Kishi, Hiroyoshi Adachi, Masako Taniike, Takafumi Kato.	Frontiers in Physiology	10.3389/fphys.2021.623401	2021/3	12		623401		有	有	大阪大学	④-a	R3
508	A lack of specific motor patterns between rhythmic/non-rhythmic masticatory muscle activity and bodily movements in sleep bruxism.	Hidetoshi Imai, Shingo Haraki, Akiko Tsujisaka, Mutsumi Okura, Hiroyoshi Adachi, Yuko Ohno, Hirofumi Yatani, Takafumi Kato.	J Prosthodont Res.	10.2186/jpr.JPR_D_20_00012.	2021/8	65	3	399	404	有	有	大阪大学	④-a	R3
509	Explainable and Unexpected Recommendations using Relational Learning on Multiple Domains	Sirawit Sopchoke, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao.	Intelligent Data Analysis	10.3233/IDA-194729	2020/12	24	6	1289	1308	有	有	大阪大学	④-b	R3
510	Learning Subject-Generalized Topographical EEG Embeddings Using Deep Variational Autoencoders and Domain-Adversarial Regularization	Juan Lorenzo Hagad, Tsukasa Kimura, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao.	Sensors	10.3390/s21051792	2021/3	21	5	1792		有	有	大阪大学	④-b	R3
511	A Comparative Study of Window Size and Channel Arrangement on EEG-Emotion Recognition Using Deep CNN	Panayu Keelawat, Nattapong Thammasan, Masayuki Numao, and Boonserm Kijirikul.	Sensors	10.3390/s21051678	2021/3	21	5	1678		有	有	大阪大学	④-b	R3
512	Si-based hydrogen-producing nanoagent protects the fetus from miscarriage caused by mother-to-child transmission.	N. Usui, S. Togawa, T. Sumi, Y. Kobayashi, Y. Koyama, Y. Nakamura, M. Kondo, K. Shinoda, H. Kobayashi, and S. Shimada	Frontiers in Medical Technology 3:665506. 2021.	10.3389/fmedt.2021.665506	2021/3	3		665506		有	有	大阪大学	④-c	R3
513	Differences in in vitro microglial accumulation of the energy metabolism tracers [18F]FDG and [18F]BCPP-EF during LPS- and IL4 stimulation.	Chie Suzuki, Sarina Han, Gandherwin Kesavamoorthy, Mutsumi Kosugi, Kaori Araki, Norihiro Harada, Masakatsu Kanazawa, Hideo Tsukada, Yasuhiro Magata, Yasuomi Ouchi	Scientific reports	10.1038/s41598-021-92436-0.	2021/6	11	1	13200		有	有	浜松医科大学	④-d	R3

514	Mindfulness augmentation for anxiety through concurrent use of transcranial direct current stimulation: a randomized double-blind study	Keiichiro Nishida, Yosuke Morishima, Roberto D Pascual-Marqui, Shota Minami, Tomonari Yamane, Masahito Michikura, Hideki Ishikawa, Toshihiko Kinoshita	Scientific reports	10.1038/s41598-021-02177-3	2021/11	11	1	22734		有	有	関西医科大学	④-d	R3
515	経頭蓋直流刺激による精神分野における治療法開発の現状と展望 臨床応用に向けたtDCSの認知機能への変調効果	池田 尊司	精神神経学雑誌 2021特別号		2021/9		suppl	S438		有		金沢大学	④-d	R3
516	うつ病のニューロモジュレーション-ことばじめ- うつ病における経頭蓋直流電気刺激法(Transcranial direct-current stimulation: tDCS)の現状と将来	西田 圭一郎 池田 尊司 木下 利彦	第18回日本うつ病学会総会/第21回日本認知療法・認知行動療法学会プログラム・抄録集		2021/7	1		197	197	有		関西医科大学・金沢大学	④-d	R3
517	友だち作りの科学「PEERS®プログラム」の実践	田中早苗, 山田 智子	子どものこころと脳の発達	10.34572/jcbd.11.1.62	2020/9	11	1	62	70	無		金沢大学	④-e	R3
518	Distinct physical condition and social behavior phenotypes of CD157 and CD38 knockout mice during aging	Gerashenko, M.Lopatina, O.Shabalova, A. A.Cherepanov, S. M.Salmina, A. B.Yokoyama, S.Goto, H.Okamoto, H.Yamamoto, Y.Ishihara, K.Higashida, H.	PLoS One	10.1371/journal.pone.0244022	2020/12	15	12	e0244022		有	有	金沢大学	④-e	R3
519	Daytime nap and nighttime breastfeeding are associated with toddlers' nighttime sleep	Nakagawa, M.Ohta, H.Shimabukuro, R.Asaka, Y.Nakazawa, T.Oishi, Y.Hirata, M.Ando, A.Ikeda, T.Yoshimura, Y.Mitani, Y.Kaneshi, Y.Morioka, K.Fukutomi, R.Kobayashi, K.Ozawa, M.Takeshima, M.Mishima, K.Kikuchi, M.Cho, K.Yoda, H.Kusakawa, I.	Sci Rep	10.1038/s41598-021-81970-6	2021/2	11	1	3028		有	有	金沢大学	④-e	R3
520	Transport of oxytocin to the brain after peripheral administration by membrane-bound or soluble forms of receptors for advanced glycation end-products	Munesue, S. Liang, M.Harashima, A.Zhong, J.Furuhara, K.Boitsova, E. B.Cherepanov, S. M.Gerashenko, M.Yuhi, T.Yamamoto, Y.Higashida, H.	Journal of Neuroendocrinology 2021/03/19	10.1111/jne.12963	2021/3	33	3	e12963		有	有	金沢大学	④-e	R3
521	Receptor for advanced glycation end-products (RAGE) plays a critical role in retrieval behavior of mother mice at early postpartum	Gerashenko, M.Lopatina, O.Munesue, S.Harashima, A.Yokoyama, S.Yamamoto, Y.Higashida, H.	Physiol Behav	10.1016/j.physbeh.2021.113395	2021/6	235		113395		有	有	金沢大学	④-e	R3
522	Shorter P1m Response in Children with Autism Spectrum Disorder without Intellectual Disabilities	Yuko Yoshimura Takashi Ikeda, Chiaki Hasegawa, Kyung-Min An, Sanae Tanaka, Ken Yao, Sumie Iwasaki, Daisuke N. Saito, Hirokazu Kumazaki, Hirotohi Hiraishi, Mitsuru Kikuchi	J. Mol. Sci.	10.3390/jms22052611	2021/5	22	5	2611		有	有	金沢大学	④-e	R3
523	Complexity of Body Movements during Sleep in Children with Autism Spectrum Disorder	Naoki Furutani Tetsuya Takahashi, Nobushige Naito, Takafumi Maruishi, Yuko Yoshimura, Chiaki Hasegawa, Tetsu Hirose, Mitsuru Kikuchi	Entropy (Basel)	10.3390/e23040418	2021/3	23	4	418		有	有	金沢大学	④-e	R3
524	Influence of oxytocin administration on somatosensory evoked magnetic fields induced by median nerve stimulation during hand action observation in healthy male volunteers	Ono, Y.Hirosawa, T.Hasegawa, C.Ikeda, T.Kudo, K.Naito, N.Yoshimura, Y.Kikuchi, M	PLoS One	10.1371/journal.pone.0249167	2021/3	16	3	e0249167		有	有	金沢大学	④-e	R3
525	A common variant of CNTNAP2 is associated with sub-threshold autistic traits and intellectual disability	Yuka Shiota, Tetsu Hirose, Yuko Yoshimura, Sanae Tanaka, Chiaki Hasegawa, Sumie Iwasaki, Kyung-Min An, Daiki Soma, Masuhiko Sano, Shigeru Yokoyama, Mitsuru Kikuchi	PLoS One	10.1371/journal.pone.0260548	2021/12	16	12	e0260548		有	有	金沢大学	④-e	R3

526	Regional and Temporal Differences in Brain Activity With Morally Good or Bad Judgments in Men: A Magnetoencephalography Study	Hirotooshi Hiraishi, Takashi Ikeda, Daisuke N. Saito, Chiaki Hasegawa, Sachiko Kitagawa, Tetsuya Takahashi, Mitsuru Kikuchi, Yasuomi Ouchi	Front. Neurosci	10.3389/fnins.2021.596711	2021/4	15		596711		有	有	金沢大学	④-e	R3
527	Inhibition of CD38 and supplementation of nicotinamide riboside ameliorate lipopolysaccharide-induced microglial and astrocytic neuroinflammation by increasing NAD ⁺	Roboon, J.Hattori, T.Ishii, H.Takarada-Iemata, M.Nguyen, D.T.Heer, C.D.O.Meally, D.Brenner, C.Yamamoto, Y.Okamoto, H.Higashida, H.Hori, O.	J Neurochem	10.1111/jnc.15367	2021/7	158	2	311	327	有	有	金沢大学	④-e	R3
528	Decreased Grey Matter Volume in Unaffected Mothers of Individuals with Autism Spectrum Disorder: Brain Structural Endophenotypes	Kyung-min An, Takashi Ikeda, Tetsu Hirokawa, Ken Yaoi, Yuko Yoshimura, Chiaki Hasegawa, Sanae Tanaka, Daisuke N. Saito, Mitsuru Kikuchi	Sci Rep.	10.1038/s41598-021-89393-z.	2021/5	11	1	10001		有	有	金沢大学	④-e	R3
529	Oxytocin-Trust Link in Oxytocin-Sensitive Participants and Those Without Autistic Traits	Kurokawa, H.Kinari, Y.Okudaira, H.Tsubouchi, K.Sai, Y.Kikuchi, M.Higashida, H.Ohtake, F.	Front Neurosci	10.3389/fnins.2021.659737	2021/5	15		659737		有	有	金沢大学	④-e	R3
530	Effects of familiarity on child brain networks when listening to a storybook reading: A magneto-encephalographic study	Hasegawa, C.Takahashi, T.Ikeda, T.Yoshimura, Y.Hiraishi, H.Nobukawa, S.Saito, D.N.Kumazaki, H.Yaoi, K.Hirata, M.Asada, M.Kikuchi, M.	Neuroimage	10.1016/j.neuroimage.2021.118389	2021/11	241		118389		有	有	金沢大学	④-e	R3
531	Sleep maturation influences cognitive development of preterm toddlers	Akiko Ando, Hidenobu Ohta, Yuko Yoshimura, Machiko Nakagawa, Yoko Asaka, Takayo Nakazawa, Yusuke Mitani, Yoshihisa Oishi, Masato Mizushima, Hiroyuki Adachi, Yosuke Kaneshi, Keita Morioka, Rinshu Shimabukuro, Michio Hirata, Takashi Ikeda, Rika Fukutomi, Kyoko Kobayashi, Miwa Ozawa, Masahiro Takeshima, Atsushi Manabe, Tsutomu Takahashi, Kazuo Mishima, Isao Kusakawa, Hitoshi Yoda, Mitsuru Kikuchi, Kazutoshi Cho	Sci Rep	10.1038/s41598-021-89495-5.	2021/8	11	1	15921		有	有	金沢大学	④-e	R3
532	Epileptiform discharges relate to altered functional brain networks in autism spectrum disorders	Tetsu Hirokawa, Kyung-Min An, Daiki Soma, Yuka Shiota, Masuhiko Sano, Masafumi Kameya, Shoryoku Hino, Nobushige Naito, Sanae Tanaka, Ken Yaoi, Sumie Iwasaki, Yuko Yoshimura, Mitsuru Kikuchi	Brain Communications	10.1093/braincomms/fcab184	2021/8	3	3	fcab184		有	有	金沢大学	④-e	R3
533	Oxytocin administration modulates the complex type of ultrasonic vocalisation of mice pups prenatally exposed to valproic acid.	Tsuji T, Mizutani R, Minami K, Furuhashi K, Fujisaku T, Pinyue F, Jing Z, Tsuji C.	Neurosci Lett.	10.1016/j.neulet.2021.135985	2021/7	758		135985		有	有	金沢大学	④-e	R3
534	Joint attention and intelligence in children with autism spectrum disorder without severe intellectual disability short running title: Joint attention and intelligence in ASD children	Masuhiko Sano, Yuko Yoshimura, Tetsu Hirokawa, Chiaki Hasegawa, Kyung-Min An, Sanae Tanaka, Nobushige Naitou, Mitsuru Kikuchi	Autism Res	10.1002/aur.2600	2021/8			1		有	有	金沢大学	④-e	R3
535	自閉症者のコミュニケーション誤用に対する自閉症者の認容性	福田純子・平谷美智夫・三浦優生・大井 学	コミュニケーション障害学		2021/4	38	1	26	32	有		金沢大学	④-e	R3

536	Atypical resting state functional neural network in children with autism spectrum disorder: Graph Theory approach	Daiki Soma, Tetsu Hirose, Chiaki Hasegawa, Kyung-Min An, Masafumi Kameya, Shoryoku Hino, Yuko Yoshimura, Sumie Iwasaki, Sanae Tanaka, Ken Yaoi, Takashi Ikeda, Masuhiko Sano, Yuka Shiota, Nobushige Naito, and Mitsuru	Front Psychiatry	10.3389/fpsy.2021.790234	2021/12	12		790234		有	有	金沢大学	④-e	R3
537	Use of Cocultures to Measure the Blood-Brain Barrier Permeability of Oxytocin	Yasuhiko Yamamoto, Ai Harashima, Sei-ichi Munesue, Haruhiro Higashida	Methods Mol Biol	10.1007/978-1-0716-1759-5_15	2021/9	2384		247	255	有	有	金沢大学	④-e	R3
538	Does Implicit Self-Reference Effect Occur by the Instantaneous Own-Name?	Ken Yaoi, Mariko Osaka, Naoyuki Osaka	Front Psychol	10.3389/fpsyg.2021.709601	2021/10	12		709601		有	有	金沢大学	④-e	R3
539	A huggable device can reduce the stress of calling an unfamiliar person on the phone for individuals with ASD	Hideobu Sumioka, Hirokazu Kumazaki, Taro Muramatsu, Yuichiro Yoshikawa, Hiroshi Ishiguro, Haruhiro Higashida, Teruko Yuhi, Masaru Mimura	PLoS One 2021	10.1371/journal.pone.0254675	2021/7	16	7	e0254675		有	有	金沢大学	④-e	R3
540	Capacity differences in working memory based on resting state brain networks	Mariko Osaka, Mizuki Kaneda, Myuki Azuma, Ken Yaoi, Tetsuya Shimokawa & Naoyuki Osaka	Sci Rep	10.1038/s41598-021-98848-2	2021/9	11	1	19502		有	有	金沢大学	④-e	R3
541	An improved sample extraction method reveals that plasma receptor for advanced glycation end-products (RAGE) modulates circulating free oxytocin in mice	Stanislav M Cherepanov, Maria Gerasimenko, Teruko Yuhi, Anna Shabalova, Hong Zhu, Shigeru Yokoyama, Alla B Salmina, Shei-ichi Munesue, Ai Harashima, Yasuhiko Yamamoto, Haruhiro Higashida	Peptides	10.1016/j.peptides.2021.170649	2021/12	146		170649		有	有	金沢大学	④-e	R3
542	Oxytocin ameliorates impaired social behavior in a Chd8 haploinsufficiency mouse model of autism	Stanislav M. Cherepanov, Maria Gerasimenko, Teruko Yuhi, Kazumi Furuhashi, Chiharu Tsuji, Shigeru Yokoyama, Keiichi I. Nakayama, Masaaki Nishiyama & Haruhiro	BMC Neurosci	10.1186/s12868-021-00631-6	2021/5	22	1	32		有	有	金沢大学	④-e	R3
543	Parenting Stress and Social Style in Mothers and Fathers of Children with Autism Spectrum Disorder: A Cross-Cultural Investigation in Italy and Japan.	Giannotti, M., Bonatti, S.M., Tanaka, S., Kojima, H. and de Falco, S.	Brain Sci	10.3390/brainsci11111419	2021/10	11	11	1419		有	有	金沢大学	④-e	R3
544	Oral Supplementation with L-Carnosine Attenuates Social Recognition Deficits in CD157KO Mice via Oxytocin Release.	Tsuiji T, Furuhashi K, Gerasimenko M, Shabalova A, Cherepanov SM, Minami K, Higashida H and Tsuiji C	Nutrients	10.3390/nu14040803	2022/2	14	4	803		有	有	金沢大学	④-e R1WD18	R3
545	連合小児発達学研究所の研究の取り組み 自閉スペクトラム症における機能的脳内ネットワークの変化について	廣澤徹 菊知充 相馬大輝	精神神経学雑誌 2021特別号		2021/9		suppl	S301		有		金沢大学	④-e	R3
546	Hyperscanningと脳活動 MEG Hyperscanning neuroimagingにより自閉スペクトラム症幼児の脳の特徴を捉える	菊知充 廣澤徹 長谷川千秋	精神神経学雑誌 2021特別号		2021/9		suppl	S491		有		金沢大学	④-e	R3
547	神経発達症の理解をふまえたADHDの診断と治療	菊知充	総合病院精神医学		2021/11	33	suppl	S-130		有		金沢大学	④-e	R3
548	自閉症スペクトラム障害のある成人におけるコミュニケーション誤用生起とその特異性についての検討	福田純子 平谷美智夫 三浦優生 大井学	コミュニケーション障害学		2021/4	38	1	17	25	有		金沢大学	④-e	R3
549	成人におけるBroader Autism Phenotypeの程度または自閉症スペクトラム障害の診断と自閉症者のコミュニケーション誤用に対する認容性の関連	大井学 水谷柳子 福田純子 平谷美智夫	コミュニケーション障害学		2021/12	38	3	194	201	有		金沢大学	④-e	R3

550	子どもの語用能力評価法の開発(第2報): ことばのつかいかたテストの判別性能及 び語用能力の認知能力との関連の検討	水谷柳子 櫻館 尚武 田中早苗 吉村優子 長谷 川千秋 菊知充 大井学	コミュニケーション障害学		2021/12	38	3	183	193	有		金沢大学	④-e	R3
551	MEGデータの脳賦活部位同定を目的とし た年齢に応じた解剖学的推定脳の精度評 価	佐藤綾香 林則夫 近野朱華 林弘之 松浦幸広 吉村優子 菊知充	日本放射線技術学会雑誌		2021/9	77	9	1032	1033	有		金沢大学	④-e	R3
552	自閉症スペクトラム児の知的能力と睡眠 の関係についての検討	Liu Jialu, 吉村優 子	日本コミュニケーション障害 学会学術講演会予稿集		2021/6	47		56	56	有		金沢大学	④-e	R3
553	子どもの語用能力評価法「ことばのつか いかたテスト」の判別性能及び認知能力と の関連の検討	水谷柳子 櫻館 尚武 田中早苗 吉村優子 菊知 充 長谷川千秋 大井学	日本コミュニケーション障害 学会学術講演会予稿集. 2021. 47回		2021/6	47		61	61	有		金沢大学	④-e	R3
554	精神医学のフロンティア 定型発達児と自 閉スペクトラム症児における20Hzと40Hz の定常聴性反応	小野靖樹 菊知 充	精神神経学雑誌		2021/6	123	6	311	316	有		金沢大学	④-e	R3
555	子どものこころの発達研究センターから展 開するアジア発達障害共同研究拠点形成 と共同利用推進	橋雅弥 片山 泰一 谷池雅子 横山茂 土屋賢 治 平野好幸 清水栄司 松崎 秀夫 友田明美 中村和彦 佐藤 真	脳と発達		2021/5	53	suppl	327	327	有		金沢大学	④-e	R3
556	遺伝的素因をもつ薬剤抵抗性てんかんに 対する迷走神経刺激療法の長期的効果 Naチャンネル異常の確定例の症例報告	越智さと子 菅野 彩 江夏怜 二 國信啓 福村忍 横山茂 櫻井高 太郎 白石秀明	臨床神経生理学 49巻		2021/11	49	5	450	450			金沢大学	④-e	R3
557	運動学習課題に特異的な安静時脳機能 結合の特定	安部レオ 近藤 美咲 宮崎悠介 原正之 池田尊 司 松下光次郎 菅田陽伶	理学療法学47巻	10.14900/cjpt.47S1B-140_1	2021/3	47	suppl	2013-03				金沢大学	④-e	R3
558	ハイバースキャンニングによる社会脳機能 計測 親子間相互作用の神経ダイナミク ス	池田尊司	日本生体磁気学会誌		2021/6	34		107				金沢大学	④-e	R3
559	自閉スペクトラム症児における語彙の概 念獲得と共同注意の関係	佐野滋彦 吉村 優子 廣澤徹 菊知充	北陸神経精神医学雑誌		2021/5	34		9	15	有		金沢大学	④-e	R3
560	発達障がいに関する学校現場への思い	菊知充 吉村優 子 田中早苗	北陸神経精神医学雑誌		2021/5	34		2	6	有		金沢大学	④-e	R3
561	幼児における人と幾何学図形への嗜好傾 向:ASD男児、TD男児、TD女児の3群比 較	須田桃香・小島 治幸・池田尊司・ 菊知充	心理学の諸領域		2022/1	11	1	11	18	有		金沢大学	④-e	R3
562	知的障害特別支援学校における身体リズ ムを用いた授業分析の試み	吉村優子・宮本 和輝	教育実践研究	10.24517/00064355	2021/11	47		21	30	有		金沢大学	⑤-b	R3
563	中学校体育における教師への言語的コ ミュニケーションデータのフィードバック による授業改善の試みーダンス授業にお ける生徒の対話的学習活動に着目してー	中島寿宏、河本 岳哉、高橋正年	北海道体育学研究		2019/12	54		125	132	有	有	北海道教育大学	⑤-c	R3
564	中学校体育におけるティーム・ティーチ ング授業改善の試みーウェアラブルセン シングツールによる授業者への可視化デ ータのフィードバックー	中島寿宏、高橋 正年、河本岳 哉、高瀬淳也	北海道体育学研究		2020/12	55		9	18	有	有	北海道教育大学	⑤-c	R3
565	小学校体育授業における熟練教師の指 導技術に関する研究ー授業計画に対す る意識および児童とのかわりに着目し てー	梅村拓未、高瀬 淳也、高橋正 年、河本岳哉、 村上雅之、中島 寿宏	北海道体育学会		2021/12	56		19	32	有	有	北海道教育大学	⑤-c	R3
566	Impairment in facial expression generation in patients with repaired unilateral cleft lip: Effects of the physical properties of facial soft tissues.	Lee, D., Tanikawa, C., and Yamashiro, T.	PLoS One	10.1371/journal.pone.0249961	2021/4	16	4	e0249961		有	有	大阪大学	R1WD07	R3
567	Determination of prognostic factors for orthognathic surgery in children with cleft lip and/or palate.	Lim, J., Tanikawa, C., Kogo, M., and Yamashiro, T.	Orthod Craniofac Res	10.1111/ocr.12477.	2021/12	24	2	153	162	有	有	大阪大学	R1WD07	R3
568	Population affinity and variation of sexual dimorphism in three-dimensional facial forms: comparisons between Turkish and Japanese populations.	Tanikawa, C.*, Akcem, M.O., Gokalp, H., Zere, E., and Takada, K.	Sci Rep	10.1038/s41598-021- 96029-9.	2021/8	11	1	16634		有	有	大阪大学	R1WD07	R3
569	Clinical applicability of automated cephalometric landmark identification: Part I-Patient-related identification errors.	Tanikawa, C.*, Lee, C., Lim, J., Oka, A., and Yamashiro, T.	Orthod Craniofac Res	10.1111/ocr.12501.	2021/12	24	2	43	52	有	有	大阪大学	R1WD07	R3
570	Clinical applicability of automated cephalometric landmark identification: Part II-Number of images needed to re-learn various quality of images.	Tanikawa, C.*, Oka, A., Lim, J., Lee, C., and Yamashiro, T.	Orthod Craniofac Res	10.1111/ocr.12511.	2021/12	24	2	53	58	有	有	大阪大学	R1WD07	R3
571	Development of novel artificial intelligence systems to predict facial morphology after orthognathic surgery and orthodontic treatment in Japanese patients.	Tanikawa, C.*, and Yamashiro, T.	Sci Rep	10.1038/s41598-021- 95002-w.	2021/4	11	1	15853		有	有	大阪大学	R1WD07	R3

572	Comparison of clinical outcomes between Invisalign and conventional fixed appliance therapies in adult patients with severe deep overbite treated with nonextraction.	Fujiyama, K., Kera, Y., Yujin, S., Tanikawa, C., Yamashiro, T., Guo, X., Ni, A., and Deguchi, T.	Am J Orthod Dentofac	10.1016/j.jajodo.2020.08.023.	2021/10	S0889-5406	21	623	625	有	有	大阪大学	R1WD07	R3
573	Comparison of 3-D mandibular surfaces generated by MRI and CT.	Maeda, J., Tanikawa, C., Nagata, N., Lim, J., Kreiborg, S., Murakami, S., and Yamashiro, T.	Orthod Craniofac Res	10.1111/ocr.12540.	2021/10			12540		有	有	大阪大学	R1WD07	R3
574	Evaluation of Facial Appearance-Related Quality of Life in Young Japanese Patients With Cleft Lip and/or Palate.	Oka, A., Tanikawa, C., Isogai, Y., Mihara, K., and Yamashiro, T.	Cleft Palate Craniofac J	10.1177/10556656211023243.	2021/6			*****		有	有	大阪大学	R1WD07	R3
575	The validation of orthodontic artificial intelligence systems that perform orthodontic diagnoses and treatment planning.	Shimizu, Y., Tanikawa, C., Kajiwara, T., Nagahara, H., and Yamashiro, T.	Eur J Orthod	10.1093/ejo/cjab083.	2022/1			cjab083		有	有	大阪大学	R1WD07	R3
576	Oxytocin administration modulates the complex type of ultrasonic vocalisation of mice pups prenatally exposed to valproic acid	Tsuji T, Mizutani R, Fujisaku T, Furuhashi K, Minami K, Pinyue F, Zhong J, and Tsuji C.	Neurosci Lett	10.1016/j.neulet.2021.135985	2021/7	758		135985		有	有	金沢大学	R1WD18	R3
577	Oxytocin ameliorates impaired social behavior in a Chd8 haploinsufficiency mouse model of autism.	Cherepanov SM, Gerasimenko M, Yuhi T, Furuhashi K, Tsuji C, Yokoyama S, Nakayama KI, Nishiyama M, Higashida H.	BMC Neurosci.	10.1186/s12868-021-00631-6.	2021/5	22	1	32		有	有	金沢大学	R1WD18	R3
578	Detection of the 40-Hz Auditory Steady-state Response with Optically Pumped Magnetometers	An K, Shim JH, Kwon H, Lee Y, Yu K, Kwon M, Chun WY, Hirose T, Hasegawa C, Iwasaki S, Kikuchi M, Kim K	bioRxiv.	10.1101/2021.10.01.462598	2021/10			462598		有	有	金沢大学	R02WD01	R3
579	Identification of conserved SARS-CoV-2 spike epitopes that expand public cTfh clonotypes in mild COVID-19 patients	JLu X, Hosono Y, Nagae M, Ishizuka S, Ishikawa E, Motooka D, Ozaki Y, Sax N, Maeda Y, Kato Y, Morita T, Shinnakasu R, Inoue T, Onodera T, Matsumura T, Shinkai M, Sato T, Nakamura S, Mori S, Kanda T, Nakayama EE, Shioda T, Kurosaki T, Takeda K, Kumanogoh A, Arase H, Nakagami H, Yamashita K, Takahashi Y.	J Exp Med.	10.1084/jem.20211327	2021/12	218	12	e20211327		有	有	大阪大学	R3W02	R3
580	Benchmark of 16S rRNA gene amplicon sequencing using Japanese gut microbiome data from the V1-V2 and V3-V4 primer sets	Kameoka S, Motooka D, Watanabe S, Kubo R, Jung N, Midorikawa Y, Shinozaki NO, Sawai Y, Takeda AK, Nakamura S	BMC Genomics.	10.1186/s12864-021-07746-4.	2021/7	22	1	527		有	有	大阪大学	R3W02	R3
581	Engineered ACE2 receptor therapy overcomes mutational escape of SARS-CoV-2	Higuchi Y, Suzuki T, Animori T, Ikemura N, Mihara E, Kirita Y, Ohgihara E, Mazda O, Motooka D, Nakamura S, Sakai Y, Itoh Y, Sugihara F, Matsuura Y, Matoba S, Okamoto T, Takagi J, Hoshino A	Nat Commun.	10.1038/s41467-021-24013-y.	2021/6	12	1	3802		有	有	大阪大学	R3W02	R3
582	Rapid and simultaneous identification of three mutations by the Novaplex™ SARS-CoV-2 variants 1 assay kit	Kami W, Kinjo T, Arakaki W, Oki H, Motooka D, Nakamura S, Fujita J	J Clin Virol.	10.1016/j.jcv.2021.104877.	2021/8	141		104877		有	有	大阪大学	R3W02	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名:V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

⑩-3 その他著作物(総説、書籍など)

No	著作物の種別	論文表題	著者名	記載誌名	DOI	発行年月	巻	号	掲載ページ(始)	掲載ページ(終)	査読有無	国際共著	発表機関(参画機関のみ)	備考(課題番号等)	年度
1	書籍	生体ガス計測と高感度ガスセンシング	奥村直也, 下内章人, 近藤孝晴	シーエムシー出版		2017/7			27	28	無		中部大学	①-a	H29
2	総説	口腔機能の睡眠研究から睡眠評価技術開発まで	加藤隆史	生産と技術		2018/1	70	1	86	88	無		大阪大学	④-a	H29
3	総説	人工知能とユーザ、聴衆のコラボによるコンテンツの生成	沼尾正行	生産と技術		2017/10	69	4	12	17	有		大阪大学	④-b	H29
4	書籍	ASDの病態・遺伝要因と環境要因	菊知 充	最新医学別冊 診断と治療のABC130 発達障害		2018/1	130		56	61	有		金沢大学	④-e	H29
5	総説	自閉スペクトラム幼児期における最近のMEG研究	菊知 充, 三進 義雄	精神神経学雑誌		2017/12	119	12	935	940	有		金沢大学	④-e	H29
6	書籍	心因性嗅覚障害	神崎晶, 熊崎博一	JOHNS 東京医学社		2017/2	33	2	217	220	有		金沢大学	④-e	H29
7	書籍	発達障害の感覚過敏とその支援	熊崎博一	小児科診療		2017/6	80	7	837	841	有		金沢大学	④-e	H29
8	総説	マルチモダリティ脳画像解析による自閉スペクトラム症中核症状に対するオキシトシン経鼻剤の効果判定	山末英典	教育と医学		2017/9	772		67	73	有		浜松医大	④-e	H29
9	総説	自閉スペクトラム症へのオキシトシン治療の可能性	山末英典	JL NEWS(日本発達障害連盟ニュース)		2017/9	113		7		有		浜松医大	④-e	H29
10	総説	オキシトシンとマルチモダリティ脳画像解析を応用した自閉スペクトラム症中核症状に対する治療開発	山末英典	分子精神医学		2017/10	17	4	15	21	有		浜松医大	④-e	H29
11	総説	自閉スペクトラム症へのオキシトシン治療の可能性～自主臨床試験へのマルチモダリティ脳画像解析の応用～	山末英典	発達障害医学の進歩29		2017/6			55	62	有		浜松医大	④-e	H29
12	総説	自閉スペクトラム症中核症状に対する治療開発～オキシトシン経鼻剤とマルチモダリティ脳画像解析の応用～	山末英典	臨床精神薬理		2017/6	20	6	621	628	有		浜松医大	④-e	H29
13	総説	精神症状の客観定量化～表出と内的処理過程の乖離～	山末英典	最新精神医学		2017/3	22	2	79		有		浜松医大	④-e	H29
14	総説	自閉スペクトラム症のVoxel Based Morphometry	山末英典	BRAIN and NERVE	10.11477/mf.1416200779	2017/5	69	5	529	538	有		浜松医大	④-e	H29
15	総説	巻頭言～精神疾患研究における「必要性」について～	山末英典	精神医学		2017/2	59	2	104	105	有		浜松医大	④-e	H29
16	総説	自閉スペクトラム症におけるオキシトシンの効果	山末英典	日本医師会雑誌		2017/2	145	11	2372		有		浜松医大	④-e	H29
17	総説	呼吸診断技術への期待と課題	下内章人	Aroma Research		2017/5	18	2	172	175	有		中部大学	①-a	H30
18	書籍	薬剤耐性における薬剤排出ポンプの役割 (Role of drug efflux pumps in bacterial drug resistance).	西野邦彦	化学療法領域 (Antibiotics & Chemotherapy)		2017/4	33	5	79(1029)	89(1039)	有		大阪大学	①-b	H30
19	総説	耐性菌感染症の克服に向けた薬剤排出ポンプの構造解析と新規治療薬開発 (Structural analysis and new drug development against multidrug efflux pumps).	山崎聖司, 中島良介, 櫻井啓介, 山口明人, 西野邦彦	薬学雑誌 (Yakugaku Zasshi)	10.1248/yakushi.16-00235-2	2017/4	137		377	382	有		大阪大学	①-b	H30
20	総説	若手が拓く微生物薬学: 多剤耐性菌と闘う (Frontier of pharmaceutical microbiology: To combat-resistant bacterial pathogens).	森田達二, 西野邦彦	薬学雑誌 (Yakugaku Zasshi)	10.1248/yakushi.16-00235-F	2017/4	137		371	372	有		大阪大学	①-b	H30
21	書籍	グラム陰性菌の薬剤排出トランスポーター (Drug Efflux Transporters of Gram Negative Bacteria)	山崎聖司, 林克彦, 櫻井啓介, 中島良介, 山口明人, 西野邦彦	細胞 (Cell)		2017/8	49	11	7(533)	11(537)	有		大阪大学	①-b	H30
22	書籍	Methods in Molecular Biology. Bacterial Multidrug Exporters.	Akihito Yamaguchi and Kunihiko Nishino (Eds.)	Methods and Protocols. (Springer)		2018/1					有	有	大阪大学	①-b	H30
23	書籍	Working Memory as a Basis of Consciousness	Osaka, M.	M. Kasaki, H. Ishiguro, M. Asada, M. Osaka, & T. Fujikado (Eds.), Cognitive Neuroscience Robotics B: Analytic Approaches to Human Understanding (Springer)		2016/8			39	57	有	有	NICT・CiNet	②-a	H30
24	書籍	言語性ワーキングメモリと脳	源健宏・菅阪満里子	生理心理学と精神生理学 第III巻 展開 北大路書房		2018/5	3	1	3	17	有		NICT・CiNet	②-a	H30
25	書籍	ワーキングメモリネットワークとデフォルトモードネットワーク	越野英哉・菅阪満里子・菅阪直行	生理心理学と精神生理学 第III巻 展開 北大路書房		2018/5	3	8	85	101	有		NICT・CiNet	②-a	H30
26	総説	個々のニューロンの神経回路を支える遺伝子コードクラスター型プロトコドヘリソ	足澤悦子, 吉村由美子, 八木 健	生体の科学	10.11477/mf.2425200574	2017/2	68	1	48	53	有		大阪大学	②-b	H30
27	書籍	日常診療における子どもの睡眠障害	谷池雅子監修	診断と治療社		2015/4			1	256	有		大阪大学	④-a	H30
28	書籍	概論「子どもの睡眠の特徴」	谷池雅子	日常診療における子どもの睡眠障害 診断と治療社		2015/4			2	6	有		大阪大学	④-a	H30
29	書籍	子どもの睡眠関連疾患各論とその治療「レストレス・レッグス症候群」	毛利育子	日常診療における子どもの睡眠障害 診断と治療社		2015/4			36	41	有		大阪大学	④-a	H30

30	書籍	子どもの睡眠関連疾患各論とその治療「稀だが知っておくべき睡眠関連疾患」谷池雅子, 岩谷祥子 谷池雅子, 岩谷祥子 谷池雅子 編, 日常診療における子どもの睡眠障害. 診断と治療社. p84-88	谷池雅子, 岩谷祥子	日常診療における子どもの睡眠障害 診断と治療社					2015/4				84	88	有		大阪大学	④-a	H30
31	書籍	訴えからのアプローチ「乳幼児の不眠」	谷池雅子	日常診療における子どもの睡眠障害 診断と治療社					2015/4				165	166	有		大阪大学	④-a	H30
32	書籍	一般外来での治療「薬物療法」	谷池雅子	日常診療における子どもの睡眠障害 診断と治療社					2015/4				220	223	有		大阪大学	④-a	H30
33	総説	【小児の症候群】	橋本 奈津子, 毛利 育子, 谷池 雅子	神経・精神 レストレス・レックス症候群(解説/特集) 小児科診療 (0386-9806)					2016/4	79			143		有		大阪大学	④-a	H30
34	総説	小児へのCPAP治療	加藤 久美, 谷池 雅子	Monthly Book ENTONI 睡眠時無呼吸症候群におけるCPAPの正しい使い方					2016/4	191			54	58	有		大阪大学	④-a	H30
35	総説	睡眠検査のゴールドスタンダード PSGを子どもできちんと記録するために(解説/特集)	寒川 あゆみ, 松澤 重行, 加藤 久美, 谷池 雅子.	睡眠医療					2017/6	11	2		163	169	有		大阪大学	④-a	H30
36	総説	子どもの眠り 最新情報	毛利育子	月刊 母子保健					2018/5						有		大阪大学	④-a	H30
37	総説	発達に伴うサーカディアンリズムと睡眠	谷池雅子	サーカディアンリズムと睡眠					2018/7						有		大阪大学	④-a	H30
38	総説	International consensus on the assessment of bruxism: Report of a work in progress.	Lobbezoo F, Ahlberg J, Raphael KG, Wetselaar P, Glaros AG, Kato T, Santiago V, Winocour E, De Laat A, De Leeuw R, Koyano K, Lavigne GJ, Svensson P, Manfredini D.	J Oral Rehabil.	10.1111/joor.12663				2018/11	45	11		837	844	有	有	大阪大学	④-a	H30
39	書籍	Pythonと実例で学ぶ機械学習: 識別・予測・異常検知	福井 健一	オーム社					2018/11				1	160	有		大阪大学	④-b	H30
40	総説	AI作曲で脳を活性化	沼尾正行	電子情報通信学会3月号, 小特集3					2019/3	102	3		221	227	有		大阪大学	④-b	H30
41	書籍	自閉スペクトラム症者へのロボットを用いた研究の現状と今後の展望	熊崎博一	発達教育6月号 発達協会 2018年6月					2018/6						有		金沢大学	④-e	H30
42	書籍	自閉スペクトラム症者へのロボットを用いた研究の現状	熊崎博一	発達教育5月号 発達協会 2018年5月					2018/5						有		金沢大学	④-e	H30
43	書籍	自閉スペクトラム症者へのロボットを用いた介入への期待	熊崎博一	発達教育4月号 発達協会 2018年4月					2018/4						有		金沢大学	④-e	H30
44	書籍	感覚プロフィールから感覚過敏/過鈍への対応を考える	辻井 正次, 岩永 竜一郎, 萩原 拓, 徳永 瑛子, 梅田 亜沙子, 橋本 桂奈, 熊崎 博一, 杉山 登志郎	アスペハート47号 NPO法人アスペ・エルデの会					2018/3				47		有		金沢大学	④-e	H30
45	書籍	第2章 芸術における色彩と脳の働き	川畑 秀明, 森悦朗 池田 尊司	情動と言語・芸術—認知・表現の脳内メカニズム—朝倉書店					2018/5						有		金沢大学	④-e	H30
46	書籍	4章 色の認知・記憶と脳	堀 忠雄, 尾崎久記, 室橋 春光, 平阪 清里子, 源 健宏, 坪見 博之, 土田 幸男, 池田 尊司, 矢追 健, 平阪 直行, 木原 健, 山崎 圭子, 越野 英哉, 中野 珠実, 中尾 敬, 森口 佑介, 高橋 英之, 宮崎 美智子, 十河 宏行, 奥村 安寿子, 北洋輔, 栗田 聡子, 福島 宏器, 岡村 尚昌, 佐藤 徳, 豊巻 敦人, 久住 一郎, 軍司 敦子, 川久保 友紀, 渡辺 隼人, 青木 真純, 熊谷	生理心理学と精神生理学 第三巻 展開 北大路書房					2018/5						有		金沢大学	④-e	H30
47	書籍	友だち作りのSST	エリザベス・ローガン&フレッド・フランクル 山田智子・大井学・三浦優生 監訳	山田智子 訳 金剛出版					2018/11						有		金沢大学	④-e	H30
48	総説	抗菌薬耐性に寄与する細菌多剤排出トランスポーターの変異解析(Mutational analysis of bacterial multidrug efflux transporters contributing to antibiotic resistance)	山崎聖司, Martijn Zwama, 中島良介, 山口 明人, 西野邦彦	Precision Medicine					2019/7	9	2				有		大阪大学	①-b	R1
49	総説	生体埋込センサにむけたストレッチャブル透明配線	荒木徹平, 竹本 明寿也, 植村 隆文, 関谷 毅	日本印刷学会誌					2019/7	56	3		142	145	有		大阪大学	③-c	R1
50	総説	平成30年度「大阪大学工業会賞」受賞研究「フレキシブル有機差動増幅回路を用いた心電信の低ノイズ計測」	杉山真弘	大阪大学工業会誌 TECHNO NET					2019/10	586			10	14	有		大阪大学	③-c	R1
51	総説	睡眠検査Q&A: 歯ぎしり評価の臨床的意義と、その評価方法について教えてください。	加藤隆史, 白石 優季, 豊田理紗, 原木真吾, 辻阪亮子	睡眠医療					2019/6	13			237	241	有		大阪大学	④-a	R1
52	解説	双方向性アプリケーションによる、幼児の睡眠習慣への介入法の開発	吉崎重里香, 谷池雅子.	分子精神医学					2019/4	19			7	13	有		大阪大学	④-a	R1

53	書籍	Deep Visual Models for EEG of Mindfulness Meditation in a Workplace Setting	Juan Lorenzo Hagad, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	International Workshop on Health Intelligence W3PHAI 2019: Precision Health and Medicine	10.1007/978-3-030-24409-5_12	2019/6								有	有	大阪大学	④-b	R1
54	総説	シリコン製剤による体内水素発生と医薬応用	小林悠輝、小林光、今村亮一、島田昌一	The Chemical Time		2019/10	4		2	7			有			大阪大学	④-c	R1
55	解説	【ニューロモデュレーション治療の可能性】うつ病に対するtDCSの臨床上的有用性in 2019	西田 圭一郎	精神科		2019/6	34	6	567	572			有			関西医大	④-d	R1
56	解説	【臨床神経生理学が精神疾患の治療において果たす役割-update】精神疾患における脳波を用いた治療予測 うつ病を中心に	西田 圭一郎、吉村 匡史、山根 倫也、加藤 正樹、木下 利彦	臨床神経生理学		2019/6	47	3	168	173			無			関西医大	④-d	R1
57	解説	【臨床神経生理学が精神疾患の治療において果たす役割-update】精神疾患におけるマイクロステート解析の有用性	池田 俊一郎、西田 圭一郎、吉村 匡史、北浦 祐一、木下 利彦	臨床神経生理学		2019/6	47	3	163	167			無			関西医大	④-d	R1
58	総説	生体埋込センサにむけたストレッチャブル透明配線	荒木徹平、竹本明寿也、植村隆文、関谷 毅	日本印刷学会誌		2019/6	56	3	142	145			無			大阪大学	H31W15-2	R1
59	総説	インビザダンスでPCRをモニターする：ウイルス検出小型・可搬型リアルタイムPCRの実現へむけて	山下一郎、信澤和行、Huanwei Han	応用物理 特別WEBコラム 新型コロナウイルス禍に学ぶ応用物理		2020/7							有			大阪大学	①-a	R2
60	総説	多剤排出ポンプの機能と阻害機構	西野邦彦、山崎聖司、中島良介	膜タンパク質工学ハンドブック		2020/4			83	92			有			大阪大学	①-b	R2
61	総説	養育者とのコミュニケーション 特集：小児の学際的な睡眠医療 基礎から臨床をつなぐ II 最新の小児睡眠医療を行うために	吉崎重里香	小児科診療		2020/9	83	10	1303	1309			有			大阪大学	④-a	R2
62	総説	機械学習による睡眠評価と睡眠改善に向けて	福井健一、加藤隆史	人工知能	10.11517/jssai.35.4.495	2020/7	35	4	495	503			有			大阪大学	④-a	R2
63	書籍	Pythonで学ぶAI活用入門	福井健一	日本技能教育開発センター		2020/2							有			大阪大学	④-b	R2
64	書籍	Si nanopowder for photoluminescence and hydrogen generation materials	Y. Kobayashi and H. Kobayashi	Springer Nature, Theoretical Chemistry for Advanced Nanomaterials – Functional Analysis by Computation and Experiment	978-9811500053	2020/2			353	382			有	有		大阪大学	④-c	R2
65	総説	うつ病・うつ状態における経頭蓋直流電気刺激の効果	佃万里、吉村匡史、西田圭一郎	臨床精神医学 アークメディア		2020/6	49	6	741	748			有			関西医大	④-d	R2
66	総説	経頭蓋直流電気刺激による感情への効果	佃万里、西田圭一郎	脳神経内科 科学評論社		2020/7	93	1	47	53			有			関西医大	④-d	R2
67	書籍	社会脳から見た発達障がい	菊知充	学術会議叢書26 社会脳から心を探る 公益財団法人 日本学術協力財団	http://jssf86.org/sousyo26.html	2020/2			47	81			有			金沢大学	④-e	R2
68	その他	中学校体育における立位・座位による対話的活動場面の差異。話し合いの質的・量的な検討から	中島寿宏	2019年度笹川スポーツ研究助成研究成果報告書 笹川スポーツ財団		2019			164	171			有			北海道教育大学	⑤-b	R2
69	書籍	発達心理学研究におけるセンサを用いた行動認識技術の意義と課題	伊藤崇、中島寿宏、川田学	発達心理学研究 日本発達心理学会		2020/12	31	4	190	200			有			北海道大学・北海道教育大学	⑤-b	R2
70	総説	遺伝子検出チップの要素開発と統合	山下一郎	有機分子・バイオエレクトロニクス分科会誌 (JAPS-M&BE)	https://annex.jsap.or.jp/supp ort/division/MandBE/journal/565/	2015/2	26	2	91	94			有			大阪大学	①-a	R3
71	総説	インビザダンスでPCRをモニターする	山下一郎	応用物理 特別WEBコラム 新型コロナウイルス禍に学ぶ応用物理	https://www.jsap.or.jp/columns-covid19/covid19_4-3-3_abstract	2020/7							有			大阪大学	①-a	R3
72	総説	フレキシブル有機薄膜トランジスタを用いたシート型磁気センサシステムの開発	植村隆文、近藤雅哉、杉山真弘、難波直子、井上由美、秋山美邦子、吉本秀輔、野田祐樹、荒木徹平、関谷毅	表面と真空 特集「ここま で来た！実用化に向けた有機デバイスの現状」	10.1380/vss.64.22	2021/1	64	1	22	27			有			大阪大学	③-c	R3
73	総説	柔軟なエレクトロニクスを用いた微小生体電位計測	関谷毅	応用物理	10.11470/oubutsu.90.5.277	2021/5	90	5	277	282			有			大阪大学	③-c	R3
74	書籍	ストレッチャブル導電性材料の研究動向と応用事例	荒木徹平、関谷毅	ストレッチャブルエレクトロニクスの技術動向、CMC出版		2021/6			21	31			有			大阪大学	③-c	R3
75	書籍	ストレッチャブルエレクトロニクスの技術動向	関谷毅 監修	ストレッチャブルエレクトロニクスの技術動向、CMC出版		2021/6			1	228			有			大阪大学	③-c	R3
76	書籍	低侵襲なウェアラブル・インプラント脳波計	荒木徹平、関谷毅	AI・ナノ・量子による超高感度・迅速バイオセンシング、CMC出版		2021/8			209	219			有			大阪大学	③-c	R3
77	書籍	伸縮性や透明性を有する導体材料とその応用	荒木徹平、関谷毅	導電性材料の設計、導電性制御および最新応用展開、技術情報協会	https://premium.jpros.jp/gjuu tu/catalog/detail/625992/	2021/12			837	843			有			大阪大学	③-c	R3
78	書籍	最新臨床睡眠学(第2版)	内山真 監修、岡田志麻他	日本臨床社		2020/11	78	6					有			立命館大学	④-a	R3
79	書籍	「非接触」が拓く新しいバイタルモニタリングー革新的な健康管理と医療・介護への応用ー	三林浩二監修、岡田志麻他	シーエムシー出版		2021/3			1	217			有			立命館大学	④-a	R3
80	総説	Research routes on improved sleep bruxism metrics: Toward a standardised approach.	#####	Journal of Sleep Research	10.1111/jsr.13320	2020/10	30	5	e13320				有			大阪大学	④-a	R3

81	総説	シリコン製剤による体内水素発生と酸化ストレス性疾患の予防・治療、	小林悠輝、小林光、島田昌一、今村亮一	月刊BIO INDUSTRY		2021/6	38	6	32	45	有		大阪大学	④-c	R3
82	総説	↑DCSには認知機能を向上させる効果があるのか？	池田尊司	心理学ワールド		2021/5	93		9	12	有		金沢大学	④-d	R3
83	総説	嗅覚系・視覚伝達系における神経ペプチド・パンプレシンの脳内での働きを解明をめざして	辻 隆宏、辻 知陽	子どものころと脳の発達 2021 年 12 巻 1 号	10.34572/jcbd.12.1.47	2021/10	12	1	47	52			金沢大学	④-e	R3
84	書籍	Chapter 18: MEG studies of children	Kikuchi Mitsuru, Yuko Yoshimura	Academic Press社 Handbook of Pediatric Brain Imaging (Editors: Hao Huang, Timothy Roberts)		2021/10							金沢大学	④-e	R3
85	書籍	Oxytocin (Editors Eryn L. Werry, Tristan A. Reekie, Michael Kassiou)	Higashida Haruhiro	Springer社 Methods in Molecular Biology シリーズ	10.1007/978-1-0716-1759-5	2021/11	2384	15					金沢大学	④-e	R3
86	総説	遠隔による社会スキルトレーニングの試み	山本知加	特集COVID-19流行下の生活と子どものころ、 Progress in Medicine		2021/10	41	10			有		大阪大学	⑤-a	R3
87	総説	発達心理学研究におけるセンサを用いた行動認識技術の意義と課題	伊藤崇、中島寿宏、川田学	発達心理学研究		2021/1	31	4	190	200	有		北海道大学・北海道教育大学	⑤-c	R3
88	書籍	ICT×体育・保健体育 GIGAスクールに対応した授業スタンダード	鈴木直樹、中島寿宏ほか、	ICT×体育・保健体育 GIGAスクールに対応した授業スタンダード		2021/7					有		北海道教育大学	⑤-c	R3
89	書籍	GIGA スクール時代における体育の「主体的・対話的で深い学び」—Society 5.0 がもたらす体育のコミュニケーション的転回—	鈴木直樹、中島寿宏、成家篤史、村瀬浩二、大熊誠二、	GIGA スクール時代における体育の「主体的・対話的で深い学び」—Society 5.0 がもたらす体育のコミュニケーション的転回—		2021/6					有		北海道教育大学	⑤-c	R3
90	総説	Function and Inhibitory Mechanisms of Multidrug Efflux Pumps	Kunihiko Nishino, Seiji Yamasaki, Ryosuke Nakashima, Martin Zwama, Mitsuko Hayashi-Nishino	Frontiers in Microbiology,	10.3389/fmicb.2021.737288.	2021/12	12			737288	有	有	大阪大学	①-b R1WD01 R03W01	R3
91	書籍	Machine learning in orthodontics: application review.	Ko, C.C. *, Tanikawa, C., Wu, T.H., Pastewak, M., Jackson, C.B., Kwon, J.J., Lee, Y.T., Lian, C., Wang, L., and Shen, D.	Craniofacial Growth Series		2020/2	56		125	135	有	有	大阪大学	R1WD07	R3
92	書籍	Machine learning for facial recognition in orthodontics (Chapter 5)	Tanikawa, C., and Lee, C.	Machine learning in dentistry, C. Ko, D. Shen and L. Wang, eds. Cham, Switzerland: Springer Nature		2021			55	68	有	有	大阪大学	R1WD07	R3
93	書籍	Machine/deep learning for performing orthodontic diagnoses and treatment planning (Chapter 6)	Tanikawa, C., Kajiwara, T., Shimizu, Y., Yamashiro, T., Chu, C., and Nagahara, H.	Machine learning in dentistry, C. Ko, D. Shen and L. Wang, eds. Cham, Switzerland: Springer Nature		2021			69	78	有	有	大阪大学	R1WD07	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核: 大阪大学)

⑫-1 発表(口頭発表)

No	発表者	タイトル	学会名等	場所	年月日	発表機関 (参画機関のみ)	備考 (課題番号等)	年度
1	古賀 大尚, 能木 雅也, 菅沼 克昭	抄紙プロセスの応用によるフレキシブル透明導電紙の開発	第64回日本木材学会大会	愛媛大学	2014/3/14	大阪大学	③-c	H25
2	古賀 大尚, 能木 雅也, 菅沼 克昭	ペーパーエレクトロニクスに向けたフレキシブル透明導電紙のい開発	第28回エレクトロニクス実装学会講演大会	拓殖大学	2014/3/5	大阪大学	③-c	H25
3	N. Tanaka, S. Shimizu and T. Washio	Estimation of causal direction in the presence of latent confounders using a Bayesian LiNGAM mixture model.	Causality: Perspectives from Different Disciplines	Vals, Switzerland	2013/8/8	大阪大学	②-a	H25
4	Kazuhiko Nakatani	Development of Novel PCR Primers for Facile Gene Detection	Asian 3 Roundtable on Nucleic Acids (A3RONA), October 17-19,	Xiamen University	2014/10/17-19	大阪大学	①-a	H26
5	Shimouchi A, Jinno N, Nose K, Taniguchi K.	Associations between mental conditions and breath carbon monoxide during night sleep	Breath Analysis Summit 2014	Poland	2014/7/7-8	国立循環器病研究センター	①-a	H26
6	Rajiv Kumar Verma, Akiko Michikawa, Norhayati Binti Sabani, Fumie Takei	Toward new FET devices detecting DNA	3rd imec-Handai International Symposium	大阪大学	2014/12/12	大阪大学	①-a	H26
7	Hiroyasu Yamaguchi, Yuichiro Kobayashi, Yoshinori Takashima, Akihito Hashidzume, and Akira Harada	Self-assembly of polymer gels through metal-ligand interactions	International Symposium on Polymer Chemistry 2014	Shanghai	2014/6/6	大阪大学	①-a	H26
8	山口浩靖	「生体」と「合成」の接点 - ハイブリッド化による高分子の機能化 -	第56回生物医工学サロン	大阪大学	2014/8/20	大阪大学	①-a	H26
9	山口浩靖	分子認識に基づく機能開拓 - 生体系と人工系のコラボレーション -	国際高等研研究会「分子基盤に基づく生体機能への揺らぎとダイナミックネットワークの解明」	京都	2014/12/14	大阪大学	①-a	H26
10	Shohei Shimizu	A non-Gaussian approach for estimating possible causal direction in the presence of latent confounders	Conference on Statistics and Causality 2014	University of Vienna	2014/5/23	大阪大学	②-a	H26
11	大城敬人, 川合知二, 谷口正輝	ナノギャップ電極デバイスによるトンネル電流に基づく核酸鎖識別法の開発	ナノ学会第12回大会	京都大学 きはだホール	2014/5/23	大阪大学	③-a	H26
12	大城 敬人・谷口 正輝・川合 知二	ナノ流路付きナノギャップ電極デバイスによる核酸塩基識別法の開発	日本分析化学会第74回分析化学討論会	福島郡山 日本大学工学部郡山キャンパス	2014/5/25	大阪大学	③-a	H26
13	大城敬人, 川合知二, 谷口正輝	メチル化DNA識別に向けたトンネル電流計測法の開発	第63回高分子学会年次大会	名古屋 名古屋国際会議場	2014/5/29	大阪大学	③-a	H26
14	大城敬人, 筒井真楠, 横田一道, 川合知二, 谷口正輝	単分子電気検出のためのシリコン基板デバイスの開発	第75回応用物理秋季学術講演大会	札幌, 北海道大学	2014/9/19	大阪大学	③-a	H26
15	大城 敬人・川合 知二・谷口 正輝	トンネル電流計測に基づくアミノ酸識別法の開発	日本分析化学第63回年会	広島大学東広島キャンパス	2014/9/18	大阪大学	③-a	H26
16	Masateru Taniguchi	Single-Molecule Tunnel-Current based Nucleotide identification Toward Sequencing	The 6th IEEE Nanoelectronics Conference 2014 (IEEE INEC2014), 2004年7月28-31日	Hokkaido University	2014/7/29	大阪大学	③-a	H26

17	T. Ohshiro, M. Tsutsui, K. Yokota, T. Kawai, M. Taniguchi	Single-Molecule Tunnel-Current based Detection Toward Amino-Acid Identification	2014 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2014)	Epochal, Tsukuba	2014/9/11	大阪大学	③-a	H26
18	Takahito Ohshiro, Makusu Tsutsui, Kazumichi Yokota, Tomoji Kawai, Masateru Taniguchi	Development of Single-Molecule Tunnel-Current based Identification Method by Metal Gap Structures	The 7th International Symposium on Surface Science (ISSS-7),	Shimane Prefectural Convention Center, Matsue	2014/11/4	大阪大学	③-a	H26
19	Takahito Ohshiro, Makusu Tsutsui, Kazumichi Yokota, Tomoji Kawai, Masateru Taniguchi	Development of a Single Molecular Tunnel-Current Identification method For Electrical Genome Sequencing	2014 MRS Fall Meeting & Exhibit	Boston@USA	2014/12/2	大阪大学	③-a	H26
20	Takahito Ohshiro, Makusu Tsutsui, Kazumichi Yokota, Tomoji Kawai, Masateru Taniguchi	Single-Molecule Tunnel-Current Detection For Biopolymer Identification	ICNME 2014	Kobe International Conference Center	2014/12/16-19	大阪大学	③-a	H26
21	Koga H., Nogi M., Suganuma K.	Flexible Paper Electronics Based on Cellulose Nanofiber Paper	IDW' 14	Niigata	2014/12/3-5	大阪大学	③-c	H26
22	Wang J., Araki T., Jiu J., Sugahara T., Nogi M., Nagao S., Koga H., Suganuma K.	Silver Nanowire: Synthesis, Conductivity Improvement and Application to Pressure Sensor	IEEE NANO 2014	Toronto, Canada	2014/8/18-21	大阪大学	③-c	H26
23	Inui T., Koga H., Nogi M., Komoda N., Suganuma K.	High-Dielectric Paper Composite Consisting of Cellulose Nanofiber and Silver Nanowire	IEEE NANO 2014	Toronto, Canada	2014/8/18-21	大阪大学	③-c	H26
24	Jiu J., Araki T., Wang J., Nogi M., Sugahara T., Nagao S., Koga H., Suganuma K., Nakazawa E., Hara M., Uchida H.	Synthesis and application of silver nanowires	1st International Conference on Polyol Mediated Synthesis (IC-PMS)	Paris, France	2014/6/22-25	大阪大学	③-c	H26
25	Inui T., Koga H., Nogi M., Suganuma K.	Small and Flexible Nanopaper Antenna for Wearable Electronics	IAWPS2015	Tokyo	2015/3/15-17	大阪大学	③-c	H26
26	Koga H., Nogi M., Suganuma K.	Uniform coating of conductive nanomaterials on cellulose nanofiber paper through a Papermaking Process	6th Asian Coating Workshop (ACW2014)	Kobe	2014/5/8-9	大阪大学	③-c	H26
27	Tonomura H., Koga H., Nishina Y., Nogi M., Suganuma K.	Paper-based supercapacitor electrodes prepared by a papermaking technique	ICFPE 2014 (5th International Conference on Flexible and Printed Electronics)	Beijing, China	2014/10/21-23	大阪大学	③-c	H26
28	Tonomura H., Koga H., Nishina Y., Nogi M., Suganuma K.	High-speed photo-reduction of graphene oxide for paper-based flexible supercapacitor	The 18th SANKEN International Symposium 2014	Osaka	2014/12/10-11	大阪大学	③-c	H26
29	Koga H., Nogi M.	Flexible Paper Electronics Prepared by using a Papermaking Technique	IAWPS2015	Tokyo	2015/3/15-17	大阪大学	③-c	H26
30	Eri Nakazawa	Transparent Conductive Electrode Technology of Silver Nanowires	INTERNATIONAL WORKSHOP ON ADVANCED DISPLAY & TECHNOLOGY	SETEC, Seoul, Korea	2014/10/21-23	昭和電工・大阪大学	③-c	H26

31	中澤恵理、原真尚、内田博、菅沼克昭	銀ナノワイヤを用いた透明電極技術	mate2015(第21回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム)	パシフィコ横浜会議センター	2015/2/3-4	昭和電工・大阪大学	③-c	H26
32	Araki T., Mandamparabil R., Yakimets I., Brand J., Nogi M., Koga H., Jiu J., Sekitani T., Suganuma K	Printed silver nanowires track by laser process	ICFPE 2014 (5th International Conference on Flexible and Printed Electronics)	Beijing, China	2014/10/21-23	大阪大学	③-c	H26
33	Araki T., Mandamparabil R., Yakimets I., Brand J., Nogi M., Koga H., Jiu J., Sekitani T., Suganuma K	Non-contact printing of silver nanowires for stretchable/ transparent electrodes	LOPEC	Munich, Germany	2015/3/3-5	大阪大学	③-c	H26
34	Araki T	ULTRAFLEXIBLE INTEGRATED CIRCUITS FOR IMPERCEPTIBLE BIO-SENSORS	Design, Automation & Test in Europe	Grenoble, France	2015/3/12	大阪大学	③-c	H26
35	Tsuyoshi Sekitani	Large-area, ultra-flexible organic electronics	Wilhelm und Heraeus-Seminar Flexible, Stretchable and Printable High Performance Electronics	Physikzentrum Bad Honnef, Germany	2015/1/14	大阪大学	③-c	H26
36	Yoshizaki A, Hoshino K, Kato-Nishimura K, Tachibana N, Yamamoto T, Sasaki J, Tachibana M, Matsuzawa S, Mohri I, Taniike M.	Japanese parents adequately comprehend the sleep habits and sleep-related symptoms of their junior high school children? : A multi-site questionnaire survey.	Australian association of cognitive behavioral therapy	Perth, Australia	2014/10/23-26	大阪大学	⑤-a	H26
37	村田絵美, 加藤久美, 木村志保子, 橋雅弥, 毛利育子, 谷池雅子.	アデノイド扁桃摘出術前後の睡眠呼吸障害小児の行動変化の検討	第39回日本睡眠学会	あわぎんホール、ホテルクレメント徳島	2014/7/3-4	大阪大学	⑤-a	H26
38	橋 雅弥, 毛利育子, 松澤重行, 加藤隆史, 谷池雅子	小児期の睡眠時ブラキシズムと睡眠・日中の行動との関連～質問紙を用いた大規模調査から～	第56回日本小児神経学会学術集会	浜松	2014/5/29-31	大阪大学	⑤-a	H26
39	谷池雅子	小児における睡眠呼吸障害 多様性に対する対応	第24回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会ワークショップ 10月25日 奈良 谷池	奈良	2014/10/25	大阪大学	⑤-a	H26
40	村田絵美, 毛利育子, 星野恭子, 三星喬史, 加藤久美, 松澤重行, 橋 雅弥, 大野ゆう子, 谷池雅子	日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての大規模調査	第6回日本臨床睡眠医学会学術集会	神戸	2014/8/1-3	大阪大学	⑤-a	H26
41	村田絵美, 加藤久美, 木村志保子, 橋雅弥, 毛利育子, 谷池雅子	閉塞性睡眠時無呼吸症候群のある小児のアデノイド扁桃摘除術後の行動変化の検討	第56回日本小児神経学会学術集会(第8回 子どもの眠り研究会)	浜松	2014/5/29-31	大阪大学	⑤-a	H26
42	橋 雅弥, 毛利育子, 松澤重行, 加藤隆史, 谷池雅子.	小児期の睡眠中歯ぎしりと睡眠・日中の行動との関連～質問紙を用いた大規模調査から～	第6回日本臨床睡眠医学会学術集会	神戸	2014/8/1-3	大阪大学	⑤-a	H26
43	村田絵美, 加藤久美, 飯村慈朗, 千葉伸太郎, 木村志保子, 橋 雅弥, 松澤重行, 毛利育子, 谷池雅子	閉塞性睡眠時無呼吸症候群のある小児のアデノイド扁桃摘除術後の行動変化の検討.	第6回日本臨床睡眠医学会学術集会	神戸	2014/8/1-3	大阪大学	⑤-a	H26

44	S.Haraki S.Nonoue A.Tsujisaka K.Uno A.Mikami S.Ishigaki T.Mizumori H.Yatani A.Yoshida T.Kato	Sleep architecture in young adults with sleep bruxism	World Association of Sleep Medicine	Seoul, Korea	2015/3/21-25	大阪大学	⑤-a	H26
45	加藤隆史	社会と個人のために『これからの睡眠』を医療に広げるには？	睡眠をじっくり見たら気づく現象. 第6回日本臨床睡眠医学会サテライトシンポジウム	神戸	2014/8/3	大阪大学	⑤-a	H26
46	加藤隆史	睡眠時ブラキシズム: 発生機序とリスク因子から見えるもの	第39回日本睡眠学会定期学術大会 公募シンポジウム「睡眠時ブラキシズムのリスクファクターを再考する. 個別化医療へ向けて」	徳島	2014/7/4	大阪大学	⑤-a	H26
47	岡田志麻	サーモグラフィを自律神経指標とした睡眠評価	日本サーモロジー学会 第31回大会	関西医療大学 附属診療所	2014/6/7-8	近畿大学	⑤-a	H26
48	真田慎、岡田志麻	Kinectを用いた夜間徘徊防止のための離床認識方法の開発	第2回看護理工学会	大阪大学豊中キャンパス 大学会館	2014/10/4-5	近畿大学	⑤-a	H26
49	Masashi KITAGAWA, Shima OKADA	Relationship of the Sleep Stages and Body Movement during Sleep	International Biomedical Engineering Conference 2014	Fukuoka	2014/11/26-28	近畿大学	⑤-a	H26
50	Yusuke Sakamoto, Ken-ichi Fukui, Daniela Nicklas, Koichi Moriyama, and Masayuki Numao.	Detection of Concept Drift on an Adaptive Monitoring System	Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP-2014)	Manila, Philippines	2014/10/6-7	大阪大学	⑤-b	H26
51	Peerapon Vateekul, Nattapong Thammasan, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	Item-Based Learning for Music Emotion Prediction Using EEG Data	5th International Workshop on Empathic Computing (IWEC'14) held in conjunction with PRICAI-2014.	Gold Coast, Australia	2014/12/1-5	大阪大学	⑤-b	H26
52	Noriko Otani, Shoko Shirakawa, and Masayuki Numao	Design of Populations in Symbiotic Evolution to Generate Chord Progression in Consideration of the Entire Music Structure	5th International Workshop on Empathic Computing (IWEC'14) held in conjunction with PRICAI-2014.	Gold Coast, Australia	2014/12/1-5	東京都市大学	⑤-b	H26
53	Nirattaya Khamsemanan, Cholwich Nattee, and Masayuki Numao	A First-Order Logic Representation Based Distance Function	24th International Conference on Inductive Logic Programming.	Nancy, France, Sept. 2014.	2014/9/14-16	大阪大学	⑤-b	H26
54	Nirattaya Khamsemanan, Cholwich Nattee, and Masayuki Numao	Visualizations of First-Order Logic Representation Based Dataset	24th International Conference on Inductive Logic Programming.	Nancy, France, Sept. 2014.	2014/9/14-16	大阪大学	⑤-b	H26
55	三邊義雄	脳の個性を活かした子どものすこやかな心の育成	COIキックオフ会議	大阪大学 銀杏会館	2014/7/2	金沢大学	⑥	H26
56	三邊義雄	大阪大学COIが目指す10年後の姿の実現について	第2回大阪大学COIワークショップ	千里ライフサイエンスセンター(大阪)	2014/11/21	金沢大学	⑥	H26
57	菊知 充	認知症の医学的理解について	公益社団法人日本認知症グループホーム協会研修会	石川県地場産業振興センター	2014/11/1	金沢大学	⑥	H26
58	菊知 充	幼児脳の個性の「見える化」への取り組み	第3回金沢大学子どものこころサミット	赤羽ホール(金沢)	2014/11/29	金沢大学	⑥	H26
59	菊知 充	広汎性発達障害の早期診断のための診断システム開発	第45回公益財団法人アステラス病態代謝研究会	日本工業倶楽部(東京)	2014/10/18	金沢大学	⑥	H26

60	菊知 充	自閉症スペクトラム障害の認知特性と脳機能の特徴	第14回「精神疾患と認知機能研究会」	海運クラブ(東京)	2014/11/8	金沢大学	⑥	H26
61	高橋哲也	Complexity of spontaneous brain activity in mental disorders	International Workshop on Cognitive Neuroscience Robotics	脳情報通信融合研究センター(大阪)	2014/12/10	金沢大学	⑥	H26
62	高橋哲也	自閉症スペクトラム障害における神経ネットワーク障害の解明:非線形解析を用いた脳生理学的検討	第3回金沢大学子どものこころサミット	赤羽ホール(金沢)	2014/11/28	金沢大学	⑥	H26
63	吉村優子	幼児期の言語発達に関連する脳機能研究	第3回金沢大学子どものこころサミット	赤羽ホール(金沢)	2014/11/28	金沢大学	⑥	H26
64	長谷川千秋	質問紙法にみる親のBroader autism phenotype	第3回金沢大学子どものこころサミット	赤羽ホール(金沢)	2014/11/28	金沢大学	⑥	H26
65	平石博敏	自閉症とモラル判断	第3回金沢大学子どものこころサミット	赤羽ホール(金沢)	2014/11/28	金沢大学	⑥	H26
66	山末英典	中枢神経系疾患におけるunmet medical needs—自閉症の治療薬開発—	「日本の未来を拓く創薬と臨床研究」、第35回日本臨床薬理学会学術総会シンポジウム23	愛媛(松山)	2014/12/5	東京大学	⑥	H26
67	山末英典	自閉症を知る:画像によるADHDとの対比から	発達障害を学ぶ:医学的理解から教育/療育へ「発達障害の病気を学ぶ」	名古屋市立大学、愛知(名古屋)	2014/10/29	東京大学	⑥	H26
68	山末英典	脳の発達とASD-オキシトシンの研究からわかってきたこと-	「自閉症スペクトラム(ASD)の治療とは何か-臨床診断・脳画像研究・ケアの協働からわかること-」、明治安田生命こころの健康財団	東京	2014/10/11	東京大学	⑥	H26
69	山末英典	自閉症スペクトラム障害成人の脳画像研究からわかること	第7回発達障害精神医療研修、国立精神・神経医療研究センター	東京	2014/9/24	東京大学	⑥	H26
70	山末英典	対人コミュニケーションの障害の脳病態解明から治療開発へ	名古屋市立大学大学院博士過程 生体情報・機能制御医学講義1	名古屋市立大学、愛知(名古屋)	2014/7/28	東京大学	⑥	H26
71	山末英典	対人コミュニケーションの障害の脳病態解明から治療開発へ	東京大学医学部臨床研究者育成プログラム	東京大学、東京	2014/7/25	東京大学	⑥	H26
72	高橋秀俊、軍司敦子、廣永成人、萩原綱一、飛松省三、神尾陽子	自閉症スペクトラム障害の聴覚誘発脳磁界反応について	日本臨床脳磁図コンソーシアムサテライトシンポジウム	福岡国際会議場、福岡県福岡市	2014/11/19	国立精神・神経医療研究センター	⑥	H26
73	高橋秀俊、神尾陽子	自閉症スペクトラム障害児における聴覚性驚愕反射の特性とエンドフェノタイプ候補可能性の検討	第36回日本生物学的精神医学会 第57回日本神経化学会大会合同年会	奈良県文化会館・奈良県新公会堂	2014/9/29	国立精神・神経医療研究センター	⑥	H26
74	樋口正法	「白昼に星を見つける」感度極限超伝導センサの開発	第3回金沢大学子どものこころサミット	赤羽ホール(金沢)	2014/11/29	金沢工業大学	⑥	H26
75	D.Oyama, M.Miyamoto, Y.Adachi, J.Kawai, M.Higuchi, N.Tsuyuguchi, G.Uehara	Development of measurement system for ultra-low-field MRI	計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2014	金沢大学	2014/9/17-19	金沢工業大学	⑥	H26
76	Minoru Asada	Affective Developmental Robotics How can we design the development of artificial empathy?	The 9th ACM/IEEE International Conference on Human-Robot Interaction Workshop on HRI:A Bridge between Robotics and Neuroscience, 2014	Bielefeld, Germany	2014/3/3-6	大阪大学	⑥	H26
77	Nobutsuna Endo, Tomohiro Kojima, Yuki Sasamoto, Hisashi Ishihara, Takato Horii, and Minoru Asada	Design and Preliminary Experiments of an Articulation Mechanism for an Infant-like Vocal Robot "Lingua" towards natural conversation with people@home.	第40回人工知能学会AIチャレンジ研究会(SIG-Challenge)予稿集, Vol.DVD-ROM, pp.15--19, 2014.	九州工業大学	2014/5/5	大阪大学	⑥	H26

78	J. Baraglia, Y. Nagai, and M. Asada	Prediction Error Minimization for Emergence of Altruistic Behavior	Proceedings of the 4th IEEE International Conference on Development and Learning and on Epigenetic Robotics, pp. 273-278, October 2014.	Genoa, Italy	2014/10/13-16	大阪大学	⑥	H26
79	Seiji Yamasaki, Ryosuke Nakashima, Keisuke Sakurai, Katsuhiko Hayashi, Chikahiro Nagata, Kazuki Hoshino, Yoshikuni Onodera, Akihito Yamaguchi, Kunihiko Nishino	Inhibitor-bound structures and inhibition mechanism of multidrug efflux pumps.	6th Symposium on Antimicrobial Resistance in Animals and the Environment	Tours, France	2015/6/29-7/1	大阪大学	①-c	H27
80	Suguru Yamasaki, Ryosuke Nakashima, Keisuke Sakurai, Sylvie Baucheron, Etienne Giraud, Benoît Doublet, Axel Cloeckert, Kunihiko Nishino	Crystal structure of multidrug resistance regulator RamR complexed with bile acids.	6th Symposium on Antimicrobial Resistance in Animals and the Environment	Tours, France	2015/6/29-7/1	大阪大学	①-c	H27
81	Giraud E, Baucheron S, Doublet B, Monchaux I, Nishino K, Cloeckert A	Influence of biliary salts and of the ramRA locus on Salmonella Typhimurium invasion.	6th Symposium on Antimicrobial Resistance in Animals and the Environment	Tours, France	2015/6/29-7/1	大阪大学	①-c	H27
82	山崎聖司、中島良介、櫻井啓介、林克彦、長田親広、星野一樹、小野寺宜郷、山口明人、西野邦彦	細菌異物排出ポンプの阻害剤結合様式と阻害メカニズムの解明	第62回日本生化学会近畿支部例会	滋賀	2015/5/16	大阪大学	①-c	H27
83	山崎聖司	耐性菌感染症の克服に向けた細菌薬剤排出ポンプの機能解析と阻害剤開発	平成27年度日本学術振興会育志賞研究発表会	京都	2015/8/31	大阪大学	①-c	H27
84	山崎聖司、中島良介、櫻井啓介、林克彦、長田親広、星野一樹、小野寺宜郷、山口明人、西野邦彦	細菌異物排出ポンプの阻害剤結合様式と阻害メカニズムの解明	第27回微生物シンポジウム	岡山	2015/9/4-5	大阪大学	①-c	H27
85	井上雄太、山崎聖司、櫻井啓介、樋口雄介、山口明人、加藤修雄	緑膿菌多剤排出トランスポーター新規阻害剤の研究	日本ケミカルバイオロジー学会第10回年会	宮城	2015/6/10-12	大阪大学	①-c	H27
86	山崎優、中島良介、櫻井啓介、Sylvie Baucheron, Etienne Giraud, Benoit Doublet, Axel Cloeckert, 西野邦彦	胆汁酸によるサルモネラ異物排出システム AcrAB-TolCの発現制御機構の解明	第68回日本細菌学会関西支部総会	京都	2015/11/28	大阪大学	①-c	H27

87	山崎聖司、井上雄太、樋口雄介、中島良介、櫻井啓介、林克彦、長田親広、星野一樹、小野寺宜郷、加藤修雄、山口明人、西野邦彦	多剤耐性菌感染症の克服に向けた細菌薬剤排出ポンプの構造解析と阻害剤開発	第68回日本細菌学会関西支部総会	京都	2015/11/28	大阪大学	①-c	H27
88	藤岡拓真、山崎聖司、西野美都子、西野邦彦	フェノタイプマイクロアレイを用いたサルモネラ排出トランスポーターの解析	第68回日本細菌学会関西支部総会	京都	2015/11/28	大阪大学	①-c	H27
89	春野雅彦	脳活動に基づく社会行動の予測と制御	CiNetシンポジウム	大阪大学	2015/6/17	NICT・CiNet	②-a	H27
90	春野雅彦	向社会行動における前頭前野と扁桃体の異なる働き Different functional roles of the desolateral prefrontal cortex and amygdala in human prosocial behavior	第38回日本神経科学大会 春野 雅彦	Kobe International Exhibition Hall	2015/7/28	NICT・CiNet	②-a	H27
91	八木 健	ニューロンの個性がつくる複雑なニューラルネットワーク	第5回CiNetシンポジウム/COIシンポジウム	東京国際フォーラム(東京都)	2015/6/17	大阪大学	②-b	H27
92	八木 健	遺伝子と情報—Gene Matched Networksとコミュニティ解析への応用	「保育・教育分野における人間行動ビッグデータ活用の方向性を探る」公開研究会	北海道大学(北海道)	2015/2/28	大阪大学	②-b	H27
93	大城敬人、筒井真楠、横田一道、谷口正輝	トンネル電流生体高分子識別法による単分子温度変化挙動の観察	第63回応用物理学会春季学術講演	東京工業大学	2016/3/21	大阪大学	③-a	H27
94	Takahito Ohshiro, Makusu Tsutsui, Yokota Kazumichi, Tomoji Kawai, Masateru Taniguchi	Development of a Single Molecular Tunnel-Current based Identification Method Toward Nucleotide Sequencing	Pacificchem 2015	Hawaii@USA	2015/12/15-20	大阪大学	③-a	H27
95	Tetsuji INUI, Hiroataka KOGA, Masaya NOGI, Katsuaki SUGANUMA	A Printed Small Antenna on High Dielectric Nanopaper Composite for Flexible and Wearable Electronics	2015 International Conference on Flexible and Printed Electronics	Taipei, Taiwan	2015/10/21-23	大阪大学	③-c	H27
96	Yue GAO, Jinting JIU, Shijo NAGAO, Tohru SUGAHARA, Katsuaki SUGANUMA	Low Temperature Process Based on Copper Paste	5th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials	Kurashiki	2015/7/7-10	大阪大学	③-c	H27
97	Su DING, Jinting JIU, Katsuaki SUGANUMA, Yanhong TIAN	Copper Nanowire Transparent Electrodes Fabricated with a High Intensity Pulsed Light Technique	5th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials	Kurashiki	2015/7/7-10	大阪大学	③-c	H27
98	Su DING, Jinting JIU, Katsuaki SUGANUMA, Yanhong TIAN, Hiroshi UCHIDA	Stretchable Transparent Conductors Based on Copper Nanowires and Polyurethane	15th International Conference on Nanotechnology	Rome, Italy	2015/7/27-30	大阪大学	③-c	H27
99	Jun WANG, Jinting JIU, Tohru SUGAHARA, Shijo NAGAO, Masaya NOGI, Hiroataka KOGA, Katsuaki SUGANUMA, Peng HE	The Effect of Ultraviolet Radiation on Silver NanowireTransparent Electrode Based on Flexible Polymeric Film Substrate	15th International Conference on Nanotechnology	Rome, Italy	2015/7/27-30	大阪大学	③-c	H27

100	Jinting Jiu, Jun Wang, Tohru Sugahara, Shijo Nagao, Masaya Nogi, Hirotaka Koga, Katsuaki Sugauma	Reliability of Silver Nanowire Transparent Electrode under Atmospheric Environment	15th International Conference on Nanotechnology	Rome, Italy	2015/7/27-30	大阪大学	③-c	H27
101	Juan Lorenzo Hagad, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, Masayuki Numao	Modeling Work Stress using Heart Rate and Stress Coping Profiles	Proc. 6th International Workshop on Empathic Computing (IWEC 2015), in conjunction with PRIMA 2015	Bertinoro, Italy	2015/10/26	大阪大学	③-c	H27
102	田附俊一	Quantitatively Measured Variation of Play by Substituted Team Members in Ball Games	European College of Sport Science, 21st annual congress of the European College of Sport Science	Vienna, Austria	2016/7/6	日立製作所	④	H27
103	相原伸平	Development of Advanced Position Measurement System in Team Sports	European College of Sport Science, 21st annual congress of the European College of Sport Science	Vienna, Austria	2016/7/6	日立製作所	④	H27
104	松壽順子 下野九理子 平田郁子 花家竜三 永谷文代 富永康仁 毛利育子 谷池雅子	自閉症スペクトラム障害児における聴覚過敏性とミスマッチフィールド(MMF)の関係について	第57回日本小児神経学会総会	帝国ホテル大阪	2016/5/28-30	大阪大学	⑤-a	H27
105	志澤美保、松壽順子、衛藤萌、辰巳愛香、山本知加、吉崎亜里香、酒井佐枝子、平田郁子、毛利育子、谷池雅子	自閉症スペクトラム児の幼児期における偏食と感覚特性との関連	第57回日本小児神経学会総会	帝国ホテル大阪	2016/5/28-30	大阪大学	⑤-a	H27
106	谷池雅子	地域に生かす発達障害研究	第118回日本小児科学会総会	大阪	2015/4/18	大阪大学	⑤-a	H27
107	谷池雅子	小児の閉塞性無呼吸症候群 現状と課題	第48回Sleep Apneaカンファレンス	東京	2015/8/8	大阪大学	⑤-a	H27
108	谷池雅子	自閉症の脳科学	第20回発達支援地域ネットワーク研究会	大阪	2015/6/14	大阪大学	⑤-a	H27
109	村田絵美、永井利三郎、谷池雅子、片山泰一	大阪府I市における市民統一シートの導入時アンケート調査(中間報告)	第62回日本小児保健学会学術集会	長崎ブリックホール	2015/6/19	大阪大学	⑤-a	H27
110	村田絵美、毛利育子、星野恭子、三星喬史、加藤久美、松澤重行、橋雅弥、大野ゆう子、谷池雅子	日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての大規模調査	第40回日本睡眠学会	宇都宮	2015/7/2-3	大阪大学	⑤-a	H27
111	村田絵美、毛利育子、星野恭子、三星喬史、加藤久美、松澤重行、橋雅弥、大野ゆう子、谷池雅子	日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての大規模調査	子どもの早起きをすすめる会 2015年シンポジウム	東京	2015/8/30	大阪大学	⑤-a	H27
112	毛利育子、早田敦子、橋本均、谷池雅子	自閉症脳におけるprostaglandin D2の関与	第16回 ORIGIN 神経科学研究会	下関	2015/8/28-29	大阪大学	⑤-a	H27
113	塚原 理恵、平田 郁子、松壽順子、中西 真理子、毛利 育子、谷池 雅子、大藪 恵一	自閉症スペクトラム障がい児における、感覚過敏と問題行動	第118回日本小児科学会総会	大阪	2015/4/17-19	大阪大学	⑤-a	H27

114	衛藤 萌, 酒井 佐枝子, 下野 九理子[鍵谷], 毛利 育子, 谷 池 雅子	行動指標から捉える自閉症スペクトラム障害児 の表情認知特性	第41回日本脳科学会	福井	2014/11/22 -23	大阪大学	⑤-a	H27
115	Hanaie R, Mohri I, Kagitani- Shimono K, Hirata I, Matsuzaki J, Nagatani F, Watanabe Y, Taniike M	Abnormal cerebellar functional connectivity in children with autism spectrum disorder.	Society for neuroscience 2015	Chicago, USA.	2015/10/19 -21	大阪大学	⑤-a	H27
116	松澤重行, 山 崎早苗, 中野 さやか, 青天 目信, 大園恵 一, 谷池雅子	睡眠関連喉頭痙攣の3例	第57回日本小児神経学会学術 集会	大阪	2015/5/28- 30	大阪大学	⑤-a	H27
117	松澤重行, 麦 居聡美, 高橋 あゆみ, 寺岡 佐也子, 加藤 久美, 大木 昇, 毛利育 子, 谷池雅子	小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対するアデ ノイド/扁桃摘出術前後の睡眠中心拍変動の 変化—Complex Demodulation法を用いた検討. Adenotonsillectomy and changes of heart rate variability in children with obstructive sleep apnea syndrome.	第57回日本小児神経学会総会 第9回子どもの眠り研究会	大阪	2015/5/28- 30	大阪大学	⑤-a	H27
118	桑田綾乃, 松 澤重行, 星野 恭子, 村田絵 美, 加藤久 美, 橘雅弥, 毛 利育子, 大野 ゆう子, 谷池 雅子	日本版子どもの眠りの質問票[小学生版]の開 発および標準化	第7回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ)学術集会	大阪	2015/7/31- 8/1	大阪大学	⑤-a	H27
119	松澤重行, 寒 川あゆみ, 麦 居聡美, 寺岡 佐也子, 加藤 久美, 大木 昇, 毛利育 子, 谷池雅子	小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する治療 効果の検討—睡眠段階、睡眠時間帯ごとの心 拍変動評価。The relationship between sleep stages, time intervals of sleep periods and heart rate variability after adenotonsillectomy for pediatric obstructive sleep apnea.	第7回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ)学術集会	大阪	2015/7/31- 8/1	大阪大学	⑤-a	H27
120	村田絵美, 毛 利育子, 松澤 重行, 加藤久 美, 谷池雅子	小児の睡眠ポリグラフィ検査施行におけるプレ パレーションの有効性に関する検討	第7回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ)学術集会	大阪	2015/7/31- 8/1	大阪大学	⑤-a	H27
121	吉崎亜里香, 星 野恭子, 加藤久 美, 立花直子, 山本知加, 橘雅 弥, 松澤重行, 毛利育子, 谷池 雅子	日本の中学生の睡眠習慣と睡眠に関連するライ フスタイル ～子どもの自己報告と保護者の報告 から～	第7回日本臨床睡眠医学会 (ISMSJ)学術集会	大阪	2015/7/31- 8/1	大阪大学	⑤-a	H27
122	Wu H, Fukui K, Kato T, Numao M.	Individual Sleep Pattern Characterization via Cluster Analysis of Audio Data.	Proc. Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP- 2015)	Cebu City, Philippines	2015/9/23	大阪大学	⑤-a	H27
123	加藤隆史	身近な歯ぎしりの少し難しい話	第12回子ども学会議シンポジウ ム「子どもの睡眠障害の最前線 ～治療から先制医療、そして眠 育へ」	神戸	2015/10/11	大阪大学	⑤-a	H27
124	原木真吾, 辻 阪亮子, 石垣 尚一, 瑞森崇 弘, 矢谷博 文, 吉田篤, 加藤隆史	高頻度のRMMAを有する若手被験者における生 理学的および心理学的特性	第55回日本顎口腔機能学会学 術大会	大阪	2015/10/31	大阪大学	⑤-a	H27
125	辻阪亮子, 原 木真吾, 瑞森 崇弘, 矢谷博 文, 吉田篤, 加藤隆史	高頻度RMMAを有する若年被験者における呼吸 イベントの発現特性	第55回日本顎口腔機能学会学 術大会	大阪	2015/10/31	大阪大学	⑤-a	H27
126	加藤隆史, 豊 田理紗, 東山 亮, 原木真 吾, 矢谷博 文, 佐藤文 彦, 吉田篤	実験動物およびヒトのノンレム睡眠で発生するリ ズム性咀嚼筋活動の生理学的類似性	第55回日本顎口腔機能学会学 術大会	大阪	2015/10/31	大阪大学	⑤-a	H27
127	加藤隆史	睡眠時ブラキシズムの臨床・研究に睡眠医学は 必要か？	第124回日本歯科補綴学会学術 大会	大宮	2015/5/30	大阪大学	⑤-a	H27

128	加藤隆史	睡眠時ブラキシズムの病態生理からみたスプリントの臨床的役割	第28回日本顎関節学会学術大会	名古屋	2015/7/4	大阪大学	⑤-a	H27
129	安本千晶、樋江井武彦、加藤隆史、松澤重行、谷池雅子	夏期睡眠時の温度が生体にも与える影響に関する検討	平成27年度空調和・衛生工学会近畿支部学術研究発表会	大阪	2016/3/9	大阪大学	⑤-a	H27
130	村田 絵美、毛利 育子、加藤久美、飯村 慈朗、橘 雅弥、松澤 重行、小川 真、谷池 雅子	閉塞性睡眠時無呼吸 (obstructive sleep apnea: OSA) のある小児のアデノイド扁桃摘出後の行動変化の検討	第42回日本脳科学学会	宮崎	2015/11/12-13	大阪大学	⑤-a	H27
131	北川将嗣、岡田志麻	非接触電波センサを用いた体動、呼吸計測による覚醒度推定に関する研究	第54回日本生体医工学会大会	名古屋国際会議場	2015/5/7-9	近畿大学	⑤-a	H27
132	三俣雄太郎、小林敬裕、黒津明日大、岡田志麻	伸縮特性を持つ導電布を利用した筋電図と筋形状の同時計測	生体医工学シンポジウム2015	岡山国際交流センター	2015/9/25	近畿大学	⑤-a	H27
133	Yutaro Mitsumata, Teruaki Nochino, Takahiro Kobayashi, and Shima Okada	Development of Measurement System for EMG and Forearm-muscle Shape Changes Using Conductive Fabric	u-Healthcare2015	近畿大学	2015/11/30-12/2	近畿大学	⑤-a	H27
134	Takahiro Kobayashi, and Shima Okada	Wearable Electromyography Measurement System Using Capacitance Coupling Electrodes	u-Healthcare2015	近畿大学	2015/11/30-12/2	近畿大学	⑤-a	H27
135	Okada, Shima, Kitagawa Masashi	Noncontact Sleep Measurement System	37th Annual International Conference of the IEEE	Milano	2015/8/25-29	近畿大学	⑤-a	H27
136	Makoto Sanada, Shima Okada, Yuhei Kamei	The Method of Real Time Sign Language Interpreting Using Kinect	37th Annual International Conference of the IEEE	Milano	2015/8/25-29	近畿大学	⑤-a	H27
137	Yuhei Kamei, Shima Okada	Classification of Fingers and Forearm Movement Using Electromyogram and Shapes Changes of forearm	37th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	Milano	2015/8/29	近畿大学	⑤-a	H27
138	Hongle Wu, Ken-ichi Fukui, Takafumi Kato, Masayuki Numao	Sleep Pattern Characterization via Cluster Analysis of Audio Data	人工知能学会 第106回 知識ベースシステム研究会(SIG-KBS), Nov. 2015.	慶應義塾大学 日吉キャンパス	2015/11/12	大阪大学	⑤-a	H27
139	大谷紀子、饗庭絵里子、沼尾正行	個人の嗜好に合わせた高揚曲の自動生成	情報処理学会第11回デジタルコンテンツクリエーション研究会	多摩美術大学(東京都)	2015/11/9	大阪大学	⑤-b	H27
140	松田真輔、小林悠輝、赤井智喜、今村健太郎、小林光	シリコンナノ粒子による水の分解と水素濃度	第62回応用物理学会春季学術講演会	神奈川	2015/3/11-14	大阪大学	⑤-d	H27
141	K. Kimura, T. Matsumoto, Y. Kanatani, T. Higo, H. Kobayashi	Hydrogen generation by reaction of Si nanoparticles fabricated from Si swarf with water	1st International Conference on Applied Surface Science	Shanghai, China	2015/7/27-30	大阪大学・日新化成	⑤-d	H27
142	菊知充	自閉症スペクトラム障害児のMEG研究	第57回日本小児神経学会学術集会	大阪	2015/5/29	金沢大学	⑥	H27
143	菊知充	幼児の長所を見える化し、弱克服をモニターする	第5回CiNetシンポジウム・第3回大阪大学COIシンポジウム	東京	2015/6/17	金沢大学	⑥	H27
144	吉村優子	幼児期の脳機能研究-自閉症スペクトラムと定型発達と比較から	赤ちゃん学会若手部会第3回	熱海	2015/8/1	金沢大学	⑥	H27
145	三邊義雄、高橋哲也、吉村優子	Neuroimaging for brain development in young children with autism spectrum disorder.	Workshop on Language Disorders and Brain Science	北京	2015/8/7	金沢大学	⑥	H27

146	高橋哲也	自閉症における神経ネットワーク障害の解明: 脳磁図の複雑性解析	発達神経科学学会第4回大会	大阪	2015/9/6	金沢大学	⑥	H27
147	長谷川 千秋、池田 尊司、平田 雅之、吉村 優子、平石 博敏、高橋 哲也、三邊 義雄、浅田 稔、菊知 充	母子対面中の脳活動に反映される自閉症特性: 母子同時MEG研究から	発達神経科学学会第4回大会	大阪	2015/9/6	金沢大学	⑥	H27
148	三邊義雄、高橋哲也	Neuroimaging for brain development in young children with autism spectrum disorder	Workshop for Collaboration between Kanazawa Institute of Technology and Cognitive Neuroscience Laboratories in Taiwan.	金沢工業大学(金沢)	2015/10/7	金沢大学	⑥	H27
149	高橋哲也	自閉症スペクトラム障害児における神経ネットワーク障害の検討: 脳磁図の複雑性解析およびグラフ解析	第42回日本脳科学学会	宮崎	2015/11/12	金沢大学	⑥	H27
150	高橋哲也	Increasing Signal Variability During Development and Its Relevance to Autism Spectrum Disorders	WPAIC	台湾	2015/11/21	金沢大学	⑥	H27
151	長谷川千秋・高橋哲也・池田尊司・吉村優子・平石博敏・菊知充	母子インタラクション時の脳内ネットワーク活動の検討: 脳磁図のグラフ解析を用いて	北陸心理学会50回大会	金沢	2015/12/5	金沢大学	⑥	H27
152	長谷川千秋	小中学生の教職員を対象とした小学生・中学生のこころの健康に関する調査の結果	子どもみんなシンポジウム in 金沢	金沢	2016/1/27	金沢大学	⑥	H27
153	J. Baraglia, M. Cakmak, Y. Nagai, R. Rao, and M. Asada	Initiative in Robot Assistance during Collaborative Task Execution	HRI 2016	Christchurch New Zealand	2016/3/7-10	大阪大学	⑥	H27
154	Y. Nagai and M. Asada	Predictive Learning of Sensorimotor Information as a Key for Cognitive Development	IROS-WS 2015	Hamburg, Germany	2015/10/2	大阪大学	⑥	H27
155	Takahashi H, Kamio Y.	Habituation and prepulse inhibition of acoustic startle response in children with autism spectrum disorders.	The 38th Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society	Kobe	2015/7/28-31	国立精神・神経医療研究センター	⑥	H27
156	Gen Uehara, Daisuke Oyama, Miki Kawabata, Yoshiaki Adachi, Masakazu Miyamoto, Jun Kawai, Masanori Higuchi, Yacubino	A trial to improve the reliability and the robustness of MEG measurement	Workshop on Language Disorders and Brain Science	Beijing	2015/8/6-8	金沢工業大学	⑥	H27
157	小山大介、樋口正法、上原弦	超低磁場MRI用シミュレーションソフトウェアの開発	電気学会医用・生体工学研究会	盛岡	2015/10/30	金沢工業大学	⑥	H27
158	Gen Uehara, Daisuke Oyama, Miki Kawabata, Yoshiaki Adachi, Masakazu Miyamoto, Jun Kawai, Masanori Higuchi	An MEG phantom and an irregular-baseline gradiometer	8th East Asia Symposium on Superconductive Electronics (EASSE 2015)	Daejeon, Korea	2015/11/3-6	金沢工業大学	⑥	H27
159	Ichiro Yamashita, Kazuyuki Nobusawa, Fumie Takei, Kazuhiko Nakatani	Stress Bio-marker Sensing by a Lab on a Chip	1st International Conference on COI Program at Osaka University	Knowledge Capital Congrès Convention Center, Osaka	2016/12/13	大阪大学、パナソニック	①-a	H28
160	下内章人、國生佳子、小松真理子、神野直哉、谷口健太郎	種々のフィールドにおける 呼気ガス検査の試み	第8回安定同位体生体ガス医学応用学会	東京慈恵会医科大学	2016/10/14-15	中部大学	①-a	H28

161	細川 鉄平, 中村 邦彦, 森田 幸弘, 西谷 幹彦, 藤内 謙光	蛍光性有機多孔質体のセンサ応用	電気化学会第84回大会	首都大学東京	2017/3/25	パナソニック、大阪大学	①-a	H28
162	Seiji Yamasaki, Li-Yuan Wang, Takahiro Hirata, Mitsuko Hayashi-Nishino, Kunihiko Nishino	Multidrug efflux pumps contribute to Escherichia coli biofilm maintenance.	The 15th Awaji International Forum on Infection and Immunity.	Hyogo	2016/9/6-9	大阪大学	①-b	H28
163	山崎聖司、中島良介、櫻井啓介、林克彦、井上雄太、樋口雄介、加藤修雄、山口明人、西野邦彦	耐性菌異物排出ポンプの構造解析と新規阻害剤開発	第45回 薬剤耐性菌研究会	安芸グランドホテル	2016/10/21-22	大阪大学	①-b	H28
164	山崎聖司、西野邦彦	創薬ターゲットとしての細菌異物排出ポンプ	第64回日本化学療法学会西日本支部総会	沖縄コンベンションセンター	2016/11/24-26	大阪大学	①-b	H28
165	山崎聖司	腸内フローラを利用したヒト活性化手段の開発	第5回 ネイチャー・インダストリー・アワード	大阪科学技術センタービル	2016/11/30	大阪大学	①-b	H28
166	Osaka, N., Yaoi, K., Minamoto, T., Azuma, M., & Osaka, M.	Zen Mediator Overcomes the Stroop Interference: An fMRI Study of Access Consciousness	International Meeting of the Psychonomic Society 2016	Palacio de Congresos de Granada, Granada, Spain, May 8, 2016.	2016/5/8	NICT・CiNet	②-a	H28
167	Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M.	Effect of color working memory under Stroop color matching on prefrontal brain activity during Zen-meditation	ACA2016	CHANGSHU International Hotel, Changshu Jiangsu Province, China	2016/5/22	NICT・CiNet	②-a	H28
168	大城敬人, 筒井真楠, 横田一造, 谷口正輝	分子制御ギャップ電極によるトンネル電流に基づく核酸塩基鎖識別法の開発	日本分析学会第65回年会	北海道大学, 札幌	2016/9/16	大阪大学	③-a	H28
169	Yusuke Okabe, Teppei Araki, Hiroataka Koga, Tenkyoku Go, Katsuaki Suganuma, Masato Akimoto	Development of Low-temperature curable, Flexible Electrical Isotropic conductive Adhesive	IEEE NANO 2016	Sendai	2016/8/23	セメダイン	③-c	H28
170	Wanli Li, Jinting Jiu, Katsuaki Suganuma	Flexible copper patterns based on a novel copper ink composed of submicron copper particles and copper complexes under low temperature process	ICFPE 2016	Yonezawa	2016/9/6-8	大阪大学	③-c	H28
171	Yusuke Goya, Hiroataka Koga, Masaya Nogi, Katsuaki Suganuma	Effect of Conductive Nanomaterials on Radio-waves Transmission Performance of Printed Antenna	IEEE NANO 2016	Sendai	2016/8/22-25	大阪大学	③-c	H28
172	Shusuke Yoshimoto, Teppei Araki, Takafumi Uemura, Toshikazu Nezu, Masaya Kondo, Kenichi Sasai, Masayuki Iwase, Hideki Satake, Akio Yoshida, Mitsuru Kikuchi,	Wireless EEG Patch Sensor on Forehead Using On-Demand Stretchable Electrode Sheet and Electrode-Tissue Impedance Scanner	38th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, 6286-6289	Florida USA	2016/8/16-20	大阪大学	③-c	H28
173	Teppei Araki, Tsuyoshi Sekitani	Printable Stretchable Electrodes Based on Silver Nanowires	International Nanotechnology Conference & Expo, Session 4 Materials Science and Engineering, Nanomedicine, and Nanoelectronics and Bio medical Devices, Apr. 2015	Baltimore, USA	2016/4/6	大阪大学	③-c	H28

174	Kato T, Toyota R, Haraki S, Yano H, Higashiyama M, Ueno Y, Sato F, Yatani H, Yoshida A	Rhythmic Masticatory Muscle Activity During Sleep in Animals and Humans	IADR2016. 0897	Seoul, KOREA, JUNE 22-25	2016/6/22-25	大阪大学	④-a	H28
175	加藤隆史	眠る口、眠らない口	大阪大学歯学研究科第14回市民フォーラム	千里ライフサイエンスセンター, 豊中	2016/11/19	大阪大学	④-a	H28
176	Wu H, Kato T, Yamada T, Numao M, Fukui K	Sleep Pattern Discovery via Visualizing Cluster Dynamics of Sound Data	The 29th International Conference on Industrial, Engineering & Other Applications of Applied Intelligent Systems (IEA/AIE 2016)	Morioka	2016/8/2-4	大阪大学	④-a	H28
177	Wu H, Kato T, Yamada T, Numao M, Fukui K	Personal Sleep Pattern Visualization via Clustering on Sound Data	AAAI 2017 Joint Workshop on Health Intelligence	San Francisco, USA	2017/2/4-5	大阪大学	④-a	H28
178	Haraki S, Nonoue M, Tsujisaka A, Mikami A, Ishigaki S, Mizumori T, Yatani H, Yoshida A, Kato T	Sleep profile in young subjects with rhythmic masticatory muscle activity	IADR 2016	Seoul, Korea	2016/6/22	大阪大学	④-a	H28
179	辻阪亮子, 原木真吾, 瑞森崇弘, 矢谷博文, 加藤隆史	睡眠時ブラキシズムを有する被験者における呼吸イベント後のリズム性咀嚼筋活動発生に関連する生理学的要因の検討	日本歯科補綴学会 2016	金沢	2016/7/9	大阪大学	④-a	H28
180	原木真吾, 野々上茂, 辻阪亮子, 三上章良, 石垣尚一, 瑞森崇弘, 吉田篤, 矢谷博文, 加藤隆史	若年の睡眠時ブラキシズムにおける睡眠の生理学的特性	第10回三叉神経領域の感覚-運動統合機能研究会	佐久平, 長野	2016/11/26	大阪大学	④-a	H28
181	Yuki Kobayashi, Hikaru Kobayashi	Reaction of Si nanopowder with water to generate hydrogen	Stereodynamics 2016	Taipei, Taiwan	2016/11/6-11	大阪大学	④-c	H28
182	Hikaru Kobayashi, Ryouichi Imamura	Hydrogen Generation in the Body to Avoid Oxidation Stress	1st International Conference on COI Program	Osaka	2016/12/13	大阪大学	④-c	H28
183	Mitsuru Kikuchi, Yoshio Minabe	Atypical development of the auditory system in children with autism spectrum disorder	The 20th International Conference on Biomagnetism (BIOMAG2016)	Seoul (Korea)	2016/10/1-6	金沢大学	④-e	H28
184	Mitsuru Kikuchi	Atypical brain activity in children with autism spectrum	The 3rd International Symposium on Cognitive Neuroscience Robotics: Toward Constructive Developmental Science	Osaka	2016/12/12	金沢大学	④-e	H28
185	菊知 充、三邊義雄	自閉症幼児期のMEG研究	The 3rd International Symposium on Cognitive Neuroscience Robotics: Toward Constructive Developmental Science	Osaka	2016/12/12	金沢大学	④-e	H28
186	菊知充	Atypical development of the auditory system in children with autism: custom child-sized MEG studies	第31回日本生体磁気学会大会	金沢市文化ホール	2016/6/10	金沢大学	④-e	H28

187	Toshiharu Kurita, Mitsuru Kikuchi, Yuko Yoshimura, Hirotooshi Hiraishi, Chiaki Hasegawa, Tetsuya Takahashi, Tetsu Hirosawa, Naoki Furutani, Haruhiro Higashida, Takashi Ikeda, Kouhei Mutou, Minoru Asada, and Yoshio Minabe	Atypical bilateral brain synchronization in the early stage of human voice auditory processing in young children with autism	第31回日本生体磁気学会大会	金沢市文化ホール	2016/6/9	金沢大学	④-e	H28
188	Natsumi Takesaki * 1,2 Mitsuru Kikuchi * 1,3 Yuko Yoshimura * 3 Hirotooshi Hiraishi * 3 Chiaki Hasegawa * 3 Tetsuya Takahashi * 1 Haruhiro Higashida * 3 Laurent Motttron * 4 Yoshio Minabe	Contribution of bottom-up functional connectivity to visual non-verbal reasoning in autism	第31回日本生体磁気学会大会	金沢市文化ホール	2016/6/10	金沢大学	④-e	H28
189	Yoshiaki Miyagishi, Tetsuya Takahashi, Teruya Yamanishi, Shinya Kasakawa, Yuko Yoshimura, Hirotooshi Hiraishi, Chiaki Hasegawa, Tetsu Hirosawa, Toshio Munesue, Haruhiro Higashida, Yoshio Minabe, and Mitsuru	Enhanced functional network in autism spectrum disorder during early childhood	第31回日本生体磁気学会大会	金沢市文化ホール	2016/6/9	金沢大学	④-e	H28
190	Naoki Furutani, Eiichi Okumura, Mitsuru Kikuchi	Multilateral Analysis of Brain Activities	第31回日本生体磁気学会大会	金沢市文化ホール	2016/6/10	金沢大学	④-e	H28
191	菊知 充	自閉症スペクトラム障害の発達凸凹と脳科学研究	富樫教育プラザ職員研修会	金沢市教育プラザ富樫	2016/1/19	金沢大学	④-e	H28
192	菊知 充	大人の発達障害:最近の脳科学から	あすなろの会	十全記念スタジオ	2016/7/23	金沢大学	④-e	H28
193	菊知 充	認知症の医学的理解について	幸の会	加賀市文化会館	2016/8/6	金沢大学	④-e	H28
194	菊知 充	認知症の周辺症状の医学的理解と対処方法について	金沢大学附属病院北病棟看護研修会	金沢大学附属病院	2016/8/12	金沢大学	④-e	H28
195	菊知 充	うつ病などの気分障害について	こころの健康ボランティア養成講座	アビオシティホール(加賀市)	2016/11/19	金沢大学	④-e	H28
196	H. Kumazaki, T. Muramatsu, M. Miyao, T. X. Fujisawa, H. Kosaka, A. Tomoda and M. Mimura	Assessment of the Olfactory Trait in Children with Autism Spectrum Disorders Using an Olfactory Software Application	IMFAR2016	Baltimore, MD	2016/5/13	金沢大学	④-e	H28

197	H. Kumazaki, Y. Yoshikawa, Y. Matsumoto, M. Miyao, H. Ishiguro, T. Muramatsu and M. Mimura	Robot-Mediated Interventions for Social Anxiety in Individuals with Autism Spectrum Disorder	IMFAR2016	Baltimore, MD	2016/5/13	金沢大学	④-e	H28
198	J. Shimaya, Y. Yoshikawa, M. Miyao, Y. Matsumoto, H. Kumazaki, M. Nakano and H. Ishiguro	Advantages of Robot-Assisted Counseling: Can Caregivers Better Address the Concerns of Children with Autistic Spectrum Disorders Via a Small Humanoid Robot?	IMFAR2016	Baltimore, MD	2016/5/13	金沢大学	④-e	H28
199	熊崎博一、菊知充、岡田謙一、村松太郎、三村將、三邊義雄	自閉スペクトラム症児の嗅覚同定能力への視覚刺激から受ける影響	第38回日本生物学的精神医学会・第59回日本神経化学会大会 2016.9.8	福岡国際会議場	2016/9/8	金沢大学	④-e	H28
200	M. Ishibashi, C. Uchiyumi, N. Aizawa, K. Makita, Y. Nakamura, DN. Saito	Seeking Neural correlates of the Rorschach Response: a fMRI study	31st International Congress of Psychology (ICP2016) Thematic Session, Exhibition Hall E204	Yokohama	2016/7/25	金沢大学	④-e	H28
201	池田 尊司、平田 雅之、平石博敏、長谷川千秋、吉村 優子、高橋 哲也、菊知 充、浅田 稔	同時脳磁界計測による親子同期タッピング課題遂行中の脳活動の検討	第31回日本生体磁気学会大会	金沢市文化ホール	2016/6/9-10	金沢大学、大阪大学、福井大学	④-e	H28
202	池田 尊司・高橋 哲也・平石博敏・菊知 充・三邊 義雄	左前頭部を陽極とする経頭蓋直流刺激が色の記憶に与える影響	第14回日本ワーキングメモリ学会	京都大学	2016/12/10	金沢大学、福井大学	④-e	H28
203	吉村優子	自閉症スペクトラム学会自主シンポジウム5-注視点検出法(機)を導入した自治体乳幼児健診におけるASD児の早期発見と超早期療育の展望-自閉症の超早期領域ESDMについて(シンポジウム).	自閉症スペクトラム症学会2016 第15回研究大会	白百合女子大学	2016/8/28	金沢大学	④-e	H28
204	Yuko Yoshimura	Atypical development of the central auditory system in young children with autism spectrum disorder	第31回日本生体磁気学会優秀ポスター賞受賞	金沢市文化ホール	2016/6/9-10	金沢大学	④-e	H28
205	高橋秀俊、中鉢貴行、石飛信、原口英之、浅野路子、山口穂菜美、荻野和雄、神尾陽子	自閉スペクトラム症児における聴覚過敏性の神経生理学的エンドフェノタイプと感覚処理特性の表現型との関連について	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 平成27年度 研究報告会 (第27回)	東京	2016/2/29	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
206	Hidetoshi Takahashi, Takayuki Nakahachi, Andrew Stickley, Makoto Ishitobi, Yoko Kamio	Stability of the acoustic startle response and its modulation in children with typical development and those with autism spectrum disorders over one-year follow-up	第39回日本神経科学大会	横浜	2016/7/22	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
207	Hidetoshi Takahashi, Atsuko Gunji, Yuu Kaneko, Naruhito Hironaga, Koichi Hagiwara, Masumi Inagaki, Shozo Tobimatsu, Takashi Hanakawa, Yoko Kamio	Auditory steady-state gamma responses of MEG in children with autism spectrum disorders: a follow-up report.	脳病態統合イメージングセンター5周年記念国際シンポジウム,	東京	2016/7/29	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
208	高橋秀俊、青木保典、中鉢貴行、小松佐穂子、岩瀬真生、石井良平、神尾陽子	自閉症スペクトラム症児および定型発達児における聴覚性前注意的弁別処理の電位源推定に関する研究:1年追跡調査	第46回日本臨床神経生理学会学術大会	福島	2016/10/28	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28

209	片岡大哉, 吉田卓嗣, 小島友裕, 遠藤信綱, 浅田稔	柔軟空気圧アクチュエータを用いた柔軟舌機構 ZETSの開発	第17回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2016)	札幌	2016/12/15-17	大阪大学	④-e	H28
210	川内裕史, 遠藤信綱, 小島友裕, 浅田稔	乳児様発話ロボットの口唇機構の開発	第17回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2016)	札幌	2016/12/15-17	大阪大学	④-e	H28
211	春田康博, 樋口正法, 足立善昭, 上原弦	脳磁計を用いた人工内耳の磁石ノイズ下における健常者の聴覚誘発反応の検出	第46回日本臨床神経生理学会学術大会	福島	2016/10/27-29	金沢工業大学	④-e	H28
212	Nakajima, T., Kawata, M., Ito, T.	Four Group-communication Stages in Physical Education - Measurement of communication amount by the business microscope -	24th Biennial Meeting of the International Society for the Study of Behavioural Development	Vilnius, Lithuania	2016/7/10-14	北海道科学大学, 北海道大学	⑤-b,c	H28
213	中島寿宏, 川田学	体育授業におけるビジネス顕微鏡を利用した授業者へのフィードバック効果 一生徒相互のコミュニケーションに与える影響から一	日本スポーツ教育学会 第36回大会	和歌山大学	2016/10/29-30	北海道科学大学, 北海道大学	⑤-b,c	H28
214	中島寿宏, 高瀬淳也, 伊藤崇, 川田学	小学校体育授業におけるコミュニケーションの形成一「体づくり運動」実践における第3学年と第4学年の差異一	北海道体育学会第56回大会	酪農学園大学	2016/11/19-20	北海道科学大学, 北海道大学	⑤-b,c	H28
215	伊藤崇・柳智紀	授業内容についての想起の仕方と授業中の身体の揺れの関連一「ビジネス顕微鏡」を用いた授業分析の試み(3)一	日本教育心理学会第58回総会	香川大学	2016/10/8-10	北海道科学大学, 北海道大学	⑤-b,c	H28
216	Ito, T.	Exploration for communication in multigrade classes with the wearable sensory device and the system for big-data analysis.	2016 HU-SNU-NTNU-KU Joint Symposium for Science Education.	Seoul National University	2016/12/9	北海道大学	⑤-b,c	H28
217	伊藤崇	小学1年生から6年生までが参加する創造的協同活動における対面行動の分析: 人間行動センシングツールを用いた調査から	2016年日本認知科学会 冬のシンポジウム 認知科学の新展開: テクノロジーの進化は認知科学をどう変えるか?	明治大学	2016/12/11	北海道大学	⑤-b,c	H28
218	Shimpei AIHARA, Takeshi TANAKA, Hideyuki BAN, Norio GOUDA, Shunichi TAZUKE	Development of Advanced Position Measurement System for Sports Teams	21st annual Congress of the European College of Sport Science	Vienna., Austria	2016/7/6-9	同志社大学, 日立製作所	⑤-b,c	H28
219	樋口 正法, 小山 大介, 春田康博, 上原 弦	脳磁計における電磁波アーチファクトの低減	応用物理学会 2017年第78回応用物理学会秋季学術講演会	福岡県福岡国際会議場	2017/9/6	金沢工業大学	④-e	H29
220	加藤陽子 下野九理子 毛利育子 谷池雅子	特異的言語障害を持つ児童に対する格助詞指導の一例	第18回日本語聴覚士学会	島根県くまびきメッセ(島根県産業交流会館)	2017/6/24	大阪大学	④-a	H29
221	西田圭一郎	経頭蓋直流刺激(tDCS)による気分・感情への効果-うつ病を中心に-	第47回臨床神経生理学会 シンポジウム: 精神疾患とニューロモデュレーション	神奈川県バンフィコ横浜(みなとみらい)	2017/11/29	関西医大	④-d	H29
222	西田 圭一郎	うつ病薬物療法における 脳波解析の有用性の検討	第27回臨床精神神経薬理学会	島根県松江テラサ	2017/11/3	関西医大	④-d	H29
223	西田 圭一郎	うつ病におけるtDCS(transcranial direct current stimulation)の治療効果	第113回精神神経学会学術総会シンポジウム: 脳刺激療法の未来と可能性: 臨床研究からベッドサイドへ	愛知県名古屋国際会議場	2017/6/23	関西医大	④-d	H29
224	西田 圭一郎	経頭蓋直流刺激 F5単回刺激によるうつ病患者の気分の変化	第20回日本薬物脳波学会学術集会	福島県コラッセふくしま	2017/9/22	関西医大	④-d	H29
225	吉村匡史	定量薬物脳波	第47回臨床神経生理学会 教育講演 B-12	神奈川県バンフィコ横浜(みなとみらい)	2017/11/30	関西医大	④-d	H29

226	桂功士, 西田圭一郎, 森島陽介, 吉村匡史, 池田俊一郎, 越川陽介, 上田紗津貴, 斧原藍, 北浦祐一, 諏訪梓, 石井良平, 木下利彦	うつ病患者における左背外側前頭前野への経頭蓋直流電気刺激によってもたらされる変化	第47回臨床神経生理学会	神奈川県 パシフィック横浜 (みなとみらい)	2017/12/1	大阪大学・関西医大	④-d	H29
227	山末英典	わかりあう難しさの脳基盤とオキシトシンによるその治療の試み	第41回日本高次脳機能障害学会学術総会 教育講演	埼玉県 大宮ソニックセンター	2017/12/16	浜松医大	④-e	H29
228	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初となる治療薬の開発～マルチモダリティ脳画像と遺伝子解析の応用～	学術講演会	新宿	2017/11/30	浜松医大	④-e	H29
229	山末英典	自閉スペクトラム症治療薬としての薬事承認を目指したオキシトシンの臨床開発と第2世代治療薬シーズの探索	平成29年度AMED脳と心の研究課研究交流会	東京	2017/11/30	浜松医大	④-e	H29
230	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状の治療薬開発～脳画像解析とオキシトシンの応用～	第11回 in vivo実験医学シンポジウム	東京 学士会館	2017/11/22	浜松医大	④-e	H29
231	山末英典	自閉症中核症状治療薬の開発	革新的医療技術創出拠点プロジェクト 平成29年度拠点調査会議	東京 TKPガーデンシティ品川	2017/11/21	浜松医大	④-e	H29
232	山末英典	Human Brain Structural Change Related to Acute Single Exposure to Sarin	GHSAG Chemical Event Symposium	大阪	2017/11/20	浜松医大	④-e	H29
233	山末英典	心の傷とその回復過程のリスクマネジメント	リスクマネジメント講演会	三島	2017/11/9	浜松医大	④-e	H29
234	山末英典	自閉スペクトラム症を知る: 脳画像によるADHDとの対比から	名古屋市立大学社会人学びなおし対応教育推進プログラム	名古屋	2017/11/1	浜松医大	④-e	H29
235	山末英典	Oxytocin-related genotypes and effects of oxytocin on autistic social behaviors and their neural underpinnings	国際自閉症カンファレンス東京2017	東京 一橋大学 一橋講堂	2017/10/15	浜松医大	④-e	H29
236	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初となる治療薬の開発～オキシトシンとマルチモダリティ脳画像解析の応用～	インチュニブ発売記念学術講演会	鹿児島	2017/10/4	浜松医大	④-e	H29
237	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初となる治療薬の開発～オキシトシンと脳画像解析の応用～	市民公開講座、第39回日本生物学的精神医学会・第47回日本神経精神薬理学会合同年会	北海道 札幌コンベンションセンター	2017/9/30	浜松医大	④-e	H29
238	山末英典	自閉スペクトラム症に対するオキシトシン治療効果の医師主導RCT～マルチモダリティ脳画像解析の応用～	シンポジウム、第39回日本生物学的精神医学会・第47回日本神経精神薬理学会合同年会	北海道 札幌コンベンションセンター	2017/9/29	浜松医大	④-e	H29
239	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬開発の取り組み～脳画像解析によるオキシトシン投与効果判定技術の開発～	日本神経精神薬理学会、第6回学術奨励賞受賞講演、第39回日本生物学的精神医学会・第47回日本神経精神薬理学会合同年会	北海道 札幌コンベンションセンター	2017/9/28	浜松医大	④-e	H29
240	山末英典	オキシトシンとマルチモダリティMRI解析の応用による自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬開発/入院治療プログラム導入による摂食障害の治療成績改善	第6回HAMA conference	横浜	2017/9/14	浜松医大	④-e	H29
241	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬開発の取り組み～脳画像解析によるオキシトシン投与効果判定技術の開発～	第15回 脳核医学画像解析研究会	東京 ベルサール八重洲	2017/9/9	浜松医大	④-e	H29
242	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初となる治療薬の開発～オキシトシンとマルチモダリティ脳画像解析の応用～	第38回 Neuroscience Seminar Tokushima 学術講演会	徳島大学病院 新外来診療棟5F 日亜ホールWhite	2017/9/4	浜松医大	④-e	H29
243	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬の開発～オキシトシンとマルチモダリティ脳画像解析の応用～	発達障害の治療とかかわり	幕張	2017/9/1	浜松医大	④-e	H29
244	山末英典	精神科領域の巨大なUnmet medical needs解消の取り組み～オキシトシンとマルチモダリティ脳画像解析の応用～	国立精神・神経医療研究センター	東京	2017/8/24	浜松医大	④-e	H29

245	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初となる治療薬の開発～オキシトシンと脳画像解析の応用～	静岡県立こころの医療センター院内講演	静岡		2017/8/23	浜松医大	④-e	H29
246	山末英典	オキシトシン投与による自閉スペクトラム症状及び脳機能不全の改善効果とその遺伝子多型との関係	社会心理学・神経科学・内分泌学の連携による文化差の遺伝的基盤の解明」の成果報告会	神戸大学		2017/8/2	浜松医大	④-e	H29
247	山末英典	脳画像解析による精神症状の脳病態解明から新たな治療法の開発へ	第19回静岡脳精神イメージング研究会	浜松		2017/7/28	浜松医大	④-e	H29
248	Hidenori Yamasue	Applications of multimodal neuroimaging indices to develop oxytocin as a novel therapeutic for autism spectrum disorder	Symposium on “Frontiers in neuroscience research developing novel therapies for psychiatric and neurodegenerative disorders”, 第40回日本神経科学会	Makuhari, Chiba		2017/7/22	浜松医大	④-e	H29
249	山末英典	うつ病におけるマイクログリアの役割: MRIやPETを用いた研究	浜松医科大学精神科 児童精神科 合同連続講座9回目	浜松 浜松医科大学		2017/7/17	浜松医大	④-e	H29
250	Hidenori Yamasue	Development of intranasal oxytocin as treatment of autism spectrum disorder utilizing brain functional imaging	Symposium on Oxytocin and Social Behavior	Hamamatsu		2017/7/4	浜松医大	④-e	H29
251	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬開発を目指して～オキシトシンとマルチモダリティ脳画像解析の応用～	招待講演、北海道大学精神医学教室 教室行事	北海道 北海道大学		2017/6/28	浜松医大	④-e	H29
252	山末英典	対人コミュニケーションの困難さの脳内メカニズムの解明から治療薬の開発へ	精神保健福祉協会記念講演会	静岡		2017/6/14	浜松医大	④-e	H29
253	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する新たな治療薬の開発～オキシトシンとマルチモダリティ脳画像解析の応用～	第19回東北児童青年精神医学会特別講演	山形		2017/6/4	浜松医大	④-e	H29
254	山末英典	オキシトシンと脳画像解析の応用による対人コミュニケーションの障害に対する治療法開発	医師会	浜松		2017/5/25	浜松医大	④-e	H29
255	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する治療薬の開発～オキシトシンとマルチモダリティMRI解析の応用～	第9回愛媛ADHD研究会	松山		2017/5/20	浜松医大	④-e	H29
256	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する新たな治療薬の開発～オキシトシンとマルチモダリティ脳画像解析を応用した医師主導試験～	第18回多摩Schizophrenia研究会	立川		2017/5/18	浜松医大	④-e	H29
257	山末英典	自閉スペクトラム症中核症状に対する初の治療薬開発の取り組み～脳画像解析によるオキシトシン投与効果判定技術の開発～	第17回横浜メンタルヘルス講演会	横浜		2017/4/20	浜松医大	④-e	H29
258	山末英典	オキシトシンと対人コミュニケーションの障害～マルチモダリティ脳画像解析の応用～	第50回メディカルホトニクスセミナー	浜松		2017/4/18	浜松医大	④-e	H29
259	山末英典	自閉スペクトラム症のオキシトシン治療とその臨床応用への展望	第15回『子どものこころの発達研究』講演会	浜松 静岡新聞社 プレスタワー 17階 静岡新聞ホール		2017/4/2	浜松医大	④-e	H29
260	Fumie Takei, Misaki Akiyama, Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Huanwen Han, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	Development of a SNP typing in the low ionic PCR condition	9th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE9)	Ishikawa Ongakudo and ANA Crowne Plaza Kanazawa, Kanazawa		2017/6/27	大阪大学	①-a	H29
261	信澤和行, 山下一郎	インターカレーター分子を用いたEISによる核酸の新規電気化学検出	第78回応用物理学会秋季学術講演会	福岡国際会議場		2017/9/8	大阪大学	①-a	H29

262	Huanwen Han, Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	Electrochemical Impedance Spectroscopy (EIS) for Bio-sensing	第78回応用物理学会秋季学術講演会	福岡国際会議場	2017/9/8	大阪大学	①-a	H29
263	Tomoe Mizukam, Akito Shimouchi, Naoya Jinno, Kazutoshi Nose, Kentaro Taniguchi, Mikiyasu Shirai, Akitoshi Seiyama	Exhaled breath and the distributions of H2 and CO molecules in rats with monocrotaline-induced pulmonary hypertension	Oral Poster. 日本呼吸器学会	東京	2017/4/22	中部大学	①-a	H29
264	下内章人, 横川哲朗, 野瀬和利, 神野直哉, 奥村直也, 谷口健太郎, 菅野康夫, 安齊俊久, 宮本恵宏, 近藤孝晴	生体ガス中におけるアセトン濃度の関連要因	日本安定同位体生体ガス医学応用学会, 東邦大学大森医療センター	東京	2017/9/29	中部大学	①-a	H29
265	下内章人	呼気ガス診断の現状と今後の可能性	日本医療ガス学会シンポジウム「呼気ガス測定の将来」, 日本医療ガス学会	東京	2017/10/7	中部大学	①-a	H29
266	中村邦彦, 既存センサの試作機を用いた呼気ガス中の低濃度多元成分の評価手法の開発	既存センサの試作機を用いた呼気ガス中の低濃度多元成分の評価手法の開発、2018年度精密工学会春季大会学術講演会、2018年3月15日～17日	2018年度精密工学会春季大会学術講演会	東京 中央大学	2018/3/15-3/17	パナソニック 中部大学 大阪大学	①-a	H29
267	山崎 聖司, 井上 久美, 山村 凌大	腸内フローラ判定トイレと改善サブリの開発	COI2021会議	日本科学未来館 7階 未来館ホール	2017/11/22-23	大阪大学	①-b	H29
268	山崎 聖司	COIトイレ	COI若手合宿第2回	名古屋大学	2017/11/4-5	大阪大学	①-b	H29
269	常明, 飯塚 博幸, 成瀬 康, 古川 正紘, 安藤 英由樹, 前田 太郎	無意識に英語のリスニング能力を向上できるニューロフィードバック手法	ヒューマンインタフェースシンポジウム2017	大阪工業大学 梅田キャンパス	2017/9/5	NICT・CiNet, 大阪大学, 北海道大学	②-a	H29
270	Koshino, H., Osaka, M., Shimokawa, T., Minamoto, T., Kaneda, M., Yaoi, K., Azuma, M., Higo, K., & Osaka, N.	Interactions between the Default Mode Network and Executive Network in older adults	Psychonomic Society 58th Annual Meeting	Vancouver, British Columbia, Canada	2017/11/9-12	NICT・CiNet	②-a	H29
271	Osaka, M., Yaoi, K., Minamoto, T., Azuma, M., & Osaka N.	Positive emotion increases related brain activation and working memory performance: an fMRI study	15th European Congress of Psychology	Amsterdam, Holland	2017/7/14	NICT・CiNet	②-a	H29
272	Masahiko Haruno	Computational neuroscience of decision making and social behavior	Life Sciece Seminar Invited.	Kyushu Institute of Technology Fukuoka	2017/6/2	NICT・CiNet	②-a	H29

273	Shusuke Yoshimoto, Takafumi Uemura, Mihoko Akiyama, Yoshihiro Ihara, Satoshi Otake, Tomoharu Fujii, Teppei Araki, and Tsuyoshi Sekitani	Flexible Organic Tft Bio-Signal Amplifier Using Reliable Chip Component Assembly Process with Conductive Adhesive	IEEE Engineering in Medicine and Biology Society, pp. 1849 -1852	International Convention Center Jeju Island, Korea	2017/7/11-15	大阪大学	③-c	H29
274	Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani	Biosignal Amplification Circuits Based on Ultra-Flexible Organic Thin-Film Transistors	International Thin-Film Transistor Conference (ITC2017)	The Commons Learning Center, The University of Texas, Austin, TX, USA	2017/2/23-24	大阪大学	③-c	H29
275	#####	A Several-Nanometers-Thick Gold Layer on Silver Nanowires Enhancing Migration Durability on Stretchable Electrodes for Long Therapeutic Bio-Applications	2017 Materials Research Society (MRS) Spring meeting & exhibit, Symposium, SM1.5.08,	Phoenix, the United State	2017/4/17-21	大阪大学	③-c	H29
276	吉崎亜里香、青井陽子、村田絵美、岡田紫甫、松澤重行、星野恭子、加藤久美、宮田理英、山本知加、橋雅弥、毛利育子、谷津雅子	幼児期の眠りの問題への新たな介入法の開発ー双方向性アプリケーションを用いてー	第59回日本小児神経学会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/15	大阪大学	④-a	H29
277	Wu Hongle, 加藤隆史, 山田朋美, 沼尾正行, 福井健一	Sleep Pattern Visualization via Clustering on Sound Data.	第31回人工知能学会全国大会	名古屋 ウィンクあいち	2017/5/23-26	大阪大学	④-a	H29
278	Hongle Wu, Takafumi Kato, Masayuki Numao, and Ken-ichi Fukui	Sleep Pattern Modelling for Quality Prediction based on Sound Data.	電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会, 信学技報, Nov. 2017	九州大学 伊都キャンパス	2017/11/24	大阪大学	④-a	H29
279	原木真吾, 辻坂亮子, 石垣尚一, 瑞森崇弘, 矢谷博文, 加藤隆史	睡眠時ブラキシズムにおけるリズム性および非リズム性咀嚼筋活動の相反性初夜効果	第126回日本補綴歯科学会学術大会	神奈川県 パシフィコ横浜	2017/7/2	大阪大学	④-a	H29
280	Sirawit Sopchoke, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	Bisociative Serendipity Music Recommendation	Workshop on Computation: Theory and Practice (WCTP-2017)	大阪 大阪大学中之島センター	2017/9/12-13	大阪大学	④-b	H29
281	Nattapong Thammasan, Juan Lorenzo Hagad, Ken-ichi Fukui and Masayuki Numao	Multimodal Stability-Sensitive Emotion Recognition based on Brainwave and Physiological Signals	Proc. The 5th International Workshop on Context Based Affect Recognition (CBAR2017) held in conjunction with the seventh International Conference on Affective Computing and Intelligent Interaction (ACII2017)	the historical Menger Hotel, San Antonio, Texas	2017/10/23	大阪大学	④-b	H29
282	Noriko Otani, Daisuke Okabe, Masayuki Numao	A System for Composing Music in Collaboration with Musicians	The 5th AAAI Conference on Human Computation and Crowdsourcing	Hilton Québec, Quebec City, Canada	2017/10/24-26	東京都市大学, 大阪大学	④-b	H29

283	土屋直樹, 大谷紀子, 沼尾正行	感性に基づく楽曲生成のためのコードネーム推定	情報処理学会第79回全国大会予稿集, Vol.2, pp.85-86, 2017.	名古屋大学 東山キャンパス	2017/3/17	東京都市大学, 大阪大学	④-b	H29
284	大野木俊樹, 大谷紀子	自然なDJミックスを目的とした自動選曲手法の提案	情報処理学会第79回全国大会予稿集, Vol.2, pp.77-78, 2017.	名古屋大学 東山キャンパス	2017/3/17	東京都市大学, 大阪大学	④-b	H29
285	大谷紀子, 岡部大介, 白井大輔, 高田志麻, 沼尾正行, “アーティストの創作活動における自動作曲システムの活用—『akaihane』のケーススタディー”, 情報処理学会第79回全国大会予稿集, Vol.2, pp.21-22, 2017.	アーティストの創作活動における自動作曲システムの活用—『akaihane』のケーススタディー”	情報処理学会第79回全国大会予稿集, Vol.2, pp.21-22, 2017.	名古屋大学 東山キャンパス	2017/3/16	東京都市大学, 大阪大学	④-b	H29
286	三邊義雄	子どものこころと脳の健康	第10回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム-Features for the Future-	東京都一橋講堂2階 中会議場	2017/10/14	金沢大学	④-e	H29
287	菊知充	自閉症幼児期における最近のMEG 研究	第113回日本精神神経学会学術総会	名古屋国際会議場	2017/6/24	金沢大学	④-e	H29
288	菊知充	Development of the central auditory system in typically developing young children and children with Autism spectrum disorder	Biomagnetic Sendai 2017	仙台国際センター	2017/5/24	金沢大学	④-e	H29
289	三邊義雄, 菊知充	自閉症児社会性向上	第6回大阪大学COIシンポジウムセルフエンパワメント社会の実現にむけて	大阪 大阪大学中之島センター	2017/10/17	金沢大学	④-e	H29
290	菊知充	自閉スペクトラム症のウェアラブル加速度計による日常生活の睡眠評価と診断への応用	第4回金沢大学子どものこころサミット	金沢大学医学図書館十全記念スタジオ	2017/12/1	金沢大学	④-e	H29
291	熊崎博一	Sex differences in autistic profiles in preschool children with autism spectrum disorders	IMFAR2017	Marriott Marquis Hotel San Francisco	2017/5/10-13	金沢大学	④-e	H29
292	熊崎博一	Actroid-Fを用いた自閉スペクトラム症児への介入	第113回日本精神神経学会学術総会	名古屋国際会議場	2017/6/22	金沢大学	④-e	H29
293	熊崎博一	自閉スペクトラム症者の感覚処理	精神疾患とインタラクティブシステム研究会	岐阜	2017/7/21	金沢大学	④-e	H29
294	熊崎博一	自閉スペクトラム症児の嗅覚順応の評価	第6回若手研究者育成プログラム奨励賞発表 第39回生物学的精神医学会	札幌コンベンションセンター	2017/9/29	金沢大学	④-e	H29
295	熊崎博一	Impact of android robot-mediated mock job interview sessions for individuals with autism spectrum disorder and Social anxiety	HAI 2017 5th International Conference on Human-Agent Interaction	CITEC, Bielefeld (ドイツ)	2017/10/17	金沢大学	④-e	H29
296	熊崎博一	アンドロイドを用いた自閉スペクトラム症児への介入	第4回金沢大学子どものこころサミット	金沢大学医学図書館十全記念スタジオ	2017/12/2	金沢大学	④-e	H29
297	吉村優子	自閉スペクトラム症児の聴覚反応と言語発達との関連	第4回金沢大学子どものこころサミット	金沢大学医学図書館十全記念スタジオ	2017/12/1	金沢大学	④-e	H29
298	齋藤大輔	静音撮影MRI画像を、脳イメージング研究に活かす取り組み	第4回金沢大学子どものこころサミット	金沢大学医学図書館十全記念スタジオ	2017/12/1	金沢大学	④-e	H29
299	池田尊司	DCSと認知機能について	1st関西Clinical Current Stimulation Forum	大阪	2017/5/20	金沢大学	④-e	H29
300	池田尊司	Mu suppression is an index of spontaneous face-to-face mother-child interaction	Biomagnetic Sendai 2017	仙台国際センター	2017/5/23	金沢大学	④-e	H29
301	池田尊司	2台の脳磁計による親子同時脳機能計測の試み	計測自動制御学会ライフエンジニアリング部門シンポジウム2017	岐阜大学 JR岐阜駅前サテライトキャンパス	2017/9/4	金沢大学	④-e	H29
302	池田尊司	親子の運動同期は養育態度を推測可能か	日本心理学会第81回大会	久留米シティプラザ	2017/9/22	金沢大学	④-e	H29

303	池田尊司	親子のリズム同期から親子関係を推測する	第4回金沢大学子どものこころサミット	金沢大学医学図書館十全記念スタジオ	2017/12/1	金沢大学	④-e	H29
304	長谷川千秋	マルチスケールエントロピーを用いた乳幼児の人の声の聴取時における脳内ネットワークの縦断的研究	Biomagnetic Sendai 2017	仙台国際センター	2017/5/24	金沢大学	④-e	H29
305	高橋秀俊、中村亨、金鎮赫、菊地裕絵、中鉢貴行、石飛信、吉内一浩、安藤哲也、Andrew Stickly、山本善泰、神尾隕	自閉症スペクトラム症児および定型発達児における身体活動動態と聴覚性驚愕反射およびその制御機構との関連	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 平成28年度 研究報告会	東京	2017/2/20	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
306	立川和樹、河合祐司、朴志勲、高橋哲也、池田尊司、吉村優子、菊知充、浅田稔	深層学習を用いた脳磁図計測による子どもの自閉スペクトラム症識別	日本発達神経科学学会第6回学術集会	情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター	2017/11/26	大阪大学、福井大学、金沢大学	④-e	H29
307	Takumi Kawasetsu, Takato Horii, Hisashi Ishihara, and Minoru Asada	Magnetorheological elastomer-gel tactile sensor with an electromagnet	ICRA WS "The Robotic Sense of Touch"	Sands Expo and Convention Centre (Singapore)	2017/5/29	大阪大学	④-e	H29
308	Takumi Kawasetsu, Takato Horii, Hisashi Ishihara, and Minoru Asada.	Towards rich representation learning in a tactile domain: a flexible tactile sensor providing a vision-like feature based on the dual inductor.	Human-Agent Interaction 2017 workshop	Bielefeld University (Germany)	2017/10/17	大阪大学	④-e	H29
309	中島寿宏、伊藤崇、川田学、及川智博	幼稚園における運動会の教育的効果-社会性の構築における体育的行事の影響-	日本運動・スポーツ科学学会第24回大会	武蔵野美術大学、東京	2017/6/18	藤女子大学、北海道大学	⑤-b,c	H29
310	Toshihiro Nakajima, Takashi Ito, Manabu Kawata, Tomohiro Oikawa	Development of Children's Communication Network in Kindergarten.	Pacific Early Childhood Education Research Association 18th Annual Conference	Mandarin Plaza Hotel, Cebu, Philippines.	2017/7/7-9	藤女子大学、北海道大学	⑤-b,c	H29
311	中島寿宏	中学校体育におけるチーム・ティーチング授業改善の試み-ビジネス顕微鏡を用いた授業者へのフィードバックから-	日本スポーツ教育学会第37回大会	茨城大学 水戸キャンパス (教育学部)	2017/10/28-29	藤女子大学、北海道大学	⑤-b,c	H29
312	Toshihiro Nakajima, Masatoshi Takahashi, Takashi Ito, Manabu Kawata	Effects of Feedback by the Business Microscope for Physical Education Teachers.	The Eighth Pacific Rim Conference on Education	札幌 北海道立道民活動センター(かでの2・7)	2017/11/5	藤女子大学、北海道大学	⑤-b,c	H29
313	Shunichi TAZUKE, Takeshi TANAKA, Norio GODA, Katsuya FUCHITA	QUANTITATIVE MEASURED CHANGES OF PLAY BY LIMITED RULES - FROM CHILDREN'S BALL PASSING GAMES -	22nd Annual Congress of the European College of Sport Science	Messe Essen, Norbertstraße 2 45131 Essen Germany	2017/7/7	同志社大学 日立製作所	⑤-b,c	H29
314	Katsuya Fuchita, Shunichi Tazuke, Takeshi Tanaka, Norio Gouda	Quantitative Assessment of Off-the-ball Movements based on Qualitative Assessment	22nd Annual Congress of the European College of Sport Science	Messe Essen, Norbertstraße 2 45131 Essen Germany	2017/7/7	同志社大学 日立製作所	⑤-b,c	H29
315	Thammasan Nattapong, 福井 健一, 沼尾 正行	Analysis of EEG response and Annotation Lag in EEG-based Emotion Recognition using Fusion Technique	第31回人工知能学会全国大会 論文集	名古屋 ウィンクあいち	2017/5/23-26	大阪大学	④-b	H29
316	加藤保宏	Stimulator of interferon genes (STING) plays a crucial role in type-I IFN production induced by the sera from SLE patients	日本リウマチ学会	福岡国際会議場	2017/4/22	大阪大学	①-a	H30

317	Fumie Takei, Misaki Akiyama, Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	Design of ligand for sensing: the combination of hairpin primer DANP ligand.	IWSBN2017	京都テルサ	2017/12/21	大阪大学	①-a	H30
318	Fumie Takei, Misaki Akiyama, Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Huanwen Han, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	Development of a SNP typing in the low ionic PCR condition	43回国際核酸化学シンポジウム	熊本大学	2016/9/27	大阪大学	①-a	H30
319	Huanwen Han, Kazuyuki Nobusawa, Ichiro Yamashita	Investigation of pH effect on Electrochemical Impedance Spectroscopy (EIS)	第65回応用物理学会春季学術講演会	東京	2018/3/18	大阪大学	①-a	H30
320	Huanwen Han, Fumie Takei, Misaki Akiyama, Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	Polymerase Chain Reaction (PCR) under low ionic strength	第64回応用物理学会春季学術講演会	パシフィコ横浜	2017/3/14	大阪大学	①-a	H30
321	武井史恵, 秋山美咲, 信澤和行, Norhayati Binti Sabani, 韓煥文, 中谷和彦, 山下一郎	低塩濃度におけるアレル特異的PCR法の開発	第64回応用物理学会春季学術講演会	横浜	2017/3/14-17	大阪大学	①-a	H30
322	山崎 聖司, 林克彦, 井上 雄太, 樋口 雄介, 櫻井 啓介, 中島 良介, 加藤 修雄, 山口 明人, 西野 邦彦	耐性菌多剤排出トランスポーターの生化学的解析と新規阻害剤開発	日本細菌学会総会	仙台	2017/3/19-22	大阪大学	①-b	H30
323	Ami Yamagishi, Seiji Yamasaki, Kunihiro Nishino	The search for inhibitors of ABC-Type Efflux Pump MacAB in Salmonella enterica serovar Typhimurium	産業科学研究所国際シンポジウム	大阪大学	2018/1/16-17	大阪大学	①-b	H30
324	頭川武夫, 森田幸弘, 西谷幹彦	ウェアラブルデバイスを用いた日常生活における心拍ゆらぎ計測	応用物理学会	パシフィコ横浜	2017/3/17	パナソニック、大阪大学	②-a	H30
325	Mariko Osaka, Ken Yaoi, Takehiro Minamoto, Miyuki Azuma, Mizuki Kaneda, Naoyuki Osaka	Four-frame humor comic Manga activates TPJ, MPFC and cerebellum in the brain: An fMRI study based on working memory	ECVP2018	Trieste University Trieste, Italy	2018/8/27	NICT・CiNet	②-a	H30
326	Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., & Osaka, N.	Group differences of working memory capacities in the resting state brain networks; an fMRI study MARIKO OSAKA, MIZUKI KANEDA and MIYUKI AZUMA, NICT, KEN YAOI, Kanazawa	Psychonomic Society 59th Annual Meeting	Hyatt Regency New Orleans, Louisiana, USA	2018/11/17	NICT・CiNet	②-a	H30
327	春野雅彦	ヒト意思決定における大脳皮質・皮質下領域の脳情報動態の解明と利用	第2回脳情報動態領域会議	東京ガーデンバレス	2018/7/4	NICT・CiNet	②-a	H30
328	春野雅彦	社会脳科学と自然言語処理による社会的態度とストレスの予測	CREST知的情報処理H30年度第1回領域会議	ホテルフクラシア大阪ベイ	2018/9/11	NICT・CiNet	②-a	H30

329	Kenji Takemoto, Hiroaki Kobayashi, Sonoko Hasegawa, Yukinori Inoue, Takahiro Hirabayashi, Takeshi Yagi	Clustered protocadherins except three Pcdh γ C isoforms are necessary for generating functional neuronal circuits	第41回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター	2018/7/26	大阪大学	②-b	H30
330	高橋正年, 中島寿宏, 神林 勲	言語的コミュニケーションと短距離走の技能獲得との関係—中学校体育授業の分析から—	第58回北海道体育学会大会	北海道医療大学	2018/12/1	北海道教育大学	⑤-b	H30
331	中島寿宏, 高橋正年, 高瀬 淳也	中学校における体育科と他教科との関わり—言語的コミュニケーションに着目して—	第58回北海道体育学会大会	北海道医療大学	2018/12/1	北海道教育大学	⑤-b	H30
332	中島寿宏	教員養成段階における体育模擬授業の対話的学習に関する事例研究—言語的コミュニケーションの可視化による授業改善の試み—	日本スポーツ教育学会第38回学会大会	広島大学	2018/10/13	北海道教育大学	⑤-b	H30
333	高橋正年, 中島寿宏	言語的コミュニケーションと技能獲得との関係—中学校短距離走の授業に着目して—	日本スポーツ教育学会第38回学会大会	広島大学	2018/10/13	北海道教育大学	⑤-b	H30
334	Shunichi Tazuke, Takeshi Tanaka, Norio Goda, Katsuya Fuchita	Einflüsse zwischen Spieler wegen der Regänderungen im Ball-Pass-Game	10. Deutsch - Japanisches Symposium	Uni. Münster	2018/3/14	同志社大学, 日立製作所	⑤-b	H30
335	Katsuya Fuchita, Shunichi Tazuke, Norio Goda, Takeshi Tanaka	Quantitative Assessment of Off-The-Ball Movements Based on Qualitative Assessment in Invasion Games	10. Deutsch - Japanisches Symposium	Uni. Münster	2018/3/13	同志社大学, 日立製作所	⑤-b	H30
336	Tarusawa E, Yagi T	Clustered protocadherins regulated high reciprocal connectivity between clonal cortical neurons are selectively modified by short sensory deprivation in mouse barrel cortex	生理研研究会 神経発達・再生研究会	名古屋市立大学	2018/10/18	大阪大学	②-b	H30
337	Ashuya Takemoto, Teppei Araki, Yuki Noda, Shusuke Yoshimoto, Takafumi Uemura and Tsuyoshi Sekitani	A High-Resolution Printing Technique of Ag-Nanowire-Based Electrodes for Transparent Flexible Organic Transistors on a 1- μ m-Thick Polymer Film	2018 Material Research Society (MRS) Spring meeting & exhibit, Symposium, MA04.01.03	Phoenix, Arizona, USA	2018/4/2	大阪大学	③-c	H30
338	Masahiro Sugiyama, Takafumi Uemura, Shusuke Yoshimoto, Miko Akiyama, Masaya Kondo, Teppei Araki, Yuki Noda and Tsuyoshi Sekitani	Bio-Conformable Organic Differential Amplifier on Ultraflexible Polymer Substrate for Low-Noise Biosignal Monitoring	2018 Material Research Society (MRS) Spring meeting & exhibit, Symposium, EP08.07.02	Phoenix, Arizona, USA	2018/4/5	大阪大学	③-c	H30
339	Teppei Araki, Fumiaki Yoshida, Yuki Noda, Takafumi Uemura, Shusuke Yoshimoto, Tarō Kajiu, Takafumi Suzuki, Hiroki Hamanaka, Masayuki Hirata and Tsuyoshi Sekitani	Two-Months-Implantable Neural Interface Integrated with Transparent and Stretchable Metal-Nanowire-Based Tracks	2018 Material Research Society (MRS) Spring meeting & exhibit, Symposium, SM03.02.02	Phoenix, Arizona, USA	2018/4/3	大阪大学	③-c	H30

340	Masaya Kondo, Takafumi Uemura, Mihoko Akiyama, Naoko Namba, Masahiro Sugiyama, Yuki Noda, Teppei Araki, Shusuke Yoshimoto and Tsuyoshi Sekitani	Design of Ultraflexible Organic Differential Amplifier Circuits for Wearable Sensor Technologies	International Conference on Microelectronics Test Structures (ICMETS), M_4_5	Austin, Texas, USA	2018/3/20	大阪大学	③-c	H30
341	竹本 明寿也, 荒木 徹平, 野田 祐樹, 吉本 秀輔, 植村 隆文, 関谷 毅	銀ナノワイヤ印刷電極を用いたフレキシブル透明有機トランジスタの開発	第65回応用物理学会春季学術講演会, 18p-D102-8	早稲田大学・西早稲田キャンパス, 東京	2018/3/18	大阪大学	③-c	H30
342	N. Otani, D. Okabe, and M. Numao	Generating a Melody Based on Symbiotic Evolution for Musicians' Creative Activities	GECCO 2018	京都	2018/7/19	東京都市大学 大阪大学	④-b	H30
343	向瑞稀, 町田 美穂, 大谷 紀子	拍子変更による自動変奏	第1回日本AI音楽学会フォーラム	川崎	2018/11/11	東京都市大学	④-b	H30
344	福田尚人, 大谷 紀子	自動作曲のための効率的な感性モデル抽出方法の提案	第1回日本AI音楽学会フォーラム	川崎	2018/11/11	東京都市大学	④-b	H30
345	渡邊稜祐, 大谷 紀子	水野式黒鍵作曲法に基づく対話型作曲システム	第1回日本AI音楽学会フォーラム	川崎	2018/11/11	東京都市大学	④-b	H30
346	清水風太, 饗庭絵里子	異なる残響下におけるピアニストのペダリングの変化	情報処理学会第122回音楽情報科学研究会・第51回エンタテインメントコンピューティング研究会	兵庫	2019/2/23	電気通信大学	④-b	H30
347	向瑞稀, 大谷 紀子	ピアノ演奏における表情付けを考慮した MIDI の生成	情報処理学会第81回全国大会	福岡	2019/3/16	東京都市大学	④-b	H30
348	藤江俊太, 小林悠輝, 今村健太郎, 小林光	シリコンナノ粒子と中性領域の水との反応による水素発生	第64回応用物理学会春季学術講演会	パシフィコ横浜	2017/3/15	大阪大学	④-c	H30
349	Hikaru Kobayashi	Hydrogen generation by the reaction of Si nanopowder with water	13th International Conference of Computational Methods in Sciences and Engineering (ICCMSE 2017)	The MET Hotel, Thessaloniki, Greece	2017/4/24	大阪大学	④-c	H30
350	Yasuomi Ouchi,	モノアミン神経系病態イメージングの基礎と応用. 臨床脳神経イメージングセミナー、	第57回日本神経学会	(神戸)	2016/5/21	浜松医大	④-d	H30
351	尾内康臣.	認知症分子イメージングプローブの展望: 神経炎症と神経細胞代謝を視る.	第36回日本認知症学会	(金沢)	2017/11/24	浜松医大	④-d	H30
352	Yasuomi Ouchi.	In vivo depiction of neuroinflammation on the cholinergic system and cognition in humans.	13回 International symposium of geriatrics and gerontology.	(愛知)	2018/2/3	浜松医大	④-d	H30
353	尾内康臣	Neuroinflammation and receptor availability that can be and should be depicted by PET.	第59回日本神経学会(シンポジウム)	札幌	2018/5/6	浜松医大	④-d	H30
354	尾内康臣	PET technology for pathophysiological studies on pain-related psychiatric disorders	第40回日本生物学的精神医学会(シンポジウム)	神戸	2018/9/2	浜松医大	④-d	H30
355	石井良平, 畑真弘, 青木保典, Reza Kazemi, 池田俊一郎, Roberto D. Pascual-marqui, 岩瀬真生, 池田学	脳波ネットワーク解析による経頭蓋反復磁気刺激の効果予測の可能性—双極性障害うつ病相患者における検討—	第114回日本精神神経学会学術総会	神戸	2018/6/21	関西医大	④-d	H30
356	北浦祐一, 吉村匡史, 西田圭一郎, 桂功士, 池田俊一郎, バスカルマルキ ロベルト, 木下利彦;	脳波は緩和ケアにどこまで役に立つか?	第114回日本精神神経学会学術総会	神戸	2018/6/22	関西医大	④-d	H30

357	西田圭一郎, 加藤正樹, 吉村匡史, 木下利彦;	脳波定量解析によるうつ病の治療反応予測	第114回日本精神神経学会学術総会	神戸	2018/6/22	関西医大	④-d	H30
358	桂 功士, 西田圭一郎, 森島陽介, 吉村 匡史, 池田 俊一郎, 越川 陽介, 上田 紗津真, 斧原 藍, 北浦 祐一, 諏訪 梓, 石井 良平, Roberto D Pascual-Marqui, 木下利彦;	経頭蓋直流単回刺激による不安の変化をLORETAは予測できるか?	第21回日本薬物脳波学会	千葉	2018/9/14	関西医大	④-d	H30
359	南 翔太, 西田圭一郎, 越川陽介, 木下 利彦, 加藤 正樹;	うつ病薬物療法に対する脳波解析の有用性の検討	第21回日本薬物脳波学会	千葉	2018/9/14	関西医大	④-d	H30
360	西田圭一郎;	【臨床神経生理学が精神疾患の治療において果たす役割—update—】脳波を用いた治療反応予測—うつ病を中心に—	第48回日本臨床神経生理学会学術大会	東京	2018/11/8	関西医大	④-d	H30
361	池田俊一郎;	【臨床神経生理学が精神疾患の治療において果たす役割—update—】精神疾患におけるマイクロ状態解析の有用性	第48回日本臨床神経生理学会学術大会	東京	2018/11/8	関西医大	④-d	H30
362	宮岸良彰	Gamma-band auditory steady-state response after frontal tDCS: A double-blind, randomized, crossover study	BIOMAG2018	Philadelphia, USA	2018/8/28	金沢大学	④-e	H30
363	立川和樹, 河合祐司, 朴志勲, 浅田稔	脳波特徴の階層性を利用した効率的なシャープレイ値推定による脳波識別の根拠の定量化	第32回人工知能学会全国大会	鹿児島	2018/6/6	大阪大学	④-e	H30
364	Kazuki Tachikawa, Yuji Kawai, Jihoon Park, and Minoru Asada	Effectively interpreting electroencephalogram classification using the Shapley sampling value to prune a feature tree	The 27th International Conference on Artificial Neural Networks	Rhodes, Greece	2018/10/5	大阪大学	④-e	H30
365	熊崎博一	精神疾患の病理に基づいたロボットインタラクションに向けて	第114回日本精神神経学会総会	神戸	2018/6/22	金沢大学	④-e	H30
366	熊崎博一	「自閉スペクトラム症者の認知機能を考慮したロボット療育の確立」	第3回認知粒度研究会	富山	2018/8/2-8/3	金沢大学	④-e	H30
367	富山更	「自閉スペクトラム症の子どもをもつ母親の心理変化:知識の自信度が母親の感情変化に与える影響」	第59回日本児童青年精神医学会総会	東京	2018/10/12	金沢大学	④-e	H30
368	吉村優子	発達障害がある子どもたちの聴覚情報処理特性	第1回COI学会	大阪	2018/10/25	金沢大学	④-e	H30
369	富山更, 菊知充, 吉村 優子, 長谷川 千秋, 池田 尊司, 齋藤 大輔, 熊崎 博一, 内藤 暢茂, 三邊 義雄	自閉スペクトラム症の子どもをもつ母親の心理変化—知識の自信度が母親の感情変化に与える影響—	第45回日本脳科学学会	千葉	2018/11/10	金沢大学	④-e	H30
370	齋藤大輔	シンポジウム「臨床と研究の融合—脳機能イメージとOxytocin」	日本子ども虐待防止学会 第24回学術集會おかやま大会	岡山	2018/11/30-12/1	金沢大学	④-e	H30
371	熊崎博一	自閉スペクトラム症の嗅覚特性に着目する意義	第22回日本精神保健・予防学会学術集會	東京	2018/12/2	金沢大学	④-e	H30
372	吉村優子	言語発達の神経基盤 — 意図共有と階層性理解の関係の解明を目指して —	次世代脳プロジェクト 冬のシンポジウム2018	東京	2018/12/12	金沢大学	④-e	H30
373	熊崎博一	The utility of android robot for intervention for individuals with autism spectrum disorders	HAI2018 Workshop on Clinical Use of Technology for Individuals with Developmental Disorders	Southampton, UK	2018/12/15	金沢大学	④-e	H30

374	細川鉄平、藤内謙光、森田幸弘、西谷幹彦	カルボン酸アミン塩からなる有機複合体のアンモニアセンサ応用	第68回高分子学会年次大会	大阪国際会議場	2019/5/31	大阪大学、パナソニック	①-a	R1
375	古閑修輝、山崎聖司、櫻井啓介、中島良介、山口明人、西野邦彦	緑膿菌の薬剤排出ポンプMexBIにおける阻害剤結合ビットの包括的解析	日本生化学会近畿支部例会	京都大学	2019/5/25	大阪大学	①-b	R1
376	常明、安藤英由樹、前田太郎、成瀬康	ニューロフィードバックトレーニングを用いた英語学習法	第63回システム制御情報学会研究発表講演会 (SCF19)	中央電気倶楽部	2019/5/23	NICT・CiNet、大阪大学	②-a	R1
377	Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M.	Professional Zen meditators experience less cognitive conflict: An event-related fMRI study based on the Stroop color task	The Science of Consciousness 2019	Interlaken, Switzerland	2019/6/26	NICT・CiNet	②-a	R1
378	Osaka, M., Kaneda, M., Azuma, M., Yaoi, K., Shimokawa, T., & Osaka, N.	Working Memory: Neural Mechanisms and Individual Differences	Psychonomic Society's 60h Annual Meeting	Montréal, Québec, Canada	2019/11/16	NICT・CiNet	②-a	R1
379	吉村貴子・学阪満里子・大沢愛子	認知症におけるワーキングメモリと談話能力の関係	日本ワーキングメモリ学会第17回大会	京都府京都市	2019/12/14	NICT・CiNet	②-a	R1
380	春野雅彦	Evaluation of self and other states in decision making	第3回脳情報動態領域会議	御殿場高原ホテル	2019/7/2	NICT・CiNet	②-a	R1
381	春野雅彦	社会脳科学と自然言語処理による社会的態度とストレスの予測	CREST 知的情報処理 2019年度領域会議	セミナーハウス クロス・ウェブ 梅田	2019/10/2	NICT・CiNet	②-a	R1
382	滝野晶平、植村隆文、福原克郎、小林保之、塚田智之、関谷毅	鉄筋腐食検知センサの開発	令和元年度 土木学会全国大会第74回年次学術講演会	香川大学幸町キャンパス	2019/9/3	大阪大学	③-c	R1
383	Masahiro Sugiyama	Low-noise electrocardiogram recording with flexible organic differential amplifier	10th International Conference on Molecular Electronics & BioElectronics (M&BE10)	Nara Kasugano International Forum IRAKA, Nara	2019/6/25	大阪大学	③-c	R1
384	Misaki Inaoka, Shintaro Izumi, Shusuke Yoshimoto, Toshikazu Nezu, Yuki Noda, Teppei Araki, Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani	Noise Evaluation System for Biosignal Sensors Using Pseudo-Skin and Helmholtz Coil	13th International Symposium on Medical Information and Communication Technology	ISMICT 2019, Oslo, Norway	2019/5/9	大阪大学	③-c	R1
385	豊田理紗、原木真吾、辻阪亮子、池邊一典、矢谷博文、加藤隆史	若年成人ブラキシズム患者におけるレム睡眠時の咬筋活動特性	第128回日本補綴歯科学会学術大会	札幌	2019/5/11	大阪大学	④-a	R1
386	Yuki Shiraiishi, Masaya Tachibana, Ai Shirota, Ikuko Mohri, Masako Taniike, Takashi Yamashiro, Takafumi Kato.	Rhythmic masticatory muscle activity in sleep bruxism children.	97th General Session of the International Association for Dental Research (IADR)	Vancouver Canada	2019/6/22	大阪大学	④-a	R1
387	吉崎亜里香、村田絵美、星野恭子、加藤久美、宮田理英、橘雅弥、松本小百合、毛利育子	幼児の睡眠習慣改善のための双方向性スマートフォンアプリケーション「ねんねナビ®」開発とコンプライアンスの検討	第23回日本遠隔医療学会学術大会	岩手	2019/10/6	大阪大学	④-a	R1

388	清水 彩, 石井 豊恵, 岡田 志麻	新生児集中治療室における早産児の成長発達を見守る24時間モニタリングの試み	第58回 日本生体医工学会大会	沖縄コンベンションセンター	2019/6/7	立命館大学	④-a	R1
389	Yu Ochiai, Shima Okada, Jeong Hieyong, Yuko Ohno, Masaaki Makikawa	Proposal of health index with Autonomic nervous system activity using RGB Video Images	LE Symposium2019	タイ、バンコク	2019/8/23	立命館大学	④-a	R1
390	Noriko Otani	Generation of a Corporate Sound Logo Based on Symbiotic Evolution	IEEE Congress on Evolutionary Computation 2019	Wellington, New Zealand	2019/6/10-13	東京都市大学	④-b	R1
391	Panayu Keelawat, Nattapong Thammasan, Boonserm Kijirikul, and Masayuki Numao	Subject-Independent Emotion Recognition During Music Listening Based on EEG Using Deep Convolutional Neural Networks	2019 IEEE 15th International Colloquium on Signal Processing and Its Applications (CSPA)	Penang Island, Malaysia	2019/3/8-9	大阪大学	④-b	R1
392	Sirawit Sopchoke, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao.	ILP Recommender System: Explainable and More	Proc. The 29th International Conference on Inductive Logic Programming (ILP2019),	Plovdiv, Bulgaria	2019/9/3-5	大阪大学	④-b	R1
393	田中 潤也, 富田 智彦, 沼尾 正行, 福井 健一	物理過程に基づくニューラルネットワークを用いたモデル残差項の学習	第33回人工知能学会全国大会	新潟	2019/6/5	大阪大学	④-b	R1
394	Juan Lorenzo Mutia Hagad, Ken-ichi Fukui, Masayuki Numao	Modelling Naturalistic Work Stress Using Spectral HRV Representations and Deep Learning	第33回人工知能学会全国大会	新潟	2019/6/5	大阪大学	④-b	R1
395	浦地 勇人, 松村 昂輝, ハガドフアン ロレンゾ, 福井 健一, 沼尾 正行	VR環境と生体情報を用いた映像コンテンツの評価及び分析	第33回人工知能学会全国大会	新潟	2019/6/4	大阪大学	④-b	R1
396	Taweesak Emsawas, Ken-ichi Fukui, Masayuki Numao	Feasible Affect Recognition in Advertisingbased on Physiological Responses from Wearable Sensors	第33回人工知能学会全国大会	新潟	2019/6/5	大阪大学	④-b	R1
397	小寺 謙斗, 沼尾 正行, 福井 健一	時系列データ分類に基づくクラス対応を考慮した部分時系列の学習	情報処理学会第123回数理モデル化と問題解決研究会(MPS)	沖縄	2019/6/19	大阪大学	④-b	R1
398	木村 司, 武村 紀子, 中島 悠太, 小堀 寛和, 長原 一, 沼尾 正行, 篠原 一光	温熱環境・学習効率・精神負荷の関係	ヒューマンインタフェースシンポジウム2019	京都	2019/9/4	大阪大学	④-b	R1
399	Nat Pavsant, 沼尾 正行, 福井 健一.	Spatio-temporal Change Detection Using Pattern Time Signature	人工知能学会第118回知識ベースシステム研究会(SIG-KBS)	神奈川	2019/11/22	大阪大学	④-b	R1
400	松村 昂輝, 大谷 紀子, 木村 司, 福井 健一, 沼尾 正行	リズム・コード・メロディの三段階深層学習による音楽生成	情報処理学会音楽情報研究会第125回研究発表会	東京	2019/11/19	大阪大学	④-b	R1
401	小林 光	シリコン製剤による体内水素発生が及ぼす犬・猫への治療事例	第40回動物臨床医学会記念年次大会	大阪、グランキューブ大阪	2019/11/16	大阪大学	④-c	R1
402	池田 尊司	tDCSIによる認知機能および脳活動の変化	第4回LORETA café and 第3回関西 Transcranial Electrical Stimulation Forum	大阪	2019/6/15	金沢大学	④-d	R1

403	Yasuomi Ouchi, Kyoko Nakaizumi, Tatsuhiro Terada, Tomoyasu Bunai, Etsuji Yoshikawa, Yasuhiro Magata.	In vivo depiction of alpha-7 nicotinic receptors in the Meynert nucleus in aging vs. dementia	第60回日本神経学会学術大会	大阪	2019/5/22	浜松医大	④-d	R1
404	Yasuomi Ouchi, Satoru Yamagishi, Hideo Tsukada Kohji Sato.	Activations of CB2 and TSPO in senescence-accelerated neuroinflammation in mice.	第59回日本核医学会学術総会	松山	2019/11/2	浜松医大	④-d	R1
405	小倉基次	tES-EEGの最新の情報	第1回日本経頭蓋電気刺激臨床応用ネットワーク(J-ESCN)研究会	東京	2019/8/16	大阪大学	④-d	R1
406	菊知充	金沢大学の取り組み	第1回日本経頭蓋電気刺激臨床応用ネットワーク(J-ESCN)研究会	東京	2019/8/16	金沢大学	④-d	R1
407	西田圭一郎	関西医科大学の取り組み	第1回日本経頭蓋電気刺激臨床応用ネットワーク(J-ESCN)研究会	東京	2019/8/16	関西医大	④-d	R1
408	南翔太、西田圭一郎、吉村匡史、山根倫也、ロベルトバスカルマルキ、木下利彦、加藤正樹	抗うつ薬使用の有無による脳波構造の比較検討-ベイズ推定を用いて-	第22回日本薬物脳波学会学術集会	東京	2019/7/19	関西医大	④-d	R1
409	南翔太、西田圭一郎、吉村匡史、山根倫也、ロベルトバスカルマルキ、木下利彦、加藤正樹	神経生理学的有向性コヒーレント(Isolated effective coherence)を用いた抗うつ薬の治療反応性予測の可能性	第49回日本臨床神経生理学会学術大会	福島	2019/11/28	関西医大	④-d	R1
410	越川陽介、西田圭一郎、吉村匡史、山根倫也、石井良平、木下利彦、森島陽介	うつ病患者を対象とした経頭蓋直流刺激がタスクスイッチ課題の反応時間に与える効果の検討	第19回精神疾患と認知機能研究会	東京	2019/11/9	関西医大	④-d	R1
411	吉村優子	Neural basis of 'intention sharing' in children and adults with autism spectrum disorder	Evolinguistics Workshop 2019	東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE East K211 & 212	2019/5/25	金沢大学	④-e	R1
412	菊知充・吉村優子	MEGが解き明かしつつある、発達障害の脳の多様性	第34回日本生体磁気学会大会	北海道・函館アリーナ	2019/6/22	金沢大学	④-e	R1
413	高橋哲也	動的神経ネットワークから探る前頭葉機能異常の神経基盤	第41回日本生物学的精神医学会	新潟コンベンションセンター	2019/6/23	金沢大学	④-e	R1
414	高橋哲也	The Emerging Field of E/MEG Analyses on Dynamical Neural Networks	The 7th International Conference on Cognitive Neurodynamics 2019 (ICCN 2019)	イタリア	2019/9/30	金沢大学	④-e	R1
415	長谷川千秋	The impact of familiarity on child brain network during listening to story book reading: An MEG study	第46回日本脳科学学会	滋賀医科大学	2019/11/16	金沢大学	④-e	R1
416	長谷川千秋	Mu rhythm suppression in children with autism spectrum disorder viewing the face video of own mother: An MEG study	Workshop on Australasian Magnetoencephalography (WAM 2019) Neurocognitive clinical applications of MEG: Present and future	オーストラリア・マッコーリ大学	2019/12/10	金沢大学	④-e R1WD13-1	R1
417	立川和樹、河合祐司、朴志勲、浅田稔	勾配積分法に基づく脳波識別に貢献した周波数領域特徴の説明	第33回人工知能学会全国大会	新潟	2019/6/5	大阪大学	④-e	R1
418	高橋正年、高瀬淳也、河本岳哉、中島寿宏	中学校体育授業における言語的コミュニケーションと知識習得との関係—短距離走の単元の分析から—	日本スポーツ教育学会第39回大会	早稲田大学早稲田キャンパス	2019/9/23	北海道教育大学	⑤-b	R1

419	中島寿宏, 高橋正年, 河本岳哉, 高瀬淳也	体育授業における姿勢が対話的活動と身体活動量に与える影響 -座位・立位での言語的コミュニケーションおよび歩数の比較から-	日本スポーツ教育学会第39回大会	早稲田大学早稲田キャンパス	2019/9/23	北海道教育大学	⑤-b	R1
420	中島寿宏, 川田学, 伊藤崇	子どもの運動習慣や体力は学級内での対話的活動と関連するのか? -ビジネス顕微鏡によるコミュニケーションの可視化データによる分析から-	第74回日本体力医学会大会	つくば国際会議場	2019/9/19	北海道教育大学	⑤-b	R1
421	河本岳哉, 梅村拓未, 高橋正年, 高瀬淳也, 中島寿宏	体育学習における対話的活動と体育動機性の関係について	第59回北海道体育学会大会	北海道教育大学釧路校	2019/12/15	北海道教育大学	⑤-b	R1
422	山崎聖司	細菌共存学の開拓 -ヒトと病原細菌・腸内細菌との新たな関係の構築-	第92回日本細菌学会総会 ワークショップ	札幌コンベンションセンター	2019/4/24	大阪大学	H31W05-2 R1WD01	R1
423	山崎聖司	耐性菌克服に寄与する薬剤排出ポンプ阻害剤の結合部位の包括的解析	JST第2回COI学会	日本科学未来館	2019/9/20	大阪大学	H31W05-2 R1WD01	R1
424	山崎聖司	薬剤耐性菌の克服に寄与する薬剤排出ポンプ阻害剤の結合部位解析	第2回大阪大学大学院医学系研究科—産業科学研究懇話会	大阪	2020/9/20	大阪大学	H31W05-2 R1WD01	R1
425	Myoungjae Jun, Hieyong Jeong, Yuko Ohno	Robot Control through Human Intention: Basic Consideration with Assistance of Sit-to-Stand and Stand-to-Sit Movements	The 19th International Conference on Control, Automation and Systems (ICCAS 2019)	Jeju Korea	2019/10/17	大阪大学	H31W13-1	R1
426	Sayaka Suga, Aoi Otomo, Hieyong Jeong, Yuko Ohno	Image Similarity Check of Nailfold Capillary by Template Matching	IEEE GCCE 2019	Osaka	2019/10/17	大阪大学	H31W13-1	R1
427	Hieyong Jeong, Yuko Ohno	画像処理による指先毛細血管の継続的観察方法	生体画像と医用人工知能研究会, 第1回若手発表会	群馬県立県民健康科学大学 多目的ホール	2019/3/16	大阪大学	H31W13-1	R1
428	Hieyong Jeong, Yuko Ohno	テンプレートマッチングを用いた指先毛細血管の継続的観察	第63回システム制御情報学会研究発表講演会 (SCF'19), OS03-1	中央電気倶楽部	2019/5/22	大阪大学	H31W13-1	R1
429	荒木 徹平	意欲溢れる自律社会の実現を目指した脳機能解明のための新規顕微鏡システム開発とその実証に向けた研究	JST第2回COI学会	日本科学未来館	2019/9/19	大阪大学	H31W15-2	R1
430	Tepei Araki, Takafumi Uemura, Shusuke Yoshimoto, Yuki Noda, Shintaro Izumi, and Tsuyoshi Sekitani	Stretchable and Transparent Eeg Sensor Based on Metal Nanowire and Dry Bioelectrode	2019 Materials Research Society (MRS) fall meeting & exhibit, Symposium SB07.08.04, Bioelectronics,	Boston	2019/12/4	大阪大学	H31W15-2	R1
431	Tepei ARAKI, Yuki NODA, Takafumi UEMURA, Shusuke YOSHIMOTO, Shintaro IZUMI, and Tsuyoshi SEKITANI	Flexible and Transparent Electrodes Toward Implantable Electronics	MRM2019 G-1 Symposium: In-field Molecules for Next-generations Flexible Electronics,	Yokohama Symposia	2019/12/13	大阪大学	H31W15-2	R1
432	Chihiro Tanikawa, Miyuki Nakamura, Namiki Nagata, Carroll Ann Trotman, Takashi Yamashiro	Three-Dimensional Markerless Time-Sequential Smile Analysis	IADR (コロナウイルス感染拡大のため、電子発表)	Washington DC, USA	2020/3/21	大阪大学	R1WD07	R1
433	元岡 大祐	真菌叢解析手法の構築	JST第2回COI学会	日本科学未来館	2019/9/19	大阪大学	R1WD17	R1
434	新居 卓朗, 前田 悠一, 檜崎 雅司, 熊ノ郷 淳	Prebotella copri from rheumatoid arthritis patients exacerbates collagen-induced arthritis in mice	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会	国立京都国際会館	2019/4/16	大阪大学	①-a	R2

435	小中 八郎、 加藤 保宏、 高松 漂太、 熊ノ郷 淳	Inflammasome drives release of mitochondrial DNA enclosed in extracellular membrane vesicles and propagation of inflammation in Behcet's disease	第48回日本免疫学会学術集会	アクトシティ浜松	2019/12/13	大阪大学	①-a	R2
436	糸田川 英 里、朴 正薫、 辻本 公平、 小中 八郎、 高松 漂太、 熊ノ郷 淳	Statification of SLE based on the BLYS biological activities	第48回日本免疫学会学術集会	アクトシティ浜松	2019/12/12	大阪大学	①-a	R2
437	Huanwen Han, Ichiro Yamashita	Electrochemical Impedance Spectroscopy (EIS) measurement of PCR products	第67回応用物理学会春季学術講演会	上智大学(講演会中止)	2020/3/13	大阪大学	①-a	R2
438	Huanwen Han, Kazuyuki Nobusawa, Ting-Chieh Chu, Ichiro Yamashita	Charge Transfer Enhancement by the Second Redox Mediator	第81回応用物理学会秋季学術講演会	WEB開催	2020/9/11	大阪大学	①-a	R2
439	常明, 安藤 英 由樹, 前田 太 郎, 成瀬 康	A neurofeedback game for speech sounds learning in foreign language	Augmented Human Conference 2020	WEB開催	2020/5/28	NICT・CiNet, 大阪大学	②-a	R2
440	荒木 徹平, 吉 本 秀輔, 植村 隆文, 栗平 直 子, 笠井 夕 子, 宮崎 愛 子, 根津 俊 一, 飯田 博 一, 関谷 毅	医療応用可能な高透明・高伸長な生体適合性電極の開発	第30回マイクロエレクトロニクスシンポジウム	WEB開催	2020/9/17	大阪大学	③-c	R2
441	高根慧至、野 田祐樹、豊嶋 尚美、根津俊 一、荒木徹 平、植村隆 文、関谷毅	自己組織化単分子膜に覆われた単一金ナノワイヤのノイズ特性評価	第81回応用物理学会秋季学術講演会	WEB開催	2020/9/1	大阪大学	③-c	R2
442	木村知玄、植 村隆文、芝藤 弥生、陶山武 史、上野博 之、関谷毅	反転オフセット印刷電極を用いた低ノイズ有機生体信号アンプ	第67回 応用物理学会春季学術講演会	上智大学(講演会中止)	2020/3/14	大阪大学	③-c	R2
443	Wasin Kalintha, Takafumi Kato, Ken-ichi Fukui	Sleep Age Sleep Quality Assessment from Nocturnal Sound in Home Environment	24th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems (KES2020)	WEB開催	2020/9/17	大阪大学	④-a	R2
444	Risa Toyota, Takafumi Kato	Quantitative analysis of masseter muscle tone during sleep in patients with sleep bruxism.	第62回歯科基礎医学学会学術大会	WEB開催	2020/9/21	大阪大学	④-a	R2
445	Yuki Shiraiishi, Takashi Yamashiro, Takafumi Kato	Association between rhythmic masticatory muscle activity and sleep cycles in children	第62回歯科基礎医学学会学術大会	WEB開催	2020/9/21	大阪大学	④-a	R2
446	向瑞稀, 大谷 紀子	自動作曲システムにおけるHMMを用いたメロディの音高決定	第19回情報科学技術フォーラム	WEB開催	2020/9/1	東京都市大学	④-b	R2
447	Yosuke Idenoue, Shogo Hayashi, Ken-ichi Fukui, Shigeki Hosoda, and Satoshi Ono	A study on error detection of ocean observation data by anomaly detection	The Twenty-Fifth International Symposium on Artificial Life and Robotics 2020 (AROB 25th 2020)	大分	2020/1/22-24	大阪大学	④-b	R2
448	Masashi Kitai, Yoshinobu Akamatsu, Ryoji Tani, Hiroki Fujiwara, Masayuki Numao, and Ken-ichi Fukui	Remaining Useful Life Curve Prediction of Rolling Bearings under Defect Progression Based on Hierarchical Bayesian Regression	PAIS 2020 https://digital.eca2020.eu/full-program/	WEB開催	2020/9/1	大阪大学	④-b	R2

449	Nat Pavasant, Masayuki Numao, and Ken-ichi Fukui	Spatio-Temporal Change Detection Using Granger Sequence Pattern	IJCAI-PRICAI2020	WEB開催	2021/1/8	大阪大学	④-b	R2
450	小林 悠輝、小林 光	金属触媒体によるシリコン製剤の水素発生能の向上	第81回応用物理学会秋季学術講演会	WEB開催	2020/9/9	大阪大学	④-c	R2
451	小山 佳久、柳川 博斗、小林 悠輝、小林 光、島田 昌一	抗がん剤治療における新たな制吐剤の開発	第96回日本解剖学会近畿支部学術集会	和歌山、和歌山県立医科大学	2020/11/14	大阪大学	④-c	R2
452	Yasuomi Ouchi, Tomoyasu Bunai, Toru Hirokawa, Mina Fukai, Shigeru Ito, Etsuji Yoshikawa, Mitsuru Kikuchi	Transcranial direct-current stimulation enhances dopamine release and attentiveness	Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping (OHBM 2020)	Montreal (WEB開催)	2020/6/26	浜松医大	④-d	R2
453	南翔太、越川 陽介、西田 圭一郎、吉村 匡史、石井 良平、森島 陽介、山根倫也、木下 利彦	タスクスイッチ課題遂行中のうつ病患者への前頭前野 経頭蓋直流電気刺激(tDCS)の効果の検討	第116回日本精神神経学会学術総会	WEB開催	2020/9/29	関西医大	④-d	R2
454	大井学	CCC-2を使ってみよう	第46回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	東北大学川内北キャンパス(WEB開催)	2020/5/31	金沢大学	④-e	R2
455	吉村優子	自閉スペクトラム症幼児における聴覚誘発磁場と言語能力	第46回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	東北大学川内北キャンパス(WEB開催)	2020/5/30	金沢大学	④-e	R2
456	廣澤徹	tDCSによる注意機能の増強には内因性ドーパミンの放出が関連する —PETを用いた研究	第116回日本精神神経学会学術総会	WEB開催	2020/9/29	金沢大学	④-e	R2
457	菊知充	自閉症を診断し、その多様性を評価するためのMEG研究	第43回日本神経科学大会	Web開催	2020/7/30	金沢大学	④-e	R2
458	アン・キョンミン	Reduced Cross-frequency Coupling during Motor Control in Children with Autism Spectrum Disorders	2020 Korean Society for Human Brain Mapping Conference	WEB開催	2020/11/6	金沢大学	④-e	R2
459	河合祐司	Autistic children classification on MEG signal using deep learning and its explanation	第43回日本神経科学大会シンポジウム『人工知能とビッグデータは精神神経疾患の神経科学に何をもたらすか？』	WEB開催	2020/7/30	大阪大学	④-e	R2
460	樋口正法, 上原弦	神経活動によって磁場修飾されたMR領域を抽出するパルスシーケンス	第35回日本生体磁気学会大会	誌上開催	2020/10/2 (学会誌発送日)	金沢工業大学	④-e	R2
461	Huanwen Han, Kazuyuki Nobusawa, Fumie Takei, Ichiro Yamashita	On-demand DNA sensor with ligand fixing method	第79回応用物理学会秋季学術講演会	名古屋国際会議場	2018/9/19	大阪大学	①-a	R3
462	韓 煥文, 信澤 和行, 山下一郎	Ru錯体イオンによる電荷移動異常増強	第82回応用物理学会秋季学術講演会	online	2020/9/13	大阪大学	①-a	R3
463	韓 煥文, 信澤 和行, 橋田徳康, 山下一郎	インピーダンス測定によるPCRのリアルタイムモニタリング	第82回応用物理学会秋季学術講演会	online	2020/9/13	大阪大学	①-a	R3
464	荒木徹平, 吉本秀輔, 濱中裕喜, 野田祐樹, 植村隆文, 根津俊一, 鶴田修一, 平田雅之, 関谷毅	フレキシブルセンサ素材を利用する完全埋込可能な脳計測システムの開発	第57回日本臨床神経生理学会技術講演会	オンライン	2020/11/26	大阪大学	③-c	R3

465	Teppe Araki, Shusuke Yoshimoto, Hiroki Hamanaka, Yuki Noda, Takafumi Uemura, Toshikazu Nezu, Shuichi Tsuruta, Masayuki Hirata, and Tsuyoshi Sekitani	Flexible and Transparent Sensor Materials Toward a Fully Implantable Brain-Measurement System	2020 Materials Research Society (MRS) fall meeting & exhibit (On-line), Symposium	オンライン	2020/11/21	大阪大学	③-c	R3
466	Takafumi Uemura, Tomoharu Kimura, Yayoi Shibafuji, Takeshi Suyama, Hiroyuki Ueno, and Tsuyoshi Sekitani	Ultra-Low-Noise Organic Biosignal Amplifier with Flat Stamp Parallel Printed Electrodes	2020 Virtual MRS Spring/Fall Meeting & Exhibit	オンライン	2020/11/27	大阪大学	③-c	R3
467	田口剛輝, 植村隆文, 難波直子, Andreas Petritz, 杉山真弘, 荒木徹平, 野田裕樹, 関谷毅	光パターニング可能な有機トランジスタの閾値電圧制御	応用物理学会 KOSEN SC 第2回 VR学術講演会	オンライン	2020/12/5	大阪大学	③-c	R3
468	高根慧至, 野田祐樹, 豊嶋尚美, 根津俊一, 荒木徹平, 植村隆文, 関谷毅	表面分子修飾された単一金ナノワイヤのノイズ特性変化	応用物理学会 KOSEN SC 第2回 VR学術講演会	オンライン	2020/12/5	大阪大学	③-c	R3
469	西村和也, 荒木徹平, 竹本明寿也, 桐山一輝, 秋山実邦子, 笠井夕子, 栗平直子, 植村隆文, 関谷毅	透明有機電気化学トランジスタの作製と評価	フレキシブル・ストレッチャブル・エレクトロニクス研究会	オンライン	2020/12/13	大阪大学	③-c	R3
470	荒木徹平, 竹本明寿也, 笠井夕子, 栗平直子, 根津俊一, 飯田博一, 植村隆文, 関谷毅	超柔軟な透明配線技術の開発と高耐久エレクトロニクスへの応用	第27回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム	オンライン	2021/2/2	大阪大学	③-c	R3
471	西村和也, 荒木徹平, 竹本明寿也, 桐山一輝, 秋山実邦子, 笠井夕子, 栗平直子, 植村隆文, 関谷毅	透明フレキシブル電気化学トランジスタの印刷作製と周波数特性の評価	第27回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム	オンライン	2021/2/2	大阪大学	③-c	R3
472	田口剛輝, 植村隆文, 難波直子, Andreas Petritz, 荒木徹平, 杉山真弘, 関谷毅	光パターニングによるフレキシブル有機トランジスタの閾値電圧制御	第68回応用物理学会春季学術講演会, 19a-Z18-8	オンライン	2021/3/19	大阪大学	③-c	R3
473	Kazuya Nishimura, Tepei Araki, Ashuya Takemoto, Mihoko Akiyama, Kazuki Kiriyama, Yuko Kasai, Naoko Kurihira, Takafumi Uemura, and Tsuyoshi Sekitani	Frequency Characteristics of Ultrathin and Transparent Organic	International Conference on Electronics Packaging	オンライン	2021/5/12	大阪大学	③-c	R3

474	Tepei Araki, Yusuke Okabe, Naoko Kurihira, Yuko Kasai, Yuki Noda, and Tsuyoshi Sekitani,	Low-temperature Printable and Stretchable Circuit Board and Its Application to Flexible Hybrid Electronics	International Conference on Electronics Packaging	オンライン	2021/5/12	大阪大学	③-c	R3
475	Masahiro Sugiyama, Takafumi Uemura, Masaya Kondo, Mihoko Akiyama, Naoko Namba, Shusuke Yoshimoto, Yuki Noda, Tepei Araki, and Tsuyoshi Sekitani,	An Ultraflexible Organic Amplifier for Processing Electrocardiogram	Young Researchers Society for Flexible and Stretchable Electronics	オンライン	2021/6/16	大阪大学	③-c	R3
476	荒木徹平	シート型エレクトロニクスシステムの研究開発	プリンタブル・ウェアラブルデバイスの基盤技術と応用に関する研究分科会	オンライン	2022/12/20	大阪大学	③-c	R3
477	川端玲, 荒木徹平, 秋山実邦子, 栗平直子, 植村隆文, 関谷毅	光センサアレイに向けた有機トランジスタ回路のノイズ評価	JSAP/SPIE学生チャプター合同研究発表会	吹田, 大阪	2021/12/23	大阪大学	③-c	R3
478	Tepei Araki, Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani	Flexible Sensor Sheet for Healthcare Monitoring	The 25th SANKEN International Symposium	オンライン	2022/1/7	大阪大学	③-c	R3
479	荒木徹平, 植村隆文, 関谷毅	ストレッチャブル透明配線基板のウェットプロセス開発と生体電位計測応用	スマートプロセス学会・溶接学会共催 第28回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム	オンライン	2022/2/1	大阪大学	③-c	R3
480	石丸竣哉, 沼尾正行, 福井健一	変分敵対的ドメインニューラルネットワークによる個人差を考慮した睡眠評価	2021年度人工知能学会全国大会(第35回)	web開催	2021/6/14	大阪大学	④-a	R3
481	安本千晶, 堀翔太, 加藤隆史	入床前からの室温制御が夜間睡眠に与える影響	第60回日本生気象学会大会	web開催	2021/11/13	ダイキン工業、大阪大学	④-a	R3
482	島日向子, 饗庭絵里子	異なる応答特性をもつ電子ピアノを用いた音階演奏の解析ー粒の揃った演奏とは何かー	日本音響学会2021年8月度音楽音響研究会	オンライン	2021/8/21	電気通信大学	④-b	R3
483	Ding Keming, Tsukasa Kimura, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Nuao	Cross-Phase Emotion Recognition using Multiple Source Domain Adaptation	BIOSTEC2021	オンライン	2021/2/11-13	大阪大学	④-b	R3
484	Ding Keming, Tsukasa Kimura, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Nuao	EEG emotion Enhancement using Task-specific Domain Adversarial Neural Network	IJCNN2021	オンライン	2021/7/21	大阪大学	④-b	R3
485	今村亮一, 谷口 歩, 阿部豊文, 野々村祝夫, 小林悠輝, 小林 光	シリコン製剤は酸化ストレス軽減を通じて慢性腎臓病の悪化を抑制する	第21回日本抗加齢医学会総会	京都	2021/6/25	大阪大学	④-c	R3
486	Yasuomi Ouchi	tDCSによるドーパミンとGABA神経修飾.	第50回日本臨床神経生理学会	京都	2020/11/27	浜松医大	④-d	R3
487	西田圭一郎	A comparative study of tDCS effects in task switching between depressed patients and healthy controls	International Joint Meeting 2020 in Kansai	Web開催	2021/2/25-3/1	関西医大	④-d	R3
488	西田 圭一郎, 越川 陽介, 南翔太, 吉村 匡史, 石井 良平, 森島 陽介, 山根 倫也, 木下 利彦	うつ病患者と健常者におけるtDCS効果検証ータスクスイッチング課題を中心にー	第17回日本うつ病学会	Web開催	2021/1/25-31	関西医大	④-d	R3
489	西田圭一郎, 南翔太, 木下利彦	マインドフルネスと経頭蓋直流電気刺激法	第117回精神神経学会	京都	2021/9/20	関西医大	④-d	R3

490	南翔太、西田圭一郎、吉村匡史、木下利彦、加藤正樹	isolated effective coherence: iCohを用いたうつ病の症状別の抗うつ薬の治療反応予測の可能性	第117回精神神経学会	京都	2021/9/20	関西医大	④-d	R3
491	西田圭一郎 佃万里 木下利彦	経頭蓋直流電気刺激(tDCS)の気分、感情への影響	第117回精神神経学会	京都	2021/9/20	関西医大	④-d	R3
492	南翔太、池田俊一郎、吉村匡史、西田圭一郎、桂功士、佃万里、清水敏幸、木下利彦	脳波定量解析を用いた反復経頭蓋磁気刺激(rTMS)の治療効果予測	第51回日本神経生理学会	仙台	2021/12/17	関西医大	④-d	R3
493	西田圭一郎、森島陽介、パスカル・マルキ・ロベルト、南翔太、山根倫也、道倉雅仁、石川秀樹、木下利彦	マインドフルネス下における経頭蓋直流電流刺激による抗不安作用:無作為化二重盲検試験	第51回 日本神経生理学会	仙台	2021/12/17	関西医大	④-d	R3
494	西田圭一郎、佃万里、木下利彦	経頭蓋直流刺激の気分・感情への影響—臨床応用のための未来像を含めて	第24回日本薬物脳波学会、第38回日本脳電磁図トポグラフィ研究会	金沢 Web開催	2022/2/4	関西医大	④-d	R3
495	桂功士	経頭蓋直流刺激による脳内活動及びネットワーク	第24回日本薬物脳波学会、第38回日本脳電磁図トポグラフィ研究会	金沢 Web開催	2022/2/4	関西医大	④-d	R3
496	南翔太	うつ病のisolated effective coherence (iCoh)	第24回日本薬物脳波学会、第38回日本脳電磁図トポグラフィ研究会	金沢 Web開催	2022/2/4	関西医大	④-d	R3
497	池田 尊司	臨床応用に向けたtDCSの認知機能への変調効果	第117回日本精神神経学会学術総会	国立京都国際会議館(ハイブリッド開催)	2021/9/20	金沢大学	④-b	R3
498	池田尊司	認知機能に対するtDCSの波及効果	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-d	R3
499	菊知充	社会性と脳機能	International Joint Meeting 2020 in Kansai	WEB開催	2021/2/25-2/27	金沢大学	④-e	R3
500	菊知充	Effects of epileptic activities on the brain network in children with ASD: A Graph theoretical approach	New Frontier in Neuroscience 2021	WEB開催	2021/1/14	金沢大学	④-e	R3
501	アン・キョンミン	「Atypical brain oscillations and phase-amplitude coupling during motor control in children with autism spectrum disorders」	2021 Korean Society for Human Brain Mapping	BEAR HALL(韓国・ソウル)	2021/5/7	金沢大学	④-e	R3
502	池田尊司	親子間相互作用の神経ダイナミクス	第60回日本生体医工学会大会・第36回日本生体磁気学会大会	WEB開催	2021/6/16	金沢大学	④-e	R3
503	廣澤徹	シンポジウム「精神疾患治療におけるニューロモジュレーションの現状と開発の動向」精神疾患・神経疾患におけるニューロモジュレーション治療への期待と課題	第43回日本生物学的精神医学学会・第51回日本神経精神薬理学会合同大会	国立京都国際会議館(ハイブリッド開催)	2021/7/14-7/16	金沢大学	④-e	R3
504	田中早苗	個別の教育支援計画及び指導計画の活用と作成の視点の検討	第47回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	新潟市・朱鷺メッセ	2021/7/30-7/31	金沢大学	④-e	R3
505	劉珈路・吉村優子	自閉症スペクトラム児の知的能力と睡眠の関係についての検討	第47回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	新潟市・朱鷺メッセ	2021/7/30-7/31	金沢大学	④-e	R3
506	吉村優子・田中早苗	自閉スペクトラム症児の読み書き能力に関する生理学的検討	日本特殊教育学会 第59回大会	筑波大学・WEB開催	2021/9/18-9/20	金沢大学	④-e	R3
507	宮本和輝・吉村優子	知的障害特別支援学校における身体リズムを用いた授業分析の試み	日本特殊教育学会 第59回大会	筑波大学・WEB開催	2021/9/18-9/20	金沢大学	⑤-b	R3
508	鈕葉・吉村優子・宮本和輝・小林宏明	ビジネス顕微鏡を用いた特別支援学校の教育活動の分析—教師との関わりの有無及び各教育場面間の比較—	日本特殊教育学会 第59回大会	筑波大学・WEB開催	2021/9/18-9/20	金沢大学	⑤-b	R3
509	吉村優子	特別支援学校におけるコミュニケーション可視化の試み	第10回金沢大学認知科学シンポジウム	金沢大学	2021/3/5	金沢大学	⑤-b	R3

510	樋口正法, 上原弦	神経活動モデルとして電流ダイポールを用いた超低磁場機能的核磁気共鳴画像法の検討	第60回日本生体医工学学会大会・第36回日本生体磁気学会大会(合同開催)	オンライン開催	2021/6/16	金沢工業大学	④-e	R3
511	廣澤 徹、菊知 充、相馬 大輝	自閉スペクトラム症における機能的脳内ネットワークの変化について	第117回日本精神神経学会学術総会	国立京都国際会館(ハイブリッド開催)	2021/9/19	金沢大学	④-e	R3
512	菊知 充、廣澤 徹、長谷川 千秋	MEG Hyperscanning neuroimaging により自閉スペクトラム症幼児の脳の特徴を捉える	第117回日本精神神経学会学術総会	国立京都国際会館(ハイブリッド開催)	2021/9/21	金沢大学	④-e	R3
513	アン・キョンミン	Auditory-evoked fields and auditory steady-state responses measured by optically pumped magnetometers	WOPM2021	University of Strathclyde (英国・グラスゴー)	2021/10/4-10/5	金沢大学	④-e	R3
514	菊知 充	「夢」を現実に向けて	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-e	R3
515	廣澤 徹	自閉スペクトラム症の脳内ネットワークの解析	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-b	R3
516	高橋 哲也	神経ネットワークダイナミクスから探る精神疾患のメカニズム	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-e	R3
517	アン・キョンミン	幼児用MEGを用いた自閉スペクトラム症児の運動遂行中の神経ネットワーク解明	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-e	R3
518	吉村 優子	幼児用MEGを用いた聴覚刺激に対する脳反応と言語発達	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-e	R3
519	相馬大輝	自閉症児の神経ネットワークにおけるスモールワールド性の低下について: 安静時脳磁図によるグラフ解析	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-b	R3
520	三坂 好央	深度カメラを用いた脳磁計測での頭部位置決め方法の提案	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-e	R3
521	アン・キョンミン	光ポンピングセンサーを用いた40 Hz聴性定常反応の測定	第24回 日本薬物脳波学会・第38回 日本脳電磁図トポグラフィ研究会 合同開催	オンライン開催	2022/2/4-2/5	金沢大学	④-e	R3
522	大熊誠二, 鈴木直樹, 村瀬浩二, 石井幸司, 中島寿宏, 元安陽一	テクノロジーを活用した GIGA スクール時代の体育授業の作り方~未来の体育への Gateway~	日本体育科教育学会 第26回大会	オンライン	2021/6/26-27	北海道教育大学	⑤-c	R3
523	北條朱音, 梅村拓未, 浅野勇, 大山綾花, 近藤佑斗, 中島寿宏	体育授業における言語的コミュニケーションと学級雰囲気の関係	日本運動・スポーツ科学学会第28回大会	オンライン	2021/6/6	北海道教育大学	⑤-c	R3
524	井川創太, 山崎聖司, 森田雄二, 西野邦彦	新規抗菌薬セフィデロコル自然抵抗性における緑膿菌薬剤排出ポンプの役割解明	第33回 微生物シンポジウム	オンライン	2021/9/2	大阪大学	①-b R1WD01 R03W01	R3
525	Martijn Zwama, Ryosuke Nakashima, Seiji Yamasaki, Kunihiko Nishino	The increasingly pressing role of RND-type efflux pumps in multidrug resistant pathogens	10th imec Handai International Symposium	オンライン	2021/12/6	大阪大学	R1WD01 R03W01	R3
526	山崎聖司	細菌活動のコントロールによる新たな共存関係の構築	第3回ファーマラボEXPO	オンライン	2021/12/8	大阪大学	R1WD01 R03W01	R3
527	山崎聖司	新規制御手法の開発による細菌とのより良い共存関係の構築	第4回COI 学術交流会	オンライン	2022/2/6	大阪大学	①-b R1WD01 R03W01	R3
528	中野草平, 山崎聖司, 田口厚志, 西野邦彦	MacABの発現はRho依存型ターミネーターを介して、Roflによって調整されている	日本薬学会第142年会	オンライン	2022/3/25	大阪大学	①-b R1WD01 R03W01	R3

529	中野草平、山崎聖司、田口厚志、西野邦彦	MacABの発現はRho依存型ターミネーターを介して、Roflによって調整されている	第95回日本細菌学会総会	オンライン	2022/3/29	大阪大学	①-b R1WD01 R03W01	R3
530	谷川 千尋	矯正歯科診断・治療計画立案を行う人工知能システムの開発	JHPCN: 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点 第13回シンポジウム	オンライン	2021/7/9	大阪大学	R1WD07	R3
531	谷川 千尋, 岡綾香, 山城 隆	口唇裂・口蓋裂患児における顔の見た目に関連する生活の質(QoL)の評価 日本語版YQOL-FDを用いて	第45回 日本口蓋裂学会総会・学術集会	オンライン	2021/5/20-21	大阪大学	R1WD07	R3
532	An, K.	幼児用MEGを用いた自閉スペクトラム症児の運動機能の拙劣さに関わる脳活動研究	The 12th Japanese Consortium for Autism Research	オンライン	2021/8	金沢大学	R02WD01	R3
533	An, K.	幼児用MEGを用いた自閉スペクトラム症児の運動遂行中の神経ネットワーク解明	JSBET/JPEG Joint Meeting 2021	オンライン	2022/2	金沢大学	R02WD01	R3
534	Kyung-min An, Jeong Hyun Shim, and Kiwoong Kim	Auditory-evoked fields and auditory steady-state responses measured by optically pumped magnetometers	Workshop on Optically Pumped Magnetometers 2021	Glasgow, UK	2021/10/4	金沢大学	R02WD01	R3
535	An, K.	光ポンピングセンサーを用いた40 Hz聴性定常反応の測定	JSBET/JPEG Joint Meeting 2021	オンライン	2022/2/4,5	金沢大学	R02WD01	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核: 大阪大学)

⑫-2 発表(ポスター発表)

No	発表者	タイトル	学会名等	場所	年月日	発表機関 (参画機関のみ)	備考 (課題番号等)	年度
1	Hsieh, M., Nogi, M., Suganuma K.	Electrically conductive arrays fabricated on cellulose nanofiber paper substrates for flexible circuits	The 17 th SANKEN International Symposium	大阪大学	2014/1/21-22	大阪大学	③-c	H25
2	Yoshida, Y., Jiu, J., Nogi, M., Nagao, S., Suganuma K.	Distortion in lattice spacing of silver nanowires by heat treatments	The 17 th SANKEN International Symposium	大阪大学	2014/1/21-22	大阪大学	③-c	H25
3	Wu, T., Nogi, M., Kanai, I., Yagyu, H., Suganuma K.	Ultrathin transparent nanopaper	The 17 th SANKEN International Symposium	大阪大学	2014/1/21-22	大阪大学	③-c	H25
4	Hsieh, M., Kanai, I., Nogi, M., Suganuma K.	Optical transparency of cellulose nanopaper derived from various cellulose sources	1st KANSAI Nanoscience and Nanotechnology International Symposium	大阪大学	2014/2/3-4	大阪大学	③-c	H25
5	高見恭輔 & 春 野雅彦	集団的攻撃行動の脳・ネットワーク解析	「脳と心のメカニズム」冬のワークショップ	ルスツリゾート 北海道	2015/1/7	大阪大学	②-a	H26
6	Toshiko Tanaka, Takao Yamamoto & Masahiko Haruno	Amygdala response to inequality can predict long-term change in expression index	Society for Neuroscience 2014	Walter E. Washington Convention Center	2014/11/17	NICT・CiNet	②-a	H26
7	Tsuyoshi Nihonsugi, Masahiko Haruno, Gifu Shotoku	Computational model-based tDCS selectively enhances guilt-aversion based prosocial behavior	Cosyne2014	Salt Lake City	2014/2/27	NICT・CiNet	②-a	H26
8	Toshiko Tanaka, Takao Yamamoto & Masahiko Haruno	Amygdala response to inequity can predict long-term change in expression index.	Cosyne2015	Salt Lake City	2014/3/7	NICT・CiNet	②-a	H26
9	Kitsukawa T, Yagi T.	Gene-Matched Network: A micro-circuit model constructed by combinatorial matching of neuronal diverse attributes	Society for Neuroscience 2014	Walter E. Washington Convention Center	2014/11/15	大阪大学	②-b	H26
10	Takahito Ohshiro, Makusu Tsutsui, Kazumichi Yokota, Tomoji Kawai, Masateru Taniguch	Development of a Single-Molecule Electrical Nucleotide Identification Method Toward a Cell Transcriptome Analysis	MicroTAS 2014	San Antoni, USA	2014/10/27	大阪大学	③-a	H26
11	Takahito Ohshiro, Makusu Tsutsui, Kazumichi Yokota, Tomoji Kawai, Masateru Taniguch	Development of Single-Molecule Electrical Detection Method Toward Amino acid and Peptide identification	The 18th SANKEN International Symposium ,2nd. Kansai Nanoscience and Nanotechnology International Symposium, 10th. Handai Nanoscience and Nanotechnology International Symposium, 13th. SANKEN Nanotechnology Symposium	Icho-kaikan , Osaka University	2014/12/10-12	大阪大学	③-a	H26
12	V. Vachiratamporn, K. Fukui, K. Moriyama, and M. Numao	Design and Development of an Affective Survivor Horror Game: An Investigation on Player Affect	The 17th SANKEN International Symposium	Osaka	2014/1/21-22	大阪大学	⑤-b	H26
13	Danaipat Sodkomkham	Long-Term Human Mobility Prediction Using Simple Sensors	Spring workshop on Mining and Learning 2014	Oostende, Belgium	2014/3/10-12	大阪大学	⑤-b	H26
14	吉村優子	幼児の人の声に対する脳反応と言語能力の関係: 幼児用脳磁計(MEG)を用いた縦断的研究	第40回日本コミュニケーション障害学会学術講演会	金沢大学	2014/5/10-11	金沢大学	⑥	H26

15	Takahashi H, Nakahachi T, Komatsu S, Iida Y, Okajima J, Ogino K, Kamio Y.	Source localization analyses of preattentive auditory discrimination processing in Japanese children with autism spectrum disorders.	International Meeting for Autism Research 13rd Annual Meeting	Atlanta, USA	2014/5/16	国立精神・神経医療研究センター	⑥	H26
16	樋口正法、小山大介、川端美樹、足立善昭、河合淳、上原弦	人工内耳装用者用脳磁計の検出コイル検討	第75回応用物理学会秋季学術講演会	札幌、北海道大学	2014/9/18	金沢工業大学	⑥	H26
17	D.Oyama, N.Tsuyuguchi, J.Abe, M.Miyamoto, Y.Adachi, M.Higuchi, J.Kawai, and G.Uehara	Magnetic Resonance Imaging of Mouse Head in Ultra-low Magnetic Field	BIOMAG2014	Halifax, NS Canada	2014/8/24-28	金沢工業大学	⑥	H26
18	Takato Horii, Yukie Nagai, and Minoru Asada	Toward analysis of emotional development using physiological and behavioral data.	The 9th ACM/IEEE International Conference on Human-Robot Interaction Workshop on HRI:A Bridge between Robotics and Neuroscience, 2014	Bielefeld, Germany	2014/3/3-6	大阪大学	⑥	H26
19	Nobutsuna Endo, Tomohiro Kojima, Yuki Sasamoto, Hisashi Ishihara, Takato Horii, and Minoru Asada	Design of an Articulation Mechanism for an Infant-like Vocal Robot "Lingua".	Proceedings of the 3rd Conference on Biomimetic and Biohybrid Systems (Living Machines 2014), Vol.CD-ROM, pp.389--391, 2014.	Milan, Italy	2014/7/30-8/1	大阪大学	⑥	H26
20	Nobutsuna Endo, Tomohiro Kojima, Hisashi Ishihara, Takato Horii, and Minoru Asada	Design and Preliminary Evaluation of the Vocal Cords and Articulator of an Infant-like Vocal Robot "Lingua".	Proceedings of the IEEE-RAS International Conference on Humanoid Robots 2014	Madrid, Spain	2014/11/18-20	大阪大学	⑥	H26
21	小島友裕, 遠藤信綱, 笹本勇樹, 石原尚, 堀井隆斗, 浅田稔	音声発達過程の構成的理解のための乳児様発声プラットフォームの開発	ロボティクス・メカトロニクス講演会2014講演論文集, Vol.DVD-ROM, 2A1-X06, 2014.	富山国際会議場	2014/5/26-28	大阪大学	⑥	H26
22	堀井隆斗, 長井志江, 浅田稔	ノンパラメトリックベイジモデルを用いた時系列生理指標解析に基づく情動推定の試みー乳児の情動発達過程の解明を目指してー	日本赤ちゃん学会第14回学術集会プログラム抄録集, pp.39, 2014.	日本女子大学西生田キャンパス	2014/6/21-22	大阪大学	⑥	H26
23	Takato Horii, Yukie Nagai, and Minoru Asada	A Probabilistic Approach to Analyze Temporal Change of Emotion.	International Conference on Infant Studies Pre-Conference Computational Models of Infant Development, 2014.	Berlin, Germany	2014/7/3-5	大阪大学	⑥	H26
24	Katsuhiko Hayashi, Ryosuke Nakashima, Keisuke Sakurai, Kimie Kitagawa, Seiji Yamasaki, Kunihiko Nishino, Akihito Yamaguchi.	Stoichiometry of a Functional AcrA and AcrB Complex.	Gordon Research Seminar Multi-Drug Efflux Systems	Lucca, Italy	2015/4/25-26	大阪大学	①-c	H27
25	Seiji Yamasaki, Ryosuke Nakashima, Keisuke Sakurai, Katsuhiko Hayashi, Chikahiro Nagata, Kazuki Hoshino, Yoshikuni Onodera, Akihito Yamaguchi, Kunihiko Nishino.	Structural basis for the inhibition of multidrug efflux pumps.	6th Symposium on Antimicrobial Resistance in Animals and the Environment	Tours, France	2015/6/29-7/1	大阪大学	①-c	H27

26	Seiji Yamasaki, Ryosuke Nakashima, Keisuke Sakurai, Katsuhiko Hayashi, Chikahiro Nagata, Kazuki Hoshino, Yoshikuni Onodera, Akihito Yamaguchi, Kunihiko Nishino.	Inhibitor-bound structures and inhibition mechanism of multidrug efflux transporters.	The 14th Awaji International Forum on Infection and Immunity	Hyogo	2015/9/8-11	大阪大学	①-c	H27
27	山崎聖司、中島良介、櫻井啓介、林克彦、長田親広、星野一樹、小野寺宜郷、山口明人、西野邦彦	細菌異物排出ポンプの阻害剤結合様式と阻害メカニズムの解明	第62回日本生化学会近畿支部例会	滋賀	2015/5/16	大阪大学	①-c	H27
28	山崎聖司	耐性菌感染症の克服に向けた細菌薬剤排出ポンプの機能解析と阻害剤開発	平成27年度日本学術振興会育志賞研究発表会	京都	2015/8/31	大阪大学	①-c	H27
29	田中 敏子, 山本 高穂, 春野 雅彦	1年後の鬱傾向の悪化予測—不公平を表現する扁桃体活動のパターンより—	第38回日本神経科学大会	Kobe International Exhibition Hall	2015/7/30	NICT・CiNet	②-a	H27
30	高見 享佑, 春野 雅彦	グループ攻撃行動の脳ネットワーク解析	第38回日本神経科学大会	Kobe International Exhibition Hall	2015/7/29	NICT・CiNet	②-a	H27
31	木津川 尚史, 八木 健	局所回路モデルGene-Matched Networkを利用したネットワーク情報の解析	第38回日本神経科学大会	Kobe International Exhibition Hall	2015/7/30	大阪大学	②-b	H27
32	中内緑、野々上茂、重土好古、壁下康信、足立浩祥、加藤隆史、北瑞紀、山内美緒、藤原彩加、京谷京子、三上章良	Sleep stage sequence解析は過眠症の病態の評価に応用できるのか？	第7回日本臨床睡眠医学会学術集会	大阪	2015/8/1	大阪大学	⑤-a	H27
33	原本真吾、野々上茂、辻阪亮子、宇野浩一郎、三上章良、石垣尚一、瑞森崇弘、矢谷博文、吉田篤、加藤隆史	一般若年成人におけるリズム性咀嚼筋活動の発生頻度と睡眠構築の関係	第7回日本臨床睡眠医学会学術集会	大阪	2015/8/1	大阪大学	⑤-a	H27
34	亀井 雄平, 岡田 志麻	表面筋電図と前腕形状変化を用いた前腕および手指の動作分類	第54回日本生体医工学会大会	名古屋国際会議場	2015/5/9	近畿大学	⑤-a	H27
35	眞田 慎, 岡田 志麻	Kinectを用いたリアルタイム手話通訳システムの開発	第54回日本生体医工学会大会	名古屋国際会議場	2015/5/7-9	近畿大学	⑤-a	H27
36	Nattapong Thammasan, Kornraphop Kawintiranon, Yanika Buatong, Koichi Moriyama, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	Dry electrode EEG-based music emotion recognition	The 19th SANKEN International The 14 SANKEN Nanotechnology Symposium, Dec. 2015.	大阪大学	2015/12/7-9	大阪大学	⑤-b	H27
37	Ryosuke Otsuki, Ken-ichi Fukui, Koichi Moriyama, Noriko Otani, and Masayuki Numao	A Combination Method of Multi-layer Perceptron and Hierarchical Clustering to Estimate Affect of Similar Users on Music	The 19th SANKEN International The 14 SANKEN Nanotechnology Symposium, Dec. 2015.	大阪大学	2015/12/7-9	大阪大学	⑤-b	H27

38	Mitsuru Kikuchi, Laurent Mottron, Natsumi Takesaki, Tetsuya Takahashi, Tetsu Hirosawa, Yuko Yoshimura, Naoki Furutani, Hiroto Hiraishi, Chiaki Hasegawa, Sachiko Kitagawa, Yoshio Minabe, Mitsuru	Brain connectivity during a high-level visual perceptual task in young ASD children: a MEG investigation	The 14th International Meeting for Autism Research	Salt Lake City	2015/5/14	金沢大学	⑥	H27
39	Yuko Yoshimura, Laurent Mottron, Natsumi Takesaki, Tetsuya Takahashi, Tetsu Hirosawa, Naoki Furutani, Hiroto Hiraishi, Chiaki Hasegawa, Sachiko Kitagawa, Yoshio Minabe, Mitsuru	Mental rotation: a high-level perceptual strength of young ASD children	The 14th International Meeting for Autism Research	Salt Lake City	2015/5/16	金沢大学	⑥	H27
40	吉村優子	自閉スペクトラム症幼児の認知発達に関連する脳機能の解明	第4回金沢大学テニユア・トラック教員研究成果発表会	金沢	2016/3/14	金沢大学	⑥	H27
41	T. Horii, Y. Nagai, and M. Asada	Emotion Recognition and Generation through Multimodal Restricted Boltzmann Machines	IROS-WS 2015	Hamburg, Germany	2015/10/2	大阪大学	⑥	H27
42	Takahashi H, Nakahachi T, Stickley A, Ishitobi M, Kamio Y. Asia	Stability of the acoustic startle response and its modulation in children with typical development and those with autism spectrum disorders: a one-year follow-up.	Pacific Regional IMFAR (International Meeting for Autism Research)	Shanghai, China	2015/11/7-8	国立精神・神経医療研究センター	⑥	H27
43	Takahashi H, Nakahachi T, Stickley A, Ishitobi M, Kamio Y. Asia	Relationship of the acoustic startle response and its modulation to parent-reported sensory profile in children with typical development and those with autism spectrum disorders.	Pacific Regional IMFAR (International Meeting for Autism Research)	Shanghai, China	2015/11/7-8	国立精神・神経医療研究センター	⑥	H27
44	樋口正法、小山大介、上原弦	ULF-fMRI基礎研究: MRI装置を用いた電流描画実験	第76回応用物理学会秋季学術講演会	名古屋国際会議場	2015/9/14	金沢工業大学	⑥	H27
45	D. Oyama, N. Tsuyuguchi, M. Higuchi, J. Kawai, M. Miyamoto, Y. Adachi, and G. Uehara	Measurement of Magnetic Resonance Signal from a Rat Head in Ultra-low Magnetic Field	ISEC2015 15th International Superconductive Electronics Conference	Nagoya	2015/7/6	金沢工業大学	⑥	H27
46	稲葉謙次、Aixin Yan、西野邦彦	細菌異物排出トランスポーターの制御機構と生理機能解明	平成27年度アライアンスキックオフミーティング	大阪大学銀杏会館	2016/5/18	大阪大学	①-b	H28
47	Suguru Yamasaki, Ryosuke Nakashima, Keisuke Sakurai, Sylvie Baucheron, Etienne Giraud, Benoît Doublet, Axel Cloeckert and Kunihiko Nishino	Crystal Structure of the Multidrug Resistance Regulator RamR Complexed with Bile Acids.	International Symposium Salmonella and Salmonellosis.	Saint-Malo, France	2016/6/6-8	大阪大学	①-b	H28

48	Mitsuko Hayashi-Nishino, Yoshimi Matsumoto and Kunihiro Nishino	Development of Novel Therapeutic Strategies to Tackle Multidrug-Resistant Pathogens.	International Symposium Salmonella and Salmonellosis.	Saint-Malo, France	2016/6/6-8	大阪大学	①-b	H28
49	西野邦彦、稲葉謙次、Aixin Yan	細菌異物排出トランスポーターの制御機構と生理機能解明	ファイブスターアソシエーション・ダイナミックアライアンス G3分科会	北海道大学	2016/12/2	大阪大学	①-b	H28
50	Mitsuko Hayashi-Nishino, Yoshimi Matsumoto, Katsuhiko Hayashi, Seiji Yamasaki, Keisuke Sakurai, Ryosuke Nakashima	Development of Novel Therapeutic Strategies to Tackle Multidrug -Resistant Pathogens.	ファイブスターアソシエーション・ダイナミックアライアンス G3分科会	北海道大学	2016/12/2	大阪大学	①-b	H28
51	Yuna Takeuchi, Mitsuko Hayashi-Nishino, chikara Furusawa, Kunihiro Nishino	Morphological Analysis of Enoxacin-resistant Escherichia coli.	The 20th SANKEN International Symposium	Osaka	2016/12/13	大阪大学	①-b	H28
52	Seiji Yamasaki, Ryosuke Nakashima, Keisuke Sakurai, Katsuhiko Hayashi, Yuta Inoue, Yusuke Higuchi, Nobuo Kato, Akihito Yamaguchi, Kunihiro Nishino.	Structural analysis and new inhibitor development against multidrug efflux pumps	第16回日本蛋白質科学会年会	福岡国際会議場	2016/6/7-9	大阪大学	①-b	H28
53	山崎 聖司、王麗媛、平田 隆弘、西野 美都子、西野 邦彦	バイオフィーム産生・維持における薬剤排出ポンプの役割	第68回日本細胞生物学会大会.	京都テルサ.	2016/6/15-17	大阪大学	①-b	H28
54	山崎聖司	耐性菌の薬剤排出ポンプに着目した新規治療薬の開発	育志賞研究発表会(平成28年度)	明治大学	2016/8/24	大阪大学	①-b	H28
55	山崎聖司	腸内フローラ改善によるヒト活性化手段の開発	大阪大学イノベーションフェア2016.	マイドームおおさか	2016/11/15-16	大阪大学	①-b	H28
56	Osaka, N., Ikeda, T., & Osaka, M.	Neural correlates of color working memory: An fMRI study	ECVP2016	Auditori of Barcelona, Barcelona, Spain	2016/8/30	NICT・CiNet	②-a	H28
57	Osaka, N., Minamoto, T., Yaoi, K., Azuma, M., & Osaka, M.	Hyperscanning study on synchronized singing between two people using fNIRS	46th annual meeting of the Society for Neuroscience	San Diego Convention Center, San Diego, USA	2016/11/12	NICT・CiNet	②-a	H28
58	Osaka, M., Yaoi, K., Minamoto, T., Azuma, M., & Osaka, N.	Inhibitory Effect of Orbit Frontal Cortex During Emotional Complex Span Task of Working Memory: An FMRI Study	Psychonomic Society 57th Annual Meeting	Sheraton Boston, Boston, Massachusetts, USA	2016/11/18	NICT・CiNet	②-a	H28
59	常 明, 飯塚 博幸, 成瀬 康, 古川正統, 安藤 英由樹, 前田 太郎	言語音ヒアリングの向上のための意識下でのニューロフィードバック手法	SICEライフエンジニアリング部門シンポジウム2016	大阪国際交流センター	2016/11/4	NICT・CiNet	②-a	H28
60	T.Ohshiro, M.Tsutsui, K. Yokota, M.Taniguchi	Development of Single-Molecule Tunnel-Current based Detection For Biopolymer Identification	KJF-ICOMEF 2016	Hakata	2016/9/5	大阪大学	③-a	H28
61	T.Ohshiro, M.Tsutsui, K. Yokota, M.Taniguchi	Development of Tunnel-Current Biomolecule Structural Measurement Towards Single-Biomolecule function detection	2016 MRS Fall Meeting & Exhibit	Boston, USA	2016/12/1	大阪大学	③-a	H28

62	大城敬人, 筒井真輔, 横田一道, 谷口正輝	生体高分子識別に向けた微小電流計測法の開発	第10回分子科学討論会	神戸ファンションマート, 神戸	2016/9/13	大阪大学	③-a	H28
63	岡部祐輔	IoT時代のものづくりを指向した低温硬化形導電性ペースト	関西JIEPワークショップ	ラフォーレ琵琶湖	2016/7/14	セメダイン	③-c	H28
64	Takafumi Uemura, Masaya Kondo, Toshikazu Nezu, Shusuke Yoshimoto, Teppei Araki, Kenichi Sasai, Tomoya Arai, Katsuyuki Morii, Tsuyoshi Sekitani	Biological Signal Amplification Circuits Based on Organic Thin-Film Transistors	International Conference on Flexible and Printed Electronics (2016 ICFPE), Sept. 2016	Yamagata University	2016/9/6-8	大阪大学	③-a	H28
65	近藤雅哉, 吉本秀輔, 植村隆文, 秋山実邦子, 根津俊一, 荒木徹平, 関谷毅	18nm厚パリレン絶縁膜を有する2.0V駆動有機薄膜トランジスタを用いたウェアラブルセンサの開発	LSIとシステムのワークショップ 2016	東京大学	2016/5/16	大阪大学	③-a	H28
66	吉本秀輔, 荒木徹平, 植村隆文, 関谷毅, 根津俊一, 近藤雅哉, 笹井謙一, 岩瀬雅之, 佐竹秀樹, 吉田暁生, 菊知充, 関谷毅	生体適合性柔軟電極シートを有するパッチ式ワイヤレス脳波センサ	LSIとシステムのワークショップ 2016	東京大学	2016/5/17	大阪大学	③-a	H28
67	田邊史夏, 吉本秀輔, 野田祐樹, 荒木徹平, 植村隆文, 武内良典, 今井正治, 関谷毅	人工膝関節置換術中支援に向けた圧力センサの開発	信学技報 Vol. 116, No. 364, ICD2016-62, p.43, 2016年12月	集積回路研究会 東京	2016/12/15	大阪大学	③-a	H28
68	杉山真弘, 植村隆文, 吉本秀輔, 秋山実邦子, 荒木徹平, 関谷毅	フレキシブル有機トランジスタによる差動増幅回路実現に向けた検討	信学技報 Vol. 116, No. 364, ICD2016-78, p.83, 2016年12月	集積回路研究会 東京	2016/12/15	大阪大学	③-a	H28
69	加藤隆史, 後野光覚, 原木真吾, 野々上茂, 三上章良, 吉田篤, 矢谷博文, 谷池雅子	健康な若年成人の睡眠構築とその分布	第8回 日本臨床睡眠医学学会学術集会	神戸国際会議場, 神戸	2016/8/5-7	大阪大学	④-a	H28
70	松澤重行, 寒川あゆみ, 延原聡美, 頼原亜矢子, 宮本奈央子, 湯田翔子, 寺岡佐也子, 毛利育子, 谷池雅子	小児PSG検査における抱水クロラールの影響	第8回 日本臨床睡眠医学学会学術集会	神戸国際会議場, 神戸	2016/8/5-7	大阪大学	④-a	H28
71	野々上茂, 眞下緑, 原木真吾, 三上章良, 足立浩祥, 矢谷博文, 吉田篤, 谷池雅子, 加藤隆史	携帯型記録システムを用いた睡眠段階判定と睡眠評価の判定者間信頼性の検討	第8回 日本臨床睡眠医学学会学術集会	神戸国際会議場, 神戸	2016/8/5-7	大阪大学	④-a	H28
72	原木真吾, 野々上茂, 辻阪亮子, 三上章良, 石垣尚一, 瑞森崇弘, 吉田篤, 矢谷博文, 加藤隆史	リズム性咀嚼筋運動の発生頻度の違いによる睡眠構築の特徴	第8回 日本臨床睡眠医学学会学術集会	神戸国際会議場, 神戸	2016/8/5-7	大阪大学	④-a	H28
73	辻阪亮子, 原木真吾, 野々上茂, 瑞森崇弘, 三上章良, 矢谷博文, 吉田篤, 加藤隆史	若年睡眠時ブラキシズム患者におけるRMMAと呼吸イベントの発現関連性	第8回 日本臨床睡眠医学学会学術集会	神戸国際会議場, 神戸	2016/8/5-7	大阪大学	④-a	H28

74	眞下緑, 野々上茂, 加藤隆史, 重土好古, 壁下康信, 足立浩祥, 三上章良	CPAP titration中の呼気時のMouth Leakと短期アドヒアランスの関係	第8回 日本臨床睡眠医学学会学術集会	神戸国際会議場, 神戸	2016/8/5-7	大阪大学	④-a	H28
75	Kawahara M, Matsuzawa S, Ohki N, Mohri I, Taniike M	The duration of sleep spindles are correlated with core symptoms in autistic spectrum disorder children	International Paediatric Sleep Association 2016	Taipei, Taiwan	2016/3/11-13	大阪大学	④-a	H28
76	Kawahara M, Matsuzawa S, Ohki N, Mohri I, Taniike M	Relationships between sleep spindles and core symptoms in children with autism spectrum disorder	1st sleep spinning	Budapest, Hungary	2016/5/12-14	大阪大学	④-a	H28
77	Ogawa R, Kagitani-Shimono K, Matsuzaki J, Tanigawa J, Hanaie R, Yamamoto T, Tominaga T, Hirata M, Mohri I, Taniike M	Cortical activation for reading semantic words in children with Autism Spectrum Disorder: A magnetoencephalography study	Society for neuroscience 2016	San Diego, Chile	2016/11/12-16	大阪大学	④-a	H28
78	Matsuzaki J, Kagitani-Shimono K, Aoki S, Kato Y, Hanaie R, Nakanishi M, Tatsumi A, Yamamoto T, Tominaga K, Nagai Y, Mohri I, Taniike M	Visual and auditory responses elicited by movie task in autism spectrum disorder: a magnetoencephalographic study	Society for neuroscience 2016	San Diego, Chile	2016/11/12-16	大阪大学	④-a	H28
79	Yamamoto T, Tatsumi A, Okuno H, Mohri I, Taniike M	Pilot study using practical human dynamics acquisition system in social skills training for children with autism spectrum disorder	31st International congress of Psychology	Yokohama	2016/7/24-29	大阪大学	④-a	H28
80	青木翔, 下野九理子, 松崎順子, 加藤陽子, 花家竜三, 中西真理子, 辰巳愛香, 山本知加, 富永康仁, 長井志江, 毛利育子, 谷池雅子	自閉スペクトラム症児の視覚特異性と反応相違 (第1報)	新学術全大会 発達神経科学学会	東京	2016/9/30	大阪大学	④-a	H28
81	下野九理子, 青木翔, 加藤陽子, 花家竜三, 松崎順子, 谷河純平, 岩谷祥子, 富永康仁, 青天目信, 毛利育子, 谷池雅子, 大藪重一	ローランドてんかん児の言語認知機能	第50回てんかん学会	静岡	2016/10/7-9	大阪大学	④-a	H28
82	松崎順子, 下野九理子, 青木翔, 加藤陽子, 花家竜三, 中西真理子, 辰巳愛香, 山本知加, 富永康二, 長井志江, 毛利育子, 谷池雅子	Differential responses to daily life movie task in autism spectrum disorder	第31回日本生体磁気学会	金沢	2016/6/9-10	大阪大学	④-a	H28
83	Nakauchi M, Nonoue S, Kato T, Shigedo Y, Kabeshita Y, Adachi H, Mikami A	Does expiratory mouth leak during CPAP titration predict non-adherence in OSAS patients?	Sleep2016	Denver, USA	2016/6/12	大阪大学	④-a	H28
84	Mitsumata Y, Kobayashi T, Okada S	Simultaneous Measurement System for EMG and Forearm-Muscle Shape Changes Using Conductive fabric	The 38th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	Oland, USA	2016/8/17-20	近畿大学	④-a	H28

85	Kamei Y, Okada S	Classification of Forearm and Finger Motions Using Electromyogram and Arm-Shape-Changes	The 38th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	Oland, USA	2016/8/17-20	近畿大学	④-a	H28
86	T. Onishi, Y. Yoshikawa, H. Kumazaki, Y. Matsumoto and H. Ishiguro	Attempt of Training Basic-Set of Communication with Small Humanoid Robot for Autism Spectrum Disorder	IMFAR2016	Baltimore, MD	2016/5/13	金沢大学	④-e	H28
87	熊崎博一、吉川雄一郎、松本吉央、石黒浩、三邊義雄、菊知充	小型ロボットを用いた自閉スペクトラム症児へのノンバーバルなインタラクション改善効果についての予備的研究	発達神経科学学会第5回大会	東京大学	2016/11/26	金沢大学	④-e	H28
88	DN. Saito, C. Uchiomi, N. Aizawa, K. Makita, Y. Nakamura and M. Ishibashi	The relationship between projective psychological test score and the structure of human brain.	31st International Congress of Psychology (ICP2016)	Yokohama	2016/7/25	金沢大学	④-e	H28
89	T. Morita, DN. Saito, M. Ban, K. Shimada, Y. Okamoto, H. Kosaka, H. Okazawa, M. Asada, E. Naito	Slow maturation of selfface specific channel in human inferior temporal gyrus	31st International Congress of Psychology (ICP2016)	Yokohama	2016/7/26	金沢大学	④-e	H28
90	Y. Mizuno, M. Jung, T. Fujisawa, S. Takiguchi, K. Shimada, DN. Saito, H. Kosaka, A. Tomoda	The Abnormal Regional Neural Function and Functional Integration of the Cerebellum in Children and Adolescents with Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder	American Academy of Child Adolescent Psychiatry (AACAP' s) 63rd Annual Meeting)	New York, NY	2016/10/26	福井大学 金沢大学	④-e	H28
91	K. Amemiya, T. Morita, DN. Saito, M. Ban, K. Shimada, Y. Okamoto, H. Kosaka, H. Okazawa, M.T. Shotten, M. Asada and E. Naito	Maturation of cerebellar afferent and efferent tracts and its functional activation in typically developing brains	The 3rd International Symposium on Cognitive Neuroscience Robotics: Toward Constructive Developmental Science	Osaka	2016/12/11-13	大阪大学 金沢大学 福井大学	④-e	H28
92	渡邊 宣明、山口 創、齋藤 大輔	小学校1年生におけるオキシトシン量と大脳活動の働きの関連 - GO/NO-GO課題による検討 -	日本健康心理学会 第29回大会	岡山	2016/11/19	金沢大学	④-e	H28
93	石橋 正浩、相澤 直樹、内海 千種、齋藤 大輔	ロールシャッハ色彩反応の数とその形体質は課題中の脳活動の差に関与するか	日本ロールシャッハ学会 第20回大会	東京	2016/11/26	金沢大学	④-e	H28
94	Takahashi H, Kondo A, Konishi T, Nishikawa K, Jincho N, Nakahachi T, Komatsu S, Mazuka R, Kamio Y.	Relationship of atypical prosodic features to acoustic startle measures in children with autism spectrum disorders and those with typical development.	International Meeting for Autism Research Annual Meeting of the International Society for Autism Research (IMSAR)	Baltimore, USA	2016/5/13	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
95	Hidetoshi Takahashi, Yasunori Aoki, Takayuki Nakahachi, Andrew Stickley, Sahoko Komatsu, Kazuo Ogino, Makoto Ishitobi, Masao Iwase, Ryouhei Ishii, Yoko Kamio.	Eyes open/closed resting state EEG source analysis of children with autism spectrum disorders and those with typical development: a one-year follow-up.	American Psychiatric Association Annual Meeting(APA)	Atlanta, USA	2016/5/16	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28

96	Takefumi Ohki, Atsuko Gunji, Yuichi Takei, Ryusuke Sakuma, Hidetoshi Takahashi, Yuu Kaneko, Masumi Inagaki, Takashi Hanakawa, Kazuo Hiraki.	Neural oscillations in the temporal pole for an audio-visual speech matching task reflect late neuronal maturation in adolescence.	BIOMAG2016	Korea	2016/10/3	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
97	Hidetoshi Takahashi, Atsuko Gunji, Yuu Kaneko, Naruhito Hironaga, Koichi Hagiwara, Masumi Inagaki, Shozo Tobimatsu, Takashi Hanakawa, Yoko Kamio.	Auditory steady-state gamma responses of MEG in children with typical development and those with autism spectrum disorders.	BIOMAG2016	Korea	2016/10/5	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
98	春田康博、樋口正法、足立善昭、上原弦	人工内耳の磁石ノイズ下における健常者聴覚誘発反応の検出	第31回日本生体磁気学会大会	金沢市文化ホール	2016/6/9-10	金沢工業大学	④-e	H28
99	樋口正法、小山大介、河端美樹、河合淳、上原弦	変則二次微分型グラジオメータを用いた人工内耳装用者用脳磁計	第77回応用物理学会秋季学術講演会	朱鷺メッセ、新潟	2016/9/13-14	金沢工業大学	④-e	H28
100	Masanori Higuchi	Consideration of the electromagnetic signal generated by the neural activity assuming pulse-frequency modulation	The 20th International Conference on Biomagnetism	Coex, Souel, Korea	2016/10/2-6	金沢工業大学	④-e	H28
101	Shunichi TAZUKE, Shimpei AIHARA, Takeshi TANAKA, Hideyuki BAN, Norio GOUDA	Quantitatively Measured Variation of Play by Substituted Team Members in Ball Games	21st annual Congress of the European College of Sport Science	Vienna, Austria	2016/7/6-9	同志社大学, 日立製作所	⑤-b,c	H28
102	Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Fumie Takei, Huanwen Han, Ichiro Yamashita, Kazuhiko Nakatani [1] OKazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Fumie Takei, Huanwen Han, Ichiro Yamashita, Kazuhiko Nakatani	PCR primer detection via molecular recognition by surface modified molecular ligand	9th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE9)	Ishikawa Ongakudo and ANA Crowne Plaza Kanazawa, Kanazawa	2017/6/26	大阪大学	①-a	H29
103	Huanwen Han, Fumie Takei, Misaki Akiyama, Kazuyuki Nobusawa, Norhayati Binti Sabani, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	The PCR amplification limit under low ionic conditions 9th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE9), Ishikawa Ongakudo and ANA Crowne Plaza Kanazawa, Kanazawa, Japan, 2017. 6. 26-28	9th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE9)	Ishikawa Ongakudo and ANA Crowne Plaza Kanazawa, Kanazawa	2017/6/26	大阪大学	①-a	H29

104	Huanwen Han, Norhayati Binti Sabani, O Kazuyuki Nobusawa, Fumie Takei, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	A new idea of PCR progress monitoring by Electrochemical Impedance Spectroscopy (EIS) combination of ligand and hairpin primer	The first International Workshop by the 174th Committee JSPS on Symbiosis of Biology and Nanodevices (IWSBN2017)	京都テルサ	2017/12/21	大阪大学	①-a	H29
105	Ming Chang, Hiroyuki Iizuka, Hideki Kashioka, Yasushi Naruse, Masahiro Furukawa, Hideyuki Ando, Taro Maeda	Unconscious Improvement in Foreign Language Learning Using Mismatch Negativity Neurofeedback	Real-Time Functional Imaging and Neurofeedback 2017	Nara Kasugano International Forum 葦 IRAKA	2017/11/29	情報通信研究機 NICT・CiNet, 大阪大学, 北海道大学	②-a	H29
106	Masahiro Sugiyama, Takafumi Uemura, Shusuke Yoshimoto, Mihoko Akiyama, Teppei Araki, and Tsuyoshi Sekitani	Development of an Ultra-Flexible Organic Differential Amplifier for Bio-Signal Monitoring	9th International Conference on Molecular Electronics and Bioelectronics (M&BE9)	Ishikawa Ongakudo and ANA Crowne Plaza Kanazawa, Kanazawa	2017/6/26	大阪大学	③-c	H29
107	Yoshizaki A, Aoi Y, Yamamoto T, Murata E, Okada S, Matsuzawa S, Hoshino K, Kato-Nishimura K, Miyata R, Tachibana M, Makino Y	Development of an interactive smartphone application toward improvement of sleep habits in Japanese infant	World sleep Society 2017	Plague, Chez Republic	2017/10/9-11	大阪大学	④-a	H29
108	吉崎亜里香, 山本知加, 松澤重行, 毛利育子, 谷池雅子	「すいみんカルタ」を用いた小学生への睡眠健康教育(ねむりの授業)の試行例(2)～子どもの選んだカルタと工夫の分析～	第58回児童青年精神医学会総会	奈良春日野国際フォーラム 葦 I・RA・KA	2017/10/6	大阪大学	④-a	H29
109	山本知加, 吉崎亜里香, 松澤重行, 毛利育子, 谷池雅子	「すいみんカルタ」を用いた小学生への睡眠健康教育(ねむりの授業)の試行例(1)	第58回児童青年精神医学会総会	奈良春日野国際フォーラム 葦 I・RA・KA	2017/10/6	大阪大学	④-a	H29
110	西澤日花里, 中西真理子, 橘雅弥, 谷池雅子, 毛利育子	ADHD小児の実行機能に対するOROS-MPHの効果のCANTABを用いた評価	第120回日本小児科学会学術集会	グランドプリンスホテル新高輪 国際館バミール	2017/4/16	大阪大学	④-a	H29
111	桑田綾乃, 三星喬史, 加藤久美, 平田育子, 下野久理子, 中西真理子, 橘雅弥, 松澤重行, 浅野, 大野ゆう子, 谷池雅子, 毛利育子	日本版子どもの眠りの質問票[小学生版](the Japanese sleep questionnaire for elementary schoolers; JSQ-ES)の開発と標準化. 第59回日本小児神経学会 6月15-19. 大阪	第59回日本小児神経学会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/15	大阪大学	④-a	H29
112	下野 九理子, 青木 翔, 加藤陽子, 花家竜三, 松崎順子, 谷河純平, 岩谷祥子, 東純史, 富永 康仁, 青天目信, 毛利育子, 谷池 雅子, 大園 恵一	ローランドてんかん児の言語認知課題に対する脳磁場反応	第59回日本小児神経学会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/16	大阪大学	④-a	H29
113	富永康仁, 加藤久美, 香川尚己, 下野九理子, 毛利育子, 谷池雅子, 大園恵一	睡眠時無呼吸を契機にして診断されたキアリ型奇形の検討	第59回日本小児神経学会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/16	大阪大学	④-a	H29

114	青木翔, 永谷文代, 桃田茉莉, 村田絵美, 下野九理子, 谷池雅子, 毛利育子	日本の学齢期児童を対象としたCANTAB標準値の作成とその発達の变化に関する検討	第59回日本小児神経学会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/16	大阪大学	④-a	H29
115	村田 絵美, 永井 利三郎, 谷池 雅子, 片山 泰一	大阪府I市における「成長・発達の記録シート:lkeda_s」の導入時アンケート調査	第64回日本小児保健協会学術集会 2017年6月29日~7月1日 大阪	大阪 大阪国際会議場	2017/7/1	大阪大学	④-a	H29
116	富永康仁, 加藤久美, 香川尚己, 下野九理子, 毛利育子, 谷池雅子	睡眠時無呼吸を契機にして診断されたキアリ型奇形のPSG所見の検討	第9回日本臨床睡眠医学会学術集会	金沢医科大学・ 金沢医科大学病院	2017/9/30	大阪大学	④-a	H29
117	吉崎亜里香, 青井陽子, 村田絵美, 岡田紫甫, 松澤重行, 星野恭子, 加藤久美, 宮田理英, 山本知加, 橘雅弥, 毛利育子, 谷池雅子	双方向性アプリケーションを用いた幼児の睡眠習慣への介入法の検討	第9回日本臨床睡眠医学会学術集会	金沢医科大学・ 金沢医科大学病院	2017/9/30	大阪大学	④-a	H29
118	平田郁子, 松澤重行, 橘雅弥, 下野九理子, 毛利育子, 谷池雅子	心理的要因を伴い診断と治療に難渋したレストレスレッグス症候群疑いの3例	第62回日本小児神経学会近畿地方会	大阪市立総合医療センターさくらホール	2017/10/21	大阪大学	④-a	H29
119	加藤陽子, 下野九理子, 富永康仁, 青木翔, 松壽順子, 花家竜三, 辰巳愛香, 山本知加, 中西真理子, 毛利育子, 谷池雅子	拡散テンソル画像を用いた自閉スペクトラム症児の認知機能と白質線維束の関連に関する神経心理学的検討	第41回日本高次機能障害学会学術総会	埼玉県 大宮ソニックセンター	2017/12/15	大阪大学	④-a	H29
120	西田 千夏, 下村 明子, 張 曉春, 三宅 靖子, 清水 佐知子, 加藤 久美, 毛利 育子, 下野九理子, 大野 ゆう子, 谷池 雅子	親の認識から検討する子どもの健康的な睡眠に向けた生活習慣 日本版幼児睡眠質問票を用いた調査から.	第43回日本看護研究学会学術集会	愛知県 東海市芸術劇場 日本福祉大学東海キャンパス	2017/8/30	大阪大学	④-a	H29
121	T Nochino, Y Ohno, S Okada	Development of Noncontact Respiration Monitoring Method with Web-camera During Sleep	2017 IEEE 6th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE)	名古屋 ウイंकあいち	2017/10/26	立命館大学, 大阪大学	④-a	H29
122	Haraki S, Nonoue M, Tsujisaka A, Mikami A, Ishigaki S, Mizumori T, Yatani H, Yoshida A, Kato T	First night effects on Oromotor Activities in Sleep Bruxism	IADR2017	Moscone Center, Sanfrancisco, USA	2017/3/24	大阪大学	④-a	H29
123	原木真吾, 野々上茂, 辻阪亮子, 三上章良, 石垣尚一, 瑞森崇弘, 矢谷博文, 吉田篤, 加藤隆史	睡眠時ブラキシズムの重症度の違いによる睡眠の特徴	日本睡眠学会第42回定期学術集会	パシフィック横浜	2017/6/29-30	大阪大学	④-a	H29
124	原木真吾, 野々上茂, 辻阪亮子, 三上章良, 石垣尚一, 瑞森崇弘, 矢谷博文, 吉田篤, 加藤隆史	第一夜効果が睡眠時ブラキシズムにおける咀嚼筋活動の発現に与える影響	第9回日本臨床睡眠医学会学術集会	金沢医科大学・ 金沢医科大学病院	2017/9/30	大阪大学	④-a	H29
125	加藤隆史, 豊田理紗, 原木真吾, 矢野博之, 矢野浩司, 東山亮, 吉田篤	実験動物とヒトのノンレム睡眠時リズム性咀嚼筋活動の類似性	第9回日本臨床睡眠医学会学術集会	金沢医科大学・ 金沢医科大学病院	2017/9/30	大阪大学	④-a	H29

126	Haraki S, Nonoue M, Tsujisaka A, Mikami A, Ishigaki S, Mizumori T, Yatani H, Yoshida A, Kato T	Distinct first night effects for rhythmic and non-rhythmic masticatory muscle activities in young adults	World sleep Society 2017	Plague, Chez Republic	2017/10/9-11	大阪大学	④-a	H29
127	Nakazato Y, Takaba M, Yoshida Y, Abe Y, Ono Y, Yoshizawa S, Nakamura H, Kawana F, Suganuma T, Kato T, Baba K.	Accuracy of newly developed portable PSG device for detection of sleep bruxism-related masseter EMG muscle activity	World sleep Society 2017	Plague, Chez Republic	2017/10/9-11	大阪大学	④-a	H29
128	M. Mashita, S. Nonoue, T. Kato, Y. Shigedo, K. Kyotani, H. Adachi, A. Mikami.	SPONTANEOUS AROUSAL RELATED EXPIRATORY MOUTH LEAK DURING CPAP TITRATION PREDICT NON-ADHERENCE IN OSAS PATIENTS.	World sleep Society 2017	Plague, Chez Republic	2017/10/9-11	大阪大学	④-a	H29
129	Sirawit Sopchoke, Ken-ichi Fukui and Masayuki Numao	Explainable Cross-domain Recommendations Through Relational Learning	Proc. The Thirty-Second AAAI Conference on Artificial Intelligence (AAAI-18)	the Hilton New Orleans Riverside, New Orleans, Louisiana, USA	2018/2/2-7	大阪大学	④-b	H29
130	Owada K, Kojima M, Yassin W, Kuroda M, Kawakubo Y, Kuwabara H, Kano Y, Yamasue H.	Computer-analyzed facial expression as a surrogate marker for autism spectrum social core symptoms	第40回日本神経科学会	幕張メッセ	2017/7/22	浜松医大	④-e	H29
131	Kojima M, Yassin W, Aoki Y, Kuwabara H, Natsubori T, Iwashiro N, Gono W, Sasaki H, Takao H, Yamasue H.	Neuroanatomical correlates of autism spectrum disorder and advanced paternal and maternal age at birth	第40回日本神経科学会	幕張メッセ	2017/7/22	浜松医大	④-e	H29
132	Yassin W, Kojima M, Owada K, Kuwabara H, Gono W, Takao H, Kunimatsu A, Yamasue H.	Paternal age contribution and laterality of white matter disparities in adults with high function autism spectrum disorder	第40回日本神経科学会	幕張メッセ	2017/7/22	浜松医大	④-e	H29
133	H. Takahashi, T. Nakamura, J. Kim, H. Kikuchi, T. Nakahachi, M. Ishitobi, K. Yoshiuchi, T. Ando, A. Stickley, Y. Yamamoto and Y. Kamio.	The relation between locomotor dynamics and the acoustic startle response and its modulation in children with typical development and those with autism spectrum disorders.	International Meeting for Autism Research Annual Meeting of the International Society for Autism Research (IMSAR)	Marriott Marquis Hotel San Francisco	2017/5/12	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
134	Hidetoshi Takahashi, Atsuko Gunji, Yuu Kaneko, Naruhito Hironaga, Koichi Hagiwara, Masumi Inagaki, Shozo Tobimatsu, Takashi Hanakawa, Yoko Kamio.	Auditory steady-state responses of MEG in children with autism spectrum disorder	国際自閉症カンファレンス東京2017	東京一橋大学一橋講堂	2017/10/15	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29

135	Hidetoshi Takahashi, Toru Nakamura, Jinhyuk Kim, Hiroe Kikuchi, Takayuki Nakahachi, Kazuhiro Yoshiuchi, Tetsuya Ando, Yoshiharu Yamamoto, Yoko Kamio.	The relation between locomotor dynamics and the acoustic startle response in children with typical development and those with autism spectrum disorder.	国際自閉症カンファレンス東京2017	東京 一橋大学 一橋講堂	2017/10/15	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
136	高橋秀俊, 軍司敦子, 金子裕, 廣永成人, 萩原綱一, 稲垣真澄, 飛松省三, 花川隆, 神尾陽子.	自閉スペクトラム症児の聴覚誘発脳磁界反応について	第27回日本臨床精神神経薬理学会	島根県 松江テルサ	2017/11/3	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
137	高橋秀俊, 中村亨, 金鎖赫, 菊地裕絵, 吉内一浩, 安藤哲也, 山本義春, 神尾陽子.	自閉スペクトラム症児の身体活動動態と聴覚性驚愕反射との関連	第27回日本臨床精神神経薬理学会	島根県 松江テルサ	2017/11/3	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
138	Masanori Higuchi	Toward development of ULF-MRI: Simulation of image reconstruction using multipoint magnetic field data	第45回日本磁気共鳴医学会大会	栃木県総合文化センター	2017/9/15	金沢工業大学	④-e	H29
139	春田 康博, 樋口 正法, 小山大介, 上原 弦	健常者の模擬計測による人工内耳装用者の聴覚機能検査の可能性の検討	第47回日本臨床神経生理学会	パシフィック横浜	2017/12/1	金沢工業大学	④-e	H29
140	樋口正法, 脳神経の活動電位による電磁気信号検出に向けて、Biomagnetic Sendai 2017, 仙台	脳神経の活動電位による電磁気信号検出に向けて	Biomagnetic Sendai 2017	仙台 国際センター	2017/5/24	金沢工業大学	④-e	H29
141	D.Oyama, Y. Adachi, M. Higuchi, N. Tsuyuguchi, G. Uehara	Development of Compact Ultra-Low-Field MRI System Using an Induction Coil	INTERMAG Europe 2017	The Convention Centre Dublin, Ireland	2017/4/24	金沢工業大学	④-e	H29
142	小山大介, 足立善昭, 樋口正法, 露口尚弘, 上原弦	T1 Relaxation Time Measurement in Ultra-low Magnetic Field Using an Induction Coil	Biomagnetic Sendai 2017	仙台 国際センター	2017/5/24	金沢工業大学	④-e	H29
143	Takumi Kawasetsu, Takato Horii, Hisashi Ishihara, and Minoru Asada.	Size dependency in spatial response property of elastomeric tactile sensor laminated on inductor coil.	IEEE Sensors Conference	The Scottish Event Campus (SEC) Glasgow (UK)	2017/10/30	大阪大学	④-e	H29
144	Yuki Yamashita, Hisashi Ishihara, Takashi Ikeda, and Minoru Asada	Appearance of a robot influences causal relationship between its touch sensation and personality impressions.	International Conference of Human-Agent Interaction	CITEC, Bielefeld (ドイツ)	2017/10/19	大阪大学	④-e	H29
145	Toshihiro Nakajima, Nobu Miyazaki, Tomohiro Oikawa, Manabu Kawata, Takashi Ito	Influence of Sports Day Activities on Communication Development in Kindergarten Children.	27th Annual Conference of the European Early Childhood Education Research Association.	University of Bologna, Bologna, Italy.	2017/8/30	藤女子大学, 北海道大学	⑤-b,c	H29
146	Takeshi Tanaka, Norio Gouda, Toru Yamaguchi, Takuya Magome, Ken Nakata	Quantifying Team Synchronization by Transfer Entropy in Soccer Games	22nd Annual Congress of the European College of Sport Science	Messe Essen, Norbertstraße 2 45131 Essen Germany	2017/7/8	日立製作所, 大阪大学	⑤-b,c	H29

147	吉村優子	Impaired Frontal Processing in 3- to 5-Year-Old Children with Autism and a Developmental Language Delay during a Mismatch Negativity Paradigm	IMFAR2017	Marriott Marquis Hotel San Francisco	2017/7/12	金沢大学	④-e	H29
148	山本知加、辰巳愛香、奥野裕子、中西真理子、毛利育子、谷池雅子	家族への心理教育と並行した自閉スペクトラム症児のソーシャルスキルトレーニングの有効性の検討	第59回日本小児神経学会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/16	大阪大学	⑤-a	H29
149	山本知加、辰巳愛香、奥野裕子、中西真理子、毛利育子、谷池雅子	自閉スペクトラム症児のソーシャルスキルトレーニングにおけるビジネス顕微鏡の利用	第64回日本小児保健協会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/30	大阪大学	⑤-a	H29
150	辰巳愛香 山本知加 谷池雅子 毛利育子	自閉スペクトラム症児の声の大きさ学習へのスマートデバイスの適応	第64回日本小児保健協会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/30	大阪大学	⑤-a	H29
151	熊崎博一	Impact of android robot-mediated mock job interview sessions for individuals with autism spectrum disorder	国際自閉症カンファレンス東京2017	東京 一橋大学 一橋講堂	2017/10/15	金沢大学	④-e	H29
152	吉村優子	Altered human voice processing in frontal cortex and a developmental language delay in preschool children with autism spectrum	国際自閉症カンファレンス東京2017	東京 一橋大学 一橋講堂	2017/10/15	金沢大学	④-e	H29
153	池田尊司	Mu Rhythm Suppression Reflects Mother-Child Face-to-Face Interactions: A Hyperscanning MEG Study	IMFAR2017	Marriott Marquis Hotel San Francisco	2017/5/11	金沢大学	④-e	H29
154	長谷川千秋	Mu rhythm suppression reflects mother-child face-to-face interactions:a MEG simultaneous recording pilot study(母子の対面コミュニケーションに関わる脳活動:親子同時MEG測定研究)	国際自閉症カンファレンス東京2017	東京 一橋大学 一橋講堂	2017/10/15	金沢大学	④-e	H29
155	Keiichiro Nishida, Yosuke Morishima, Masafumi Yosimura, Koji Katsura, Satsuki Ueda, Shunichiro Ikeda, Yousuke Koshikawa, Azusa Suwa, Shota Minami, Ryouhei Ishii, Roberto Pascual-Marqui, Toshihiko	Decreased negative emotion after single-session tDCS on F5 in patients suffering with depression	3rd International Conference on Basic and Clinical Multimodal Imaging	Bern, Switzerland	2017/8/29- 2017/9/2	大阪大学・関西医大	④-d	H29
156	K. Nishida, R. Pascual-Marqui, M. Yoshimura, S. Ikeda, S. Ueda, Y. Koshikawa, A. Onohara, K. Katsura, R. Ishi, T. Kinoshita	The neurophysiological connectivity changes in patients with depression is dependent on the anodal stimulation area	2nd international brain stimulation conference	Barcelona Spain	2017/3/7	大阪大学・関西医大	④-d	H29
157	Bassel Ali, Ken-ichi Fukui, Wasin Kalintha, Koichi Moriyama, and Masayuki Numao	Reinforcement Learning based Distance Metric Filtering Approach in Clustering	Proc. 2017 IEEE Symposium Series on Computational Intelligence (SSCI 2017),	Honolulu, Hawaii, USA Nov. 2017.	2017/11/28	大阪大学	④-b	H29
158	大谷紀子, 岡部大介, 尾沼正行	共生進化に基づく自動作曲システムでの創作活動支援—『AIとぼく』のケーススタディー	進化計算シンポジウム2017予稿集, pp.90-96	北海道 茅部郡森町 グリーンピア大沼	2017/12/9	東京都市大学, 大阪大学	④-b	H29
159	加藤 保宏	Stimulator of interferon genes (STING) plays a crucial role in type-I IFN production induced by the sera from SLE patients	第3回骨免疫学会	ANAインターコンチネンタル石垣リゾート	2017/6/28	大阪大学	①-a	H30

160	朴 正薫	Study of Human Autoimmune Diseases Enabled by Gene Editing in Reporter Cell Lines	日本分子生物学会	神戸ポートピアホテル	2017/12/6	大阪大学	①-a	H30
161	朴 正薫	Study of Human Autoimmune Diseases Enabled by Gene Editing in Reporter Cell Lines	日本免疫学会	仙台国際センター	2017/12/12	大阪大学	①-a	H30
162	加藤保宏	The role of Stimulator of interferon genes (STING) in the pathogenesis of SLE	日本免疫学会	仙台国際センター	2017/12/14	大阪大学	①-a	H30
163	西野邦彦、稲葉謙次、Aixin Yan.	細菌異物排出トランスポーターの制御機構と生理機能解明.	ファイブスターアソシエーション・ダイナミックアライアンス G3分科会.	北海道大学.	2016/12/2	大阪大学	①-b	H30
164	Mitsuko Hayashi-Nishino, Yoshimi Matsumoto, Katsuhiko Hayashi, Seiji Yamasaki, Keisuke Sakurai, Ryosuke Nakashima.	Development of Novel Therapeutic Strategies to Tackle Multidrug -Resistant Pathogens.	ファイブスターアソシエーション・ダイナミックアライアンス G3分科会.	北海道大学.	2016/12/2	大阪大学	①-b	H30
165	Kunihiko Nishino	Regulation and Function of Multidrug Exporters	Kickoff Meeting (JSPS Symposium) for the ZIAM/GBB and ISIR/IPR collaboration (at University of Groningen)	Groningen University, Netherlands	2017/10/27	大阪大学	①-b	H30
166	長野章宏・青木工太・西野美都子・西野邦彦・古澤力・岩崎憲治・越後富夫・八木康史	畳み込みニューラルネットワークを用いた電子顕微鏡画像における薬剤耐性菌株の識別	2017年度生命機能 物質・デバイス・システムプロジェクトグループ(G3)分科会	東北大学	2017/11/26-28	大阪大学	①-b	H30
167	森田雄二、小谷謙太、富田純子、西野邦彦、河村好章	多剤耐性緑膿菌のアミノ配糖体耐性を軽減する薬剤排出ポンプ阻害剤	2017年度生命機能 物質・デバイス・システムプロジェクトグループ(G3)分科会	東北大学	2017/11/26-28	大阪大学	①-b	H30
168	山岸亜美、山崎聖司、西野邦彦	サルモネラにおける薬剤排出ポンプMacAB 阻害剤の探索	微生物シンポジウム	東京	2018/8/27	大阪大学	①-b	H30
169	森田幸弘、頭川武央、宮山章子、手塚忠則、中村剛、神原憲治	日常計測システム及び顔画像を用いたバイオフィードバックシステム	日本心身医学会	大阪	2018/1/20	パナソニック、大阪大学	②-a	H30
170	森田幸弘、頭川武央、宮山章子、神原憲治、阪幸江、磯部悦子、小西奈美、福永幹彦	心身症患者の生理・心理状態とストレス反応	日本心療内科学会	札幌	2018/11/23	パナソニック、大阪大学	②-a	H30
171	森田幸弘、頭川武央、西谷幹彦	異なるストレス要因における生理指標変化の研究	日本行動医学会	徳島	2018/12/8	パナソニック、大阪大学	②-a	H30
172	森田幸弘、頭川武央、西谷幹彦	ウェアラブルデバイスを用いた平日と休日の日常計測	日本行動医学会	徳島	2018/12/8	パナソニック、大阪大学	②-a	H30
173	Ming Chang, Hideyuki Ando, Yasushi Naruse, and Taro Maeda	Mismatch Negativity Neurofeedback for Learning of Speech Sounds	EMBC '18	Honolulu, HI	2018/7/18	NICT・CiNet	②-a	H30
174	Kaneda, M., Azuma, M. & Osaka, M.	Working Memory Evaluation and Enhancement	The 1st OISTxCiNet WS for Future Neuroscience and Technology	Okinawa	2018/10/18	NICT・CiNet	②-a	H30
175	東美由紀・芋阪満里子	言語性ワーキングメモリ課題における高齢者の成績の特徴	日本心理学会第82回大会	仙台国際センター	2018/9/27	NICT・CiNet	②-a	H30

176	Uyeda A, Onishi K, Hirayama T, Yagi T, Yamamoto N, Sugo N	Genome stability by DNA polymerase β is required for neuronal differentiation in the postnatal cortex	国際神経発生生物学会第22回大会	奈良春日野国際フォーラム 豊	2018/5/24	大阪大学	②-b	H30
177	Yagi T, Hasegawa S, Okayama A, Kaneko R, Hirayama T, Kumagai M, Hirabayashi T	Protocadherin clusters require neural wiring in reticular formation in spinal cord and brainstem.	Society of Neuroscience2016	コンベンションセンター(San Diego,USA)	2016/11/13	大阪大学	②-b	H30
178	Kaneko R, Abe M, Takatsuru Y, Inoue U Y, Watanabe M, Sakimura K, Yanagawa Y, Yagi T	Visualizing single-neuron identity specified by Pcdh-b cluster	第41回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター	2018/7/27	大阪大学	②-b	H30
179	Kawamura N, Tarusawa E, Yagi T	Role of clustered protocadherin gamma for the specific synaptic connections between excitatory and parvalbumin-positive inhibitory neurons in the mouse visual cortex	第41回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター	2018/7/27	大阪大学	②-b	H30
180	Yoshitake K, Nishio N, Tsukano H, Hishida R, Yagi T, Shibuki K	Higher functions in the posterior parietal cortex: analysis using a mouse model	第41回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター	2018/7/27	大阪大学	②-b	H30
181	河村菜々実、足澤悦子、八木健	マウス大脳皮質視覚野において興奮性ニューロンとパルプアルブミンポジティブ抑制性ニューロン間の特異的なシナプス結合におけるクラスター型プロトカドヘリンガンマの役割 Role of clustered protocadherin gamma for the specific synaptic connections between excitatory and parvalbumin-positive inhibitory neuron in the mouse visual cortex	生理研研究会 情動研究会/記憶回路研究会2018	生理学研究所(愛知県岡崎市)	2018/9/19	大阪大学	②-b	H30
182	Tarusawa E, Sanbo M, Hirabayashi M, Yoshimura Y, Yagi T	Clustered protocadherins regulated high reciprocal connectivity between clonal cortical neurons are selectively modified by short sensory deprivation in mouse barrel cortex	Society for Neuroscience 2018 Annual Meeting	San Diego convention center	2018/11/6	大阪大学	②-b	H30
183	佐藤 李奈、平山 晃斉、足澤悦子、河村菜々実、熊谷牧子、有賀 理瑛、吉武 講平、吉村 由美子、澁木 克栄、八木 健	クラスター型プロトカドヘリン γ は抑制性神経細胞の生存に關与する	第41回日本分子生物学会年会	パシフィコ横浜	2018/11/28	大阪大学	②-b	H30
184	長谷川沙紀、足澤悦子、星野七海、小林裕明、八木健	Localization of clustered protocadherin- γ proteins in the hippocampal neurons during synaptogenesis	第41回日本分子生物学会年会	パシフィコ横浜	2018/11/28	大阪大学	②-b	H30
185	増田風子、足澤悦子、梅田菜奈、林哲太郎、三宝誠、平林真澄、二階堂愛、八木健	Patch-seq method by single-cell sequencing of cortical neurons reveals the relationship between the expression patterns of clustered protocadherins and the cell-lineage dependent neuronal connections	第41回日本分子生物学会年会	パシフィコ横浜	2018/11/28	大阪大学	②-b	H30
186	河村菜々実、足澤悦子、吉村由美子、八木健	Role of clustered protocadherin gamma for the specific synaptic connections between excitatory and parvalbumin-positive inhibitory neurons in the mouse visual cortex	第41回日本分子生物学会年会	パシフィコ横浜	2018/11/28	大阪大学	②-b	H30
187	Toshihiro Nakajima, Tomohiro Oikawa, Manabu Kawata, Takashi, Ito	Development of children's play style and networking in kindergarten - Measurement of communication as visible data by the business microscope -	European Early Childhood Education Research Association 28th Annual Conference	Budapest University of Technology and Economics	2018/8/29	北海道教育大学	⑤-b	H30

188	塚原 理恵, 平田 郁子, 松崎 順子, 中西 真理子, 毛利 育子, 谷池 雅子, 大園 恵一	自閉症スペクトラム障がい児における、感覚過敏と問題行動	第118回 日本小児科学会総会	大阪	2015/4/16	大阪大学	④-a	H30
189	松崎 順子, 下野九理子, 平田 郁子, 花家 竜三, 永谷文代, 富永康仁, 毛利 育子, 谷池 雅子.	自閉症スペクトラム障害児における聴覚過敏性とミスマッチフィールド(MMF)の関係について	第57回 日本小児神経学会総会	大阪	2015/5/28	大阪大学	④-a	H30
190	志澤美保, 松崎 順子, 衛藤 萌, 辰巳 愛香, 山本 知加, 吉崎 亜里香, 酒井 佐枝子, 平田 郁子, 毛利 育子, 谷池 雅子	自閉症スペクトラム児の幼児期における偏食と感覚特性との関連	第57回 日本小児神経学会総会	大阪	2015/5/28	大阪大学	④-a	H30
191	中西 真理子, 岩谷 祥子, 毛利 育子, 谷池 雅子.	キッズサポートセンターさかいにおける発達相談・支援事業	第57回 日本小児神経学会総会	大阪	2015/5/29	大阪大学	④-a	H30
192	松澤重行, 麦居 聡美, 高橋 あゆみ, 寺岡 佐也子, 加藤 久美, 大木 昇, 毛利 育子, 谷池 雅子	小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対するアデノイド/扁桃摘出術前後の睡眠中心拍変動の変化—Complex Demodulation法を用いた検討	第57回 日本小児神経学会総会	大阪	2015/5/28	大阪大学	④-a	H30
193	松澤重行, 寒川 あゆみ, 麦居 聡美, 寺岡 佐也子, 加藤 久美, 大木 昇, 毛利 育子, 谷池 雅子	小児閉塞性睡眠時無呼吸症候群に対する治療効果の検討—睡眠段階、睡眠時間帯ごとの心拍変動評価	第7回日本臨床睡眠医学会学術集会	大阪	2015/8/1	大阪大学	④-a	H30
194	桑田 綾乃, 松澤重行, 星野 恭子, 村田 絵美, 加藤 久美, 橋雅 弥, 毛利 育子, 大野 ゆう子, 谷池 雅子.	日本版子どもの眠りの質問票〔小学生版〕の開発および標準化	第7回日本臨床睡眠医学会学術集会	大阪	2015/8/1	大阪大学	④-a	H30
195	村田 絵美, 毛利 育子, 松澤重行, 加藤 久美, 谷池 雅子.	小児の睡眠ポリグラフィ検査施行におけるプレパレーションの有効性に関する検討.	第7回日本臨床睡眠医学会学術集会	大阪	2015/8/1	大阪大学	④-a	H30
196	吉崎 亜里香, 星野 恭子, 加藤 久美, 立花 直子, 山本 知加, 橋雅 弥, 松澤重行, 毛利 育子, 谷池 雅子	日本の中学生の睡眠習慣と睡眠に関連するライフスタイル ～子どもの自己報告と保護者の報告から～	第7回日本臨床睡眠医学会学術集会	大阪	2015/8/1	大阪大学	④-a	H30
197	村田 絵美, 永井 利三郎, 谷池 雅子, 片山 泰一.	大阪府I市における市民統一シートの導入時アンケート調査	第62回 日本小児保健学会	長崎	2015/6/19	大阪大学	④-a	H30
198	Hanaie R, Mohri I, Kagitani-Shimono K, Hirata I, Matsuzaki J, Nagatani F, Watanabe Y, Taniike M.	Abnormal cerebellar functional connectivity in children with autism spectrum disorder	Society for Neuroscience 2015	Chicago, USA	Oct 19-21, 2015	大阪大学	④-a	H30
199	村田 絵美, 毛利 育子, 星野 恭子, 三星 喬史, 加藤 久美, 松澤重行, 橋雅 弥, 大野 ゆう子, 谷池 雅子.	日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての大規模調査	第40回 日本睡眠学会	宇都宮	2015/7/2	大阪大学	④-a	H30

200	Midori Kawahara, Shigeyuki Matsuzawa, Noboru Ohki, Ikuko Mohri, Masako Taniike	The duration of sleep spindles is correlated with core symptoms in autism spectrum disorder children	International pediatriv sleep association	Taipei, Taiwan	2016/3/11-13	大阪大学	④-a	H30
201	Emi Murata, Ikuko Mohri, Kumi Kato, Nishimura, Jiro Imura, Masaya Tachibana, Shigeyuki Matsuzawa, Makoto Ogawa, Masako Taniike.	Behavioral Evaluation of Children with Obstructive Sleep Apnea Before and After Treatment.	International pediatriv sleep association	Taipei, Taiwan	2016/3/11-13	大阪大学	④-a	H30
202	Arika Yoshizaki, Kyoko Hoshino, Kumi Kato, Nishimira, Naoko Tachibana, Tomoka Yamamoto, Jun Sasaki, Masaya Tachibana, Shigeyuki Matsuzawa,	Development of the Japanese sleep questionnaire for junior high school students (JSQ-JH) and its factor structure in a community sample.	International pediatriv sleep association	Taipei, Taiwan	2016/3/11-13	大阪大学	④-a	H30
203	下野 九理子, 松寿 順子, 菅田 陽怜, 花家 竜三, 永谷 文代, 山本 知加, 橘 雅弥, 富永 康仁, 平田 雅之, 毛利 郁子, 谷池 雅子	脳磁図の小児への応用 自閉症スペクトラム障害児の感覚特異性に関する神経基盤	第31回日本生体磁気学会	金沢	2016/6/9	大阪大学	④-a	H30
204	寒川 あゆみ, 寺岡 佐也子, 頼原 亜矢子, 延原 聡美, 宮本 奈央子, 湯田 翔子, 松澤 重行, 毛利 育子, 大木 昇, 谷池 雅子	ICSD2013を考慮したアテンドPSGと関連検査 小児のアテンドPSG	第41回日本睡眠学会定期学術集会	東京	2016/7/7	大阪大学	④-a	H30
205	下野 九理子, 青木 翔, 加藤 陽子, 花家 竜三, 松寿 順子, 谷河 純平, 岩谷 祥子, 富永 康仁, 青天目 信, 毛利 育子, 谷池 雅子, 大園 恵一	ローランドてんかん児の言語認知機能	第50回日本てんかん学会	静岡	2016/10/8	大阪大学	④-a	H30
206	青木翔, 下野九理子, 松寿順子, 加藤陽子, 花家竜三, 中西真理子, 辰巳愛香, 山本知加, 富永康仁, 長井志江, 毛利育子, 谷池雅子	自閉スペクトラム症児の視覚特異性と反応相違 (第1報)	第5回日本発達神経科学学会学術集会	東京	2016/11/26	大阪大学	④-a	H30
207	松寿順子, 下野九理子, 青木翔, 加藤陽子, 花家竜三, 中西真理子, 辰巳愛香, 山本知加, 富永康仁, 長井志江, 毛利育子, 谷池雅子	自閉スペクトラム症児の感覚特異性と動画提示に対する反応相違	第5回 日本発達神経科学学会学術集会	東京	2016/11/26	大阪大学	④-a	H30

208	吉崎亜里香、青井陽子、村田絵美、岡田紫甫、松澤重行、星野恭子、加藤久美、宮田理英、山本知加、橘雅弥、毛利育子、谷池雅子	幼児期の眠りの問題への新たな介入法の開発ー双方向性アプリケーションを用いてー	第59回 日本小児神経学会	大阪	2017/6/15	大阪大学	④-a	H30
209	奥田健太、早田敦子、毛利育子、新谷勇介、加茂俊彦、中澤敬信、谷池雅子、橋本均	プロスタグランジンD2受容体DP1を介したマウス神経細胞の形態変化の解析	第132回 日本薬理学会 近畿部会	大阪	2017/11/24	大阪大学	④-a	H30
210	Arika Yoshizaki, Tomoka Yamamoto, Yoko Aoi, Emi Murata, Ryuzo Hanaie, Shiho Okada, Shigeyuki Matsuzawa, Kyoko Hoshino, Kumi Kato, Nishimura, Rie Miyata, Ikuko Hirata, Masaya Tachibana, Ikuko Mohri,	Intervention for children's sleep habits using an interactive smartphone application	The 5th International Pediatric Sleep Association 2018	Paris, France	2018/4/27-29	大阪大学	④-a	H30
211	Ryuzo Hanaie, Ikuko Mohri, Kuriko Kagitani, Shimono, Masaya Tachibana1, Fumiyo Nagatani, Yoshiyuki Watanabe2, Masako Taniike	Aberrant cerebellar-cerebro functional connectivity in children and adolescents with autism spectrum disorder	INSAR	Rotterdam	2018/5/10	大阪大学	④-a	H30
212	鬼追 芳行, 青天目 信, 林 良子, 廣恒 実加, 橘 雅弥, 星野 恭子, 谷池 雅子, 大園 恵一	LA2G6-associated neurodegeneration(PLAN)の双生児例	第121回日本小児科学会	福岡	2018/4/22	大阪大学	④-a	H30
213	桃田美子, 吉崎亜里香, 永谷文代, 毛利育子, 西村倫子, 谷池雅子.	日本人中学生を対象にした睡眠習慣と実行機能の関連の検討	第60回日本小児神経学会学術集会	千葉	2018/5/30	大阪大学	④-a	H30
214	永谷文代, 松崎順子, 諏訪絵里子, 上西裕之, 毛利育子, 谷池雅子.	日本人小学生に対する養育者記載日本語版日本語版実行機能行動評価尺度の有効性の検討	第60回日本小児神経学会学術集会	千葉	2018/5/30	大阪大学	④-a	H30
215	村田絵美、毛利育子、加藤久美、谷池雅子.	小児の睡眠ポリソムノグラフ施行におけるプレパレーションの有効性の検討	第60回日本小児神経学会学術集会	千葉	2018/5/30	大阪大学	④-a	H30
216	村田絵美、毛利育子、加藤久美、谷池雅子.	小児の睡眠ポリソムノグラフ施行におけるプレパレーションの有効性の検討	第43回日本睡眠学会学術集会	札幌	2018/7/11	大阪大学	④-a	H30
217	白石優季、橘雅弥、毛利育子、辻阪亮子、谷池雅子、山城隆、加藤隆史.	小児睡眠時ブラキシズム患者におけるリズム性咀嚼筋運動の発生様式	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30

218	桃田芽子, 吉崎 亜里香, 永谷文 代, 毛利育子, 西村倫子, 谷池 雅子.	日本人中学生を対象にした睡眠習慣と実行機能の関連の検討	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
219	村田絵美, 毛利育子, 加藤久美, 谷池雅子.	小児の睡眠ポリソムノグラフ施行におけるプレバレーションの有効性の検討	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
220	酒井 佐枝子, 榊原 久直, 毛利 育子.	自閉スペクトラム症児の養育者への「安心感の輪」子育てプログラム実施とその効果検証(1) —養育者の心身状況及び子どもの行動理解に関する量的検証—	第37回日本心理臨床学会	兵庫	2018/8/31-9/1	大阪大学	④-a	H30
221	榊原 久直, 酒井 佐枝子, 毛利 育子	自閉スペクトラム症児の養育者への「安心感の輪」子育てプログラムの実施とその効果検証(2) —ビデオ観察データからみる関係発達の探索的検討— (大阪大学大学院)	第37回日本心理臨床学会	兵庫	2018/8/31-9/1	大阪大学	④-a	H30
222	若佐美奈子, 毛利育子.	自閉スペクトラム症児の親の受容と間主観性—RDIを用いたインタビュー調査より—	第37回日本心理臨床学会	兵庫	2018/8/31-9/1	大阪大学	④-a	H30
223	花家竜三, 毛利育子, 下野九理子, 橋雅弥, 谷池雅子	自閉スペクトラム症児のDefault Mode Networkの異常について —安静時機能的磁気共鳴画像法による研究—	第52回日本作業療法学会	名古屋	2018/9/7-9	大阪大学	④-a	H30
224	Tachibana M, Mohri I, Kagitani-Shimono K, Fushimi H, Inoue T, Kakuta Y, Murayama S, Nakayama M, Ozono K, Taniike M.	Clasmatodendrosis is associated with dendritic spines and does not represent autophagic astrocyte death in influenza-associated encephalopathy.	The International Society of Neuropathology 2018	東京	2018/9/24	大阪大学	④-a	H30
225	城田愛, 後野光寛, 上村真代, 原本真吾, 辻阪亮子, 谷池雅子, 加藤隆史	若年成人の終夜ポリグラフ記録における第一夜効果	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
226	大倉睦美, 野々上茂, 上村真代, 辻阪亮子, 谷池雅子, 加藤隆史	終夜睡眠ポリグラフ検査を実施した健康若年成人におけるApnea-Hypopnea index	第43回日本睡眠学会学術集会	札幌	2018/7/11	大阪大学	④-a	H30
227	大倉睦美, 野々上茂, 上村真代, 辻阪亮子, 谷池雅子, 加藤隆史	終夜睡眠ポリグラフ検査を実施した健康若年成人におけるApnea-Hypopnea index Polysomnographic analysis of airflow limitations, hypopnea and apnea during sleep in consecutive 83 young lean Japanese adults without clinical complaints of sleep apnea	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
228	Chizuko Yokoe, Akiko Tsujisaka, Shingo Haraki, Mutsumi Okura, Takafumi Kato	Sleep-related respiratory variables in sleep bruxism: a controlled study.	Oral Neuroscience 2018	大阪	2018/10/7	大阪大学	④-a	H30
229	白石優季, 橋雅弥, Sheng-Yun Lu, 城田愛, 毛利育子, 辻阪亮子, 谷池雅子, 山城隆, 加藤隆史	小児における睡眠リズム性咀嚼筋活動の発生様式	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
230	豊田理紗, 大倉睦美, 野々上茂, 原本真吾, 辻阪亮子, 足立浩祥, 加藤隆史	若年成人睡眠時ブラキシズムにおけるレム睡眠の咬筋活動特性	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
231	Kato Daiki, Nochino Teruaki, Makikawa Masaaki, Okada Shima	Development of Stable Electrocardiogram Measurement System Using Multi Capacitance Coupling Electrodes,	40th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	USA, Honolulu	2018/7/20	立命館大学	④-a	H30

232	Hirota Matsumoto, Shima Okada, Masaaki Makikawa	Sleep State Estimation Using Wearable ECG Measurement Device	40th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	USA, Honolulu	2018/7/20	立命館大学	④-a	H30
233	Motoki YOSHIH,Shim a Okada	Sleep Stage Estimation Using Head Motion	40th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society	USA, Honolulu	2018/7/20	立命館大学	④-a	H30
234	Toru Nakashika, Shimizu Fuuta, Eriko Aiba	Degree of Inharmonicity: Index to Evaluate Sustain Pedal Control	International Symposium on Performance Science 2019	Melbourne, Australia	2019/7/16-20	電気通信大学	④-b	H30
235	Shimizu Fuuta, Eriko Aiba	Piano Pedal Control according to Reverberation Time by Professional Pianists	International Symposium on Performance Science 2019	Melbourne, Australia	2019/7/16-20	電気通信大学	④-b	H30
236	Taweesak Emsawas, Ken-ichi Fukui, and Masayuki Numao	TV commercial and emotion recognition using physiological data	The 22nd SANKEN International Symposium	大阪	2019/1/16	大阪大学	④-b	H30
237	Yuki Kobayashi, Shunta Fujie, Hikaru Kobayashi	Si Nanopowder for hydrogen generation by reacting with neutral water	The 21st SANKEN International Symposium, The 16th SANKEN Nanotechnology International Symposium, The 5th KANSAI Nanoscience and Nanotechnology International Symposium, The 13th Handai Nanoscience and Nanotechnology International Symposium	Osaka University	2018/1/16	大阪大学	④-c	H30
238	Kyoko Nakaizumi, Tatsuhiko Terada, Etsuji Yoshikawa, Akihiro Kakimoto, Takashi Isobe, Iori Suzuki, Tomoyasu Bunai, Katsuaki Suzuki, Yasuhiro Magata, Norio Mori, Yasuomi Ouchi.	Implication of altered $\alpha 7$ nicotinic receptors and amyloid deposition in the Alzheimer's brain.	European congress of Psychiatry	(Madrid)	2016/3/14	浜松医大	④-d	H30
239	Yasuomi Ouchi, Tatsuhiko Terada, Kyoko Nakaizumi, Etsuji Yoshikawa, Masami Futatsubashi, Tomoyasu Bunai, Yasuhiro Magata	Changes in brain $\alpha 7$ nicotinic receptors and amyloid deposition in Alzheimer's disease.	第57回日本神経学会	(神戸)	2016/5/19	浜松医大	④-d	H30
240	Tomoyasu Bunai, Tatsuhiko Terada, Masamichi Yokokura, Satoshi Kono, Etsuji Yoshikawa, Kazuki Watanabe, Ryo Kuroda,Makiko Sakao-Suzuki, Yasushi Hosoi, Hiroaki Miyajima, Yasuomi Ouchi.	In vivo microglial activation and tau deposition in dementia with Lewy bodies.	第57回日本神経学会.	(神戸)	2016/5/19	浜松医大	④-d	H30

241	Yasuomi Ouchi, Tatsuhiro Terada, Kyoko Nakaizumi, Etsuji Yoshikawa, Akihiro Kakimoto, Takashi Isobe, Tomoyasu Bunai, Yasuhiro Matsuoka	Alterations in brain $\alpha 7$ nicotinic receptors and amyloid deposition in Alzheimer's disease.	22回Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping	(Geneva)	2016/6/28	浜松医大	④-d	H30
242	尾内康臣、寺田達弘、武内智康、横倉正倫、吉川悦次、ニッ橋昌実、塚田秀夫	ヒト脳内ミトコンドリア複合体CM-1の画像化	第56回日本核医学会	(名古屋)	2016/11/4	浜松医大	④-d	H30
243	Yokokura M, Terada T, Bunai T, Nakaizumi K, Takebayashi K, Futatsubashi M, Yoshikawa E, Ouchi Y.	Reduced serotonin transporter availability in anorexia nervosa: a [^{11}C]DASB PET study.	46th Annual Meeting Neuroscience	(San Diego)	2016/11/1	浜松医大	④-d	H30
244	Yasuomi Ouchi, Tatsuhiro Terada, Masami Futatsubashi, Bunai Tomoyasu, Masamichi Yokokura, Etsuji Yoshikawa	In vivo imaging of mitochondrial complex CM-1 in the human brain.	23回Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping	(Vancouver)	2017/6/26	浜松医大	④-d	H30
245	Yasuomi Ouchi, Tatsuhiro Terada, Tomoyasu Bunai, Takashi Matsudaira, Masami Futatsubashi, Etsuji Yoshikawa.	Depiction of mitochondrial complex-1 in the living human brain	第58回日本神経学会	(京都)	2017/9/19	浜松医大	④-d	H30
246	Masafumi Yoshimura, Robert Pascual-Marqui, Keiichiro Nishida, Yuichi Kitaura, Hiroshi Mii, Yukiko Saito, Shunichiro Ikeda, Koji Katsura, Satsuki Ueda, Shota Minami, Toshiaki Isotani, Toshihiko	Change of Cross Frequency Coupling by Symptom Provocation in OCD	3rd International Conference on Basic and Clinical Multimodal Imaging	ベルン(スイス)	2017/8/29-9/2	関西医大	④-d	H30
247	吉村匡史, パスカル-マルキ ロベルト, 西田圭一郎, 北浦祐一, 三井浩, 齊藤幸子, 池田俊一郎, 桂功士, 上田紗津貴, 南翔太, 磯谷俊明, 木下利彦	強迫性障害患者への症状誘発による脳波変化— LORETA cross-frequency coupling 解析を用いて—	第47回日本臨床神経生理学会学術大会	横浜	2017/11/30	関西医大	④-d	H30
248	北浦祐一, 西田圭一郎, 池田俊一郎, 桂功士, 上田紗津貴, 吉村匡史, ロベルトパスカルマルキ, 木下利彦	計算課題時における θ , α オシレーションの機能的局在と連結	第47回日本臨床神経生理学会学術大会	横浜	2017/12/1	関西医大	④-d	H30

249	Yasuomi Ouchi, Tatsuhiro Terada, Kyoko Nakaizumi, Etsuji Yoshikawa, Tomoyasu Bunai, Yasuhiro Masata	Clinicopathophysiology of $\alpha 7$ nicotinic receptor in Meynert cholinergic regions in aging and dementia	Annual Meeting of the Organization for Human Brain Mapping,	Singapore	2018/6/19	関西医大	④-d	H30
250	Keiichiro Nishida, Robert Pascual-Marqui, Shota Minami, Yousuke Koshikawa, Toshihiko Kinoshita, Masaki Kato	Predicting response to antidepressants based on standardized Low Resolution Brain Electromagnetic Tomography(sLORETA).	International Pharmacoe-EEG Society in 2018	Zurich, Switzerland	2018/11/23	関西医大	④-d	H30
251	Keiichiro Nishida, Yosuke Morishima, Roberto Pascual-Marqui, Masafumi Yoshimura, Shunichiro Ikeda, Satsuki Ueda, Kouji Katsura, Yosuke Koshikawa, Ai Onohara, Yuichi Kitaura, Ryouhei Ishii,	Does pre-tDCS resting-state brain activity predict state-anxiety changes in response to prefrontal tDCS in healthy adults? A preliminary study.	International Pharmacoe-EEG Society in 2018	Zurich, Switzerland	2018/11/23	関西医大	④-d	H30
252	桂功士, 西田圭一郎, 森島陽介, 北浦祐一, 池田俊一郎, 越川陽介, 上田紗津貴, 斧原藍, 諏訪梓, 石井良平, 木下利彦	経頭蓋直流単回刺激によるSTAI:State-Trait Anxiety Inventory の変化予測 ~LORETA解析を用いて~.	第48回日本臨床神経生理学会学術大会	東京	2018/11/8	関西医大	④-d	H30
253	南翔太, 西田圭一郎, 越川陽介, 加藤正樹, 木下利彦	LORETA解析を用いた抗うつ薬の反応性予測の検証.	第48回日本臨床神経生理学会学術大会	東京	2018/11/8	関西医大	④-d	H30
254	Yassin W, Kojima M, Owada K, Kuwabara H, Gonoj W, Takao H, Kunitatsu A, Yamasue H.	Paternal age contribution and laterality of white matter disparities in adults with high function autism spectrum disorder.	第40回日本神経科学会	Makuhari, Chiba	2017/7/22	浜松医大	④-e	H30
255	樋口正法	脳神経の活動電位による電磁気信号検出に向けて Toward detecting the electromagnetic signal caused by the action potential in the brain from the outside	Biomagnetic Sendai 2017	仙台	2018/5/24	金沢工業大学	④-e	H30
256	D.Oyama, Y. Adachi, M. Higuchi, N. Tsuyuguchi, G. Uehara,	Development of Compact Ultra-Low-Field MRI System Using an Induction Coil, ,	INTERMAG Europe 2017	The Convention Centre Dublin, Ireland	2018/4/28	金沢工業大学	④-e	H30
257	H. Kumazaki1,2, T. Muramatsu2, M. Miyao3, T. X. Fujisawa1, H. Kosaka1, A. Tomoda1 and M. Mimura2	「Assessment of the Olfactory Trait in Children with Autism Spectrum Disorders Using an Olfactory Software Application JIMFAR	IMFAR2016 (デモンストレーション)	アメリカ	2016/5/13	金沢大学	④-e	H30
258	H. Kumazaki1,2, Y. Yoshikawa3, Y. Matsumoto4, M. Miyao5, H. Ishiguro3, T. Muramatsu2 and M.	「Robot-Mediated Interventions for Social Anxiety in Individuals with Autism Spectrum Disorder」	IMFAR2016 (デモンストレーション)	アメリカ	2016/5/13	金沢大学	④-e	H30

259	J. Shimaya1, Y. Yoshikawa1, M. Miyao2, Y. Matsumoto3, H. Kumazaki4, M. Nakano5 and H. Ishiguro1	「Advantages of Robot-Assisted Counseling: Can Caregivers Better Address the Concerns of Children with Autistic Spectrum Disorders Via a Small Humanoid Robot?」	IMFAR2016 (デモンストレーション)	アメリカ	2016/5/13	金沢大学	④-e	H30
260	アンキョンミン	Motor Gamma Oscillations in Pre-school Children with Autism Spectrum Disorder	2018 OHBM Annual Meeting	シンガポール	2018/6/19- 21	金沢大学	④-e	H30
261	吉村優子	(T-070) Effects of oxytocin on social auditory processing and empathy in male adults with autism spectrum disorder	BIOMAG2018	アメリカ	2018/8/28	金沢大学	④-e	H30
262	長谷川千秋	(M-131) Developmental trajectory of infant brain signal variability : A longitudinal pilot study	BIOMAG2018	アメリカ	2018/8/27	金沢大学	④-e	H30
263	池田尊司	(W-024) Alpha band suppression during an interactive tapping task: A parent-child hyperscanning-MEG study	BIOMAG2018	アメリカ	2018/8/29	金沢大学	④-e	H30
264	樋口正法、小 山大介、春田 康博、上原弦	機械学習によるノイズリダクションの検討	第33回日本生体磁気学会大会	広島	2018/6/15- 16	金沢工業大学	④-e	H30
265	吉村優子	「低出生体重児の客観的理解を目指した生理学 的指標の解明と社会性獲得の評価方法確立に 向けた基盤研究」	JSTフェア2018	東京	2018/8/31	金沢大学	④-e	H30
266	吉村優子	定型発達児における聴覚誘発磁場と言語能力 の関係	日本特殊教育学会 第56回大会	大阪	2018/9/22	金沢大学	④-e	H30
267	田中早苗	発達障害に対する学校における合理的配慮— 不登校児童生徒の保護者によるラウンドテー ブルから—	日本特殊教育学会第56回大会	大阪	2018/9/22	金沢大学	④-e	H30
268	齋藤大輔	投影法課題における図版の特性と性格傾向を 反映した神経基盤	日本心理学会第82回大会	仙台	2018/9/27	金沢大学	④-e	H30
269	大井学	How “awkwardness” occurs during conversations with children with Autism Spectrum Disorder	17th International Clinical Phonetics and Linguistics Association Conference	Malta	2018/10/23	金沢大学	④-e	H30
270	アンキョンミン	Reduced Motor-Related Gamma Synchronization in Children with Autism Spectrum Disorder	korean society for human brain mapping	ソウル	2018/11/3	金沢大学	④-e	H30
271	吉村優子	「Turn-taking in Children with Autism Spectrum Disorder: Discussion from Ne and Backchannel Interjections」	The 26th Japanese/Korean Linguistics Conference	アメリカ	2018/11/30	金沢大学	④-e	H30
272	田中早苗	「ASDのある児童生徒に対するアートワーク ショップの効果—思春期の自己理解に及ぼす影 響と生理的指標の検討—」	日本発達心理学会第30回大会	東京	2019/3/17	金沢大学	④-e	H30
273	Masanori Higuchi	(M-092) A method of the coregistration between MEG and MRI data for the MEG system combined with ULF-MRI	BIOMAG2018	アメリカ・フィラデ ルフィア	2018/8/27	金沢工業大学	④-e	H30
274	Masanori Higuchi	Correction of the image distortion due to the gradient field error using multipoint magnetic field data of MR signals,	第46回日本磁気共鳴医学大会	金沢	2018/9/8	金沢工業大学	④-e	H30
275	立川和樹, 河 合祐司, 朴志 勲, 浅田稔	Integrated Gradientsの補正による脳波識別に貢 献する特徴の可視化	第21回情報論的学習理論ワーク ショップ	札幌	2018/11/5	大阪大学	④-e	H30
276	Kazuki Tachikawa, Yuji Kawai, Jihoon Park, and Minoru Asada	Compensated integrated gradients to reliably interpret EEG classification	NeurIPS 2018 Workshop on Machine Learning for Health	Montreal, Canada	2018/12/8	大阪大学	④-e	H30

277	Naoya Jinno, Naoya Okumura, Kentaro taniguchi, Akito Shimouchi	Effect of physical exercise on emanation of hydroxyl radical in the skin gas	Breath Analysis Summit 2019	Leicestershire, UK	2019/9/8	中部大学	①-a	R1
278	古閑 修輝, 山崎 聖司, 櫻井 啓介, 中島良介, 山口 明人, 西野 邦彦	緑膿菌の薬剤排出ポンプMexBにおける阻害剤結合ピットの包括的解析	第66回日本生化学会近畿支部例会	京都大学	2019/5/25	大阪大学	①-b	R1
279	古閑 修輝, 山崎 聖司, 櫻井 啓介, 中島良介, 山口 明人, 西野 邦彦	緑膿菌の薬剤耐性獲得阻止を目的とした、薬剤排出ポンプMexBとポンプ機能阻害剤の結合様式の解析	ケミカルバイオロジー学会 第14回年会	愛知	2019/6/10-12	大阪大学	①-b	R1
280	山崎 聖司, 古閑 修輝, 櫻井 啓介, 中島良介, 山口 明人, 西野 邦彦	耐性菌克服に寄与する薬剤排出ポンプ阻害剤の結合部位の包括的解析	平成30年度ダイナミック・アライアンス成果報告会	大阪	2019/7/1-2	大阪大学	①-b H31W05-2 R1WD01	R1
281	田中敏子	超高磁場fMRI撮像扁桃体活動を用いたハイパーアライメントによる情動デコーディング	第3回脳情報動態領域会議	御殿場高原ホテル	2019/7/1	NICT・CiNet	②-a	R1
282	田中敏子	For mood disorder forecast	CREST 知的情報処理 2019年度第1回領域会議	セミナーハウス クロス・ウェーブ 梅田	2019/10/2	NICT・CiNet	②-a	R1
283	森田幸弘、神原憲治、志田有子、阿部哲也、福永幹彦	機能性身体症候群における心拍変動とQOLの関係	第2回日本心身医学関連学会合同集会	大阪	2019/11/17	大阪大学、パナソニック	②-a	R1
284	森田幸弘、頭川武央、西谷幹彦	心理生理相関とストレス反応の長期的変動に関する研究	第26回日本行動医学学会学術総会	東京	2019/12/7	大阪大学、パナソニック	②-a	R1
285	森田幸弘、神原憲治	非接触センシングシステムを用いた心拍変動バイオフィードバックについての探索的検討	第26回日本行動医学学会学術総会	東京	2019/12/7	大阪大学、パナソニック	②-a	R1
286	Esther Karner-Petritz	Ultraflexible Ferroelectric P(VDF:TrFE) Sensors	10th International Conference on Molecular Electronics and BioElectronics (M&BE10)	Nara Kasugano International Forum IRAKA, Nara	2019/6/26	大阪大学	③-c	R1
287	Ashuya Takemoto	Ultrathin and Transparent Printed Organic Electrochemical Transistors	10th International Conference on Molecular Electronics and BioElectronics (M&BE10)	Nara Kasugano International Forum IRAKA, Nara	2019/6/25	大阪大学	③-c	R1
288	Andreas Petritz	Multifunctional Ultraflexible P(VDF:TrFE) Nanogenerators with Organic Rectifying Circuits for Energy Harvesting and Tactile Sensing	10th International Conference on Molecular Electronics and BioElectronics (M&BE10)	Nara Kasugano International Forum IRAKA, Nara	2019/6/25	大阪大学	③-c	R1
289	杉山真弘	有機トランジスタと薄膜抵抗を集積したシート型計装アンプの開発と生体センサへの応用	LSIとシステムのワークショップ 2019	東京大学 生産技術研究所	2019/5/13	大阪大学	③-c	R1
290	竹本明寿也	次世代ウェアラブル素子に向けた高効率な電極印刷による極薄透明有機トランジスタの開発	第18回産総研・産技関連LS-BT合同研究発表会, P067	産業総合研究所 つくばセンター共用講堂, 茨城県つくば市	2019/5/28-29	大阪大学	③-c	R1
291	Risa Toyota, Mutsumi Okura, Shigeru Nonoue, Shingo Haraki, Akiko Tsujisaka, Hiroyoshi Adachi, Kazunori Ikebe, Takafumi Kato	Masseter muscle activity during REM sleep in young adults with sleep bruxism	9th FAOPS CONGRESS	Kobe	2019/3/30	大阪大学	④-a	R1

292	Yuki Shiraishi, Masaya Tachibana, Sheng-Yun Lu, Ai Shirota, Ikuko Mohri, Shingo Haraki, Atsuko Tsujisaka, Masako Taniike, Takashi Yamashiro, Takafumi Kato	Physiological characteristics of rhythmic masticatory muscle activity during sleep in children	9th FAOPS CONGRESS	Kobe	2019/3/30	大阪大学	④-a	R1
293	原木真吾,辻阪亮子,豊田理紗,石垣尚一,瑞森崇弘,矢谷博文,加藤隆史	2夜連続のポリソムノグラフィ検査における睡眠時ブラキシズムの重症度診断の比較	公益社団法人日本補綴歯科学会第128回学術大会	札幌	2019/5/11-12	大阪大学	④-a	R1
294	松本小百合, 田上恭子, 谷池雅子, 吉崎亜里香, 毛利育子, 橘雅弥, 村田絵美, 花家竜三, 加藤隆史	スマートフォンアプリを用いた子どもの睡眠アドバイスの試み	第58回近畿公衆衛生学会	大阪	2019/5/24	大阪大学	④-a	R1
295	Yuki Shiraishi, Masaya Tachibana, Ai Shirota, Ikuko Mohri, Masako Taniike, Takashi Yamashiro, Takafumi Kato.	Association between rhythmic masticatory muscle activity and sleep arousals in sleep bruxism children.	Oral Neuroscience	Osaka	2019/5/25	大阪大学	④-a	R1
296	R.Toyota,M.Okura,S.Haraki,A.Tsujisaka,H.Adachii,K.Ikebe,H.Yatani,T.Kato	Masseter Muscle Activity During REM Sleep in Sleep Bruxism	97th General Session of the International Association for Dental Research (IADR)	Vancouver Canada	2019/6/21	大阪大学	④-a	R1
297	安本千晶, 上村真代, 谷池雅子, 加藤隆史	異なる温度環境が夜間睡眠と主観的な睡眠評価へ及ぼす影響	第11回日本臨床睡眠医学会	名古屋	2019/11/12	大阪大学、ダイキン工業	④-a	R1
298	上村真代, 城田愛, 野々上茂, 谷池雅子, 加藤隆史	若年健康成人の第一夜効果における主観的および客観的睡眠評価の違い	第11回日本臨床睡眠医学会	名古屋	2019/11/12	大阪大学	④-a	R1
299	Motoki Yoshihi, Masaaki Makikawa, Shima Okada	Relationship between Sleep Stage and Head Motion	IEEE EMBC2019	Berlin	2019/7/26	立命館大学	④-a H31W13-2	R1
300	Hiroataka Masumoto, Naruhiro Shiozawa, Masaki Makikawa, Shima Okada	Sleep Stage Prediction Model by Using Electrocardiogram Measured by Smart Wear in Field Test	IEEE EMBC2019	Berlin	2019/7/26	立命館大学	④-a H31W13-2	R1
301	落合 優, 岡田志麻	汎用カメラを用いた健康指標計測の提案	第58回 日本生体医工学会大会	沖縄コンベンションセンター	2019/6/8	立命館大学	④-a	R1
302	岡部大介, 大谷紀子	楽曲創作における自動作曲システムの活用 — 音楽大学における学習環境デザインのケーススタディー—	情報処理学会インタラクシオン2019	東京	2019/3/7	東京都市大学	④-b	R1
303	澤田恭平, 饗庭絵里子, 中鹿 亘	ピアニストのサステインペダル制御と音響特徴量の関係	情報処理学会音楽情報研究会第126回研究発表会	東京	2020/2/18	電気通信大学	④-b	R1

304	Tsukasa Kimura, Noriko Takemura, Yuta Nakashima, Hirokazu Kobori, Hajime Nagahara, Masayuki Numao, and Kazumitsu Shinohara	Heat environment increases mental workload even if learning efficiency is enhanced	27th Annual Meeting of the Cognitive Neuroscience Society (CNS2020)	ボストン	2020/3/15	大阪大学	④-b	R1
305	木村 司, 武村 紀子, 中島 悠太, 小堀 寛和, 長原 一, 沼尾 正行, 篠原 一光	学習効率が向上しても熱環境は潜在的な精神負荷を増大させる	日本心理学会第83回大会	大阪	2019/9/11	大阪大学	④-b	R1
306	島日向子, 饗庭絵里子	異なる応答特性をもつ電子ピアノによるスケール演奏時のタッチ制御の計測	情報処理学会第82回全国大会	石川	2020/3/5	電気通信大学	④-b	R1
307	川村 正隆	シリコン成分剤の経口投与は水素の発生によりラット腎虚血再灌流傷害を抑制する	第107回日本泌尿器科学会総会	名古屋国際会議場	2019/4/18	大阪大学	④-c	R1
308	今村 亮一	シリコン粒子による体内水素発生システムとラット慢性腎不全モデルに対する有効性の検討	第107回日本泌尿器科学会総会	名古屋国際会議場	2019/4/18	大阪大学	④-c	R1
309	小山 佳久, 小林 悠輝, 近藤 誠, 臼井 紀好, 小林 光, 島田 昌一	酸化ストレスが関与する神経疾患の新規治療薬の開発	第42回日本神経科学大会/第62回日本神経化学大会	新潟, 朱鷺メッセ	2019/7/25	大阪大学	④-c	R1
310	戸川 省吾, 臼井 紀好, 小山 佳久, 小林 悠輝, 中村 雪子, 近藤 誠, 小林 光, 篠田 晃, 島田 昌一	母子感染症に対する新規治療薬の開発	第125回日本解剖学会・総会全国学術集会	山口, ANAクラウンプラザホテル宇部	2020/3/25	大阪大学	④-c	R1
311	上村 直也, 小山 佳久, 小林 悠輝, 臼井 紀好, 近藤 誠, 小林 光, 篠田 晃, 島田 昌一	酸化ストレスに着目した新たな治療薬の開発	第125回日本解剖学会・総会全国学術集会	山口, ANAクラウンプラザホテル宇部	2020/3/25	大阪大学	④-c	R1
312	宮岸良彰	経頭蓋直流刺激による γ 帯域への効果の検討: 無作為化二重盲検試験	第115回日本精神神経学会学術総会	新潟	2019/6/21	金沢大学	④-d	R1
313	池田尊司	経頭蓋直流刺激によるワーキングメモリ課題遂行中のHigh-gamma帯域の変調	第34回日本生体磁気学会大会	北海道・函館アリーナ	2019/6/21-22	金沢大学	④-d	R1
314	Tomoyasu Bunai, Tetsu Hirose, Mitsuru Kikuchi, Mina Fukai, Masamichi Yokokura, Shigeru Ito, Yohei Takata, Tatsuhiro Terada, Yasuomi Ouchi	tDCS induced modulation of dopamine and GABA systems: a PET / MRS study	第60回日本神経学会学術大会	大阪	2019/5/24	浜松医大	④-d	R1
315	Yasuomi Ouchi, Mitsuru Kikuchi, Toru Hirose, Tomoyasu Bunai, Etsuji Yoshikawa	Glucose metabolism-based extrastriate body area and tDCS-induced augmentation of its function.	2019 OHBM Annual Meeting	Rome	2019/6/13	浜松医大	④-d	R1

316	Kibo Ote, Fumio Hashimoto, Akihiro Kakimoto, Takashi Isobe, Tomoo Inubushi, Aoi Tokui, Etsuji Yoshikawa, Tomohide Omura, Atsushi Teramoto and	Block Matching and 5D Filtering of Dynamic PET Images	IEEE NSS/MIC 2019	Manchester	2019/10/31	浜松医大	④-d	R1
317	内藤暢茂	Atypical Body Movements during Sleep in Young Children with Autism Spectrum Disorder	INSAR2019	Montreal, Québec Canada	2019/5/3	金沢大学	④-e	R1
318	Yoshimura Y., Ikeda T., Mitani Y., Hasegawa C., Yaoi K., Saito ND, AN KM, Cho K., Ohta H., Ando A., Kikuchi M.	Auditory evoked response in young children with low birth weight	2019 OHBM Annual Meeting	Rome	2019/6/10	金沢大学	④-e H31W10-1	R1
319	アン・キョンミン	Brain Responses to Human Voice Stimuli Reflect Development and Intelligence in Young Children	2019 OHBM Annual Meeting	Rome	2019/6/11	金沢大学	④-e	R1
320	廣澤徹	Long-term effects of interictal epileptiform discharge on cognitive development and sociality in ASD	2019 OHBM Annual Meeting	Rome	2019/6/10	金沢大学	④-e	R1
321	吉村優子	Auditory Mismatch Field and Language Performance in Children Born Preterm	The Meeting of the International Society for the Advancement of Clinical MEG (2019 ISACM)	Toronto, Ontario Canada	2019/9/12-13	金沢大学	④-e H31W10-1	R1
322	長谷川千秋	Developmental trajectories of functional connectivity in infant follow-up study	The Meeting of the International Society for the Advancement of Clinical MEG	Toronto, Ontario Canada	2019/9/12-13	金沢大学	④-e	R1
323	廣澤徹	Long-term effects of interictal epileptiform discharge on cognitive development and sociality in preschool children with autism spectrum disorders	The Meeting of the International Society for the Advancement of Clinical MEG	Toronto, Ontario Canada	2019/9/12-13	金沢大学	④-e	R1
324	アン・キョンミン	Cortical Oscillations and Phase-amplitude Coupling during Motor Processing in Young Children with Autism Spectrum disorders	The Meeting of the International Society for the Advancement of Clinical MEG	Toronto, Ontario Canada	2019/9/12-13	金沢大学	④-e	R1
325	齋藤 大輔	投影法課題における図版(無色彩図版)の特性を反映した神経基盤	日本心理学会第83回大会	立命館大学大阪 いばらきキャンパス	2019/9/13	金沢大学	④-e	R1
326	長谷川千秋	脳磁図を用いた母子インタラクション場面の脳機能計測	第2回COI学会	東京	2019/9/19	金沢大学	④-e	R1
327	吉村優子	低出生体重児における人の声に対する脳反応と言語発達の関係	第2回COI学会	東京	2019/9/20	金沢大学	④-e H31W10-1	R1
328	田中早苗	発達障がい児の特性を活かした芸術活動の療育的効果の実証と実証方法の確立	第2回COI学会	東京	2019/9/20	金沢大学	④-e	R1
329	Sanae Tanaka, Aya Iguchi Sherry, Maki Rooksby, Teruko Yuhi, Kana Minami, Haruhiro Higashida, Chiharu Tsuji.	Establishing the verification methods to assess the effect of art workshop on autistic children.	International Symposium on Chronic Disease and Glycation Biology	金沢	2019/1/15	金沢大学	④-e	R1
330	Takahiro Tsuji, Shigeru Yokoyama, Yasuhiko Yamamoto, Haruhiro Higashida, Chiharu Tsuji	Maternal behavior of CD38 KO autism model mouse dam is improved by social support.	International Symposium on Chronic Disease and Glycation Biology	金沢	2019/1/15	金沢大学	④-e	R1

331	Chiharu Tsuji, Kazumi Furuhara, Maria Gerasimenko, Kana Minami, Shigeru Yokoyama, Haruhiro Higashida, Takahiro Tsuji.	Carnosine attenuates the social deficit of CD157KO mouse model of autism,	International Symposium on Chronic Disease and Glycation Biology	金沢	2019/1/15	金沢大学	④-e	R1
332	Chiharu Tsuji, Maki Rooksby, Aya Iguchi-Sherry, Teruko Yuhi, Kana Minami, Haruhiro Higashida, Sanae Tanaka	Establishing the biomarkers to assess the effect of participatory art work shop on autistic children.,	Int. Symposium on New Frontiers in Neuroscience,	金沢	2019/2/7	金沢大学	④-e	R1
333	Tomoaki Fujisaku, Chiharu Tsuji, Yoshinari Nasu, Anna A. Shabalova, Stanislav M. Cherepanov, Shigeru Yokoyama, Kazumi Furuhara, Sodo Saika, Takahiro Tsuji.	The deficit of pup USV calls in the valproic-acid induced mouse model of autism.	Int. Symposium on New Frontiers in Neuroscience,	金沢	2019/2/7	金沢大学	④-e	R1
334	Takahiro Tsuji, Shigeru Yokoyama, Yasuhiko Yamamoto, Haruhiro Higashida, Chiharu Tsuji.	Deficit of maternal behavior of CD38 KO autism model mouse induced by the isolation stress is improved by the social support.	Int. Symposium on New Frontiers in Neuroscience,	金沢	2019/2/7	金沢大学	④-e	R1
335	Chiharu Tsuji, Maki Rooksby, Aya Iguchi-Sherry, Teruko Yuhi, Kana Minami, Haruhiro Higashida, Sanae Tanaka. Establishing the biomarkers to assess the effect of participatory art work shop on autistic children.	Establishing the biomarkers to assess the effect of participatory art work shop on autistic children.	Int. Symposium on New Frontiers in Neuroscience,	金沢	2019/2/7	金沢大学	④-e	R1
336	Chiharu Tsuji, Tomoaki Fujisaku, Takahiro Tsuji.	Reduced emission of ultrasonic vocalization in the valproic acid exposed pups	WCNH2019	イスラエル	2019/8/8-8/11	金沢大学	④-e	R1
337	Chiharu Tsuji, Pinyue Fu, Zing Zhong, Takahiro Tsuji.	Establishment of female social behavioral paradigm to detect social deficit in the valproic acid-induced mouse model of autism.,	第42回日本神経科学大会/第62回日本神経化学大会	新潟、朱鷺メッセ	2019/7/25	金沢大学	④-e	R1
338	樋口正法, 上原弦	超低磁場MRI:磁気センサ座標系による磁気共鳴画像の再構成と応用	第34回日本生体磁気学会大会	北海道・函館アリーナ	2019/6/21-22	金沢工業大学	④-e	R1
339	樋口正法, 小山大介, 春田康博, 上原弦	機械学習による磁気ノイズ除去の検討ーニューラルネットによる方法ー	第34回日本生体磁気学会大会	北海道・函館アリーナ	2019/6/21-22	金沢工業大学	④-e	R1
340	Nakajima T, Ito T, Kawata M, Oikawa T	Changes in teacher's involvement with kindergarteners: Longitudinal study in a 5-year old children class	The 20th Pacific Early Childhood Education Research Association International Conference	Howard Civil Service International House Taipei, Taiwan	2019/7/13	北海道教育大学	⑤-b	R1

341	高橋正年, 中島寿宏, 高瀬淳也, 河本岳哉, 梅村拓未, 神林勲	中学校体育授業におけるフィードバックの方法の違いが生徒の思考力に及ぼす影響 —柔道の授業分析から—	第59回北海道体育学会大会	北海道教育大学 釧路校	2019/12/14	北海道教育大学	⑤-b	R1
342	中島寿宏, 相馬彩花, 高瀬淳也, 高橋正年, 河本岳哉, 神林勲	中学校体育授業における立位・座位による対話的活動場面の差異 —話し合いの質的・量的な検討から—	第59回北海道体育学会大会	北海道教育大学 釧路校	2019/12/14	北海道教育大学	⑤-b	R1
343	Tianyi Wang, Hieyong Jeong	Noninvasive Measurement for Emotional Arousal during Acupuncture using Thermal Image	IEEE LifeTech 2019	Osaka	2019/3/12	大阪大学	H31W13-1	R1
344	Chiharu Tsuji, Aiko Komagome, Aya Iguchi-Sherry, Akiko Nagasaka, Kana Minami, Sanae Tanak	Establishing the validation for the effect of participatory art on autistic children	New Frontier in Neuroscience 2020, International Symposium on neural Development, regeneration and Diseases	金沢大学医学部 記念館	2020/1/9	金沢大学	R1WD18-1 R1WD18-2 R1WD18-3	R1
345	加藤 保宏、小中 八郎、高松 漂太、熊ノ郷 淳	Identification of the agent in the clinically available drugs for SLE targeting for type I interferon production	第48回日本免疫学会学術集会	アクトシティ浜松	2019/12/12	大阪大学	①-a	R2
346	加藤 保宏、小中 八郎、朴 正薫、高松 漂太、熊ノ郷 淳	I型インターフェロンに注目したSLEの新規治療薬探索	第5回日本骨免疫学会	ANAインターコンチネンタル石垣	2019/6/26	大阪大学	①-a	R2
347	Naoki Koga, Takuro Hosomi, Takeshi Yanagida, Kuniyuhiko Nishino, Seiji Yamasaki	Identification of bacterial genetic properties by analyzing volatile components	第3回COI学術交流会	WEB開催	2020/7/3	大阪大学	①-b R02W08 R1WD01	R2
348	Andreas PETRITZ	Multifunctional Ultraflexible P(Vdf-Trfe) Transducers with Organic Rectifying Circuits for Energy Harvesting and Tactile Sensing	The 23rd SANKEN International Symposium, The 18th SANKEN Nanotechnology International Symposium, Scientific and Industrial Research for Space Age	Awaji Yumebutai International Conference Center	2020/1/9	大阪大学	③-c	R2
349	Esther KARNER-PETRITZ	Ultraflexible Ferroelectric P(Vdf:Trfe) Sensors	The 23rd SANKEN International Symposium, The 18th SANKEN Nanotechnology International Symposium, Scientific and Industrial Research for Space Age	Awaji Yumebutai International Conference Center	2020/1/9	大阪大学	③-c	R2
350	Satoshi TAKANE	Fabrication and Electrical Transport Properties of Gold Nanowire Passivated with Self-Assembled Monolayers	The 23rd SANKEN International Symposium, The 18th SANKEN Nanotechnology International Symposium, Scientific and Industrial Research for Space Age	Awaji Yumebutai International Conference Center	2020/1/9	大阪大学	③-c	R2
351	荒木徹平	透明センサシートを用いた脳波計測	第3回COI学術交流会	WEB開催	2020/7/3	大阪大学	③-c	R2
352	杉山真弘、植村隆文、近藤雅哉、秋山実邦子、難波直子、吉本秀輔、野田祐樹、荒木徹平、関谷毅	超薄膜・柔軟なノイズ低減機能付き信号増幅回路の開発とヘルスケアへの応用	TEIJIN MIRAI FORUM 2020	東京	2020/2/1	大阪大学	③-c	R2
353	豊田理紗、原木真吾、辻販売子、池邊一典、矢谷博文、加藤隆史	中高年における睡眠時ブラキシズムの生理学的特性	日本補綴歯科学会第129回学術大会	WEB開催	2020/6/27	大阪大学	④-a	R2

354	Yuki Shiraiishi, Masaya Tachibana, Ai Shirota, Ikuko Mohri, Masako Taniike, Takashi Yamashiro, Takafumi Kato	Rhythmic Masticatory Muscle Activity Across Sleep Cycles In Children	98th International Association for Dental Research (IADR)	WEB開催	2020/3/19-21	大阪大学	④-a	R2
355	原木真吾、辻阪亮子、豊田理紗、瑞森崇弘、石垣尚一、矢谷博文、加藤隆史	睡眠時ブラキシズム患者の第一夜効果における睡眠構築と自律神経活動の役割	日本補綴歯科学会第129回学術大会	WEB開催	2020/6/27	大阪大学	④-a	R2
356	Yuki Shiraiishi, Masaya Tachibana, Ai Shirota, Ikuko Mohri, Masako Taniike, Takashi Yamashiro, Takafumi Kato	The association of rhythmic masticatory muscle activity across sleep cycles in children with sleep bruxism	The 9th International Orthodontic Congress	WEB開催	2020/10/4-11/3	大阪大学	④-a	R2
357	小山佳久、小林悠輝、大津巖生、河野祐介、鈴木健吾、臼井紀好、近藤誠、小林光、島田昌一	A new approach for therapeutic strategy against ulcerative colitis via intestine and brain	第63回日本神経化学学会大会	WEB開催	2020/9/10	大阪大学	④-c	R2
358	南翔太、西田圭一郎、吉村匡史、木下利彦、加藤正樹	神経生理学的有向性コヒーレント(Isolated effective coherence: iCoh)を用いたうつ病における症状別の抗うつ薬治療反応予測	第50回日本臨床神経生理学会学術大会	WEB開催	2020/11/27	関西医大	④-d	R2
359	佃万里、池田俊一郎、上田紗津貴、南翔太、桂功士、山根倫也、北浦祐一、西田圭一郎、吉村匡史、木下利彦	神経性やせ症における定量脳波解析の検討	第50回日本臨床神経生理学会学術大会	WEB開催	2020/11/27	関西医大	④-d	R2
360	中島寿宏、山崎稔英、上木一也、竹内淳一、河本岳哉、梅村拓未、高橋正年	小学校体育における可視化データに基づいた授業カンファレンスシステム構築の取組	日本教育工学会2020年秋季大会	WEB開催	2020/9/13	北海道教育大学	⑤-b	R2
361	Masatoshi Takahashi, Toshihiro Nakajima, Junya Takase, Takeya Kawamoto, Takumi Umemura, Isao Kambayashi	Learning Effects of Verbal Communication in Physical Education Classes-Through analysis of athletics sprint-	The 2020 Yokohama Sport Conference	WEB開催	2020/9/8-22	北海道教育大学	⑤-b	R2
362	Toshihiro Nakajima, Nobuhiro Ishizawa, Junya Takase, Masatoshi Takahashi, Takeya Kawamoto, Takumi Umemura, Isao Kambayashi	Effects of Visualized Communication Data on Improvement of Physical Education Classes using Wearable Sensing Devices	The 2020 Yokohama Sport Conference	WEB開催	2020/9/8-12	北海道教育大学	⑤-b	R2
363	中島寿宏・河本岳哉・高村克徳	可視化データのフィードバックによる 授業・学級経営改善への実践的取組	令和2年度日本教育大学協会研究集会	WEB開催	2020/10/10-16	北海道教育大学	⑤-b	R2
364	中島寿宏、河本岳哉、梅村拓未、合田徳夫、八木健	小学校における可視化データによる授業改善カンファレンスシステム開発の取組ービジネス顕微鏡によるGene Matched Networkモデルの活用からー	第3回COI学術交流会	WEB開催	2020/7/2	北海道教育大学	⑤-b	R2

365	HuanWen Han, Norhayati B.Sabani, Naofumi Okamoto, Masakazu Nakamura, Ichiro Yamashita	Aptamer modified protein adsorption measured by EIS	The Third International Workshop by the 174th Committee JSPS on Symbiosis of Biology and Nanodevices	Nara	2019/6/26	大阪大学	①-a	R3
366	森田幸弘 橋本忠行、神原憲治	心理面接での主観的な体験と客観的指標の関連: ウェアラブルデバイスとビデオ記録による2事例の検討(その1)	日本心身医学会	香川(高松)	2021/7/10	パナソニック	②-a	R3
367	橋本忠行、森田幸弘、神原憲治	心理面接での主観的な体験と客観的指標の関連: ウェアラブルデバイスとビデオ記録による2事例の検討(その2)	日本心身医学会	香川(高松)	2021/7/10	パナソニック	②-a	R3
368	横田哲也、八木健、金子涼輔	視覚野における特異的な神経回路形成とクラスター型プロトカドヘリンとの関係	第44回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター/Hybrid開催	2021/7/28-31	大阪大学	②-b	R3
369	島村 朋弥、八木健、金子涼輔	ブルキンエ細胞と登上線維の結合におけるクラスター型プロトカドヘリンの役割	第44回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター/Hybrid開催	2021/7/28-31	大阪大学	②-b	R3
370	樋口 流音、星野七海、渡辺雅彦、三宅誠、萩原、大須賀智輝、平林真澄、八木健	cdh γ C4はマウスの生存に不可欠であり、50種以上のクラスター型プロトカドヘリン(cPcdh)に多様性を与える唯一のアイソフォームである。	第44回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター/Hybrid開催	2021/7/28-31	大阪大学	②-b	R3
371	星野七海、京卓志、足澤悦子、松田知己、永井健治、八木健	FRETを利用したクラスター型プロトカドヘリンのホモフィリック相互作用可視化	第44回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター/Hybrid開催	2021/7/28-31	大阪大学	②-b	R3
372	千葉清歌、増田光起、恒松大翔、黒沢綾、足立典隆、山本巨彦、八木健、菅生紀之	ヒトiPS細胞由来大脳オルガノイドにおいてDNAポリメラーゼ β 欠損は神経前駆細胞にDNA2本鎖切断を引き起こす	第44回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター/Hybrid開催	2021/7/28-31	大阪大学	②-b	R3
373	広兼 浩二郎、中村 徹、寺下拓真、久保田康夫、Hu Dan、八木健、Graybiel Ann、木津川 尚史	複雑な走行運動中のマウスにおけるリズム情報は、線条体のニューロンによってコードされている。	第44回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター/Hybrid開催	2021/7/28-31	大阪大学	②-b	R3
374	金子涼輔、阿部学、井上由紀子、高鶴裕介、渡辺雅彦、崎村建司、柳川右千夫、八木健	神経細胞識別コードの可視化:クラスター型プロトカドヘリンの発現解析	第44回日本神経科学大会	神戸コンベンションセンター/Hybrid開催	2021/7/28-31	大阪大学	②-b	R3
375	高根慧至、野田祐樹、豊嶋尚美、根津俊一、荒木徹平、植村隆文、関谷毅	自己組織化単分子膜に覆われた単一金ナノワイヤのノイズ特性評価	第76回産研学術講演会、オンライン	オンライン	2020/11/20	大阪大学	③-c	R3
376	高根慧至、野田祐樹、豊嶋尚美、関谷毅	マクロスケールメッシュ構造を有する金ナノワイヤネットワークのひずみ下における導電メカニズム	応用物理学会関西支部2021年度第1回講演会	オンライン	2021/4/23	大阪大学	③-c	R3
377	高根慧至、野田祐樹、豊嶋尚美、関谷毅	マクロなメッシュ構造を有する金ナノワイヤネットワークのひずみ下における導電特性	第19回産総研・産技連LS-BT合同研究発表会	オンライン	2021/5/25	大阪大学	③-c	R3
378	杉山 真弘、植村隆文、近藤雅哉、秋山 実邦子、難波直子、吉本秀輔、野田祐樹、荒木徹平、関谷毅	フレキシブル生体計測センサを用いた心電図の低ノイズ計測	第19回産総研・産技連LS-BT合同研究発表会	オンライン	44341	大阪大学	③-c	R3

379	田口剛輝, 植村隆文, 難波直子, Andreas Petritz, 荒木徹平, 杉山真弘, 関谷毅	生体計測に資する有機トランジスタの紫外光による特性制御	第19回産総研・産技連LS-BT合同研究発表会	オンライン	44341	大阪大学	③-c	R3
380	Koki Taguchi, Takafumi Uemura, Naoko Namba, Andreas Petritz, Teppei Araki, Masahiro Sugiyama, and Tsuyoshi Sekitani	Heterogeneous Chemical Patterns of Polymer Gate Dielectrics in Ultraflexible Organic Transistors	Young Researchers Society for Flexible and Stretchable Electronics	オンライン	2021/6/16	大阪大学	③-c	R3
381	Rei Kawabata, Teppei Aaraki, Mihoko Akiyama, Naoko Kurihira, Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani	Noise Characterization of Organic Transistor Circuit for Light Sensor Array	The 25th SANKEN International Symposium	オンライン	2022/1/7	大阪大学	③-c	R3
382	吉崎亜里香	双方向性スマートフォンアプリ「ねんねナビ」による幼児の睡眠習慣への介入ー社会実装による有用性検討ー	第63回日本小児神経学会学術集会	web開催	2021/5/27-5/29	大阪大学	④-a	R3
383	村田絵美	幼児の睡眠に影響を与える生活習慣の検討	第63回日本小児神経学会学術集会	web開催	2021/5/27-5/29	大阪大学	④-a	R3
384	小山佳久, 小林悠輝, 小林光, 島田昌一	老化に伴うフレイルに対する新規抗酸化剤の有用性の検討~健康寿命延伸を目指して~	第126回日本解剖学会総会・全国学術集会・第98回日本生理学会大会・合同大会	名古屋	2021/3/28	大阪大学	④-c	R3
385	島田理人, 小山佳久, 小林悠輝, 小林光, 島田昌一	新規抗酸化物質を用いた間質性肺炎の新しい治療法	第126回日本解剖学会総会・全国学術集会・第98回日本生理学会大会・合同大会	名古屋	2021/3/28	大阪大学	④-c	R3
386	南翔太, 西田圭一郎, 吉村匡史, 木下利彦, 加藤正樹	抗うつ薬の治療反応予測におけるIsolated effective coherence(iCoh)の可能性	International Joint Meeting 2020 in Kansai	Web開催	2021/2/25-3/1	関西医大	④-d	R3
387	佃万里, 池田俊一郎, 上田紗津貴, 南翔太, 桂功士, 山根倫也, 北浦祐一, 西田圭一郎, 吉村匡史, 木下利彦	神経性やせ症の定量脳波解析における健常人との比較	International Joint Meeting 2020 in Kansai	Web開催	2021/2/25-3/1	関西医大	④-d	R3
388	越川陽介, 西田圭一郎, 吉村匡史, 山根倫也, 石井良平, 木下利彦, 森島陽介	経頭蓋直流刺激がうつ病の認知機能へ与える効果の検討:線形混合モデルを用いた関連因子の探索	International Joint Meeting 2020 in Kansai	Web開催	2021/2/25-3/1	関西医大	④-d	R3
389	桂功士, 西田圭一郎, 池田俊一郎, 森島陽介, 吉村匡史, 北浦祐一, 上田紗津貴, 南翔太, 佃万里, 木下利彦	経頭蓋直流刺激による脳内活動およびネットワークの変化	International Joint Meeting 2020 in Kansai	Web開催	2021/2/25-3/1	関西医大	④-d	R3
390	Ueda S, Tsukuda B, Ikeda S, Yoshimura M, Nishida K, Kitaura Y, Katsura K, Minami S, Kinoshita T	Comparison of EEG connectivity in patients with anorexia nervosa and healthy subjects	International Joint Meeting 2020 in Kansai	Web開催	2021/2/25-3/1	関西医大	④-d	R3
391	越川陽介, 西田圭一郎, 吉村匡史, 山根倫也, 石井良平, 木下利彦, 森島陽介	タスクスイッチ課題の反応時間に経頭蓋直流刺激が与える効果の検討:うつ病患者と健常者の比較から	第17回日本うつ病学会	Web開催	2021/1/25-31	関西医大	④-d	R3

392	武内 智康, 廣澤 徹, 横倉 正倫, 伊東 繁, 高田 洋平, 寺田 達弘, 尾内 康臣	ヒト脳における経頭蓋直流電気刺激によるGABA濃度とドパミン放出の調節: MRSとPETIによる結合研究	第24回日本ヒト脳機能マッピング学会	浜松	2022/2/28-3/1	浜松医科大学	④-d	R3
393	田中早苗, 桑名 亜紀	発達障がいのある人の職場同僚への支援の検討 同僚へのアンケート調査及びインタビューの結果から	日本発達心理学会第32回大会	WEB開催	2021/3-29-3/31	金沢大学	④-e	R3
394	大井 学, 水谷 柳子, 福田 純子, 平谷 美智夫	高機能自閉症スペクトラム障害成人の語用能力	日本発達心理学会第32回大会	WEB開催	2021/3-29-3/31	金沢大学	④-e	R3
395	水谷柳子, 榎館尚武, 田中早苗, 吉村優子, 長谷川千秋, 菊知充, 大井 学	子どもの語用能力評価法「ことばのつかいかたテスト」の判別性能及び認知能力との関連の検討	日本コミュニケーション障害学会第47回学術講演会	新潟市・朱鷺メッセ	2021/7-30-7/31	金沢大学	④-e	R3
396	吉村優子・菊知充	自閉スペクトラム症児における感覚への低反応と言語の概念形成の関連	第62回日本児童青年精神医学会	長崎・Web配信	2021/11/14~12/11	金沢大学	④-e	R3
397	中島寿宏, 山崎稔英, 上木一也, 竹内淳一, 河本岳哉, 梅村拓未, 高橋正年	小学校体育における可視化データに基づいた授業カンファレンスシステム構築の取組	日本教育工学会2020年秋季大会	オンライン	2020/9/13	北海道教育大学	⑤-c	R3
398	八木健, 中島寿宏, 合田徳夫	コミュニケーションの可視化による教育現場の活性化	イノベーション・ジャパン2020~大学見本市~	オンライン	2020/9/28	北海道教育大学	⑤-c	R3
399	Masatoshi Takahashi, Toshihiro Nakajima, Junya Takase, Takeya Kawamoto, Takumi Umemura, Isao Kambayashi	Learning Effects of Verbal Communication in Physical Education Classes-Through analysis of athletics sprint-	The 2020 Yokohama Sport Conference	オンライン	2020/9/8-12	北海道教育大学	⑤-c	R3
400	Toshihiro Nakajima, Nobuhiro Ishizawa, Junya Takase, Masatoshi Takahashi, Takeya Kawamoto, Takumi Umemura, Isao Kambayashi	Effects of Visualized Communication Data on Improvement of Physical Education Classes using Wearable Sensing Devices	The 2020 Yokohama Sport Conference	オンライン	2020/9/8-12	北海道教育大学	⑤-c	R3
401	中島寿宏・河本岳哉・高村克徳	可視化データのフィードバックによる 授業・学級経営改善への実践的取組	令和2年度日本教育大学協会研究集会	オンライン	2020/10/10-16	北海道教育大学	⑤-c	R3
402	河本岳哉, 高瀬淳也, 高橋正年, 村上雅之, 浅野勇, 中島寿宏	小学校体育授業における目標志向性の違いが学習成果に及ぼす影響 -言語的コミュニケーション量及び単元実施後の振り返りに着目して-	日本スポーツ教育学会第41回学会大会	オンライン	2021/10/29-11/08	北海道教育大学	⑤-c	R3
403	谷村 百和子, 谷川 千尋, 林在娟, 山城 隆	口唇口蓋裂を有する混合歯列期患者の口腔内模型を用いた、外科的矯正治療の要否予測システムの開発。	第80回日本矯正歯科学会学術大会 & 第5回国際会議	横浜	2021/11/3-5	大阪大学	R1WD07	R3
404	岡 綾香, 谷川 千尋, 山城 隆	口唇口蓋裂患児における顔の見た目の差異に関連するスティグマの経験 日本語版YQOL-FD調査票を用いて	第80回日本矯正歯科学会学術大会 & 第5回国際会議	横浜	2021/11/3-5	大阪大学	R1WD07	R3
405	中津川 昂平, 谷川 千尋, 松下 文香, 伊藤 慎将, 山城 隆	2次元と3次元シミュレーションの手術計画方法の違いが顎矯正手術の治療結果に与える影響	第80回日本矯正歯科学会学術大会 & 第5回国際会議	横浜	2021/11/3-5	大阪大学	R1WD07	R3
406	山本 沙優里, 谷川 千尋, 山城 隆	日本人の三次元顔額面硬組織形態における性差について解析多変量解析を行った報告	第80回日本矯正歯科学会学術大会 & 第5回国際会議	横浜	2021/11/3-5	大阪大学	R1WD07	R3

407	中村 美有紀, 谷川 千尋, 谷 村 百和子, 山 城 隆	上顎右側中切歯および第一大臼歯における歯 冠形態の性差 幾何学的形態測定法を用いて	第80回日本矯正歯科学会学術 大会 & 第5回国際会議	横浜	2021/11/3- 5	大阪大学	R1WD07	R3
408	元岡 大祐	腸内細菌叢・真菌叢の変化と健康の関連性につ いて	第4回 COI 学術交流会	オンライン	2022/2/6-7	大阪大学	R3W02	R3
409	駒米愛子、辻 知陽、田中早 苗	「アートワークショップの効果検証:発達障がい 児におけるコミュニケーション能力を活かした芸 術活動の療育としての効果実証と効果実証方法 の確立」	第4回COI学術交流会	Web開催	2022/2/6- 2/7	東京藝術大学、金 沢大学	R1WD18	R3
410	アン・キョンミン	自閉スペクトラム症の脳内コミュニケーションの 解明を目指した日韓英国際共同研究	第4回COI学術交流会	Web開催	2022/2/6- 2/7	金沢大学	R02WD01	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核: 大阪大学)

⑫-3 発表(招待講演)

No	発表者	タイトル	学会名等	場所	年月日	発表機関 (参画機関のみ)	備考 (課題番号等)	年度
1	古賀 大尚, 能木 雅也, 菅沼 克昭	ナノセルロースを基板に用いた銀ナノワイヤ透明導電膜の調製と応用	化学工学会第79年会	岐阜大学	2014/3/19	大阪大学	③-c	H25
2	能木 雅也	セルロースナノファイバーの電子デバイスへの応用	Nanocellulose Symposium 2014・第250回生存圏シンポジウム	京都テルサ, 京都	2014/3/25	大阪大学	③-c	H25
3	能木 雅也	プリンテッドペーパーエレクトロニクス	サーキットネットワーク定期講演会	東京	2014/3/24	大阪大学	③-c	H25
4	春野雅彦	社会行動と意識	第18回実験社会科学カンファレンス (2014 招待講演)	岐阜聖徳学園大学	2014/12/14	NICT・CiNet	②-a	H26
5	菊知 充	自閉症スペクトラム障害の脳の特徴	金沢百万石ロータリークラブ	ホテル日航金沢(金沢市)	2014/4/24	金沢大学	⑥	H26
6	菊知 充	Neuroimaging for brain development in young children	第4回 賀戸久先生記念研究会	TOKYU REIT 虎ノ門ビル(東京)	2014/11/7	金沢大学	⑥	H26
7	山末英典	Neural and behavioral effects of oxytocin on autistic difficulty in social communication.	Satellite meeting "Oxytocin - Mechanistic Insights and Therapeutic Perspectives" NEMO (Neuromodulation of Emotion) Research Group Division of Medical Psychology and Department of Psychiatry University of Bonn	Berlin, Germany	2014/11/27	東京大学	⑥	H26
8	山末英典	対人コミュニケーションの障害の治療薬開発への脳画像解析の応用	第20回東京臨床脳画像解析研究会	東京	2014/11/22	東京大学	⑥	H26
9	高橋秀俊	思春期のこころと病	思春期精神保健セミナー	郡山市労働福祉会館, 福島県郡山市	2014/10/6	国立精神・神経医療研究センター	⑥	H26
10	Y. Nagai	Predictive Learning as a Key for Cognitive Development	International Workshop on Cognitive Neuroscience Robotics	Osaka University	2014/12/8-10	大阪大学	⑥	H26
11	Y. Nagai	An Interaction-Based Development of Human-Robot Joint Attention and Self/Other Cognition	International Conference: Going Beyond the Laboratory - Ethical and Societal Challenges for Robotics	Delmenhorst, Germany	2014/2/13-15	大阪大学	⑥	H26
12	長井志江	ロボティクスから探る乳幼児の社会性認知発達	「認知的インタラクションデザイン」公開講演会	京都工芸繊維大学, 2014年12月	2014/12/5	大阪大学	⑥	H26
13	長井志江	予測学習を基盤とした乳幼児の認知発達: 構成的アプローチからの提言	第14回Kフォーラム「ざっくばらん」フォーラム3, 公益財団法人栢森情報科学振興財団	ホテルアソシア高山リゾート(岐阜県高山市)	2014/8/7-9	大阪大学	⑥	H26
14	山崎聖司	私たちの身近な細菌~抗生物質が効かない菌って?~	大阪府立茨木高等学校 卒業生講座	大阪	2015/7/11	大阪大学	①-c	H27
15	西野邦彦	細菌の抗菌薬排出機構と阻害剤の開発	アカデミア発の抗感染症薬開発の可能性、第62回日本化学療法学会東日本支部総会第64回日本感染症学会東日本地方会学術集会 合同学会	札幌	2015/10/23	大阪大学	①-c	H27
16	西野邦彦	細菌の多剤排出機構と新規治療戦略	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業、大阪薬科大学公開シンポジウム	大阪	2015/12/5	大阪大学	①-c	H27
17	西野邦彦	細菌異物排出トランスポーターの機能を探る	第10回日本ゲノム微生物学会年会	東京	2016/3/5	大阪大学	①-c	H27
18	Shohei Shimizu	Non-Gaussian methods for causal discovery	International Workshop on Causal Inference	Tokyo	2016/1/7	大阪大学	②-a	H27
19	Shohei Shimizu	Statistical estimation of causal directions based on observational data	The 3rd CiNet Conference - Neural Mechanism of Decision Making: Achievements and New Directions	Osaka	2016/2/5	大阪大学	②-a	H27
20	清水昌平	因果探索: 基本から最近の発展までを概説	第23回情報論的学習理論と機械学習研究会 (IBISML)	統計数理研究所 東京	2016/3/17	大阪大学	②-a	H27

21	Shohei Shimizu	Non-Gaussian structural equation models for causal discovery	2016 Probabilistic Graphical Model Workshop: Sparsity, Structure and High-dimensionality	Tokyo	2016/3/23	大阪大学	②-a	H27
22	八木 健	Genetic cords for complex neural networks in the brain	RIKEN Kobe 動物実験従事者定期研修会	理化学研究所多細胞システム形成研究センター(兵庫県)	2015/11/19	大阪大学	②-b	H27
23	八木 健	Genetic bases for generating the complex neural networks in the brain	共同研究拠点国際シンポジウム「意識を必要とする脳機能の神経メカニズム」	新潟大学脳研究所(新潟県)	2015/7/25	大阪大学	②-b	H27
24	八木 健	クラスター型プロトカドヘリン:複雑なニューラルネットワークへの挑戦	第2回包括的神経グリア研究会	オースブラザ(愛知県)	2015/1/10-11	大阪大学	②-b	H27
25	Hiroataka KOGA	Paper Electronics for All Paper-Based Displays	IDW' 15	Otsu, Japan, December 9-11, (2015)	2015/12/9-11	大阪大学	③-c	H27
26	菅沼克昭、菅原徹、酒金テイ、横井絵美、長尾至成、能木雅也、古賀大尚	ナノワイヤの合成とフレキシブル・デバイスへの応用	化学工学 第47回秋季大会	札幌	2015/9/9-11	大阪大学	③-c	H27
27	Hiroataka KOGA, Masaya NOGI	Structural and Material Design of Cellulose Paper Composites	The 5th International Conference on Bio-based Polymers (ICBP2015)	Singapore, June 24-27, 2015	2015/6/24-27	大阪大学	③-c	H27
28	Shima Okada	Noncontact Sleep Measurement Using Radio-Frequency Sensor	u-Healthcare2015	近畿大学	2015/11/30-12/2	近畿大学	⑤-a	H27
29	永井健治	街路樹を照明灯に！遺伝子組み換え植物の可能性	市民参加シンポジウム「未来を拓く植物バイオのチカラ」	大阪富国生命ビル4F(大阪市)	2015/3/28	大阪大学	⑤-c	H27
30	Takeharu NAGAI	Revolutionary bioimaging with bright luminescent proteins -Comparing pros and cons of fluorescence and luminescence-	The 1st Infectious Disease Imaging Symposium -Basics and Applications-	Nagasaki University, Japan	2015/6/4	大阪大学	⑤-c	H27
31	永井健治	高光度発光タンパク質を利用したバイオイメージング	第10回日本ケミカルバイオロジー学会	東北大学	2015/6/11	大阪大学	⑤-c	H27
32	永井健治	蛍光・化学発光によるバイオイメージングの現状と展望	2015年先端光学化学若手研究会	早稲田大学	2015/6/14	大阪大学	⑤-c	H27
33	Takeharu NAGAI	Revolutionary bioimaging with bright luminescent proteins.	The 3rd China-Japan Nanomedicine Symposium	Institute of Basic Medical Sciences Chinese Academy of Medical Science & Peking Union Medical College, Beijing, China	2015/6/19	大阪大学	⑤-c	H27
34	永井健治	蛍光から発光へ:バイオイメージングの新潮流	BioMecForum 第77回研究会	大阪大学	2015/7/4	大阪大学	⑤-c	H27
35	永井健治	光る植物で明るい未来！?	市民参加シンポジウム「未来を拓く植物バイオのチカラ」	大阪富国生命ビル4F(大阪市)	2015/8/29	大阪大学	⑤-c	H27
36	永井健治	生物発光が拓く未来社会	生物物理学会 市民講座	金沢大学	2015/9/12	大阪大学	⑤-c	H27
37	永井健治	生物発光が拓く未来社会	バイオイメージング学会市民講座	東京理科大学	2015/9/26	大阪大学	⑤-c	H27
38	菊知充	MEG研究から見てきた発達障害の多様性	富山県精神科医学会学術講演会	富山	2015/10/23	金沢大学	⑥-a	H27
39	下内章人	呼気分析の現状と将来的展望	リサーチコンプレックス・分子イメージングセミナー	理化学研究所(神戸)	2016/6/3	中部大学	①-a	H28
40	下内章人	呼気ガス診断の過去・現在と未来への展開	第17回 アロマ・サイエンス・フォーラム 2016	アルカディア市ヶ谷	2016/10/13	中部大学	①-a	H28
41	Kunihiko Nishino	Function and regulation of bacterial multidrug efflux pumps.	Symposium on Combatting Antimicrobial Resistance.	University of Hong Kong	2016/4/13	大阪大学	①-b	H28
42	西野邦彦	細菌の機能を制御する新手法の開発	産研ざっくばらんトーク	梅田富国生命ビル	2016/4/28	大阪大学	①-b	H28
43	西野邦彦	病気と健康と細菌	産研テクノサロン	梅田富国生命ビル	2016/5/13	大阪大学	①-b	H28

44	Kunihiko Nishino	Regulation and Function of Bacterial Multidrug Efflux Systems.	Seminar at INRA	Tours, France	2016/6/10	大阪大学	①-b	H28
45	Kunihiko Nishino	Regulation and Function of Bacterial Multidrug Efflux Systems	Seminar at Tohoku University	Sendai	2016/7/19	大阪大学	①-b	H28
46	Kunihiko Nishino	Improvement of bacterial flora.	2016知能自動化訪日団 セミナー	大阪大学	2016/11/29	大阪大学	①-b	H28
47	Kunihiko Nishino	Improvement of Gut Flora to Activate Human Power.	1st Osaka University COI International Conference	Osaka	2016/12/13	大阪大学	①-b	H28
48	山崎聖司、中島良介、櫻井啓介、林克彦、井上雄太、樋口雄介、加藤修雄、山口明人、西野邦彦	耐性菌異物排出ポンプに着目した新規治療薬の開発	第64回日本化学療法学会総会	2016/6/9-11	2016/6/9-11	大阪大学	①-b	H28
49	苧阪満里子	ものわずれのメカニズム こころのメモ帳:ワーキングメモリ	Handai-Asahi 中之島塾	大阪大学中之島センター	2016/6/4	NICT・CiNet	②-a	H28
50	苧阪満里子	ワーキングメモリとその脳内機構	第21回中部老年期認知症研究会	愛知芸術文化センター, 名古屋	2016/11/26	NICT・CiNet	②-a	H28
51	苧阪満里子	記憶と脳内基盤:ワーキングメモリとその脳内機構	応用脳科学コンソーシアム 応用脳科学R&D研究会 第3回CiNet脳情報研究ワークショップ	AP品川アネックス, 港区, 東京	2016/12/6	NICT・CiNet	②-a	H28
52	成瀬康	ヒューマンインタフェースと脳科学の行方	IEEEプレスセミナー	大手町ファーストスクエアカンファレンス	2016/5/25	NICT・CiNet	②-a	H28
53	成瀬康	応用脳科学の可能性の探求	第23回日本義肢装具士協会学術大会	神戸国際会議場	2016/9/17	NICT・CiNet	②-a	H28
54	Shimizu, S.	A non-Gaussian model for causal discovery in the presence of hidden common causes.	Munich Workshop on Causal Inference and Information Theory 2016	Munich, Germany	2016/5/23	大阪大学	②-a	H28
55	Shimizu, S.	A non-Gaussian approach for causal structure learning in the presence of hidden common causes.	CRM Workshop: Statistical Causal Inference and its Applications to Genetics	Montreal, Canada	2016/7/25	大阪大学	②-a	H28
56	Yagi T.	Gene codes for generating the complex neural system in the brain.	FBI Translational Seminar Series	New York USA	2016/6/16	大阪大学	②-b	H28
57	Yagi T.	Gene codes for generating the complex neural networks in the brain.	第39回日本神経科学大会	神奈川	2016/7/20-22	大阪大学	②-b	H28
58	Yagi T.	Gene codes for generating the complex neural networks in the brain.	サテライトシンポジウム	東京	2016/7/25-26	大阪大学	②-b	H28
59	八木 健	脳における複雑なニューラルネットワーク形成メカニズム	行動遺伝学研究会	静岡	2016/10/13	大阪大学	②-b	H28
60	Yagi T.	Gene codes for generating the complex neural networks in the brain-neural individuality and network formation by clustered protocadherins.	Cell & Molecular Biology Graduate Program, University of Hawaii	Honolulu, USA	2016/11/18	大阪大学	②-b	H28
61	大城敬人	ナノポア1分子解析:1分子科学の新潮流	第76回分析討論会	岐阜大学, May 28, 2016.	2016/5/28	大阪大学	③-a	H28
62	K. Suganuma, M. Nogi, H. Koga, J. Jiu, T. Sugahara	Nano-ink development for wearable printed electronics	International Conference on Radiation Curing in Asia	Tokyo	2016/10/24-27	大阪大学	③-c	H28
63	古賀大尚	セルロースナノファイバーでつくる最先端機能紙	日本化学会 R&D懇話会187回	東京	2016/6/3	大阪大学	③-c	H28
64	古賀大尚	紙のリノベーションに向けて	セルロース学会 第21回マイクロシンポジウム	京都	2016/11/16	大阪大学	③-c	H28

65	Tepei Araki, Shusuke Yoshimoto, Takafumi Uemura, Masaya Kondo, Tsuyoshi Sekitani	High Stability of Silver Nanowire Based Electrodes for Bio-Sensors	ICEP 2016, TB2 Printed Electronics-2, TB2-2	Sapporo, Hokkaido	2016/4/21	大阪大学	③-c	H28
66	Tepei Araki	Long-Term Implantable and Flexible Transparent Electrodes for Neural Interface	Monitoring with Wireless Recording System, Friday Lunch Seminar, June 2016	CiNet	2016/6/17	大阪大学	③-c	H28
67	荒木徹平	ストレッチャブル配線技術とヘルスケアへの応用	ストレッチャブル配線技術とデバイスへの応用	日本テクノセンター 新宿	2016/8/24	大阪大学	③-c	H28
68	吉本秀輔, 荒木徹平, 植村隆文, 根津俊一, 近藤雅哉, 笹井謙一, 岩瀬雅之, 佐竹秀樹, 吉田暁生, 菊知充, 関谷毅	生体適合性柔軟伸縮電極ゲルシートを有するパッチ式脳波センサ技術とその応用	信学技報(電子情報通信学会技術研究報告, IEICE Technical Report), 116(172), 63	中央電気倶楽部	2016/8/2	大阪大学	③-c	H28
69	植村隆文, 荒木徹平, 吉本秀輔, 関谷毅	フレキシブルデバイスを用いた生体信号計測センサ	産業技術総合研究所・センシング技術コンソーシアム 第16回ワークショップ・講演会	産業技術総合研究所・関西センター	2016/11	大阪大学	③-c	H28
70	吉本秀輔	異分野連携によるフレキシブルセンサの開発と応用	信学技報 Vol. 116, No. 364, ICD2016-55, 25-28	集積回路研究会 東京	2016/12/15	大阪大学	③-c	H28
71	Takafumi Uemura, Tepei Araki, Shusuke Yoshimoto, Tsuyoshi Sekitani,	Wearable and Implantable Bio-Signal Monitoring Systems	The 16th International Meeting on Information Display, IMID 2016, Aug. 2016	Jeju, Korea	2016/8/24	大阪大学	③-c	H28
72	Takafumi Uemura	Patterned Top-Contact Fabrication for Short-Channel Organic Transistors	The 16th International Meeting on Information Display, IMID 2016, Aug. 2016	Jeju, Korea	2016/8/23-26	大阪大学	③-c	H28
73	Tepei Araki, Shusuke Yoshimoto, Yuki Noda, Hiroki Ota, Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani	Ultraflexible and Stretchable Electronics for Wireless Bio-Signal Monitoring Systems	The 20th SANKEN International - The 15th SANKEN Nanotechnology Symposium - 4th KANSAI Nanoscience and Nanotechnology - 12th Handai Nanoscience and Nanotechnology International Symposium - Molecular Technology Frontiers towards IoT World", Dec. 2016	Osaka	2016/12/13	大阪大学	③-c	H28
74	Shusuke Yoshimoto, Tepei Araki, Takafumi Uemura, and Tsuyoshi Sekitani	Wearable and Implantable Bio-Signal Monitoring Systems	2016 Workshop on Innovative Nanoscale Devices and Systems (WINDS)	Hawaii, USA	2016/12/4-9	大阪大学	③-c	H28
75	谷池雅子	発達障がいと睡眠	明日の発達障がい臨床を考える会	福井	2016/5/18	大阪大学	④-a	H28
76	谷池雅子	小児OSA診断の課題	簡易SAS診断研究会	名古屋	2016/5/28	大阪大学	④-a	H28
77	谷池雅子	発達障害と睡眠	南大阪発達障がいを考える会	堺	2016/6/9	大阪大学	④-a	H28
78	谷池雅子	北摂地域の発達障害治療の現状	第3回北摂子どもの発達懇話会	大阪	2016/5/29	大阪大学	④-a	H28
79	谷池雅子	小児睡眠時無呼吸吸症候群:現状と課題	Dream-Heartカンファレンス	福岡	2016/7/23	大阪大学	④-a	H28
80	谷池雅子	日常診療における発達障害	第847回 松本市医師会生涯教育講座	松本	2016/10/13	大阪大学	④-a	H28
81	毛利育子	発達障害と睡眠	発達障害セミナー in WAKAYAMA	和歌山	2016/5/21	大阪大学	④-a	H28
82	毛利育子	知っておきたい就学前の子どもの発達と睡眠	第9回 豊田加茂地域母子保険事業研究会	豊田	2016/9/10	大阪大学	④-a	H28

83	毛利育子	発達障害外来でみる睡眠	子どものADHDセミナー	前橋	2016/10/6	大阪大学	④-a	H28
84	加藤隆史	OSASと歯科疾患	第24回日本PSG研究会全国大会	大阪	2016/11/20	大阪大学	④-a	H28
85	加藤隆史	口腔生理学と睡眠	第10回三叉神経領域の感覚-運動統合機構研究会	佐久平, 長野	2016/11/26	大阪大学	④-a	H28
86	岡田志麻, 塩澤成弘	日常生活における生体情報の非接触無拘束計測手法	電気電子情報通信学会	大阪	2016/11/5	近畿大学	④-a	H28
87	Hikaru Kobayashi	High efficiency crystalline Si solar cells fabricated with new chemical technologies and Si nanopowder for hydrogen generation and photoluminescence.	Solid State Surfaces and Underface 2016 (SSSI 2016)	Piestany, Slovakia	2016/11/21-24	大阪大学	④-c	H28
88	小林光	社会を変えるシリコン: 太陽電池から医薬応用まで	産研テクノサロン	大阪	2016/5/13	大阪大学	④-c	H28
89	菊知充	幼児脳機能研究から見てきた発達障害の多様性	大塚製薬株式会社学術講演会	金沢都ホテル	2016/8/5	金沢大学	④-e	H28
90	山末英典	自閉症へのオキシトシン治療の可能性	第5回社会神経科学研究会	青山	2016/12/18	浜松医大	④-e	H28
91	山末英典	対人交渉の困難さの治療薬開発～アタッチメントホルモン“オキシトシン”の治療応用～	第26回静岡県こどもの精神保健フォーラム	沼津	2016/11/27	浜松医大	④-e	H28
92	山末英典	オキシトシンと社会的コミュニケーションの障害	第5回社会神経科学研究会	生理研, 岡崎	2016/11/24	浜松医大	④-e	H28
93	山末英典	オキシトシンと社会行動の障害	第50回日本小児内分泌学会イブニングセミナー	東京	2016/11/16	浜松医大	④-e	H28
94	山末英典	マルチモダリティfMRIを応用した社会性の障害の病態解明とオキシトシン治療の開発	静岡県東部精神科医学会学術講演会	沼津	2016/11/15	浜松医大	④-e	H28
95	山末英典	オキシトシン経鼻剤による社会的コミュニケーションの障害の治療法開発	第135回日本薬理学会関東部会シンポジウム2	浜松	2016/10/8	浜松医大	④-e	H28
96	山末英典	自閉スペクトラム症の脳画像研究からわかること	第9回発達障害精神医療研修	精神保健研究所, 東京	2016/9/16	浜松医大	④-e	H28
97	Hidenori Yamasue	An application of neuroimaging to satisfy unmet medical needs associated with autism spectrum disorders	JSBN-RIEMS joint Symposium “International educational symposium of prosocial behavior”, 25th JSBN	Atami, Shizuoka	2016/9/14	浜松医大	④-e	H28
98	山末英典	オキシトシンと社会的コミュニケーションの障害	東京大学医学部附属病院腎臓内分泌内科セミナー	東京	2016/9/6	浜松医大	④-e	H28
99	山末英典	オキシトシン治療開発における脳画像解析の応用-Endophenotype-associated Surrogate Endpoint (EASE)の提案-	第8回御茶ノ水Neuroimaging Conference	東京	2016/8/27	浜松医大	④-e	H28
100	山末英典	画像解析による精神症状の病態解明と新たな治療法の開発	静岡県中部精神科医学会学術講演会	静岡	2016/7/21	浜松医大	④-e	H28
101	山末英典	遺伝子情報による自閉スペクトラム症に対するオキシトシン投与効果の予測	神経科学学会との合同シンポジウム: 脳科学から見た自閉スペクトラム症 第46回日本神経精神薬理学会年会	ソウル, 韓国	2016/7/2	浜松医大	④-e	H28
102	山末英典	社会的コミュニケーションの障害の脳画像研究から新たな治療法の開発へ	第9回新潟こころの発達医学セミナー	新潟	2016/6/11	浜松医大	④-e	H28
103	Hidenori Yamasue	Predictability Of Oxytocin's Efficacy With Genotype Information In Autism Spectrum Disorders	SOBP's 71st Annual Meeting	Atlanta, USA	2016/5/12	浜松医大	④-e	H28
104	山末英典	社会的コミュニケーションの障害の脳画像研究から新たな治療法の開発へ		TRI, 神戸	2016/4/6	浜松医大	④-e	H28
105	高橋秀俊	発達障害への治療	第112回日本精神神経学会学術総会	千葉	2016/6/3	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28

106	軍司敦子,竹市博臣,慶永成人,高橋秀俊,金子裕,飛松省三,稲垣真澄	ヒト聴取時の感覚運動野における脳磁場反応	第31回日本生体磁気学会大会	金沢	2016/6/10	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
107	高橋秀俊,軍司敦子,金子裕,慶永成人,萩原綱,稲垣真澄,飛松省三,花川隆,神尾陽子	自閉症スペクトラム児の聴覚誘発脳磁界反応について	第31回日本生体磁気学会大会	金沢	2016/6/10	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
108	高橋秀俊,神尾陽子	児童・思春期の情緒・行動の問題と聴覚性驚愕反応について	2016年 医療心理懇話会	東京	2016/11/2	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
109	高橋秀俊,宮口孝治,上野佳奈子,片岡聡,神尾陽子	自閉スペクトラム症の感覚処理の社会機能への影響-音環境を中心とした多領域からの支援にむけて	日本LD学会第25回大会	横浜	2016/11/20	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
110	高橋秀俊	青年,成人の発達障害の診療	第29回日本総合病院精神医学会総会	東京	2016/11/25	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H28
111	Minoru Asada	Infant-caregiver interaction is essential for early vocal development.	4th joint meeting of the acoustical society of America and the Acoustical Society of Japan. 11月28日	Shearaton Waikiki Hotel (Hawaii, USA)	2016/11/28	大阪大学	④-e	H28
112	浅田稔	神経ダイナミクスから社会的相互作用に至る構成的発達科学の挑戦	第三回「細胞構成領域」の成果報告会	東京大学	2016/11/1	大阪大学	④-e	H28
113	浅田稔	AI・ロボットの未来に向けて:神経ダイナミクスから社会的相互作用に至る過程の理解と構築に基づく構成的発達科学	FANシンポジウム	大阪大学	2016/10/27	大阪大学	④-e	H28
114	浅田稔	マイクロダイナミクスから社会的相互作用に至る過程の理解と構築に基づく未来AI・ロボット	NEDO人工分子筋肉プロジェクトキックオフ大会	タワーホール船堀小ホール(東京)	2016/10/26	大阪大学	④-e	H28
115	Minoru Asada	Towards Constructive Developmental Science: from neural dynamics to social interaction.	Robotics in the 21st century: Challenges and Promises.	Landhotel Am Rothenberg (Uslar, Germany)	2016/9/25	大阪大学	④-e	H28
116	Minoru Asada	Cognitive Developmental Robotics	New Scientist Live	ExCel (London, UK)	2016/9/24	大阪大学	④-e	H28
117	Minoru Asada	RoboCup and Humanoid/ Andoroids Science Minoru Asada/Hiroshi Ishiguro	New Scientist Live	ExCel (London, UK)	2016/9/23	大阪大学	④-e	H28
118	Minoru Asada	Child-like physical body implementation.	Workshop in ICDL-EpiRob2016	Cergy-Pointoise (France)	2016/9/19	大阪大学	④-e	H28
119	Minoru Asada	構成的発達科学	第34回日本ロボット学会学術集会。「確率ロボティクスとデータ工学ロボティクス」	山形大学	2016/9/9	大阪大学	④-e	H28
120	Minoru Asada	Artificial Empathy	ICP 2016 31st International Congress of Psychology	パシフィコ横浜	2016/7/25	大阪大学	④-e	H28
121	Minoru Asada	Empathy and Social Communication.	International Symposium on Brain and Social Mind: The Origin of Empathy and Morality.	パシフィコ横浜	2016/7/23	大阪大学	④-e	H28
122	Minoru Asada	Cognitive Development	Summer School on interdisciplinary robotics research	Cefalu Sicily (Italy)	2016/7/10	大阪大学	④-e	H28
123	Minoru Asada	認知発達ロボティクスの挑戦:ロボットのココロの創成	おもろい脳科学. 6月18日	ナレッジキャピタルコンベンションセンター(大阪府大阪市)	2016/6/18	大阪大学	④-e	H28
124	Minoru Asada	Toward Constructive Developmental Science - Understanding the Process from Neuro-Dynamics to Social Interaction -	第31回 日本生体磁気学会大会	金沢市文化ホール	2016/6/10	大阪大学	④-e	H28
125	Minoru Asada	人工共感の設計:サービスのポイントは相手への思いやり	サービスロボット開発技術展	インテックス大阪	2016/5/27	大阪大学	④-e	H28
126	Minoru Asada	Future AI by Cognitive Developmental Robotics	NEDO/AIRC次世代人工知能国際シンポジウム(大川賞受賞講演会)	東京タイム24ビル	2016/3/3	大阪大学	④-e	H28

127	上原弦	SQUIDを用いた生体磁気計測	第40回日本磁気学会学術講演会	金沢	2016/9/7	金沢工業大学	④-e	H28
128	Gen Uehara	Low Tc SQUID-based MEGs and MSGs developed at KIT	The 20th International Conference on Biomagnetism	Coex, Souel, Korea	2016/10/2-6	金沢工業大学	④-e	H28
129	Gen Uehara	Application of SQUID sensor for biomagnetism	The 3rd Annual Meeting of the CUHK-PKU-UST Joint Research Center for Language and Human Complexity and a Joint International MEG Workshop	Taipei	2016/10/11	金沢工業大学	④-e	H28
130	D.Oyama	Sensing System for Magnetic Resonance Signal at Ultra-low Magnetic Field	International Workshop on Magnetic Bio-Sensing	Fukuoka	2016/10/12-14	金沢工業大学	④-e	H28
131	芋阪満里子	ワーキングメモリと注意制御の脳内機構	新化学技術推進協会 第3回脳科学WG講演会	大阪府吹田市 CiNet	2017/4/20	NICT・CiNet	②-a	H29
132	春野雅彦	ヒトの社会性を実現する大脳皮質と皮質下のインタラクション	次世代脳シンポジウム	東京一橋大学一橋講堂	2017/12/21	NICT・CiNet	②-a	H29
133	春野雅彦	社会的な意思決定の神経科学	応用脳科学アカデミー	東京フテラスコモン(御茶ノ水)	2017/10/30	NICT・CiNet	②-a	H29
134	春野雅彦	ストレスとヒトの社会性	32回大脳基底核研究会 招待講演 愛知 第32回日本大脳基底核研究会(JBAGS2017)	三河湾リゾートリノクス(愛知県西尾市吉良町)	2017/7/1	NICT・CiNet	②-a	H29
135	Yuki Kobayashi	Hydrogen generation from Si nanopowder and its application for medicine,	14th International Conference of Computational Methods in Science and Engineering (ICCMSE-2018)	The Met Hotel, Thessaloniki, Greece	2018/3/16	大阪大学	④-c	H29
136	Hikaru Kobayashi	Surface characteristics of Si nanopowder and its application	Progress in Applied Surface, Interface and Thin Film Science 2017 (SURFINT-SREN V)	Auditorium al Duomo, Florence, Italy, Nov. 20-23 (2017)	2017/11/20	大阪大学	④-c	H29
137	Yuki Kobayashi	Si nanopowder for internal hydrogen generation materials	6th International Symposium on Advanced Ceramics and Technology for Sustainable Energy Applications toward a Low Carbon Society (ACTSEA 2017)	Garden Villa, Kaohsiung, Taiwan, Oct. 31-Nov. 3 (2017).	2017/10/31-11/3	大阪大学	④-c	H29
138	Hikaru Kobayashi	Si nanopowder for internal hydrogen generation materials	9th World Congress on Materials Science and Engineering	Holiday Inn Rome Aurelia, Roma, Italy	2017/6/12-14	大阪大学	④-c	H29
139	Yuki Kobayashi	Hydrogen generation by reaction of Si nanopowder with neutral water and medical application	Progress in Applied Surface, Interface and Thin Film Science 2017 (SurFint2017),	Auditorium al Duomo, Florence, Italy	2017/11/20-23	大阪大学	④-c	H29
140	菊知充	脳機能から見た発達障害	石川県女性教員研修会	金沢	2017/5/13	金沢大学	④-e	H29
141	吉村優子	障害のある子の言語とコミュニケーション	平成29年度初任者研修	石川県教員総合研修センター	2017/7/13	金沢大学	④-e	H29
142	齋藤大輔	脳が育つ生活づくりを考える	静岡子どもの未来はDOHKA!	静岡	2017/7/15	金沢大学	④-e	H29
143	池田尊司	受け手に適した情報の送り方を認知神経科学的に考える	STS Network Japan 夏の学校 2017	長野県 大町温泉郷	2017/9/14	金沢大学	④-e	H29
144	菊知充	tDCS がメンタルローテーション能力に及ぼす影響	第47回日本臨床神経生理学会学術大会(横浜) 2017.11.29	神奈川県 バンフィコ横浜(みなとみらい)	2017/11/29	金沢大学	④-e	H29
145	菊知充	自閉スペクトラム症のMEG 研究	第47回日本臨床神経生理学会学術大会・第29回 小児脳機能研究会	神奈川県 バンフィコ横浜(みなとみらい)	2017/11/29	金沢大学	④-e	H29
146	菊知充	最近の脳機能研究からみた自閉症幼児期における認知特性	第23回SST全国経験交流ワークショップ	石川県地場産業振興センター	2017/7/15	金沢大学	④-e	H29
147	菊知充	子供の脳と心の発達	金沢市生涯学習課 家庭教育セミナー	金沢	2017/7/29	金沢大学	④-e	H29
148	菊知充	Challenge to the brain functional measurement during parent-child interaction	第5回INCF日本ノード国際ワークショップ Advances in euroinformatics(AINI) 2017	埼玉 理化学研究所大河内記念ホール	2017/11/21	金沢大学	④-e	H29

149	菊知充	Atypical development of the central auditory system in young children with Autism spectrum disorder CCD-KIT MEG Workshop (オーストラリア) 2017.12.5	CCD-KIT MEG Workshop	Macquarie University, Sydney	2017/12/5	金沢大学	④-e	H29
150	谷池雅子	発達からみた子どもの睡眠	日本睡眠学会第42回定期学術集会 2017.6.29 横浜	神奈川県 パシフィコ横浜 (みなとみらい)	2017/6/29	大阪大学	④-a	H29
151	谷池雅子	自閉症スペクトラム障害などの発達障害と診断された小児の周産期の危険因子	第62回日本新生児成育医学学会	埼玉県 ソニックシティ	2017/10/13	大阪大学	④-a	H29
152	谷池雅子	小児の閉塞性睡眠時無呼吸症候群 現状と課題	第35回鹿児島小児在宅ケア・人工呼吸療法研究会	鹿児島	2017/11/8	大阪大学	④-a	H29
153	谷池雅子	子どもの睡眠	脳科学と教育—情動・睡眠に関連して—	兵庫教育大学 神戸ハーバーランドキャンパス会場	2017/8/1	大阪大学	④-a	H29
154	T. Kato	Sleep related bruxism scoring: Electrode placements, Visual scoring and reporting.	14th World Sleep 2017	Plague, Chez Republic	2017/10/8	大阪大学	④-a	H29
155	加藤隆史	睡眠中の顎口腔機能異常の病態生理の解析基盤	第59回歯科基礎医学会学術大会	松本歯科大学	2017/9/16	大阪大学	④-a	H29
156	菊知充	子どもの脳とこころの発達	能美市夏季教職員研修会	能美市立図書館 (能美市) 2017.8.10	2017/8/10	金沢大学	④-e	H29
157	熊崎博一	インターネット依存とロボットへの期待/自閉スペクトラム症の感覚過敏(嗅覚の問題を中心に)	エキスパートによるコラボレーションセミナー「自閉症支援の今」第1回	発達精神医学・心理学研究会セミナールーム	2017/7/15	金沢大学	④-e	H29
158	熊崎博一	発達障害の理解と治療	日本精神科看護協会研修会 発達障害の理解とケア	東京研修会場	2017/10/2	金沢大学	④-e	H29
159	熊崎博一	自閉スペクトラム症診断の問題点と今後の展開	第18回発達懇話会	東京	2017/11/26	金沢大学	④-e	H29
160	熊崎博一	自閉スペクトラム症者へのロボットを用いた介入の未来	有馬高原病院講演会	有馬高原病院	2017/12/3	金沢大学	④-e	H29
161	山崎聖司	創薬ターゲットとしての細菌異物排出ポンプ	第65回日本化学療法学会西日本支部総会 日本化学療法学会西日本支部 支部長賞 受賞講演	長崎ブリックホール	2017/10/27	大阪大学	①-b	H29
162	山崎聖司、井上久美	糞便成分センサーを利用した健康検知トイレの開発	JSTフェア2017 シンポジウム『COI×COI若手連携研究説明会』	東京 ビッグサイト	2017/9/1	大阪大学	①-b	H29
163	山崎聖司	「細菌共存学」の開拓—ヒトと病原細菌・腸内細菌との新たな関係の構築—	第5回アライアンス若手研究交流会	東京工業大学 すずかけ台キャンパス 大学会館	2017/8/22	大阪大学	①-b	H29
164	高橋秀俊	発達障害	第3回CEPD研究会	東京 国立精神・神経医療センター	2017/3/11	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
165	Takahashi H, Gunji A, Kaneko Y, Hironaga N, Hagiwara K, Inagaki M, Tobimatsu S, Hanakawa T, Kamio Y.	Atypical auditory steady-state gamma responses of MEG in children with autism spectrum disorders.	Biomagnetic Sendai 2017	仙台 国際センター	2017/5/24	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
166	高橋秀俊, 軍司敦子, 金子裕, 廣永成人, 萩原鋼一, 稲垣真澄, 飛松省三, 花川隆, 神尾陽子	自閉症スペクトラム障害の聴覚誘発脳磁界反応の高周波振動について	第59回日本小児神経学会学術集会	大阪 大阪国際会議場	2017/6/17	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29
167	高橋秀俊	自閉スペクトラム症児の聴覚過敏症と身体活動動態との関連について	医療心理懇話会 第2回集会	東京 エステック情報ビル	2017/10/25	国立精神・神経医療研究センター	④-e	H29

168	Tsuyoshi Sekitani, Shusuke Yoshimoto, Teppei Araki, Takafumi Uemura	12-2: Invited Paper: a Sheet-Type Wireless Electroencephalogram (Eeg) Sensor System Using Flexible and Stretchable Electronics	SID Symposium Digest of Technical Papers	Los Angeles Convention Center, CA	2017/5/23	大阪大学	③-c	H29
169	Teppei Araki, Yuki Noda, Ashuya Takemoto, Shusuke Yoshimoto, Takafumi Uemura, Tsuyoshi Sekitani	Enhanced Electrical Durability and Mechanical Stretchability of Ag Nanowire-Based Transparent Electrodes by Nanometer-Thick Metal Plating	The 24th International Display Workshops (IDW' 17), Electrode Material and Photoresist Technologies, FMC5-1	仙台国際センター	2017/12/8	大阪大学	③-c	H29
170	Kazuyuki Nobusawa, Huanwen Han, Fumie Takei, Kazuhiko Nakatani, and Ichiro Yamashita	Electrochemical Impedance Spectroscopy (EIS) DNA-sensing and Coarse Sample Preparation	2018 International Conference on Smart Sensors キーンノート講演	Fullon hotel, Taipei	2018/6/1	大阪大学	①-a	H30
171	武井史恵	1つの蛍光分子とDNAの特殊構造によって開発されたDNA増幅反応	第30回産研技術室講演会 特別講演	大阪大学産業科学研究所	2017/12/22	大阪大学	①-a	H30
172	下内章人	呼吸ガス診断の現状と今後の可能性について。シンポジウム「呼吸ガス測定の将来」	日本医療学会	東京	2017/10/5	中部大学	①-a	H30
173	山崎聖司.	腸内フローラ改善によるヒト活性化手段の開発.	大阪大学イノベーションフェア2016.	マイドームおおさか.	2016/11/15-16	大阪大学	①-b	H30
174	山崎聖司、林克彦、井上雄太、樋口雄介、櫻井啓介、中島良介、加藤修雄、山口明人、西野邦彦	耐性菌多剤排出トランスポーターの生化学的解析と新規阻害剤開発	第90回日本細菌学会総会 シンポジウム	宮城	2017/3/21	大阪大学	①-b	H30
175	西野邦彦	グラム陰性菌の多剤排出システムと阻害機構	薬剤耐性 (AMR) シンポジウム	AMED, 東京	2017/9/28	大阪大学	①-b	H30
176	Kunihiko Nishino	Regulation and Function of Multidrug Exporters	Kickoff Meeting (JSPS Symposium) for the ZIAM/ GBB and ISIR/IPR collaboration (at University of Groningen)	Groningen University, Netherlands	2017/10/27	大阪大学	①-b	H30
177	西野邦彦	グラム陰性菌の薬剤排出トランスポーターと多剤耐性における役割	ConBio2017	神戸	2017/12/6	大阪大学	①-b	H30
178	西野邦彦	多剤耐性菌の脅威と新たな創薬戦略	日本薬学会年会	金沢	2018/3/28	大阪大学	①-b	H30
179	西野邦彦	細菌多剤排出トランスポーターの機能と制御	微生物病研究所アドバンスドセミナー	大阪	2018/7/20	大阪大学	①-b	H30
180	西野邦彦	細菌薬剤排出ポンプの機能と制御	微生物シンポジウム	東京	2018/8/28	大阪大学	①-b	H30
181	西野邦彦	薬剤排出システムの機能と制御	バイオ関連化学シンポジウム 若手フォーラム	大阪	2018/9/8	大阪大学	①-b	H30
182	西野邦彦	細菌多剤排出ポンプの機能と制御	生物物理学会	岡山	2018/9/15	大阪大学	①-b	H30
183	山崎聖司	COI若手連携研究ファンド	COI2021 第4回ワークショップ	大阪	2018/6/5	大阪大学	①-b	H30
184	山崎聖司	ハイスペクトイレを軸とした腸内フローラ管理社会の実現	H30年度第1回PE研究会	東京	2018/4/27	大阪大学	①-b	H30
185	芋阪満里子	ワーキングメモリと言語理解	補聴と聴覚活用研究会サマーフォーラム 2018 in 横浜	ウイリング横浜 (神奈川県横浜市)	2018/7/15	NICT・CiNet	②-a	H30

186	八木 健	神経細胞の個性がつくる神経回路とセルアセンブリ	「脳神経回路の形成・動作原理の解明と制御技術の創出」研究領域最終公開シンポジウム 脳神経回路研究の最前線2017	コンファレンススクエアM+	2017/1/20	大阪大学	②-b	H30
187	Takeshi Yagi	Clustered protocadherins regulate complex neural networks	第8回 新潟大学脳研究所共同研究拠点国際シンポジウム	新潟大学脳研究所 統合脳機能研究センター6F セミナーホール	2018/2/10	大阪大学	②-b	H30
188	八木 健	何でも見てやろう！うごいてみてわかること	K-Labo Forum 2018	鎌倉学園(神奈川県鎌倉市)	2018/6/2	大阪大学	②-b	H30
189	Takafumi Uemura and Tsuyoshi Sekitani	Low-Noise Signal Amplification Circuits Based on Organic Thin-Film Transistors	Collaborative Conference on Materials Research (CCMR) 2018	Songdo Convensia, Incheon, South Korea	2018/6/25	大阪大学	③-c	H30
190	谷池雅子	教育講演 地域に生かす発達障害研究	第118回 日本小児科学会総会	大阪	2015/4/18	大阪大学	④-a	H30
191	谷池雅子	自閉症の脳科学	第20回発達支援地域ネットワーク研究会	大阪	2015/6/14	大阪大学	④-a	H30
192	谷池雅子	小児の閉塞性無呼吸症候群 現状と課題	第48回 Sleep Apneaカンファレンス	大阪	2015/8/8	大阪大学	④-a	H30
193	谷池雅子	小児アテンドポリソムノグラフィーの重要性	第16回臨床CPAP研究会	京都市サーチパーク	2015/11/28	大阪大学	④-a	H30
194	谷池雅子	子どもの発達と睡眠	北河内学校保健研究大会	寝屋川市	2016/1/27	大阪大学	④-a	H30
195	谷池雅子	小児の発達障害について	第67回兵庫県小児科医会小児医学講座	神戸市	2017/3/11	大阪大学	④-a	H30
196	谷池雅子	子どもの睡眠時無呼吸症候群	第13回PWSもこもこの会	大阪	2017/12/7	大阪大学	④-a	H30
197	谷池雅子	発達障がいの特ピック	発達障がい専門医師陽性研修フォローアップ研修	大阪	2018/2/3	大阪大学	④-a	H30
198	吉崎亜里香	乳幼児健診等でどのように睡眠の指導をおこなうか～1歳半健診睡眠アプリと啓発ビデオについて	子どもの早起きをすすめる会 実践講座	東京	2018/3/18	大阪大学	④-a	H30
199	谷池雅子	小児の睡眠と発達	日本小児科学会北陸地方会	金沢医科大学大ホール	2018/12/9	大阪大学	④-a	H30
200	谷池雅子	小児期における閉塞性睡眠時無呼吸症候群診療上の問題点	第28回日本顎変形症学会総会	大阪	2018/6/14	大阪大学	④-a	H30
201	吉崎亜里香	緊急ミニシンポジウム「赤ちゃんの眠りがあぶない！ 乳児健診でどのように睡眠薬の指導を行うか」	第28回日本外来小児科学会	東京	2018/8/25	大阪大学	④-a	H30
202	毛利育子	子どもの元気は、生活習慣改善から 「知っておきたい子どもの発達における睡眠の役割」	奈良教育研究所中堅教諭等資質向上研修	奈良	2018/8/30	大阪大学	④-a	H30
203	毛利育子	「早寝早起き朝ごはん」子どもの眠りと生活リズム	箕面市教育センター夏季研修会	大阪	2018/7/28	大阪大学	④-a	H30
204	加藤隆史	閉塞性睡眠時無呼吸症候群の基礎	第28回 日本顎変形症学会総会・学術大会	大阪	2018/6/14	大阪大学	④-a	H30
205	橘雅弥	小児の顔面形態と睡眠-睡眠の成長・発達への影響	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
206	加藤隆史	睡眠時ブラキシズム: 睡眠医学と歯科医学のはざま	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
207	片桐綾乃	三叉神経支配領域の疼痛-基礎研究から臨床応用へのアプローチ	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
208	原木真吾	歯および歯周を診る	第10回日本臨床睡眠医学会学術集会	兵庫	2018/10/5	大阪大学	④-a	H30
209	加藤隆史	睡眠時ブラキシズム: basic science and clinical perspectives	第17回日本睡眠歯科学会学術集会	茨城	2018/11/24	大阪大学	④-a	H30
210	大谷紀子	個人の感性に即した自動作曲とその応用	先端芸術音楽創作学会	町田	2018/7/29	東京都市大学	④-b	H30

211	沼尾正行	brAInMelody®: Emotion-driven Music Composition	ICIC2018 2018 International Conference on Intelligent Computing	Wuhan, Hubei Province, China	2018/8/16	大阪大学	④-b	H30
212	沼尾正行	Emotion-based Content Creation in brAInMelody	GIST AI FORUM Gwangju Institute of Science and Technology	Gwangju Metropolitan City, Korea	2018/11/13	大阪大学	④-b	H30
213	Hikaru Kobayashi	Si nanopowder for internal hydrogen generation materials	9th World Congress on Materials Science and Engineering	Holiday Inn Rome Aurelia, Roma, Italy	2017/6/12	大阪大学	④-c	H30
214	Yuki Kobayashi	Si nanopowder for internal hydrogen generation materials	6th International Symposium on Advanced Ceramics and Technology for Sustainable Energy Applications toward a Low Carbon Society (ACTSEA 2017)	Garden Villa, Kaohsiung, Taiwan	2017/11/2	大阪大学	④-c	H30
215	Hikaru Kobayashi	Surface characteristics of Si nanopowder and its application	Progress in Applied Surface, Interface and Thin Film Science 2017 (SURFINT-SREN V)	Auditorium al Duomo, Florence, Italy	2017/11/20	大阪大学	④-c	H30
216	Yuki Kobayashi	Hydrogen generation by reaction of Si nanopowder with neutral water and medical application	Progress in Applied Surface, Interface and Thin Film Science 2017 (SURFINT-SREN V)	Auditorium al Duomo, Florence, Italy	2017/11/23	大阪大学	④-c	H30
217	Yuki Kobayashi	Hydrogen generation from Si nanopowder and its application for medicine	14th International Conference of Computational Methods in Science and Engineering (ICCMSE-2018)	The Met Hotel, Thessaloniki, Greece	2018/3/14	大阪大学	④-c	H30
218	Yuki Kobayashi	Hydrogen generation by reaction of Si nanopowder with water for medical use	24th World Nano Conference	Black Hotel Rome, Rome, Italy	2018/5/8	大阪大学	④-c	H30
219	Hikaru Kobayashi	Si material for suppression of oxidative stress in human body	15th international symposium on novel and nano materials (ISNNM2018)	Tivoli Oriente Lisboa Hotel, Lisbon, Portugal	2018/7/3	大阪大学	④-c	H30
220	Kentaro Imamura, Yuki Kobayashi, Hikaru Kobayashi	High amount of hydrogen generation by the reaction of Si composition with water in the body to prevent oxidative stress-induced diseases	10th international conference of Solid State Surfaces and Interfaces (SSSI 2018)	Castle Smolenice, Slovakia	2018/11/22	大阪大学	④-c	H30
221	小林悠輝	シリコン成分剤による体内水素発生と酸化ストレス性疾患の防止	第28回日本MRS年次大会	北九州国際会議場, 福岡	2018/12/19	大阪大学	④-c	H30
222	Gen Uehara	Low To SQUID-based MEGs and MSGs developed at KIT,	The 20th International Conference on Biomagnetism (Biomag 2016)	Coex, Souel,	2016/10/2-6	金沢工業大学	④-e	H30
223	Gen Uehara	Application of SQUID sensor for biomagnetism,	The 3rd Annual Meeting of the CUHK-PKU-UST Joint Research Center for Language and Human Complexity and a Joint International MEG Workshop	Taipei	2016/10/11	金沢工業大学	④-e	H30
224	D.Oyama	Sensing System for Magnetic Resonance Signal at Ultra-low Magnetic Field, ,	International Workshop on Magnetic Bio-Sensing	Nishijin Plaza, Kyushu University, Fukuoka	2016/10/13	金沢工業大学	④-e	H30
225	吉村優子	脳磁図ニューロフィードバックによる精神神経疾患の病態解明と治療法開発	第35回日本脳電磁図トポグラフィ研究会	シャトレーゼ ガトーキングダム サッポロホテル & スパリゾート	2019/2/1	金沢大	④-e	H30
226	Gen Uehara:	Introduction of MEG and some of its applications	The 1st Workshop of Brain Science and MEG	Yifu Building, Beijing Language and Culture University	2018/6/9-6/10	金沢工業大学	④-e	H30
227	熊崎博一	自閉スペクトラム症者へのロボットを用いた治療の可能性	第1回児童・予防精神医学研究会	東京	2018/5/7	金沢大学	④-e	H30
228	熊崎博一	これからの発達支援	第60回日本小児神経学会学術集会	千葉	2018/6/1	金沢大学	④-e	H30
229	熊崎博一	自閉スペクトラム症診断の現状と今後の展望	塩野義製薬社内研修会	金沢	2018/8/3	金沢大学	④-e	H30
230	熊崎博一	Adaptation to Changes in Odor for Children with Autism Spectrum Disorders	WFSBP2018KOBE	神戸	2018/9/9	金沢大学	④-e	H30
231	熊崎博一	発達障害の理解とケア	日本精神科看護協会研修会	東京	2018/10/1	金沢大学	④-e	H30

232	菊知充	社会脳から見た発達障がい	平成30年 日本学術会議近畿地区会議学術講演会	京都	2018/10/20	金沢大学	④-e	H30
233	熊崎博一	メディア依存とロボットへの期待	有馬高原病院	兵庫	2018/10/20	金沢大学	④-e	H30
234	菊知充	発達障害へのこれからのアプローチ	第35回金沢医科大学精神神経科学教室懇話会	金沢	2018/11/10	金沢大学	④-e	H30
235	三邊義雄	子どものこころの社会実装研究 —文理融合・産学官共同・国際交流を目指して	第45回日本脳科学会	千葉	2018/11/10	金沢大学	④-e	H30
236	アン・キョンミン Kyung-min An	A prospective biomarker for Autism: motor-related gamma oscillations measured using child-customized MEG child-customized MEG	第8回賀戸久先生記念研究会	金沢	2018/11/20	金沢大学	④-e	H30
237	小野 靖樹	発達障害の薬物治療等について	発達障害早期発見・早期支援関係者セミナー	金沢	2018/11/23 -11/24	金沢大学	④-e	H30
238	池田尊司	自閉スペクトラム症児の認知機能特性を脳磁図で探る	第20回「発達の臨床と理論」研究懇話会	東京	2018/12/1	金沢大学	④-e	H30
239	熊崎博一	自閉スペクトラム症者への新しい介入への期待	日本臨床発達心理士会主催 資格更新全国研修会	東京	2018/12/23	金沢大学	④-e	H30
240	山崎 聖司	細菌共存学の開拓 —ヒトと病原細菌・腸内細菌との新たな関係の構築—	大阪大学産業科学研究所・東京大学生産技術研究所 研究交流会・懇談会	東京大学	2019/3/6	大阪大学	①-b	R1
241	山崎 聖司	細菌の新規制御手法開発によるヒトと細菌との新たな共存関係の構築	高等共創研究院シンポジウム	大阪大学	2019/7/29	大阪大学	①-b H31W05-2 R1WD01	R1
242	苺坂満里子	Neural bases of individual differences of working memory	日本ワーキングメモリ学会第17回大会	京都府京都市	2019/12/14	NICT・CiNet	②-a	R1
243	植村隆文	IoTバイオ計測を切り拓く	AIST関西懇話会 産総研・阪大 PhotoBIO-OIL見学会	大阪	2019/11/12	大阪大学	③-c	R1
244	Takafumi Uemura	Low Noise Biomonitoring with Ultra Flexible Organic Differential Amplifier	8th imec Handai International Symposium	大阪	2019/11/13	大阪大学	③-c	R1
245	Tepei Araki	Flexible sensors for long-term monitoring on brain activities	8th imec Handai International Symposium	大阪	2019/11/13	大阪大学	③-c	R1
246	Takafumi Uemura	Sustainable Society Created by Flexible Electronics	TSUKUBA CONFERENCE, Emerging-electronics innovation for SDGs: Toward synergy among young researchers	つくば、茨城	2019/10/3	大阪大学	③-c	R1
247	Takafumi Uemura	Patch-Type Biosignal Monitoring System Based on Flexible Electronics	The Society for biotechnology, Japan/Annual Meeting 2019, Symposium "Development of Biosensing Technology Targeting Sustainability Development Goals"	岡山	2019/9/17	大阪大学	③-c	R1
248	Takafumi Uemura	Ultraflexible Biosignal Monitoring System Based on Organic Thin-Film Transistors	SPIE Organic Photonics + Electronics, San Diego Convention Center	San Diego, California, the United States	2019/8/11	大阪大学	③-c	R1
249	Tepei Araki	Ag-Nanowire-Based Stretchable Electrodes Improved in Migration Durability for Long Therapeutic Bio-Applications	The 10th International Conference on Materials for Advanced Technologies (ICMAT 2019), Sym T-05	Singapore	2019/6/25	大阪大学	③-c H31W15-2	R1
250	Tepei Araki	Transparent and Stretchable Electrodes for Long Therapeutic Bio-Applications	The 36th International Conference of Photopolymer Science and Technology (ICPST 2019), Flexible Packaging A-115	Chiba	2019/6/27	大阪大学	③-c H31W15-2	R1
251	植村隆文	ウェアラブル生体モニタの開発	第8回 PhotoBIO ワークショップ	大阪大学吹田キャンパス 阪大フォトニクスセン	2019/6/11	大阪大学	③-c	R1
252	荒木徹平	ウェアラブル・インプラントに向けたフレキシブルセンサシートの開発	横浜国立大学学長重点支援拠点「ものづくりライフイノベーションシンポジウム2019」	横浜、神奈川	2019/6/19	大阪大学	③-c	R1

253	関谷毅	フレキシブルエレクトロニクスが創る未来社会	電子機器トータルソリューション展2019	東京	2019/6/7	大阪大学	③-c	R1
254	Takafumi Uemura	Ultraflexible Biosignal Amplifier Based on Organic Thin-Film Transistors	Compound Semiconductor Week 2019 (CSW2019)	Kasugano International Forum, WeE1-1, Nara, Japan	2019/5/22	大阪大学	③-c	R1
255	関谷毅	コンクリート構造物の劣化を調べ予測するシート型 IoT・AI 技術	塗料講演会/保守・補修に関する塗料と塗装および診断技術	東京	2019/5/24	大阪大学	③-c	R1
256	Takafumi Uemura	Ultraflexible Organic Differential Amplifier for Low-Noise Biosignal Monitoring	International Conference on Electronics Packaging (ICEP2019)	Toki Messe, Niigata, Japan	2019/4/19	大阪大学	③-c	R1
257	Takafumi Uemura	Ultraflexible Amplification Circuits for Imperceptible Brain Monitoring System	2019 International Symposium on VLSI, Design, Automation and Test	Hsinchu, Taiwan	2019/4/25	大阪大学	③-c	R1
258	Tsuyoshi Sekitani	Brain-implemented flexible and stretchable integrated circuit system for comprehensively monitoring brain activities from cerebral cortex to deep brain regions	2019 MRS Spring Meeting EP04: Soft and Stretchable Electronics -From Fundamentals to Applications-	Phoenix, Arizona, Unites States	2019/4/24	大阪大学	③-c	R1
259	Tsuyoshi Sekitani	Advanced Environmental, Chemical, and Biological Sensing Technologies XV Application of Flexible Devices for Monitoring Cranial Nerve Activities	SPIE Defense + Commercial Sensing	Baltimore, Maryland, United States	2019/4/15	大阪大学	③-c	R1
260	谷池雅子	子どもの睡眠とその破綻	千里ライフサイエンスセミナーN3	大阪	2019/9/27	大阪大学	④-a	R1
261	吉崎亜里香	スマートフォンアプリ「ねんねナビ®」を用いた子どもの睡眠アドバイス	第70回小児保健研究会	大阪	2019/9/14	大阪大学	④-a	R1
262	谷池雅子	幼児の睡眠の現状と課題 —ねんねナビ®の社会実装から—	第61回日本小児神経学会学術集会 第13回子どもの眠り研究会 教育講演	名古屋	2019/5/31	大阪大学	④-a	R1
263	谷池雅子	地域に活かす子ども研究	連合小児発達学研究科10周年記念市民公開講座	大阪	2019/4/20	大阪大学	④-a	R1
264	谷池雅子	発達に課題のある児の睡眠について考える	日本小児科医会：子どもの心相談医研修会講演	大阪	2019/7/14	大阪大学	④-a	R1
265	加藤隆史	ブラキシズムと上手につきあうために	公益社団法人日本補綴歯科学会第128回学術大会	札幌	2019/5/11	大阪大学	④-a	R1
266	加藤隆史	The role of the dentist in the assessment and management of sleep bruxism.	97th General Session of the International Association for Dental Research (IADR)	Vancouver Canada	2019/6/20	大阪大学	④-a	R1
267	加藤隆史	睡眠と顎口腔機能	第11回顎口腔機能セミナー	安曇野、長野	2019/8/18	大阪大学	④-a	R1
268	加藤隆史	Sleep related problems in dentistry	ADA/FDI World Dental Congress 2019	San Francisco, USA	2019/9/5	大阪大学	④-a	R1
269	加藤隆史	Sleep bruxism: an update for dental clinicians	ADA/FDI World Dental Congress 2019	San Francisco, USA	2019/9/6	大阪大学	④-a	R1
270	加藤隆史	睡眠時ブラキシズムの研究の壁	日本顎口腔機能学会第63回学術大会	東京	2019/10/26	大阪大学	④-a	R1
271	大谷紀子	個人の感性に即した自動作曲とその応用	日本知能情報ファジィ学会九州支部夏季ワークショップ2019	福岡	2019/8/23	東京都市大学	④-b	R1
272	木村 司	課題非関連情報による後続事象の予測：視覚刺激の接近は体性感覚事象への予測を促進する	第37回日本生理心理学会大会	埼玉	2019/5/26	大阪大学	④-b	R1
273	福井 健一	Pythonによる機械学習入門	ISSM戦略フォーラム2019	東京	2019/12/11	大阪大学	④-b	R1
274	Hikaru Kobayashi	Properties of Si-based agent and its medical effects	Progress in Applied Surface, Interface and Thin Film Science 2019	Hotel Laurus al Duomo, Florence, Italy	2019/11/18	大阪大学	④-c	R1
275	Yuki Kobayashi	Fabrication of Si-based agent with high hydrogen generation ability and its application to living bodies	Progress in Applied Surface, Interface and Thin Film Science 2019	Hotel Laurus al Duomo, Florence, Italy	2019/11/18	大阪大学	④-c	R1

276	Yasuomi Ouchi	In vivo imaging of mitochondrial activity in the human brain for elucidating the pathophysiology of dementia	29th International Society for Cerebral Blood Flow and Metabolism (ISCBFM)	Yokohama	2019/7/6	浜松医大	④-d	R1
277	Yasuomi Ouchi	認知症病態を解明するヒト脳内ミトコンドリア活性の生体画像化	第92回日本生化学会大会	Yokohama	2019/9/20	浜松医大	④-d	R1
278	菊知充	幼児用MEGが可視化していく、子どもの発達の個性	連合小児発達学研究所10周年記念市民公開講座	大阪大学中之島センター	2019/4/20	金沢大学	④-e	R1
279	菊知充	MEG research to elucidate the diversity in autism	The 2nd International Symposium on Brain Science and MEG	北京	2019/7/14	金沢大学	④-e	R1
280	菊知充	Social Brain Using Simultaneous MEG System	International Society for the Advancement of Clinical MEG	Toronto, Canada	2019/9/13	金沢大学	④-e	R1
281	菊知充	産学連携研究を中心とした自閉スペクトラム症の最近の話題	第61回日本小児神経学会学術集会	名古屋国際会議場	2019/6/1	金沢大学	④-e	R1
282	菊知充	MEG research in autism	Workshop on Australasian Magnetoencephalography (WAM 2019) Neurocognitive clinical applications of MEG: Present and future	オーストラリア・マッコーリ大学	2019/12/10	金沢大学	④-e	R1
283	廣澤 徹	ASD児に特徴的なてんかん性突発波と児の認知機能および社会性の関係について	第49回日本臨床神経生理学会学術大会	福島・コラッセふくしま	2019/11/29	金沢大学	④-e	R1
284	河合祐司	機械学習の説明性と応用脳科学	応用脳科学コンソーシアムニューロ/AI ELSIワークショップ	東京	2019/10/29	大阪大学	④-e	R1
285	荒木徹平	超柔軟シート型生体信号計測システム	プリンテッド・エレクトロニクス研究会	東京	2020/1/24	大阪大学	H31W15-2	R1
286	荒木徹平	超柔軟シート型生体信号計測システム	プリンテッド・エレクトロニクス(PE)研究会	東京・汐留・トッパン・フォームズ本社	2020/1/24	大阪大学	③-c	R2
287	植村隆文	フレキシブル有機トランジスタの生体センサへの応用	電子情報通信学会	オンライン	2020/9/17	大阪大学	③-c	R2
288	吉崎亜里香	乳幼児の睡眠習慣改善のための双方向性スマートフォンアプリ開発「ねんねナビ®」:1年間の社会実証結果	東大阪市役所職員・保健センター職員対象講演	東大阪	2020/7/1	大阪大学	④-a	R2
289	毛利育子	子どもの発達を伸ばすために、知っておきたい睡眠の知識	加賀市役所健康課職員対象講演	加賀	2020/7/20	大阪大学	④-a	R2
290	加藤隆史	教育講演「睡眠時ブラキシズムの診断と管理における歯科医師の役割」	第33回日本顎関節学会学術大会	WEB開催	2020/7/3	大阪大学	④-a	R2
291	Takafumi Kato	Pathophysiology of SB: challenges from human and animal studies	The 68th annual Meeting of Japanese Association for Dental Research	WEB開催	2020/11/8	大阪大学	④-a	R2
292	福井 健一	機械学習による睡眠状態解析	高エネルギー密度科学のシミュレーションとデータバリエーションに関する研究会		2020/1	大阪大学	④-b	R2
293	Hikaru Kobayashi	Surface analysis and hydrogen generation mechanism of Si-based agent	16th International Conference of Computational Methods in Sciences and Engineering	Rhodes, Greece plus on-line	2020/9/17-23	大阪大学	④-c	R2
294	Yuki Kobayashi	Internal hydrogen generation and a decrease in oxidative stress by Si-based agent	16th International Conference of Computational Methods in Sciences and Engineering	Rhodes, Greece plus on-line	2020/9/17-23	大阪大学	④-c	R2
295	小林悠輝	シリコン製剤による酸化ストレス性疾患の予防と治療	2020年日本老化制御医学会	新大阪丸ビル別館5階	2020/10/31	大阪大学	④-c	R2
296	尾内康臣	ヒト脳における意欲駆動とアセチルコリン・モノアミン神経	第22回 日本ヒト脳機能マッピング研究会	札幌(Web開催)	2020/8/29	浜松医大	④-d	R2
297	尾内康臣	ミトコンドリア機能・神経炎症のイメージング	第61回日本神経学会学術大会	岡山(Web開催)	2020/8/31	浜松医大	④-d	R2

298	吉村優子	自閉スペクトラム症児の聴覚処理と言語発達	From Sensory to Social?—自閉スペクトラム症を持つ人の感覚の特徴と社会認知機能との関わり—	オンラインシンポジウム・Zoom 講演(京都大学)	2020/7/5	金沢大学	④-e	R2
299	吉村優子	小児の脳研究からみえてきた、自閉スペクトラム症児の音声知覚と言語発達	認知的インタラクションデザイン学における遠隔講義	Zoom 講演(京都繊維工芸大学)	2020/7/10	金沢大学	④-e	R2
300	菊知充	新型コロナ時代のメンタルヘルスのコツ	北国健康生きがい支援事業	金沢市 北国新聞20階 ホール	2020/8/1	金沢大学	④-e	R2
301	菊知充	自閉スペクトラム症幼児の脳の特徴を捉える	十全同窓会総会	金沢市	2020/9/12	金沢大学	④-e	R2
302	Huanwen Han, Norhayati Binti Sabani, Fumie Takei, Kazuyuki Nobusawa, Ichiro Yamashita	DNA detection by Electrochemical Impedance Spectroscopy	SSDM Solid Satate Devices and Materials	Nagoya University	2019/9/2	大阪大学	①-a	R3
303	春野雅彦	Functional connectivity basis and underlying cognitive mechanisms for gender differences in guilt aversion	CJL第1回国際会議	オンライン	2021/7/31	NICT・CiNet	②-a	R3
304	植村隆文	フレキシブル薄膜電子デバイス による生体信号計測	第7回 電子デバイスフォーラム京都 / 大学セッション・ナノテクノロジープラットフォーム	オンライン	2020/10/29	大阪大学	③-c	R3
305	Tepei Araki, Takafumi Uemura, and Tsuyoshi Sekitani	Flexible Sheet Sensors to Monitor Biosignals	9th imec Handai International Symposium (On-line)	オンライン	2020/11/30	大阪大学	③-c	R3
306	関谷毅	フレキシブルデバイスで創るデジタル社会基盤	地域企業イノベーション支援事業・フレキシブル3D実装コンソーシアム 公開シンポジウム(第2回PE研究会)「5G/6Gが拓く未来社会～2030年代の無線通信技術をめぐって～」	オンライン	2020/11/13	大阪大学	③-c	R3
307	Takafumi Uemura and Tsuyoshi Sekitani	Low-Noise Biosignal Monitoring with Ultra Flexible Transistors	The 27th International Display Workshops (IDW 20)	オンライン	2020/12/9	大阪大学	③-c	R3
308	野田祐樹	有機強誘電体・圧電体の科学からインフラ構造物ヘルスケア応用へ	2020年度 第4回PE研究会,	オンライン	2021/3/19	大阪大学	③-c	R3
309	荒木徹平	若手研究者による研究提案	科研費獲得実践講習会	オンライン	2021/6/8	大阪大学	③-c	R3
310	荒木徹平	生体電位計測の基礎知識とフレキシブルセンサ応用	Flexible and stretchable electronics (FSE) 研究会	オンライン	2021/6/15	大阪大学	③-c	R3
311	植村隆文	フレキシブル有機薄膜トランジスタの基礎と生体計測応用:トランジスタノイズから信号 処理回路応用まで	Flexible and stretchable electronics (FSE) 研究会	オンライン	2021/6/15	大阪大学	③-c	R3
312	荒木徹平, 関谷毅	金属ナノワイヤを用いた透明電極シートの開発と生体計測応用	2021年第11回有機無機接合研究会	オンライン	2021/10/20	大阪大学	③-c	R3
313	谷池雅子	子どもの睡眠	第568回北九州地区小児科医会 学術講演会	web開催	2021/4/22	大阪大学	④-a	R3
314	毛利育子	発達症の基礎知識と睡眠	ノーベルファーマ株式会社「講師 招聘勉強会」	web開催	2021/7/26	大阪大学	④-a	R3
315	谷池雅子	幼児を対象とする双方向性睡眠啓発アプリの社会実装の経験から	日本学術会議・公開シンポジウム公開シンポジウム「ポストコロナ社会を見据えた睡眠・生活リズムのあり方～コロナ自粛から学ぶ～」	web開催	2021/8/28	大阪大学	④-a	R3
316	加藤隆史	Gastroesophageal reflux and obstructive sleep apnea	99th general session of the International Association for Dental Research	web開催	2021/7/22	大阪大学	④-a	R3
317	加藤隆史	Physiological research perspectives in the field of sleep bruxism	Second Ankara-Osaka University Dental Workshops	web開催	2021/6/25	大阪大学	④-a	R3

318	福井健一	AI技術による睡眠の視覚化と良否判別	第30回日本睡眠環境学会学術大会	web開催	2022/2/19	大阪大学	④-a	R3
319	小林悠輝	シリコン製剤による酸化ストレスの抑制と酸化ストレス性の疾患の予防・治療	日本先制臨床医学会 第4回学術大会	大崎プライトコアホール	2021/11/21	大阪大学	④-c	R3
320	池田尊司	前頭前野へのtDCSはワーキングメモリを変調しているのか	日本認知心理学会第19回大会	Web開催	2022/2/28-3/1	金沢大学	④-d	R3
321	田中早苗	発達障害のある児童・生徒への友達づくりのSST実践に向けて	金沢市教育研修センター研修会	金沢市	2020/11/27	金沢大学	④-e	R3
322	田中早苗	友達との良好な関係性の築き方～PEERSプログラムより～	ヴィスタカレッジ主催オンラインセミナー	金沢市	2020/11/28	金沢大学	④-e	R3
323	田中早苗	ことばを育むかかわり	ヴィスタカレッジ主催オンラインセミナー	金沢市	2021/1/31	金沢大学	④-e	R3
324	田中早苗	石川県発達障害支援アドバイザー派遣事業実践報告	石川県発達障害支援アドバイザー派遣事業実践報告会	金沢市	2021/2/17	金沢大学	④-e	R3
325	吉村優子	発達障害のある人の脳の使い方～自閉スペクトラム症の言語発達を中心に～	石川県精神保健福祉協会 教育と精神保健専門委員会主催研修	金沢市	2021/3/13	金沢大学	④-e	R3
326	横山茂	子どもたちの脳の発達と成長、発達障害の児童生徒への認識の仕方とアプローチ	愛知県議会人づくり・福祉対策特別委員会	名古屋市	2021/8/26	金沢大学	④-e	R3
327	田中早苗	自立に向けた支援	第1回「不登校生・転学を考えている生徒のための学校相談会」	金沢市	2021/8/28	金沢大学	④-e	R3
328	菊知充	自閉スペクトラム症の早期診断 ―うつ病の予防的観点も含めて―	富山県精神科医会	WEB開催	2021/4/23	金沢大学	④-e	R3
329	菊知充	発達障害を理解する	第93回日本整形外科学会学術総会	WEB開催	2021/5/23	金沢大学	④-e	R3
330	菊知充	発達障がいが多様性 ―うつ病の予防的観点も含めて―	石川県精神科医会	WEB開催	2021/7/2	金沢大学	④-e	R3
331	菊知充	自閉スペクトラム症の多様性を理解する	全国自治体病院精神科特別部会	WEB開催	2021/9/2	金沢大学	④-e	R3
332	菊知充	脳に起因する発達障害の理解	基礎・臨床交流セミナー	WEB開催 (Zoomミーティング)	2021/9/8	金沢大学	④-e	R3
333	吉村優子	気になる子の理解とかかわり方	石川県放課後子ども総合プラン研修会	石川県	2021/10/11	金沢大学	④-e	R3
334	東田陽博	CD38などによるNAD代謝と自閉性疾患	第44回日本分子生物学会年会	横浜市	2021/12/1	金沢大学	④-e	R3
335	東田陽博	Oxytocin dynamics in the body and brain regulated by the receptor for advanced glycation end-products, CD38, CD157, and nicotinamide riboside.	SOCIAL BRAIN - FOCUS ON EMOTIONS	Web開催	2022/2/8-2/9	金沢大学	④-e	R3
336	辻知陽	The deficit of emotional connection in the early life of valproic acid-induced autism model mice is modulated by oxytocin administration	SOCIAL BRAIN - FOCUS ON EMOTIONS	Web開催	2022/2/8-2/9	金沢大学	④-e	R3
337	田中早苗	言葉をはぐむ子育て	WOWスクールオンラインセミナー	WEB開催	2022/2/20	金沢大学	④-e	R3
338	廣澤徹	自閉スペクトラム症現でみられる非定型な脳内神経ネットワーク: グラフ理論のアプローチ	第24回日本ヒト脳機能マッピング学会	浜松市 (現地及びWeb開催)	2022/2/28-3/1	金沢大学	④-e	R3
339	Martijn Zwama, Ryosuke Nakashima, Seiji Yamasaki, Kunihiko Nishino	The increasingly pressing role of RND-type efflux pumps in multidrug resistant pathogens	10th imec Handai International Symposium	WEB	2021/12/6	大阪大学	①-b R1WD01 R03W01	R3
340	山崎聖司	細菌活動のコントロールによる新たな共存関係の構築	第3回ファーマラボEXPO	千葉	2021/12/8	大阪大学	①-b R1WD01 R03W01	R3
341	中島寿宏	可視化データを活用した体育授業の改善	日本スポーツ教育学会シンポジウム	オンライン	2021/10/31	北海道教育大学	⑤-c	R3

342	中島寿宏	可視化データを活用した教師の指導技術の分析と体育授業改善の取組	北海道体育学会学会賞受賞講演	札幌市	2021/12/6	北海道教育大学	⑤-c	R3
343	中島寿宏	GIGAスクール構想とICT技術を活用した体育授業-「つながり」を生み出す授業者のかかわり-	公益財団法人日本スポーツ協会 北海道ブロッククラブネットワーク アクション2021	札幌市	2021/10/31	北海道教育大学	⑤-c	R3
344	谷川千尋	次世代歯科治療のための三次元AIの構築	第3回日本メディカルAI学会学術集会	オンライン	2021/6/12	大阪大学	R1WD07	R3
345	谷川千尋	上顎骨前方部骨延長術(MASDO)の効果.	第9回若手のための夏の口唇裂・ 口蓋裂勉強会	オンライン	2021/8/21- 27	大阪大学	R1WD07	R3
346	谷川千尋	矯正歯科治療における AI の応用.	東京矯正歯科学会 秋季セミナー	オンライン	2021/11/18	大阪大学	R1WD07	R3
347	谷川千尋	矯正歯科治療における3次元デジタル技術の応用	一般社団法人 日本臨床歯科 CAD/CAM学会	オンライン	2021/12/4- 5	大阪大学	R1WD07	R3
348	谷川千尋	AI を用いた矯正歯科治療の今後.	インビザドクター第二回特別講演 会 デジタル歯列矯正治療を考える	オンライン	2022/1/10	大阪大学	R1WD07	R3
349	Tsuji C	The deficit of emotional connection in the early life of valproic acid-induced autism model mice is modulated by oxytocin administration.	Krasnoyarsk State Medical University named after Prof. V.F. Voyno-Yasenetsky of the Ministry of Health of the Russian Federation Celebration of Day of Russian Science Krasnoyarsk, The international Conference, Social Brain- Focus on Emotions	Krasnoyarsk	2022/2/8-9	金沢大学	R1WD18	R3
350	An, K.	Atypical brain oscillations and phase-amplitude coupling during motor control in children with autism spectrum disorders	Annual Meeting of Korean Society for Human Brain Mapping	Online,	2021/5	金沢大学	R02WD01	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核: 大阪大学)

⑫-4 発表(その他)

No	発表者	タイトル	学会名等	場所	年月日	発表機関 (参画機関のみ)	備考 (形式、課題番号 等)	年度
1	山本知加	関係性を支援する	対人関係科学に関連する研究会 生理研究学会	生理学研究所	2017/12/4	大阪大学	⑤-a	H30
2	芋阪満里子	ワーキングメモリと実行系機能の可塑性	日本心理学会第82回大会(シン ポジウム・話題提供者)	仙台国際セン ター(宮城県仙台 市)	2018/9/26	NICT・CiNet	②-a	H30
3	春野雅彦	向社会性の神経基盤	山梨大学先端脳科学セミナー	山梨大学	2018/12/17	NICT・CiNet	②-a	H30
4	吉村匡史	【試験委員会ワークショップ: 専門医・専門技術 師試験問題解説】脳波関連問題の概要	第48回日本臨床神経生理学会 学術大会	東京ファッション タウンビル(TFT ビル)	2018/11/10	関西医大	④-d	H30
5	樋口正法	磁気センサ座標系による磁気共鳴画像の再構 成	第二回電子研核磁気共鳴研究 討論会	株式会社リコー 応用電子研究所	2018/11/5	金沢工業大学、リ コー	④-e	H30
6	田中早苗	教育と科学	市教職研修会	金沢市教育ブラ ザ富樫	2019/10/8	金沢大学	④-e	R1
7	芋阪満里子	ワーキングメモリの測定と概念化	日本心理学会第83回大会(シン ポジウム・話題提供者)	立命館大学(大 阪府茨木市)	2019/9/13	NICT・CiNet	②-a	R1
8	Seiji Yamasaki, Naoki Koga, Keisuke Sakurai, Ryosuke Nakashima, Akihito Yamaguchi, Kunihiko Nishino	The analysis of the efflux transporter MexB and the inhibitor for overcoming multidrug resistant bacteria	第2回COI学会	東京	2019/9/19- 20	大阪大学	①-b H31W05-2	R1
9	山崎 聖司	薬剤耐性菌の克服に寄与する薬剤排出ポンプ 阻害剤の結合部位解析	第2回大阪大学大学院医学系研 究科—産業科学研究所懇話会	大阪	2020/2/22	大阪大学	①-b H31W05-2	R1
10	福井健一	機械学習による・睡眠個性の可視化と良否判別	キャンパスクリエイト 第3回オン ラインセミナー 産学連携オー プンイノベーション ~睡眠、ストレ スフリー、QOL~	オンライン	2020/6/17	大阪大学	④-a	R2
11	山下一郎	全血からの全自動SNPAセンシングとActiveBio 場	日本学術振興会第131委員会研 究会	京都	2014/2/27	大阪大学	①-a	R3
12	Ichiro Yamashita, Kazuyuki Nobusawa, Fumie Takei, Kazuhiko Nakatani	Stress bio-marker sensing by a Lab on a chip	日台 阪大セミナー	大阪大学	2016/11/29	大阪大学	①-a	R3
13	山下一郎	Electrochemical Impedance Spectroscopy (EIS) を用いたバイオセンシング	次世代接着材料研究会	大阪	2019/12/3	大阪大学	①-a	R3
14	山下一郎、信 澤和行、 Huanwei Han	ンピーダンスでPCRをモニターする: ウイルス検 出小型・可搬型リアルタイムPCRの実現へむけ て	日本学術振興会第174委員会研 究会	On-line	2020/11/16	大阪大学	①-a	R3
15	中島寿宏、河 本岳哉、梅村 拓未、合田徳 夫、八木健	小学校における可視化データによる授業改善カ ンファレンスシステム開発の取組—ビジネス顕 微鏡によるGene Matched Networkモデルの活 用から—	第3回COI学術交流会	オンライン	2020/7/2	北海道教育大学	⑤-c	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙2 活動実績一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

⑬ 受賞

No	受賞名	主催(表彰団体名)	受賞者氏名	受賞者所属機関	受賞年月日	URL	備考	年度
1	科学技術振興機構理事長賞	科学技術振興機構	谷口 正輝	大阪大学	2015/8/27	https://www.jst.go.jp/aas/aas2015/award_2015.html	③-a	H27
2	文部科学大臣賞 若手科学者賞	文部科学省	関谷 毅	大阪大学	2015/4/20	https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/04/_icsFiles/afieldfile/2015/04/08/1356509_02_1.pdf	③-c	H27
3	IDW' 15 Best Paper Award	ITE(一般社団法人 映像情報メディア学会)、SID(Society for Information Display)	関谷 毅 植村 隆文	大阪大学	2015/12/28	https://www.idw.or.jp/award15.html	③-c	H27
4	平成27年度協会活動助成 研究助成 最優秀論文 “日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての大規模調査”	公益社団法人 日本小児保健協会	村田絵美,毛利育子,星野恭子,三星喬史,加藤久美,松澤重行,橋雅弥,大野ゆう子,谷池雅子	大阪大学	2019/2/28	https://www.jschild.or.jp/assist-archive/346/	④-a	H27
5	平成27年度協会活動助成 研究助成 最優秀論文 “日本の小学生の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼすライフスタイルについての大規模調査”	公益社団法人 日本小児保健協会	村田絵美,毛利育子,星野恭子,三星喬史,加藤久美,松澤重行,橋雅弥,大野ゆう子,谷池雅子	大阪大学	2019/2/28	https://www.jschild.or.jp/assist-archive/346/	④-a	H27
6	travel awards	Asia Pacific Regional IMFAR in Shanghai	田中 早苗	金沢大学	2015/11/8	https://researchmap.jp/stanaka/awards/2812519	④-e	H27
7	LSIとシステムのワークショップ2016 最優秀ポスター賞(一般部門)	電子情報通信学会集積回路研究専門委員会(ICD)	吉本 秀輔	大阪大学	2016/5/17	https://www.ieice.org/~icd/award/2016.html	③-c	H28
8	第12回(平成27年度)日本学術振興会賞	日本学術振興会	関谷毅	大阪大学	2016/2/24	https://www.jsps.go.jp/jpsprize/data/ichiran/12th_JSPSprize_list_jp.pdf	③-c	H28
9	第26インテリジェント・システム・シンポジウム FAN最優秀論文賞	計測自動制御学会 システム・情報部門	林 勝悟 沼尾 正行 福井 健一	大阪大学	2016/10/28	https://www.sice.or.jp/ci/ci_fan.html	④-b	H28
10	Best Workshop Paper Award, The Workshops at The 14th Pacific Rim International Conference on Artificial Intelligence (PRICAI-2016)	Artificial Intelligence Association of Thailand (AIAT)	Nattapong Thammassan Ken-ichi Fukui Masayuki Numao	大阪大学	2016/8/31	https://www.ai.sanken.osaka-u.ac.jp/?p=535&lang=ja	④-b	H28
11	Best Paper Award, Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics (JACIII)	The Journal of Advanced Computational Intelligence and Intelligent Informatics (JACIII)	Rafael Cabredo Roberto Legaspi Paul Salvador Inventado Masayuki Numao	大阪大学	2016/7/1	https://www.fujipress.jp/category/award/?journal=jacii	④-b	H28
12	9th International Conference Solid State Surfaces and Interface Awards in The Best Young Researcher Contribution Content	Institute of Physics, Slovak Academy of Sciences	K. Imamura	大阪大学	2016/11/24	https://researchmap.jp/kimamura/awards/2439744	④-c	H28
13	Clinical Use of Robots for Individuals with Child and Adolescent Psychiatric Disorders 平成27年度国際学会発表賞 シンポジウム組織部門	日本精神神経学会	熊崎 博一	金沢大学	2016/6/17	https://www.jspn.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=51#2015	④-e	H28
14	Unusual developmental pattern of brain lateralization in young boys with autism spectrum disorder: Power analysis with child-sized magnetoencephalography 平成27年度フオリア賞	日本精神神経学会	平石 博敏	金沢大学	2016/6/17	https://www.jspn.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=49	④-e	H28
15	「自閉スペクトラム症児へのヒト型ロボットを用いたコミュニケーション訓練法についての検討」第3回(平成28年度)【第112回学術総会部門】日本精神神経学会学術総会優秀発表賞	日本精神神経学会	熊崎 博一	金沢大学	2016/6/17	https://www.jspn.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=43	④-e	H28
16	Atypical development of the central auditory system in young children with autism spectrum disorder 第31回日本生体磁気学会,2016,優秀ポスター賞U35優秀発表賞	日本生体磁気学会	吉村 優子	金沢大学	2016/6/15	https://kodomokokoro.w3.kanazawa-u.ac.jp/info/info_history.html	④-e	H28
17	科学技術振興機構 理事長賞	科学技術振興機構	山崎聖司	大阪大学	2017/11/22	https://www.coistream.osaka-u.ac.jp/news/news-16	①-b	H29
18	第2回 COI若手イノベーションピッチ ベストプレゼンター賞	名古屋大学COI	山崎聖司	大阪大学	2017/11/5	http://www.coi.nagoya-u.ac.jp/news/20171107.html	①-b	H29
19	日本ワーキングメモリ学会 学会賞	日本ワーキングメモリ学会	荻阪 満里子	NICT・CiNet	2017/12/9	http://square.umin.ac.jp/jswm/ja/jswm15_program.pdf	②-a	H29

20	若手研究会2016優秀ポスター賞	電子情報通信学会	杉山真弘, 植村隆文, 吉本秀輔, 秋山実邦子, 荒木徹平, 関谷毅	大阪大学	2017/5/16	https://www.ieice.org/~icd/award/2017.html	③-c	H29
21	研究会優秀賞 2016年度	人工知能学会	Wasin Kalintha 沼尾 正行 福井 健一	大阪大学	2017/6/26	https://www.aigakkai.or.jp/about/award/jsai_award-sig/	④-b	H29
22	ECNS young investigator award	3rd International Conference on Basic and Clinical Multimodal Imaging.	Keiichiro Nishida	関西医大	2017/9	http://research.kmu.ac.jp/kmuhp/Koza?kyoinId=yokdos	④-d	H29
23	若手研究者育成プログラム奨励賞	日本生物学的精神医学会	熊崎博一	金沢大学	2017/9/29	https://www.jsbp.org/young/02_young1.html	④-e	H29
24	平成29年度はあざみ女性研究者賞 若葉賞	金沢大学	吉村 優子	金沢大学	2017/12/19	https://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/support/haazami-h.html	④-e	H29
25	日本神経精神薬理学会学術奨励賞 2017年	日本神経精神薬理学会	山末 英典	浜松医大	2017/9/28	https://www.jsnp-org.jp/awards/01.html	④-e	H29
26	第27回日本臨床精神神経薬理学会 優秀プレゼンテーション賞	日本臨床精神神経薬理学会	高橋 秀俊	国立精神・神経医療研究センター	2017/11/13	https://researchmap.jp/HidetoshiTakahashi	④-e	H29
27	日本運動・スポーツ科学学会第24回大会 オールラウンド賞	日本運動・スポーツ科学学会	中島寿宏	藤女子大学	2017/6/18	https://jspsess.org/?page_id=61	⑤	H29
28	2018年度日本免疫学会研究奨励賞	日本免疫学会	姜 秀辰 (Kang Sujin)	大阪大学	2018/12/27	https://www.jsi-men-eki.org/kaimu-181227/	①-a	H30
29	日本化学療法学会西日本支部支部長賞 (基礎) 第11回(2016年)	日本化学療法学会	山崎聖司	大阪大学	2017/1/1	http://www.chemotherapy.or.jp/meeting/west_winners.html	①-b H29計上漏	H30
30	第16回ドコモ・モバイル・サイエンス賞・基礎科学部門, 優秀賞	NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド	関谷毅	大阪大学	2017/10/20	https://www.mcfund.or.jp/mobilescience/award/no16.html	③-c H29計上漏	H30
31	平成30年度 秀でた利用成果 優秀賞「巨大誘電率を実現するAl2O3/TiO2積層膜の検討」	文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム	辻田卓司, 森田幸弘, 西谷幹彦, 北川雅俊	パナソニック大阪大学	2019/1/30	https://www.nanonet.go.jp/magazine/feature/excellent-result/25.html	③-c	H30
32	Poster Paper Awards	IEEE LifeTech 2019	Hieyong Jeong	大阪大学	2019/5/26	http://www.ieee-lifetech.org/2019/awards.html	④-a	H30
33	PCN Reviewer Awards	日本精神神経学会	Ikeda Syunichiro.	関西医大	2016/6/1	https://www.jsnp.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=222	④-d H28計上漏	H30
34	PCN Reviewer Awards	日本精神神経学会	Ikeda Syunichiro.	関西医大	2017/6/1	https://www.jsnp.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=222	④-d H29計上漏	H30
35	2017年度日本精神神経学会 国際学会発表賞 (個人発表部門)	日本精神神経学会	熊崎博一	金沢大学	2018/7/13	https://www.jsnp.or.jp/modules/activity/index.php?content_id=51	④-e	H30
36	日本児童青年精神医学会 研究奨励賞	日本児童青年精神医学会	熊崎博一	金沢大学	2018/10/15	https://child-adolesc.jp/notice/award2018/	④-e	H30
37	第1回COI学会最優秀ポスター賞	大阪大学COI研究推進機構	吉村優子	金沢大学	2018/10/26	https://kodomokokoro.w3.kanazawa-u.ac.jp/info/info_2010.html	④-e	H30
38	Best Oral Presentation Award	Korean Society for Human Brain Mapping	Kyung-min An	金沢大学	2018/11/3	https://kodomokokoro.w3.kanazawa-u.ac.jp/news.html	④-e	H30
39	Travel Award	Machine Learning for Health Workshop at NeurIPS 2018	Kazuki Tachikawa	大阪大学	2018/12/8	https://ml4health.github.io/2018/pages/travel-awards.html	④-e	H30
40	第4回COI2021会議 ニトムズ賞	北海道大学/JST	辻 知陽	金沢大学	2018/12/19	https://kodomokokoro.w3.kanazawa-u.ac.jp/news.html	④-e	H30
41	第4回COI2021会議 COI2021表彰特別賞	北海道大学/JST	吉村優子	金沢大学	2018/12/19	https://kodomokokoro.w3.kanazawa-u.ac.jp/news.html	④-e	H30
42	第31回微生物シンポジウム 若手奨励賞	第31回微生物シンポジウム	山岸 亜美	大阪大学	2019/8/28	http://www.kpomics.sakura.ne.jp/	①-b H31W05-2 R1WD01	R1
43	Student Presentation Award	10th International Conference on Molecular Electronics & BioElectronics (M&BE10), Nara Kasugano International Forum IRAKA	Masahiro Sugiyama	大阪大学	2019/6/27	http://www.mbe.jp/link-Call.html	③-c	R1
44	Young Scientist Presentation Award	10th International Conference on Molecular Electronics & BioElectronics (M&BE10), Nara Kasugano International Forum IRAKA	Andreas Petritz	大阪大学	2019/6/27	http://www.mbe.jp/link-Call.html	③-c	R1
45	LSIとシステムのワークショップ2019優秀ポスター賞 (学生部門)	LSIとシステムのワークショップ2019	杉山真弘	大阪大学	2019/5/14	https://www.ieice.org/~icd/award.html	③-c	R1
46	奨励賞	LE Symposium2019	Shima Okada	立命館大学	2019/8/24	https://www.sice.or.jp/org/le-symposium/2019/awards.html	④-a H31W13-2	R1

47	Best Presenter award	2019 IEEE 15th International Colloquium on Signal Processing and Its Applications (GSPA)	Panayu Keelawat	Chulalongkorn University (大阪大学にてインターンシップ生)	2019/3/8-9	https://sites.google.com/site/cspa2019msia/home	④-b	R1
48	第107回日本泌尿器科学会総会総会賞	日本泌尿器科学会	川村正隆	大阪大学	2019/4/19	https://www.facebook.com/957352251142136/posts/1056594381217922/	④-c	R1
49	日本薬物脳波学会奨励賞	日本薬物脳波学会	南翔太、西田圭一郎、吉村匡史、山根倫也、ロベルト・バスマルキ、木下利彦、加藤正樹	関西医大	2019/7/19	https://www.facebook.com/957352251142136/posts/1056594381217922/	④-d	R1
50	第29回インテリジェント・システム・シンポジウム 最優秀論文賞	FAN2019 事務局	信川創、我妻伸彦、池田 尊司、長谷川千秋、高橋哲也	金沢大学	2019/9/18	https://researchmap.jp/7000020382/awards/4106125	④-e	R1
51	第2回COI学会 interdisciplinary award: 異分野賞	弘前大学COI研究推進機構	吉村優子	金沢大学	2019/9/20	https://kodomokokoro.w3.kanazawa-u.ac.jp/	④-e H31W10-1	R1
52	第59回日本呼吸器学会学術講演会 優秀賞	日本呼吸器学会	木庭太郎	大阪大学	2019/4/12	https://www.jrs.or.jp/jrs59/award.html	①-a	R2
53	第63回日本リウマチ学会総会・学術集会 JCR2019国際ワークショップ優秀演題賞	日本リウマチ学会	新居 卓朗	大阪大学	2019/4/15	http://www.imed3.med.osaka-u.ac.jp/topics/topic_190417.html	①-a	R2
54	第34回自己免疫研究会 最優秀演題賞	第34回自己免疫研究会	小中 八郎	大阪大学	2019/7/27	http://www.imed3.med.osaka-u.ac.jp/	①-a	R2
55	第48回日本免疫学会学術集会Best Presentation Award	日本免疫学会	新居 卓朗	大阪大学	2019/12/11	http://icongroup.co.jp/48immunology/english/award/	①-a	R2
56	第48回日本免疫学会学術集会Best Presentation Award	日本免疫学会	小中 八郎	大阪大学	2019/12/11	http://icongroup.co.jp/48immunology/english/award/	①-a	R2
57	第48回日本免疫学会学術集会Best Presentation Award	日本免疫学会	辻本 孝平	大阪大学	2019/12/11	http://icongroup.co.jp/48immunology/english/award/	①-a	R2
58	第48回日本免疫学会学術集会Best Presentation Award	日本免疫学会	小山 正平	大阪大学	2019/12/11	http://icongroup.co.jp/48immunology/english/award/	①-a	R2
59	TEIJIN MIRAI FORUM 2020 優秀ポスター賞	TEIJIN MIRAI FORUM 2020	杉山真弘	大阪大学	2020/2/1	https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/about_isir/activity_report/award_list/	③-c	R2
60	日本質の心理学会論文賞	日本質の心理学会	岡部大介、大谷紀子	東京都市大学	2020/10	http://www.jaqp.jp/doc/journalprize20.pdf	④-b	R2
61	人工知能学会全国大会 大会優秀賞 (国際セッション 口頭発表部門)	人工知能学会	Nat Pavasant, Masayuki Numao, Ken-ichi Fukui	大阪大学	2020/6	https://www.ai-gakkai.or.jp/about/award/jsai_award-conf/	④-b	R2
62	優秀発表賞	Korean Society for Human Brain Mapping 2020	An Kyung-min	金沢大学	2020/11/6	https://www.humanbrainmapping.org/i4a/pages/index.cfm?pageid=3958	④-e	R2
63	Poster Award, International Workshop on Symbiosis of Bio and Nanodevices	The174th Committee, The Japan Society for the Promotion of Science	HuanWen Han, Norhayati B.Sabani, Kazuyuki Nobusawa, Fumie Takei, Kazuhiko Nakatani, Ichiro Yamashita	大阪大学	2017/12/21		①-a	R3
64	Poster Award, International Workshop on Symbiosis of Bio and Nanodevices	The174th Committee, The Japan Society for the Promotion of Science	HuanWen Han, Norhayati B.Sabani, Naofumi Okamoto, Masakazu Nakamura, Ichiro Yamashita	大阪大学	2019/6/26		①-a	R3
65	2020年度鳥津奨励賞	公益財団法人鳥津科学技術振興財団	関谷毅	大阪大学	2020/12/11	https://www.shimadzu.co.jp/ssf/news/2020/news20201211-2.html	③-c	R3
66	T-CEP 2020 DEMO DAY 最優秀賞 (優勝)	Technology Commercialization & Entrepreneurship Program (T-CEP)	菅原凌, 荒木徹平, 他7名	大阪大学	2021/1/23	http://isir-sekitani54.sanken.osaka-u.ac.jp/pman3/pman3.cgi?D=1470	③-c	R3
67	第50回(2021年春季)応用物理学会講演奨励賞	応用物理学会	田口剛輝	大阪大学	2021/5/27	https://www.jsap.or.jp/young-scientist-presentation-award/recipients50	③-c	R3
68	楠本賞・大阪大学工学賞	大阪大学	原友輝	大阪大学	2021/3/24	https://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/aed/japanese/	③-c	R3
69	大阪大学賞	大阪大学	荒木徹平	大阪大学	2021/11/25	https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/wp-content/uploads/2020/08/meibo.p	③-c	R3

70	Best Presentation Award	FSE(Flexible and stretchable electronics)研究会	田口剛輝	大阪大学	2021/12/28		③-c	R3
71	優秀論文賞	スマートプロセス学会・溶接学会共催 第28回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム	荒木徹平, 植村隆文, 関谷毅	大阪大学	2022/2/14		③-c	R3
72	学生奨励賞	第83回情報処理学会全国大会	西原 大貴	大阪大学		http://www.ipsj.or.jp/award/taikaigakusei.html	R1WD07	R3
73	大会奨励賞	第83回情報処理学会全国大会	西原 大貴	大阪大学		http://www.ipsj.or.jp/award/taikaisyorei.html	R1WD07	R3
74	第4回 COI 学術交流会 最優秀ポスター賞	COI STREAM 構造化チーム若手部会 研究支援グループ	元岡 大祐	大阪大学	2022/2/7		R3W02	R3

COIプログラム 終了報告書 別紙3 参画機関一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

No.	機関名	参画形態								
		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
1	大阪大学	★	★	★	★	★	★	★	★	★
2	情報通信研究機構・脳情報通信融合研究センター	○	○	★	★	★	★	★	★	★
3	東京大学大学院新領域創成科学研究科	○	○	★	—	—	—	—	—	—
4	国立循環器病研究センター	—	○	★	—	—	—	—	—	—
5	中部大学	—	—	—	★	★	★	★	★	—
6	立命館大学	—	—	—	—	★	★	★	★	★
7	東京都市大学	—	○	○	○	★	★	★	★	★
8	関西医科大学	—	—	—	★	★	★	★	★	★
9	浜松医科大学 光先端医学教育研究センター(メディカルフォトニクス研究センター)	—	—	★	★	★	★	★	★	★
10	金沢大学	★	★	★	★	★	★	★	★	★
11	福井大学	—	—	—	★	★	★	—	—	—
12	大阪大学大学院医学系研究科	○	★	★	—	—	—	—	—	—
13	東京大学大学院医学系研究科	○	★	★	—	—	—	—	—	—
14	浜松医科大学 精神医学講座	—	—	—	★	★	—	—	—	—
15	国立精神・神経医療研究センター	○	★	★	★	★	—	—	—	—
16	金沢工業大学	○	★	★	★	★	★	★	★	★
17	大阪大学先導的学際研究機構・共生知能システム研究センター(大阪大学大学院工学研究科)	○	★	★	★	★	★	★	★	★
19	近畿大学	—	○	○	○	—	—	—	—	—

20	電気通信大学	-	○	○	○	○	○	○	○	○
21	東北大学	-	-	-	-	-	-	○	○	○
22	北海道大学	-	-	-	○	○	○	○	○	○
23	北海道科学技術大学	-	-	-	○	-	-	-	-	-
24	藤女子大学	-	-	-	-	○	-	-	-	-
25	北海道教育大学	-	-	-	-	-	○	○	○	○
26	神戸大学	-	-	-	-	-	-	-	○	○
27	筑波大学	-	-	-	-	-	-	-	○	-
28	中京大学	-	-	-	-	-	-	-	-	○
29	同志社大学	-	-	-	○	○	○	○	○	○
30	追手門学院大学	-	-	-	-	-	-	○	○	○
31	パナソニック株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	株式会社メディネット	-	○	○	○	○	○	-	-	-
33	株式会社ファイン	-	-	-	○	○	○	○	○	○
34	日本シーエイチシー株式会社	-	-	-	-	-	○	○	○	○
35	株式会社日立製作所	-	○	○	○	○	○	○	○	○
36	パイクリスタル株式会社	-	○	○	-	-	-	-	-	-
37	クオンタムバイオシステムズ株式会社	-	○	○	○	-	-	-	-	-
38	imec international	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	株式会社進鳳堂	-	-	-	-	-	-	○	○	○
40	昭和電工株式会社	○	○	○	○	○	○	-	-	-
41	セメダイン株式会社	-	○	○	○	○	○	-	-	-
42	コニカミノルタ株式会社	-	○	○	○	-	-	-	-	-

43	株式会社カネカ	-	○	○	○	○	○	-	-	-
44	日本メクトロン株式会社	-	○	○	○	○	○	○	○	○
45	ダイキン工業株式会社	-	○	○	○	○	○	○	○	○
46	ヤマハ株式会社	-	-	○	○	○	-	-	-	-
47	株式会社竹中工務店	-	-	-	-	-	○	○	○	○
48	株式会社ブレインズ	-	○	○	-	-	-	-	-	-
49	株式会社ファーストシステム	-	○	○	-	-	-	-	-	-
50	田中商事株式会社	-	○	○	-	-	-	-	-	-
51	クリムゾンテクノロジー株式会社	-	-	○	○	○	○	○	○	○
52	日新化成株式会社	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	株式会社新興製作所	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	株式会社SCREENホールディングス (大日本スクリーン製造株式会社)	○	○	○	-	-	-	-	-	-
55	東邦化成株式会社	○	○	○	-	-	-	-	-	-
56	オルガノ株式会社	○	○	○	○	-	-	-	-	-
57	MSI TOKYO株式会社	-	○	○	-	-	-	-	-	-
58	NPO法人Evidence創出者倶楽部	-	○	○	-	-	-	-	-	-
59	株式会社 ブレイン・シェア	-	○	○	-	-	-	-	-	-
60	株式会社JSOL	-	-	-	-	○	○	○	-	-
61	株式会社NTTデータ経営研究所	-	-	-	-	○	○	○	○	○
62	株式会社リコー	-	-	-	-	○	○	○	○	○
63	株式会社PFU	○	○	○	○	○	○	○	○	○

COIプログラム 終了報告書 別紙5 研究開発テーマと個別研究開発課題の関係一覧

拠点名: V2 『乳幼児からの健やかな脳の育成による積極的自立社会創成拠点』(中核:大阪大学)

終了報告書中の研究開発テーマ		包含する研究開発課題		
番号	テーマ名	番号	課題名	実施機関
4.1.1	ユースケース1: 脳の発達に重要な乳幼児期の睡眠改善	ユースケース1	脳の発達に重要な乳幼児期の睡眠の改善～双方向性アプリを用いたオンライン睡眠介入法の開発～	大阪大学大学院連合小児発達学研究科、大阪大学大学院歯学研究科(東大阪市、弘前市、加賀市、永平寺町)
4.1.2	ユースケース2: 自閉症児の自立・社会性向上	ユースケース2	自閉症児の自立・社会性の向上	金沢大学 子どものこころの発達研究センター、大阪大学 先導的学際研究機構・共生知能システム研究センター、金沢工業大学、株式会社PFU、株式会社リコー、株式会社日立製作所
4.1.3	ユースケース3: 子どもの教育環境の改善・コミュニケーション・学力の向上	ユースケース3	子どもの教育環境の改善・コミュニケーション・学力の向上	大阪大学大学院生命機能研究科、金沢大学 子どものこころの発達研究センター、北海道教育大学、北海道大学、神戸大学、中京大学、株式会社日立製作所
		ユースケース3	ストレスへの対処～ストレスマーカの同定と簡易測定法、ストレスバランス介入法～	大阪大学医学系研究科、大阪大学工学研究科、大阪大学産業科学研究所、中部大学、パナソニック株式会社、東京都市大学、電気通信大学、クリムゾンテクノロジー株式会社
		ユースケース4	ニューロフィードバックによる能力向上～ワーキングメモリの評価方法と活性化手段～	脳情報通信融合研究センター、大阪大学産業科学研究所、株式会社JSOL、株式会社NTTデータ経営研究所
		ユースケース5	腸内フローラの改善	大阪大学医学系研究科、大阪大学産業科学研究所、東北大学環境科学研究科、北海道大学医学研究科、株式会社ファイン、株式会社リコー、日本シーエイチシー株式会社
		ユースケース6	酸化ストレス性疾患の予防～体内水素発生サプリによる慢性腎臓機能障害の削減～	大阪大学医学系研究科、大阪大学産業科学研究所、日新化成株式会社、株式会社新興製作所
		ユースケース7	コミュニケーションの質可視化～コミュニケーションの質定量化とGMNモデルによる分析～	大阪大学生命機能研究科、大阪大学医学系研究科、株式会社日立製作所、北海道大学、北海道教育大学、同志社大学、追手門学院大学
		ユースケース7	コミュニケーションの質可視化～コミュニケーションの質定量化とGMNモデルによる分析～	大阪大学生命機能研究科、大阪大学医学系研究科、株式会社日立製作所、北海道大学、北海道教育大学、同志社大学、追手門学院大学
4.2.1.1	①-a: 体液(血清・涙)、呼気からのストレス物質の調査・評価	①-a	体液(血清・涙)、呼気からのストレス物質の調査・評価	大阪大学大学院医学系研究科、大阪大学産業科学研究所
		①-b	ストレスセンシングの定量化	大阪大学理学研究科、大阪大学医学系研究科、MSI.TOKYO株式会社

4.2.1.2	①-b: 腸内フローラ改善による人間力活性化メカニズムの解明	①-b	腸内フローラ改善による人間力活性化メカニズムの解明	大阪大学大学院医学系研究科、大阪大学産業科学研究所、株式会社ファイン、株式会社リコー、東北大学環境科学研究所、日本シーエイテシー株式会社
		①-c	腸内フローラ改善による人間力活性化メカニズム解明	大阪大学医学系研究科、大阪大学産業科学研究所
4.2.2.1	②-a: 脳機能イメージング技術の開発	②-a	脳機能イメージング技術の開発	情報通信研究機構・脳情報通信融合研究センター、大阪大学産業科学研究所、株式会社NTTデータ経営研究所
4.2.2.2	②-b: Gene Matched Networkによるコミュニティのモデル化	②-b	Gene Matched Networkによるコミュニティのモデル化	大阪大学大学院生命機能研究科、株式会社日立製作所
4.2.3.1	③-a: ストレスマーカ検出デバイスの開発	③-a	ストレスマーカ検出デバイスの開発	大阪大学産業科学研究所、大阪大学大学院医学系研究科
4.2.3.2	③-b: ウェアラブルセンサの開発	③-b	ウェアラブルセンサの開発	大阪大学産業科学研究所、金沢大学 子どものこころの発達研究センター、imec、株式会社進鳳堂
4.2.3.3	③-c: ウェアラブルセンサ形成技術の開発	③-c	ウェアラブルセンサ形成技術の開発	大阪大学産業科学研究所、日本メクトロン株式会社
4.2.4.1	④-a: 深睡眠による活性化	④-a	深睡眠による活性化	大阪大学大学院連合小児発達学研究科、大阪大学大学院歯学研究科、大阪大学産業科学研究所、立命館大学、ダイキン工業株式会社、株式会社竹中工務店(東大阪市、弘前市、加賀市、永平寺町)
		⑤-a	深睡眠による活性化	大阪大学産業科学研究所、大阪大学連合小児発達学研究科、近畿大学、ダイキン工業株式会社、ヤマハ株式会社
4.2.4.2	④-b: 音楽による活性化	④-b	音楽による活性化	大阪大学産業科学研究所、imec、クリムゾンテクノロジー株式会社、東京都市大学、電気通信大学
		⑤-b	音楽による活性化	大阪大学産業科学研究所、imec、株式会社ブレインズ、東京都市大、電気通信大
		③-d	メンタルストレスチェッカー	大阪大学産業科学研究所、株式会社ファーストシステム、田中商事株式会社
		⑤-c	自発光植物による活性化	大阪大学産業科学研究所

4.2.4.3	④-c: 体内水素発生技術の開発と免疫力強化	④-c	体内水素発生技術の開発と免疫力強化	大阪大学大学院医学系研究科、大阪大学産業科学研究所、日新化成株式会社、株式会社新興製作所
		⑤-d	水素水製造技術の開発と活性化	大阪大学産業科学研究所、オルガノ株式会社、日新化成株式会社、株式会社新興製作所
4.2.4.4	④-d: 経頭蓋電流刺激(tCS)による活性化	④-d	経頭蓋電流刺激(tCS)による活性化	大阪大学産業科学研究所、金沢大学 子どものこころの発達研究センター、浜松医科大学、関西医科大学、imec
4.2.4.5	④-e: 脳の個性を生かした子どもの健やかな心の育成	④-e	脳の個性を生かした子どもの健やかな心の育成	金沢大学 子どものこころの発達研究センター、大阪大学 先導的学際研究機構・共生知能システム研究センター、金沢工業大学、株式会社リコー、株式会社PFU
		⑥	脳の個性を生かした子どもの健やかな心の育成	金沢大学 子どものこころの発達研究センター、大阪大学 医学系研究科、大阪大学工学研究科、東京大学、浜松医科大学、国立精神・神経医療研究センター、金沢工業大学、株式会社PFU
4.2.5	⑤集団におけるコミュニケーションの質の可視化と活性化	⑤	集団におけるコミュニケーションの質の可視化と活性化	大阪大学大学院連合小児発達学研究科、金沢大学 子どものこころの発達研究センター、大阪大学大学院生命機能研究科、北海道教育大学、北海道大学、神戸大学、中京大学、株式会社日立製作所、大阪大学大学院医学系研究科、同志社大学、追手門学院大学
		④	コミュニケーションの質の定量化(ビジネス顕微鏡の活用)	大阪大学生命機能研究科、大阪大学連合小児発達学研究科、金沢大学 子どものこころの発達研究センター、日立製作所、大阪大学産業科学研究所、国立循環器病研究センター、NPO法人Evidence創出者倶楽部、株式会社ブレイン・シェア
		⑥	社会実装に向けた社会インフラの構築	大阪大学COI研究推進機構
		○	プラットフォーム構築のための拠点推進体制の整備	大阪大学COI研究推進機構
		H29W03	ウェアラブル脳波計による感情喚起画像を用いた感性計測の最適化に向けた基礎研究	広島大学、大阪大学
		H29W04	トイレの溜まり水測定を目指したセンサーの開発および水中に溶け出す糞便成分と健康状態との関係解明	大阪大学、東北大学
		H30W05	低出生体重児の客観的理解を目指した生理学的指標の解明と社会性獲得過程の評価方法確立に向けた基盤研究	金沢大学、北海道大学

		H30W08	腸内フローラ判定トイレと改善サプリの開発	大阪大学、東北大学、北海道大学
		H30W18	ORNi-PCR法を利用した細菌叢の高解像度・低コスト解析法の開発	弘前大学、大阪大学
		H30W20	多角的バイオストレス評価にむけた超フレキシブル・ウェアラブルテラヘルツセンサの開発	大阪大学、東京工業大学
		H30W21	ほぐして眠る：良質な睡眠獲得のための刺激技術の実証～中医学的刺激法の導入に関する検討	大阪大学、立命館大学
		H30WD35	Cloudy画像のリアルタイム計測の実現を目指したAIアルゴリズム開発に向けた調査研究	大阪大学
		H30WD36	ディープラーニングを活用した感染症診断の高速化手法開発に向けた調査研究	大阪大学
		H30WD37	細菌に関する健康・医療ビッグデータの活用	大阪大学
		H30WD38	表情で人の活性度(疲労度)が診断できるAIの開発に向けた調査研究	大阪大学
		H30WD39	幼児用脳磁図を用いた、幼児の言語発達に関わる神経ネットワーク解明のための異文化間国際共同調査	金沢大学
		H30WD48	乳幼児の睡眠に最適な光環境を実現するIoTシステムを開発するための調査研究	北海道大学、金沢大学
		H30WD54	自閉スペクトラム症児童と親子同時計測によるアート活動の自己肯定感に及ぼす影響の検討	東京藝術大学、金沢大学
		H31W05	感染拡大抑制に寄与する迅速細菌遺伝子キットの開発	東北大学、大阪大学、北海道大学
		H31W10	低出生体重児の客観的理解を目指した生理学的指標の解明と睡眠介入プログラムの開発に向けた基盤研究	金沢大学、北海道大学、立命館大学
		H31W13	ほぐして眠る：良質な睡眠・緊張回復のための刺激技術の開発中医学的刺激法の導入に関する研究	大阪大学、立命館大学
		H31W15	意欲溢れる自律社会の実現を目指した脳機能解明のための新規顕微鏡システム開発とその実証に向けた研究	東北大学、大阪大学
		R1WD01	バクテリアに関する健康・医療ビッグデータの利活用	大阪大学

		R1WD07	表情で人の活性度(疲労度)が診断できるAIの開発	大阪大学
		R1WD13	幼児用脳磁図を用いた、幼児の言語発達に関わる神経ネットワーク解明のための日豪国際共同調査	金沢大学
		R1WD17	ディープラーニングを活用した病原体検出の高速化手法開発	大阪大学
		R1WD18	発達障がい児におけるコミュニケーション能力を活かした芸術活動の療育としての効果実証と効果実証方法の確立	東京芸術大学、金沢大学
		R02W02	意欲溢れる自律社会の実現を目指した脳機能解明のための新規顕微鏡システム開発とその実証に向けた研究	東北大学、大阪大学、山梨大学
		R02W08	感染拡大抑制に寄与する迅速細菌遺伝子検査キットの開発	東北大学、大阪大学
		R02WD01	自閉スペクトラム症の脳内コミュニケーションの解明を目指した日韓英国際共同研究	金沢大学
		R03W01	膵がんの発症・病期進行・治療応答性・生活の質と相関する細菌叢バイオマーカーおよび新規治療法の創出	北海道大学、大阪大学、国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
		R03W02	下水疫学とメタゲノム解析を融合した革新的ウイルス感染症流行検知システムの創出	大阪大学、北海道大学
		○	若手人材の活躍促進・支援活動: 研究支援グループ	大阪大学

用語集

(50音順/アルファベット順)

用語	説明
異物排出ポンプ 薬剤排出ポンプ	抗生物質やヒトに有害な成分を含む様々な化合物を菌体内から菌体外に排出し、細菌の抗生物質耐性・病原性に大きく寄与する、細菌の膜タンパク質である。
炎症性サイトカイン	炎症反応を促進する働きを持つサイトカイン（細胞から分泌される低分子のたんぱく質）で全身性、局所的な炎症の原因になる。インターロイキン（IL）-1, 6, 8 や腫瘍壊死因子（TNF）などがある。
銀ナノワイヤ	太さがナノスケールのワイヤ状の銀。これに寄って形成された膜は高導電性かつ高い光透過性を有する。またITOに比べ折り曲げに強い特徴があり、本COIでは銀ナノワイヤを用いた透明導電フィルムで子どもに優しいパッチ式EEGなどに応用である。
グラフ理論を用いたネットワーク解析	ネットワークはいくつかの頂点とそれらを結ぶ枝で構成されている。その頂点と枝のつながり度合いを評価することでネットワーク構造を捉える解析手法をグラフ解析という。このグラフ解析は、交通、経済、ウェブデータ、脳科学研究などさまざまな分野で応用されている解析手法である。
行動療法	学習理論に基づく心理療法。不適切な行動を「誤った学習によるもの」と捉え、不適切な行動を減らし適切な行動を増やすことを目的に、さまざまな技法を用いて支援する。
事象関連電位（ERP）	外的（あるいは内的な）イベントに時間的に関連して、生じる脳の一過性の電位変動であり、ここでは脳波計で測定する。出現のタイミングや活動の大きさを解析することが多い。
実用化検証	個々の成果物を定量的に評価し、当初想定した目的に対し、機能や技術的に達成できているのか、検証する。この検証作業を通じて、基礎研究と事業化開発とのギャップを埋めるため、企業と一体となり、検証データの分析・解析を行い、社会実装に繋げる。
シリコン製剤	太陽電池やLSIに用いられているシリコンウェーハの原料であるポリシリコン粉末から形成される安価な製剤。組成の90%以上が結晶シリコンからなる無機物質。経口摂取すれば腸内で持続的に多量の水素が発生する。
信号可視化アルゴリズム	生体センサから取得した信号からノイズと信号を分離して、対象事象を判別可能にするアルゴリズムを開発。例として脳波に関するアルゴリズムでは健常者とアルツハイマー型認知症の分類や睡眠ステージでのAI分類などがある。医療機関/アカデミア、企業など40機関と共同で検証を実施している。
健やかな脳	人間形成に重要な幼児期から学童期において、セロトニン神経系を中心とした、大脳新皮質への伝達機能が正常に働く、脳神経ネットワークが醸成されること。これにより、一人一人が自信（自己肯定感、自己効力感）とレジリエンスが持てるようになる
生体導電粘着剤	粘着性と導電性を有する新素材であり、柔軟電極シートとして肌に貼り付けて利用することを想定している。電極と肌の接触抵抗を低減することが可能となり、低ノイズでの生体電位計測へ繋がる。
積極的自立社会 （セルフエンパワーメント社会）	子供から高齢者にいたるまで、本来備わっている知識や意欲など（潜在力）を、いつでも引き出し、顕在化させることで、直面する様々な課題を自ら克服、自己実現できる社会。個人のみならず、チームや集団としての力を引き出し、チームや集団のビジョン・目標を実現することも含まれる。

ソリューションモデル	<p>社会実装に向けて、企業での製品開発と基礎研究との大きな GAP (死の谷) を埋めるため、世代別に具体的なモデルを構築し、実証検証を積み重ねながら、市場の意見や倫理・法規制を大学と企業が一体となって、反映し、社会実装に展開していく。ソリューションモデルは「状態検知」「デザイン」「活性化」「評価」の各手段で構成。</p> <p>【検知手段】非侵襲で、しかも専門機関に頼ることなく、簡便に状態を検知する仕組み及びデバイス。</p> <p>【デザイン手段】検知手段で取得された多くのデータを基に解析し、個人に適した活性化に繋がる手法を提案。</p> <p>【活性化手段】検知データを基に、個人に適した、脳や身体を活性化させる仕組み（システム）やサービス。</p> <p>【評価手段】各活性化手段と標的とする脳部位との関連づけと標的脳部位の状態を確認する手法やツール。</p>
短鎖脂肪酸	<p>腸内細菌が、ヒトが摂食した炭水化物（食物繊維）を分解、発酵し産生する脂肪酸。炭素数 6 以下のもので、主に酢酸、プロピオン酸、酪酸の 3 種がヒトの糞便中で検出される。短鎖脂肪酸は腸管の pH を低下させ、（健康に良い影響を与える）善玉菌の発育を促す他、腸管から吸収され全身の組織・臓器に存在する受容体に結合、様々な疾患を予防する物質として注目されている。</p>
腸内細菌叢	<p>我々の腸管内に棲息する細菌が成す叢（そう）のこと。腸内フローラの呼び名でも広く知られている。ヒトでは、小腸から大腸にかけ多様な細菌が種類毎にまとまって腸内壁面に棲息しており、種類にして 1,000 以上、数にして 100 兆以上の細菌が棲みついている。</p>
電気化学センサ	<p>電気化学式バイオセンサは、測定溶液中に少量の酸化還元媒介物質を添加し、媒介物質と電極間の電荷移動を検出するセンサ。溶液中生体分子などを、酸化還元ピークやインピーダンスによって検出する。生化学的な高イオン強度溶液下でも高感度で動作する特徴を持つ。</p>
ナノポア	<p>ナノメートル(10 億分の 1 メートル)スケールの細孔。1 個の粒子を検出できるナノポアセンサと AI 技術を組み合わせることで、複数のウイルス種について、高精度判定を実現。涙液からヘルペスウイルスの検出（ストレス状態）や唾液から新型コロナウイルスを 5 分間で検出できる検査法へ展開。</p>
バイオマーカー	<p>生物指標化合物とも呼ばれ、ある疾病の存在や進行度をその濃度に反映し、血液中を含めた体液内に検出・測定されるタンパク質等の物質を指す用語である。特定の病状・病勢や生命体の状態の指標を客観的に示す指標である。</p>
パッチ式脳波計	<p>従来のヘッドギアタイプの医療用とは異なり、前額部に貼付けることによって使用可能な脳波計。生体皮膚に追従する柔軟な電極シートと、高精度・軽量の無線計測部から構成されている。</p>
ヒドロキシラジカル	<p>体内で生成する活性酸素の一種で、活性酸素中最も酸化力が強いが、生理機能を持たない悪玉活性酸素。代謝によって生成するために、常時体内で生成している。細胞を酸化することで、慢性腎臓病、潰瘍性大腸炎、アトピー性皮膚炎等、種々の疾患を発症させる。</p>
平均精度	<p>$(\text{真陽性} + \text{真陰性}) / (\text{真陽性} + \text{偽陽性} + \text{真陰性} + \text{偽陰性})$。この研究では、平均精度の真陽性を、機械学習で出された 5 個のアドバイスのうち、出すべきアドバイス（その判定はマニュアルの選択において作成されたルールに基づく）と定義する（真陰性と算出式の定義は変わらず）。この研究では、真陰性が非常に多く偏ったデータとなるため、性能指標として平均精度ではなく下記の平均適合率と平均再現率を用いる。</p>

平均適合率	真陽性／（真陽性＋偽陽性）にて計算する。本研究では、適合率計算時の真陽性を、機械学習で出された5個のアドバイスのうち、出すべきアドバイス、または出すべきが出さなかったアドバイス（その判定はマニュアルの選択において作成されたルールに基づく）と定義し、機械学習で出された5個のアドバイスに含まれる真陽性の割合とする。出してはいけないアドバイスを機械学習で出さないことの性能指標となる。
平均再現率	真陽性／（真陽性＋偽陰性）にて計算する。本研究では、再現率計算時の真陽性を、機械学習で出された5個のアドバイスのうち、出すべきアドバイス（その判定はマニュアルの選択において作成されたルールに基づく）と定義し、機械学習で出された5個のアドバイスに出すべきアドバイスがどのくらい含まれているかの割合とする。出すべきアドバイスが実際に機械学習で出ていることの性能指標となる。
ミトコンドリア DNA	細胞小器官であるミトコンドリア内にある DNA。ミトコンドリアは電子伝達系における酸化的リン酸化による ATP の産生を行い、重要な機能を持つが、細胞外に放出されると DAMPs (damage-associated molecular patterns) として炎症を引き起こすことが知られている。
モノアミン神経系	脳神経伝達物質で蓄積されている脳神経に刺激が加わると神経突起の中を移動してシナプスから放出され、別の神経細胞に刺激を伝える役割を持っている。ドーパミン、ノルアドレナリン、セロトニンは大脳新皮質、特に前頭葉に伸びる突起を有し、健やかな脳の育成に重要である。
ユースケース	ソリューションモデルの中で本プロジェクト期間内に社会実装に結び付けるべき具体的モデルを指す。成長に重要な乳幼児～学童期をターゲットに3つのユースケースを設定し、具体的施策と検証を通して、社会実装へ展開する。
幼児用 MEG	超伝導センサ (SQUID 磁束計) を用いて、脳に発生する微弱磁場を体に害のない方法で計測する装置。超伝導センサを幼児の頭のサイズに合わせ、頭全体を覆うことで、高感度で神経活動を計測できる。世界に4台しかなく、金沢大学では親子同時計測が可能である。さらにリコー、PFU と連携し、短時間撮像 (30 秒)、頭部装着無 (非接触) など子どもに優しい MEG を開発している。
リアルタイム PCR 法	PCR (polymerase chain reaction: DNA を増幅するための原理またはそれを用いた手法) における増副産物の増加をリアルタイムでモニタリングし、解析する技術で従来の PCR 法に比べて、①DNA や RNA の正確な定量ができる、②迅速かつ簡便で、コンタミネーションの危険性が小さい、等の利点がある。
流動性知能	心理学者キャッテルにより提唱され、新しい場面、直面する課題に適応するに際して必要な能力であり、具体的には、計算力・暗記力・思考力・集中力などがある。これらの能力は本拠点が目指している、各人が持つ潜在力を発揮し、自ら課題を克服する能力である。流動性知能は18～25歳頃にピークを迎え、その後次第に衰え40代以降で急激に低下するとされている。
16S rRNA 遺伝子解析	ウイルス以外の全ての生物が保有する 16S rRNA 遺伝子の塩基配列を解読することにより、特定の環境にどのような菌種が存在するかを同定する。
ASD (Autism Spectrum Disorder: 自閉症スペクトラム障害)	自閉症スペクトラム障害とは、『精神障害の診断と統計マニュアル』第5版 (DSM-5) における、神経発達症群に分類されるひとつの診断名で、コミュニケーションや言語に関する症状があり、常同行動を示すといった様々な状態を連続体 (スペクトラム) として包含する診断名である。ASD の診断基準は「社会的コミュニケーションの障害」と「限定された興味」の2つを満たす。ASD の診断は行動的な観察により、一般的には治療法は存在せず、一生続き、治療より療育や支援に重きが置かれる。

Central Serous Choroidopathy (CSC)	中心性漿液性脈絡網膜症。脈絡膜血管の透過性亢進に伴う漿液性網膜剥離がみられる網膜疾患。働き盛りの40～60歳代の男性に多くストレスが疾患発症の原因と想定されているが、原因に関しては明らかではない。
Lumada	日立製作所が2016年から提供を始めたIoTプラットフォーム。顧客データから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するために先進的なデジタル技術を活用したソリューションサービステクノロジー。
MIDI	Musical Instrument Digital Interface 電子楽器の演奏データを機器間で転送・共有するための共通規格
PET	陽電子断層撮像法 (positron emission tomography)。陽電子を放出する核種により標識された化合物を体内に注入し、分子の動態を画像化する手法。
qPCR	ポリメラーゼ連鎖反応 (PCR) の中でも、特定遺伝子配列の増幅をリアルタイムにモニターし、特定遺伝子配列を定量的に検出できる反応、装置を指す。quantum Polymerase Chain Reactionの略。
Social jet lag	起床から就寝までの中間点の時刻と、平日と週末 (=非勤務・登校日) の差、生活リズムの安定の指標として使用される。
SRS, SDQ	SRS (Social Responsiveness Scale) は日常生活の行動観察からASDと関連する症状を測定し、スクリーニングや重症度の評価に活用できる。またSDQ (Strength and Difficulties Questionnaire) は子どもの情緒や行動についての25項目の質問形式のアンケート、子どものメンタルヘルス全般をカバーするスクリーニング尺度として、臨床評価などで活用される。
tDCS	経頭蓋直流電流刺激 (transcranial direct current stimulation)。頭皮上 (頭蓋外) より微弱な直流電流を流し、非侵襲的に脳に刺激を与える手法。
tCS	経頭蓋電流刺激 (transcranial current stimulation)。tDCS、tACS (交流刺激)、tRNS (ランダムノイズ刺激) など、頭皮上から与える電流による非侵襲的の刺激法の総称。
ULF-fMRI	超低磁場核磁気共鳴画像装置。地磁気程度の静磁場を用いて、MEGと同じ装置で脳画像が撮像でき、これまでMRI、MEG別々の装置で行ってきたことが一ヶ所で同時に行える。更に、超低磁場化により、脳神経活動による微弱場変化が核磁気共鳴現象に影響を及ぼすため、脳神経活動の様子 (機能情報) を画像化することができる。
γ -Oscillation	脳波や脳磁図で検出される γ 帯域 (30～100 Hz) の周波数をもつ脳活動。大脳皮質における情報処理に重要な役割をもつとされ、注意、知覚認知、記憶、運動などの幅広い高次機能に伴い発現量が増加するため、本研究でのワーキングメモリ強化の評価指標候補として検討している。